

勘定奉行シリーズ

機能アップガイド

Ver.2.65



目次

【仕訳処理】	
[証憑一括添付]メニューで、証憑を効率よく添付できるようになりました。 ＜『勘定奉行 i 8』をお使いの場合＞	2
【消費税申告】	
国税電子申告（e-Tax）の改正（平成30年1月4日受付開始分）に対応しました。	2

仕訳処理

- [証憑一括添付]メニューで、証憑を効率よく添付できるようになりました。
＜『勘定奉行 i 8』をお使いの場合＞

※以下の機能は、仕訳伝票に電子証憑を添付している場合（[導入処理]-[会計期間設定]-[会計期間設定]メニューの[基本設定]ページで、電子証憑の添付が「1：する」の場合）に利用できます。

電子証憑を添付する仕訳伝票を目視ではすぐに見つけれないときに、証憑上の金額や取引先名などで頭出しできるようになりました。

※操作の具体的なイメージは、[証憑一括添付]メニューの操作説明（ヘルプ）「運用例」の「具体例 A-a」－「操作手順（初回）」－「Ⅲ. 仕訳伝票に電子証憑を関連付ける（リンク）」をご参照ください。

消費税申告

- 国税電子申告（e-Tax）の改正（平成30年1月4日受付開始分）に対応しました。

消費税の電子申告（e-Tax）で、ダイレクト納付の引落口座を複数事前申請・利用できるようになりました。


◀ 関連メニュー ▶


[消費税申告]-[電子申告]-[消費税電子納税]メニュー

勘定奉行シリーズ 機能アップガイド

Ver.2.60



※マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

	<p>【仕訳処理】</p> <p>地代家賃や書籍の定期購読などの契約書（電子証憑）を関連付けて予約しておくことで、毎月、決まった金額の仕訳伝票を定期的に起票できます。</p> <p style="text-align: right;">＜『勘定奉行 i 8』をお使いの場合＞</p>	
	<p>【消費税申告】</p>	
	<p>電子申告のメニュー構成を変更しました。</p>	2

注 意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

仕訳処理



- 地代家賃や書籍の定期購読などの契約書（電子証憑）を関連付けて予約しておくことで、毎月、決まった金額の仕訳伝票を定期的に起票できます。

＜『勘定奉行 i 8』をお使いの場合＞

地代家賃や書籍の定期購読などの契約書をスキャンした電子証憑を、定型仕訳に添付して仕訳伝票予約機能を利用すると、毎月決まった金額の仕訳伝票を定期的に起票できます。

なお、すでに前月入力した仕訳伝票に契約書の電子証憑が添付されている場合は、複写機能を利用して今月分を起票することもできます。

＜ 関連メニュー ＞

- ・ [仕訳処理]-[仕訳入力補助]-[定型仕訳登録]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票予約]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ受入]-[仕訳伝票データ受入]-[定型仕訳データ受入]メニュー

消費税申告

- 電子申告のメニュー構成を変更しました。

変更前	変更後
[消費税申告]-[電子申告]- [消費税申告データ作成]メニュー	[消費税申告]-[電子申告]- [消費税申告データ送信]メニュー
[消費税申告]-[電子申告]- [消費税署名付与]メニュー	
[消費税申告]-[電子申告]- [消費税申告データ送信]メニュー	

＜ASOS会員のお客様の場合＞

変更前	変更後
[消費税申告]-[電子申告]- [消費税申告データ作成]メニュー	[消費税申告]-[電子申告]- [消費税申告データ作成]メニュー
[消費税申告]-[電子申告]- [消費税署名付与]メニュー	[消費税申告]-[電子申告]- [消費税申告データ送信]メニュー
[消費税申告]-[電子申告]- [消費税申告データ送信]メニュー	

電子申告データ作成から送信までを1メニューに集約し、[消費税申告]-[電子申告]-[消費税申告データ送信]メニューですべて行えるようになりました。

企業の署名と税理士の署名を付与する場合など署名を2回（以上）する場合は、今までどおり[消費税署名付与]メニューで署名を付与したのち、[消費税申告データ送信]メニューで送信します。

参 考

付与する署名が1つの場合は、[導入処理]-[消費税基本登録]-[消費税基本登録]メニューの[システム設定]ページで付与署名数を「1」に設定します。


勘定奉行シリーズ


機能アップガイド

Ver.2.58



目次

※マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

	【仕訳処理】	
	仕訳伝票の検索にて、税抜の伝票・税込の伝票それぞれをその計上金額で検索できるようになりました。また、元帳上の出力金額でも検索できます。	2
	スキャナ保存された証憑を、仕訳伝票に関連付けできるようになりました。 ＜『勘定奉行 i 8』をお使いの場合＞	3
	【会計帳票】	
	外貨内訳表で、取引先別に一覧で確認できるようになりました。 ＜『外貨入力オプション』をお使いの場合＞	4
	【消費税申告】	
	消費税申告書が「法人用」の様式に変更されました。また、印刷部数の指定も変更されました。	6

注 意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

仕訳処理

- 仕訳伝票の検索にて、税抜の伝票・税込の伝票それぞれをその計上金額で検索できるようになりました。また、元帳上の出力金額でも検索できます。

税抜金額で計上した仕訳伝票と税込金額で計上した仕訳伝票が混在している場合でも、目的に応じて「伝票上での計上金額」または「元帳での出力金額」のそれぞれで検索できるようになりました。

具体的なイメージは、[仕訳処理]メニューの[条件設定]画面の[基本条件]ページの操作説明で、「金額」欄の [詳細](#) をご確認ください。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票リスト]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]の各メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票承認]の各メニュー
- ・ [仕訳処理]-[反対仕訳一括起票]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳入力補助]-[定型仕訳登録]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[仕訳伝票データ作成]-[仕訳伝票データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[電子帳簿変更履歴]-[仕訳伝票履歴]メニュー
- ・ [随時処理]-[データ一括変更]-[仕訳伝票データ一括変更]-[仕訳伝票一括削除]メニュー



- スキャナ保存された証憑を、仕訳伝票に関連付けできるようになりました。
＜『勘定奉行 i 8』をお使いの場合＞

証憑のスキャナ保存をする上での「証憑の電子化（スキャン）」「電子証憑の管理」「仕訳の起票」のうち、「仕訳の起票」を当システムで行います。

仕訳伝票に証憑を関連付けできるとともに、その後、仕訳伝票の検索から電子証憑の追跡まででき、証憑確認などの業務の煩雑さを軽減します。

当システムにおける「証憑」のスキャナ保存の詳細は、操作説明の「電子帳簿保存・証憑スキャナ保存について（受領した「証憑」のスキャナ保存）」をご参照ください。

《 関連メニュー 》

主なメニュー

＜事前設定＞

- ・ [導入処理]-[会計期間設定]-[会計期間設定]メニュー

＜仕訳の起票（証憑との関連付け）＞

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]の各メニュー
- ・ [仕訳処理]-[証憑一括添付]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ受入]-[仕訳伝票データ受入]-[仕訳伝票データ受入]メニュー

＜証憑の確認＞

- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票リスト]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票承認]メニュー・[仕訳伝票一括転記]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票入力内容チェック]-[自己承認伝票確認リスト]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[仕訳伝票データ作成]-[仕訳伝票データ作成]メニュー

会計帳票

- 外貨内訳表で、取引先別に一覧で確認できるようになりました。
＜『外貨入力オプション』をお使いの場合＞

[外貨内訳表]メニューで、取引先ごとに外貨金額を一覧で確認できるようになりました。
※条件設定の項目「表示形式」を、[基本条件2]ページから[基本条件]ページへ移動しました。
※取引先は、『Bシステム』をお使いの場合は管理できません。

▼イメージ図（画面）

コード	名称	繰越金額	借方	貸方	残高
135	売掛金				
0000001	大平洋販売株式会社				
001	米ドル	12,540.00	459,546.00	0.00	472,086.00
		1,354,025	45,376,508	0	46,830,533
002	ユーロ	5,040.00	247,970.00	0.00	253,010.00
		564,000	30,375,790	0	30,939,790
000	外貨未指定	60,442.457	0	0	60,442.457
	【大平洋販売株式会社計】	70,260.462	75,752,298	0	146,012,760

▼イメージ図（設定）

基本条件

表示形式

第一項目：取引先別

第二項目：外貨別

また、勘定科目ごとに外貨金額の内訳もあわせて確認することができます。

▼イメージ図（画面）

外貨内訳表
〇〇ソフトウェア株式会社
会計期間: 2000年 4月 1日 ~ 2000年 3月 31日

表示期間: 2000年 4月 1日 ~ 2000年 4月 30日
税処理: 税法

上段: 外貨金額 下段: 円換算額

コード	名称	繰越金額	借方	貸方	残高
002	北日本銀行本店				
001	米ドル	245.00	45,680.00	0.00	45,926.00
		24,600	5,024,000	0	5,048,400
002	ユーロ	1,245.00	45,672.00	0.00	46,917.00
		145,600	4,828,544	0	4,804,144
000	外貨未指定	35,905,240	0	0	35,905,240
	【北日本銀行本店計】	36,075,440	9,652,544	0	45,728,004
	【当座預金計】	184,539,844	16,142,592	6,476,580	194,205,856
001	米ドル	606.00	54,880.00	65,420.00	-9,634.00
		69,600	5,945,000	6,476,500	-461,100
002	ユーロ	1,245.00	46,328.00	0.00	47,571.00
		145,600	4,731,752	0	4,877,392
000	外貨未指定	184,324,644	5,465,000	0	189,789,644

勘定科目計(当座預金計)行の下に
外貨別の内訳金額が表示されます。

F1 操作説明 F2 印刷等 F10 案件設定 F12 閉じる

▼イメージ図（設定）

表示形式

第一項目 補助科目別 第二項目 外貨別

☒ 勘定科目計を外貨別に表示する

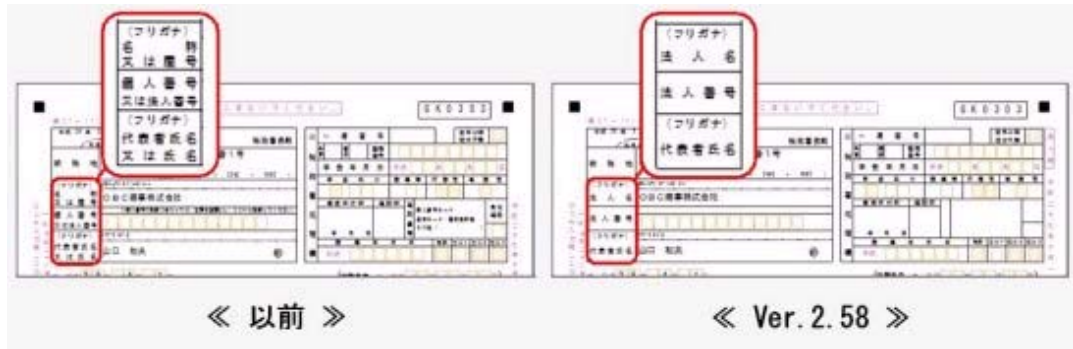
チェックを付ける

消費税申告

- 消費税申告書が「法人用」の様式に変更されました。また、印刷部数の指定も変更されました。

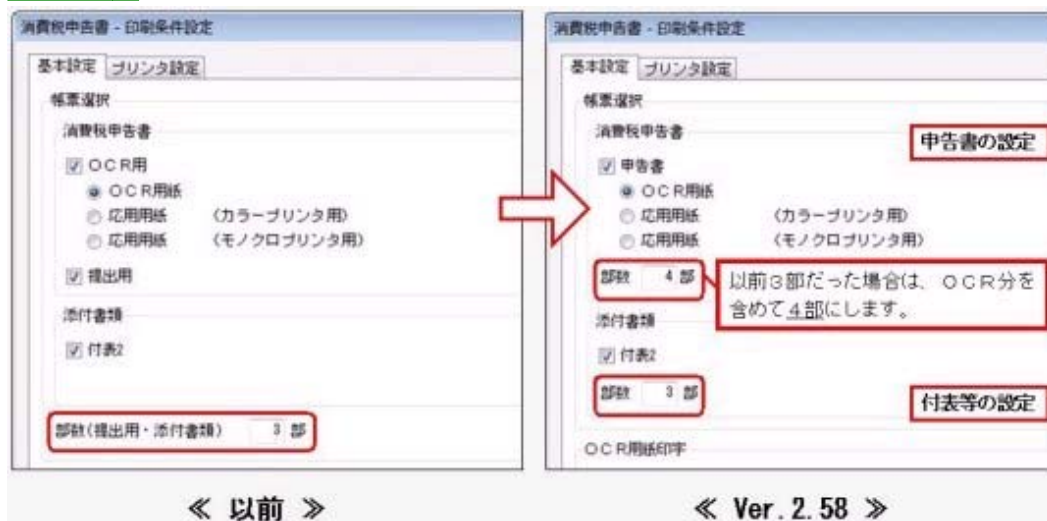
消費税申告書（原則課税・簡易課税）の様式が「法人用」に変更され、マイナンバー等の項目名が変更されました。

▼イメージ図



[印刷条件設定]画面での印刷部数の指定が「申告書」と「付表」に分かれました。申告書の部数には、OCR分を含めます。

▼イメージ図



勘定奉行シリーズ

機能アップガイド

Ver.2.56



目次

【仕訳処理】	
仕訳伝票の「専用用紙」「応用用紙」の印刷で、大きいフォントサイズ（奉行21シリーズと同じサイズ）で印字できるようになりました。	2
【会計帳票】	
補助元帳・取引先元帳の印刷で、タイトルを均等割付する設定の場合に、勘定科目名が常に均等割付されるようになりました。	3
【消費税申告】	
輸入仕入の取引がある場合に、国内仕入と輸入仕入の消費税額を別々にチェックできるようになりました。	3
確認したい電子申告のメッセージだけを、最初から表示できるようになりました。	4
【決算処理】	
決算報告書、キャッシュ・フロー計算書を印刷する際に、先頭ページの番号を指定して、ページ番号を印字できるようになりました。	4

仕訳処理

- 仕訳伝票の「専用用紙」「応用用紙」の印刷で、大きいフォントサイズ（奉行21シリーズと同じサイズ）で印字できるようになりました。

部門や勘定科目などの科目のフォントサイズに加えて「伝票日付」「伝票No.」「金額」のフォントサイズも、奉行21と同じサイズで印字できるようになりました。

<専用用紙>

[3381]単票仕訳伝票（OBCコクヨ式）・[3382]単票仕訳伝票（OBC7行）

※上記以外の専用用紙も含めて、「伝票日付」「伝票No.」「金額」のフォントサイズは、
[印刷条件設定]画面の[詳細設定]ページで変更できます。

<応用用紙>

フォントサイズのほか、明細行ごとに区切り線を出力したり、項目ごとの間隔をお客様の見やすさに合わせて調整して印刷できるようになりました。

《 関連メニュー 》

<専用用紙>

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票リスト]メニュー

<応用用紙>

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [決算処理]の仕訳伝票入力・仕訳伝票リストメニュー（仕訳処理[IFRS組替]）
※ASOS会員の場合に使用できます。

會計帳票

- 補助元帳・取引先元帳の印刷で、タイトルを均等割付する設定の場合に、勘定科目名が常に均等割付されるようになりました。

今までは、タイトルを均等割付する設定でも、補助科目名が長い場合は勘定科目名は均等割付されませんでした。

今後は、タイトルを均等割付する設定の場合は、補助科目名の長さに影響されずに勘定科目名は常に均等割付されます。

取引先元帳も同様です。

※取引先は、『Bシステム』をお使いの場合は管理できません。

▼イメージ図（例：補助元帳）

<今まで>

均等割付されたり
されなかったりする

補助科目名が短くて
均等割付される場合だけ、
勘定科目も均等割付される

110 当座預金

001 東都中央銀行門前仲町駅前支店

○日付書式例示

月 日 年
【期日】
【期日】

日付	借入金目 / 補助科目	借方	貸方	残高
日付	借入金目 / 補助科目			

補助科目名が長くて
均等割付されない場合は、
勘定科目も均等割付されない

<今後>

常に均等割付される

常に均等割付される

○ B C 照票式用途

信託目的 信託金	信託期間 計開 / 摘要	簿記金額	貸方	借方	残高

補助科目名の長さにかかわらず、
勘定科目名は均等割付される。

消費税申告

- 輸入仕入の取引がある場合に、国内仕入と輸入仕入の消費税額を別々にチェックできるようになりました。

科目別課税対象額集計表において、国内仕入と輸入仕入の消費税額が別の行に表示されるようになりました。

それぞれの消費税額を別々にチェックできます。

- 確認したい電子申告のメッセージだけを、最初から表示できるようになりました。

[消費税申告]-[電子申告]-[国税メッセージボックス確認]メニューで電子申告のメッセージを確認する際に、確認したい目的にあわせた内容だけを最初から表示できるようになりました。

例えば、今回一括で申告した結果や特定の顧問先の申告結果だけをスムーズに確認できます。

決算処理

- 決算報告書、キャッシュ・フロー計算書を印刷する際に、先頭ページの番号を指定して、ページ番号を印字できるようになりました。

先頭ページの番号を指定して、ページ番号を印刷できます。

前回の印刷ページ数に続けて、連番でページ数を付番できるようになるため、バインダ等にまとめて保管するときに管理しやすくなります。

▼イメージ図

※[印刷等条件設定]画面の[印刷設定]ページで設定

印刷オプション

☐ 日付を印字する 年 月 日

☒ ページ番号を印字する 先頭ページ番号 10

前回印刷したときの最終ページが「9」の場合は、「+ 1」した「10」を指定することで連番になります。

《 関連メニュー 》

- ・ [決算処理]-[決算報告書]-[決算報告書]メニュー
- ・ [決算処理]-[キャッシュ・フロー計算書]-[キャッシュ・フロー計算書]メニュー

勘定奉行シリーズ 機能アップガイド

Ver.2.54



《法改正情報》

マイナンバー制度（消費税申告書の様式変更）に対応しました。

2

- マイナンバー制度（消費税申告書の様式変更）に対応しました。

○消費税申告書の様式変更

マイナンバー制度（「社会保障・税番号制度」）の導入に伴い、消費税申告書の様式変更に対応しました。

※電子申告にも対応しています。

当システムでは、課税期間（会計期間）に応じて、新旧の様式を自動判定します。

▼イメージ図（消費税申告書の新様式）

＜消費税申告書（原則課税）＞

※平成27年10月1日以後に終了する課税期間の申告から

＜消費税申告書（簡易課税）＞

※平成28年1月1日以後に開始する課税期間の申告から

＜消費税及び地方消費税の中間申告書（前年実績に基づく予定申告）＞

※平成28年1月1日以後に開始する課税期間の申告から

○法人番号の印字

平成28年1月1日以後に開始する課税期間（会計期間）の消費税申告書に、法人番号が印字されます。

例)

◎会計期末が「12月末」の場合

- ・「平成27年12月決算」の申告書には印字なし
- ・「平成28年1月開始」の課税期間の申告書から印字される

◎会計期末が「3月末」の場合

- ・「平成28年3月決算」の申告書には印字なし
- ・「平成28年4月開始」の課税期間の申告書から印字される


※法人番号は、あらかじめ[会社情報登録]メニューの「法人番号」欄に入力します。

勘定奉行シリーズ 機能アップガイド

Ver.2.50



目次

※  マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

【法改正情報】	
平成27年10月施行消費税改正（国境を越えた役務の提供にかかる消費税）に対応しました。	2
【導入処理】	
マイナンバー制度（「社会保障・税番号制度」）の導入に伴い、法人番号を追加しました。	5
[会社運用設定]や[会計期間設定]メニューなどの設定内容を、他の利用者が伝票入力などの作業中でも確認できるようになりました。	5
【仕訳処理】	
伝票の一部を修正した場合などに、特定のページだけ印刷（専用用紙）できます。	6
仕訳伝票の検索で税抜金額からも検索できるようになりました。	6
【会計帳票】	
[元帳]メニューのピボット出力で、貸借対照表科目を残高ベースで確認できるようになりました。 ＜「OMSS」の「Office連携サービス」／『勘定奉行 i 8』をお使いの場合＞	7
勘定科目ごとの外貨金額の取引先別一覧を、[元帳]メニューから確認できるようになりました。 ＜「OMSS」の「Office連携サービス」／『勘定奉行 i 8』／『外貨入力オプション』をお使いの場合＞	7
【消費税申告】	
税務代理権限証書の様式を改訂しました。	7
【決算処理】	
株主資本等変動計算書における変動事由「当期純利益」の出力位置を、変更できるようになりました。	8
【随時処理】	
登録済みの仕訳伝票上の税区分を、非課税から課税へ一括変更でき、かつ消費税額も自動で計算されます。	8
取引先の汎用データ受入で、メモ欄など登録済みの文字を一度にクリアできるようになりました。	9

- 平成27年10月施行消費税改正（国境を越えた役務の提供にかかる消費税）に対応しました。

当システムに影響のある改正は、大きく2つです。

○ 国外との商品の売買・サービスの提供のうちインターネット等を介した売買・提供に関して、課税取引なのか不課税取引なのかを判定する基準が変更されました。

○ 新しい課税方式「リバースチャージ方式」が導入され、国外事業者が納税する売上げにかかる消費税を、日本企業が申告時に代わりに納税します。

※平成27年10月1日以後の取引から適用

詳細は、以下のとおりです。

○ 国外との一部の取引における内外判定の見直し

国外との商品の売買・サービスの提供のうちインターネット等を介した売買・提供に関して、課税取引なのか不課税取引なのかを判定する基準が、商品を販売・サービスを提供する側から商品の購入・サービスを受ける側の住所等に変更されました。



購入／提供を受ける側【①】

国外からの商品の購入・サービスの提供のうちインターネット等を介した購入・提供は、消費税がかかります。



事業者に限られる商品の購入・サービス提供を受ける（事業者向け電気通信利用役務の提供）

※インターネット広告の配信・掲載やクラウドサービスなど

→ 今までの「不課税仕入」から「特定課税仕入」に変更

消費者向けの商品の購入・サービス提供を受ける（事業者向け電気通信利用役務の提供以外）

※電子書籍、音楽、ソフトウェア等の購入

→ 今までの「不課税仕入」から「課税仕入」に変更

※該当する取引については、以下を参照

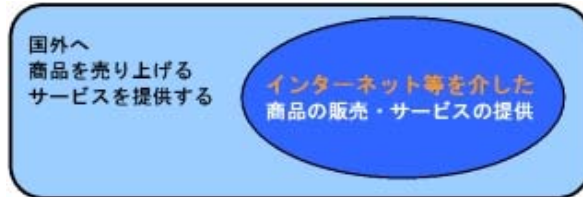
操作説明「税区分運用例一覧」の

「国外取引」－「仕入・費用」の[E（事業者に限られる取引）]の「取引例（具体的な取引）」

「国外取引」－「仕入・費用」の[F（消費者向けの取引）]の「取引例（具体的な取引）」

販売／提供する側【②③】

国外へ商品の販売・サービスの提供のうちインターネット等を介した販売・提供は、今までの「免税売上」から「不課税売上」になります。



当システムでは、仕訳伝票を入力する際に適切な税区分を指定することで対応します。

指定する税区分は、操作説明「税区分運用例一覧」の「国外取引」－「売上・売却」の[B]をご確認ください。

○新しい課税方式の導入

事業者に限られる商品の購入・サービス提供を受けるときの課税方式として、「リバースチャージ方式」が新たに導入されました。

本来、商品の販売やサービスを提供する国外事業者が納税する売上げにかかる消費税を、国外事業者の代わりに日本企業が申告時に納税します。

当システムでは、特定課税仕入れ用の税区分が追加されていますので、仕訳伝票を入力する際にその税区分を指定することで対応します。

詳細は、操作説明「税区分運用例一覧」の「国外取引」－「仕入・費用」の[E]をご確認ください。

○消費税申告書と付表の様式変更と、新しい別表の追加

「リバースチャージ方式」の導入に伴い、原則課税用の消費税申告書と付表の様式が変更されました。

また、新しい別表「特定課税仕入れがある場合の課税標準額等の内訳書」が追加されました。

▼イメージ図（消費税申告書などの新様式）

消費税申告書

付表 1

付表 2

付表 2－(2)

▼イメージ図（新しい別表）

当システムでは、課税期間（会計期間）に応じて、新旧の様式を自動判定します。

導入処理

- マイナンバー制度（「社会保障・税番号制度」）の導入に伴い、法人番号を追加しました。

平成27年10月から事業主へ法人番号の通知が開始されます。

これに伴い、当システムでは、[導入処理]-[会社情報登録]メニューに「法人番号」の入力欄が追加されました。

法人番号は、平成28年1月1日以後に開始した事業年度の消費税申告書に印字されます。

- [会社運用設定]や[会計期間設定]メニューなどの設定内容を、他の利用者が伝票入力などの作業中でも確認できるようになりました。

[会社運用設定]メニューや[会計期間設定]メニューなどの設定内容を確認する際に、今までは、他の利用者の作業を止める（メニューを閉じる）必要がありましたが、今後は同時にメニューを開けます。

※設定を変更する場合は、[修正]（F9）を押します。

《 関連メニュー 》

- ・ [導入処理]-[会計期間設定]-[システム科目設定]メニュー
- ・ [導入処理]-[消費税基本登録]-[消費税基本登録]メニュー

仕訳処理

- 伝票の一部を修正した場合などに、特定のページだけ印刷（専用用紙）できます。

専用用紙でも特定のページを指定して印刷できるようになりました。

伝票の一部を修正した場合やプリンタの紙詰まりなどで、一部のページを差し替えたい場合に活用できます。

▼イメージ図

※[印刷条件設定]画面の[印刷設定]ページで設定

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票リスト]メニュー
- ・ [決算処理]の仕訳伝票入力・仕訳伝票リストメニュー（仕訳処理[IFRS組替]）

- 仕訳伝票の検索で税抜金額からも検索できるようになりました。

仕訳伝票の検索において、今までは税込金額での検索だけでしたが、今後は税抜金額・税込金額のどちらでも検索できます。

例) 消費税額を「税抜金額からの計算」で入力している仕訳伝票の場合

借 方				貸 方			
勘定科目 / 補助科目		金 額		勘定科目 / 補助科目		金 額	
604	仕入高	1,000	8.0%	305	買掛金	600	
		80		100	現金	480	

これからは、「1,000~1,000」と税抜金額を指定して検索できます。

また、今まで通り「1,080~1,080」と税込金額を指定しても検索できます。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票リスト]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]の各メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票承認]の各メニュー
- ・ [仕訳処理]-[反対仕訳一括起票]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳入力補助]-[定型仕訳登録]メニュー
- ・ [管理会計帳票]-[管理会計伝票]の各メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[仕訳伝票データ作成]-[仕訳伝票データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[電子帳簿変更履歴]-[仕訳伝票履歴]メニュー
- ・ [随時処理]-[データ一括変更]-[仕訳伝票データ一括変更]-[仕訳伝票一括削除]メニュー

会計帳票

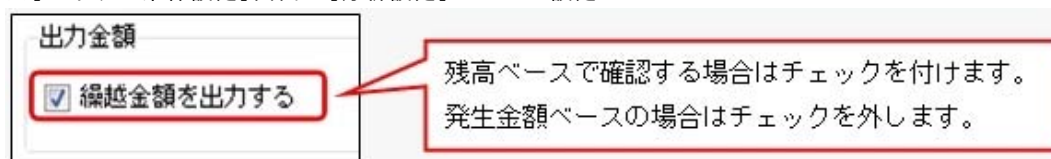
- [元帳]メニューのピボット出力で、貸借対照表科目を残高ベースで確認できるようになりました。

＜「OMSS」の「Office連携サービス」／『勘定奉行 i 8』をお使いの場合＞

今までの元帳のピボット出力では、発生金額ベースだけしか確認できませんでした。
これからは、残高ベースでもピボット出力できるようになるため、貸借対照表科目（売掛金など）の金額を残高で確認できます。

▼イメージ図

※[ピボット条件設定]画面の[分析設定]ページで設定



- 勘定科目ごとの外貨金額の取引先別一覧を、[元帳]メニューから確認できるようになりました。

＜「OMSS」の「Office連携サービス」／『勘定奉行 i 8』／『外貨入力オプション』をお使いの場合＞

[元帳]メニューのピボット出力機能を活用することで、勘定科目ごとの外貨金額を取引先別に一覧で確認できます。

具体的な活用例は、操作説明の「勘定科目ごとの外貨金額を、取引先別に一覧で確認する」をご参照ください。

消費税申告

- 税務代理権限証書の様式を改訂しました。

電子申告・書面申告において、「所得税法等の一部を改正する法律」（平成27年法律第9号）に対応しました。

平成27年7月1日以後に提出する税務代理権限証書について、「代理人が複数ある場合における代表する代理人の定め」に関する項目を追加した、改訂後の様式で出力できます。

《 関連メニュー 》

[消費税申告]-[税理士添付書面]-[税務代理権限証書]メニュー

決算処理

- 株主資本等変動計算書における変動事由「当期純利益」の出力位置を、変更できるようになりました。

株主資本等変動計算書に出力する「当期純利益」の出力位置を、[決算処理]-[決算報告書]-[株主資本等変動計算書登録]-[変動事由登録]メニューで任意に変更できるようになりました。

[科目体系登録]メニューで勘定科目を並び替えるように、コードを変更せずに変動事由を並び替えることができます。

詳細は、操作説明の「株主資本等変動計算書での変動事由の並び順を変更する」をご参照ください。

随時処理

- 登録済みの仕訳伝票上の税区分を、非課税から課税へ一括変更でき、かつ消費税額も自動で計算されます。

[税区分一括変更]メニューで、「非課税から課税の税区分へ」または「課税から非課税の税区分へ」一括で変更できるようになりました。

※今までは、「非課税から非課税」または「課税から課税」への変更だけでした。

また、課税の税区分に変更した場合は、あわせて消費税額も自動で計算されます。

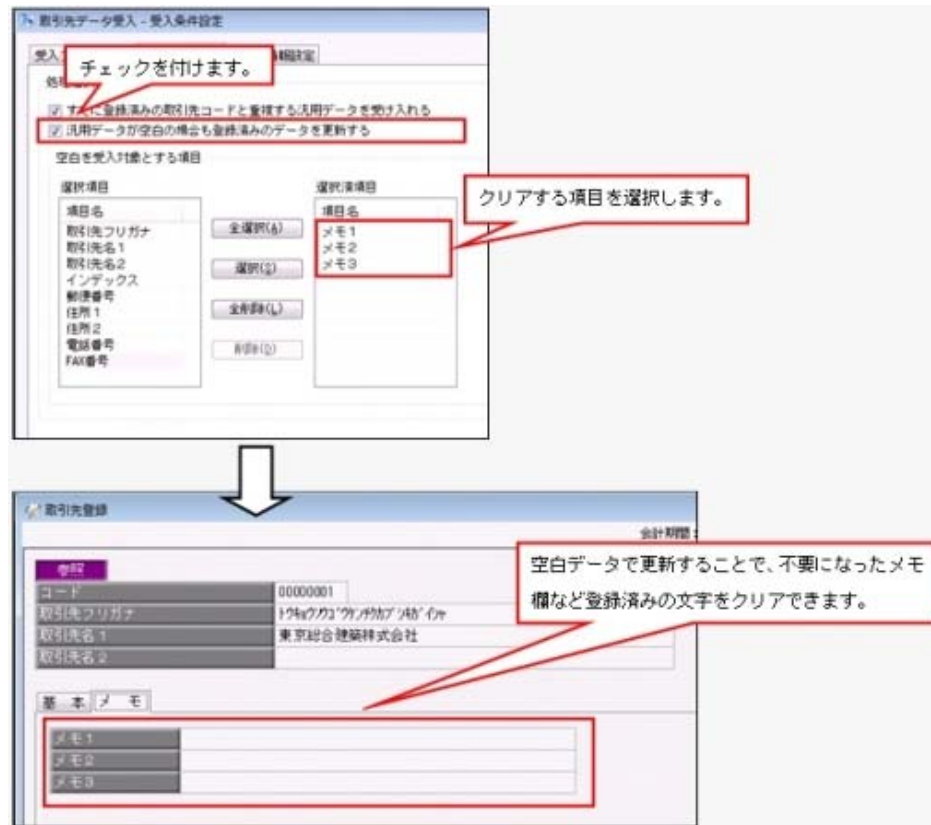
詳細は、操作説明の「税区分を一括で変更する具体例と手順」をご確認ください。

- 取引先の汎用データ受入で、メモ欄など登録済みの文字を一度にクリアできるようになりました。

汎用データ受入を利用することで、不要になったメモ欄など登録済みの文字を一度で効率的にクリアできます。

※[汎用データ受入]メニューの[受入条件設定]画面の[重複条件設定]ページで設定できます。

▼イメージ図



《 関連メニュー 》


- ・[随時処理]-[汎用データ受入]-[マスターデータ受入]-[取引先データ受入]メニュー
- ※取引先は、『Bシステム』をお使いの場合は管理できません。






勘定奉行シリーズ 機能アップガイド

Ver.2.18 / Ver.2.17



目次

※  マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

	【全般】	
	バックアップデータのファイルサイズが小さくなりました。（OBC専用モードの場合）	3
	【帳票全般】	
	仕訳明細の確認時に、付箋メモも常に表示して確認できるようになりました。 ＜『勘定奉行 i 8』をお使いの場合＞	4
	損益計算書の内訳帳票「製造原価報告書」「販売費及び一般管理費明細書」の構成比の分母に、「純売上高」を指定できるようになりました。	5
	仕訳伝票リスト・決算報告書・管理会計帳票でも、PDF ファイルを出力できるようになりました。 ＜「OMSS」の「Office連携サービス」／『勘定奉行 i 8』をお使いの場合＞	6
	【仕訳処理】	
	仕訳入力画面の伝票日付で2桁を入力後、カーソルを自動的に次の項目に移動できます。	6
	仕訳明細の行を削除する際、「借方（貸方）だけ削除」の場合は、下の行が上へシフトしなくなりました。	7
	仕訳入力画面の摘要欄で上下キーを押した際に、コード欄からコード欄へ移動できるようになりました。	7
	摘要を検索する際に、コード検索と名称検索を多用する場合に便利な、簡易的な検索画面を用意しました。	8
	連想摘要を検索する際に、入力済みの勘定科目に関連付いた連想摘要を、貸借別に検索できるようになりました。	8
	部門権限のない部門の仕訳明細は、マスター情報のほかに摘要欄もマスキングします。	9
	仕訳伝票リストの内容を、クイックメニューからExcelに転送できるようになりました。 ＜「OMSS」の「Office連携サービス」／『勘定奉行 i 8』をお使いの場合＞	9
	【会計帳票】	
	元帳を印刷する際に、先頭ページのページ番号を指定して印刷できるようになりました。	10
	自動計算された消費税額を元帳で転送する際、税処理が「税抜」の場合は、項目タイトルが「消費税額」になります。	10
	【分析帳票】	
	増減率に加えて前年比を出力できます。	11
	【管理会計帳票】	
	＜『管理会計オプション』をお使いの場合＞	
	管理会計帳票のレイアウトで、管理会計科目を列に展開したり、マスターを明細行に出力したりできるようになりました。	11
	管理会計推移表でも、「借方金額」「貸方金額」の月次推移を個別に出力できるようになりました。	12
	Excel計算式で参照する列番号・行番号を固定するために、「絶対参照」を利用できるようになりました。	12
	管理会計帳票でも、財務会計側の部門を使用できるようになりました。	13

管理会計帳票でも、出力時の集計期間の指定で、整理仕訳を集計に含めるかを設定できるようになりました。	13
【随時処理】	
当初予算など最終予算以外の予算を合算できるようになりました。	14
外貨伝票を汎用データで受け入れる際に、為替レートをもとに、日本円金額を換算しながら受け入れできます。 <div style="text-align: right;">＜『外貨入力オプション』をお使いの場合＞</div>	14

注 意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

全般

- バックアップデータのファイルサイズが小さくなりました。（OBC専用モードの場合）

バックアップデータを「OBC専用モード」で作成した際に、バックアップデータが自動的に圧縮されるようになり、サイズが小さくなりました。

《 関連メニュー 》

- ・ [データ領域管理]-[バックアップ／復元]-[一括バックアップ]メニュー
- ・ [随時処理]-[バックアップ]メニュー

帳票全般

- 仕訳明細の確認時に、付箋メモも常に表示して確認できるようになりました。
＜『勘定奉行 i 8』をお使いの場合＞

今までのように、必要に応じて付箋メモを確認する方法に加えて、あらたに、仕訳明細の確認時に常に付箋メモも確認することができるようになりました。

例えば、以下の業務に活用できます。

- ・ 入力した仕訳伝票を後から確認する際に、仕訳明細と付箋メモを横に並べて確認
- ・ 承認する際に、貼られた付箋メモを横に並べて確認

▼イメージ図



《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票リスト]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]の各メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票承認]-[仕訳伝票承認]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[反対仕訳一括起票]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳入力補助]-[定型仕訳登録]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票入力内容チェック]-[自己承認伝票確認リスト]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票入力内容チェック]-[消費税手入力確認リスト]メニュー
- ・ [会計帳票]-[元帳]-[元帳]メニュー
- ・ [消費税申告]-[税区分明細表]メニュー

- 損益計算書の内訳帳票「製造原価報告書」「販売費及び一般管理費明細書」の構成比の分母に、「純売上高」を指定できるようになりました。

合計残高試算表や推移表などの帳票で、損益計算書の内訳帳票「製造原価報告書」「販売費及び一般管理費明細書」の構成比の分母として、「純売上高」などの損益計算書の科目区分も指定できるようになりました。

※決算報告書については、すでに損益計算書の科目区分も指定できる機能が追加されていますが、会計帳票・分析帳票についても機能が追加されました。

▼イメージ図

[科目体系帳票設定]メニュー

《 関連メニュー 》

- ・ [導入処理]-[科目体系登録]-[科目体系帳票設定]メニュー
 - ・ [導入処理]-[出力様式登録]-[出力様式登録]-[出力様式帳票設定]メニュー
- ※出力様式は、『SPシステム』または『Type NP』をお使いの場合に登録できます。



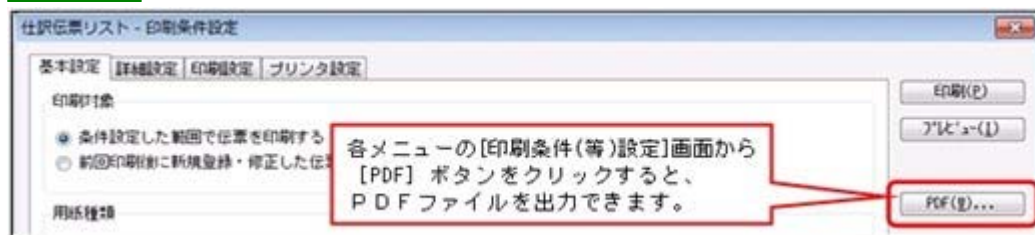
- 仕訳伝票リスト・決算報告書・管理会計帳票でも、PDFファイルを出力できるようになりました。

＜「OMSS」の「Office連携サービス」／『勘定奉行 i 8』をお使いの場合＞

仕訳伝票リスト・決算報告書・管理会計帳票でも、PDFファイルを出力できるようになりました。

※会計帳票や分析帳票などについては、すでにPDFファイルを出力できる機能が追加されています。

▼イメージ図



《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票リスト]メニュー
- ・ [管理会計帳票]-[管理会計帳票出力]の各帳票メニュー
※『管理会計オプション』をお使いの場合
- ・ [決算処理]-[決算報告書]-[決算報告書]メニュー

仕訳処理

- 仕訳入力画面の伝票日付で2桁を入力後、カーソルを自動的に次の項目に移動できます。

伝票日付の年月日欄で2桁まで入力した際に、今までは、Enterキーで確定することで次の項目に移動していました。

[仕訳処理-設定]画面の[移動設定]ページの伝票日付2桁入力時の移動で「移動する」を選択すると、自動的に次の項目に移動します。

《 関連メニュー 》

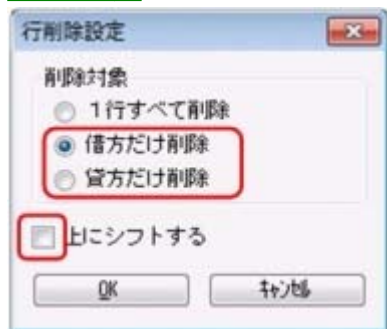
- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]の各メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳入力補助]-[定型仕訳登録]メニュー

- 仕訳明細の行を削除する際、「借方（貸方）だけ削除」の場合は、下の行が上へシフトしなくなりました。

今までは、「1行すべて削除」と同様に、「借方だけ削除」「貸方だけ削除」の場合も「上にシフトする」設定になっていました。

今後は、「借方だけ削除」「貸方だけ削除」の場合は、初期では下の行が上へシフトしなくなります。

▼イメージ図



《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳入力補助]-[定型仕訳登録]メニュー

- 仕訳入力画面の摘要欄で上下キーを押した際に、コード欄からコード欄へ移動できるようになりました。

摘要コード欄や文字入力欄で、矢印キー（[↓]キー・[↑]キー）を押した際の移動先を設定できるようになりました。

[仕訳処理-設定]画面の[移動設定]ページの摘要の上下キーでの移動で「通常移動」を選択すると、摘要のコード欄からコード欄へ、または、文字入力欄から文字入力欄へ移動します。

※今までは、摘要のコード欄と文字入力欄を交互に移動していました。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
 - ・ [仕訳処理]-[仕訳入力補助]-[定型仕訳登録]メニュー
 - ・ [決算処理]-[仕訳処理[IFRS組替]]-[仕訳処理[IFRS組替]]メニュー
- ※ASOS会員の場合に使用できます。

- 摘要を検索する際に、コード検索と名称検索を多用する場合に便利な、簡易的な検索画面を用意しました。

摘要の検索形式を選択できるようになりました。

[仕訳処理－設定]画面の[奉行21設定]ページの摘要の検索形式で「奉行21形式」を選択すると、摘要コードの検索と名称（摘要内容）の検索をボタン1つで切り替えられるため、それぞれの検索を多用する場合に便利です。

※「標準形式」では今まで通り、摘要コード・摘要内容・インデックス・連想摘要をリストから選択して切り替えます。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]の各メニュー
- ・ [仕訳処理]-[F B処理]-[F B仕訳起票]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[電子記録債権処理]-[電子記録債権仕訳起票]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳入力補助]-[定型仕訳登録]メニュー

- 連想摘要を検索する際に、入力済みの勘定科目に関連付いた連想摘要を、貸借別に検索できるようになりました。

[仕訳処理－設定]画面の[奉行21設定]ページの連想摘要の検索形式で「奉行21形式」を選択すると、連想摘要が貸借別に検索されます。

つまり、借方に入力済みの勘定科目に関連付いた借方の連想摘要、貸方の勘定科目に関連付いた貸方の連想摘要だけに絞られて検索されます。

※「標準形式」では今まで通り、勘定科目が借方貸方のどちらに入力されていても、その科目に関連付いたすべての連想摘要が、貸借区別なく検索されます。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]の各メニュー
- ・ [仕訳処理]-[F B処理]-[F B仕訳起票]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[電子記録債権処理]-[電子記録債権仕訳起票]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳入力補助]-[定型仕訳登録]メニュー

- 部門権限のない部門の仕訳明細は、マスター情報のほかに摘要欄の参照も制限します。

今までのマスター情報だけの参照制限（*表示）に加えて摘要も制限することで、摘要内容から取引内容が知られることを防ぎます。

※この機能は、ネットワーク対応製品の場合に使用できます。


《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票リスト]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]の各メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳入力補助]-[定型仕訳登録]メニュー
- ・ [会計帳票]-[元帳]-[元帳]メニュー
- ・ [会計帳票]-[資金繰]-[資金繰明細表]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[仕訳伝票データ作成]の各メニュー
- ・ [随時処理]-[電子帳簿変更履歴]-[仕訳伝票履歴]メニュー



- 仕訳伝票リストの内容を、クイックメニューからExcelに転送できるようになりました。

＜「OMS S」の「Office連携サービス」／『勘定奉行 i 8』をお使いの場合＞

仕訳伝票リストの画面で  をクリックすると、表示されている内容をExcelに転送できます。

▼イメージ図



《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票リスト]メニュー

会計帳票

- 元帳を印刷する際に、先頭ページのページ番号を指定して印刷できるようになりました。

元帳を印刷する際に、先頭ページのページ番号を指定できるようになりました。

▼イメージ図

※[印刷条件設定]画面の[印刷設定]ページで設定

前回の印刷ページの後から続けてページ数を付番できるようになるため、月単位などでまとめてバインダに保管するときに連番にすることで、管理しやすくなります。

※仕訳伝票リストについては、すでに先頭ページのページ番号を指定して印刷できる機能が追加されています。

◀ 関連メニュー ▶

・ [会計帳票]-[元帳]-[元帳]メニュー

- 自動計算された消費税額を元帳で転送する際、税処理が「税抜」の場合は、項目タイトルが「消費税額」になります。

自動計算された消費税額を元帳で転送する際、今までは、税処理に関わらず、項目タイトルが「うち消費税額」で出力されていました。

今後は、以下のとおり、税処理で切り替わります。

税抜の場合：「消費税額」

税込の場合：「うち消費税額」

また、Excelに転送した際に、「うち消費税額」の表示形式（分類）を「文字列」から「数値」に変更しました。

今までは、「（」を含んだ文字列で転送していたため、「うち消費税額」を計算式に含めることができませんでしたが、今後は二次利用できます。

分析帳票

- 対比表で、増減率に加えて前年比を出力できます。

対比表で、前年比を出力できるようになりました。

例) 前期 : 100,000円 今期 : 200,000円の場合

$$\text{前年比} = \text{当期金額} \div \text{前期金額} \times 100 = 200\%$$

$$\text{増減率} = (\text{当期金額} - \text{前期金額}) \div \text{前期金額の絶対値} \times 100 = 100\%$$

《 関連メニュー 》

- ・ [分析帳票]-[対比表]の各メニュー

管理会計帳票

＜『管理会計オプション』をお使いの場合＞



- 管理会計帳票のレイアウトで、管理会計科目を列に展開したり、マスターを明細行に出力したりできるようになりました。

○管理会計科目を列に展開して（横に並べて）、出力できるようになりました。

管理会計集計表・管理会計推移表で、今までは、管理会計科目は行（縦軸）固定でしたが、今後は列（横軸）に出力できるようになります。

▼イメージ図

取引先別売上集計表		自 2019年 4月 1日 至 2019年 3月 31日		管理会計科目が列（横軸）に表示されます。	
発生期間	会社名	〇ＢＣ商事株式会社	税務種	単位設定	単位：円
取引先	純売上高	売上原価	粗利益	粗利率	
00000001 太平/田舎株式会社	370,255,894	666,164,591	304,091,213	31.82	
00000002 株式会社岩手産業	652,200,549	131,389,901	520,811,648	79.82	
00000003 株式会社茨城電機	292,957,474	124,997,420	168,050,054	53.92	
00000004 群馬商事株式会社	271,549,862	52,129,637	219,420,225	80.82	
00000005 埼玉商事株式会社	417,356,716	31,282,710	386,074,006	92.52	
00000006 株式会社千葉デンキ	239,295,345	126,370,393	112,924,952	41.22	
00000007 東京商事相模南株式会社	592,578,579	279,796,325	312,782,254	53.02	
00000008 神奈川物産株式会社	334,173,766	84,074,084	250,099,682	74.82	
00000009 新潟工業株式会社	153,956,889	96,389,899	57,567,989	37.42	
00000010 石川物産株式会社	429,477,382	106,027,949	323,449,433	75.02	
00000011 名古屋電機商事株式会社	239,399,823	141,111,193	98,288,630	41.12	
00000012 大塚商事株式会社	43,937,213	95,555,565	-51,618,352	-117.52	
00000013 福岡商事株式会社	69,571,421	40,090,017	29,481,404	34.02	
00000014 京都システム株式会社	32,599,786	85,489,824	-52,890,038	-162.22	
00000016 株式会社広島県産	13,891,612	92,593	13,799,019	99.32	
00000017 テック南松株式会社	6,912,840	0	6,912,840	100.02	
00000018 株式会社福岡屋	9,480,141	1,851,852	7,628,289	80.52	
00000020 鹿児島文具	5,157,086	2,777,779	2,379,307	46.12	
00000021 高松屋百貨店株式会社	23,511,033	9,462,039	14,048,994	59.82	
00000022 新潟フラー株式会社	3,590,490	0	3,590,490	100.02	
00000023 T-340株式会社	1,149,171	462,963	686,208	59.72	
00000509 札幌工務店株式会社	129,826,489	15,472,225	114,354,264	87.92	
00000000 その他	0	65,921,124	-65,921,124	0.02	

マスターが行（縦軸）に表示されます。

○マスターを明細行に出力することで、1つの帳票で比較分析できるようになりました。
 管理会計分析表・管理会計推移表で、今までは、部門などマスターごとに必ず帳票が分割されていましたが、今後は、マスターを明細行に出力できるため、1つの帳票で一覧で確認できます。

▼イメージ図

部門	名称	当年度	前年度	対前年度差	対前年比	二前期実績	三前期実績	四前期実績
001 第一営業部	売上高	470,370,946	469,479,719	-17,406,773	16.48%	462,813,794	429,465,791	429,586,694
	売上原価	216,936,989	217,446,983	-2,440,964	10.87%	214,754,769	209,429,405	209,827,919
	売上総利益	253,433,957	252,032,736	14,401,221	5.71%	248,059,025	220,036,386	219,758,775
	人件費	18,949,334	19,509,829	-25,005	0.13%	19,879,589	19,769,843	19,341,519
	人件費	87,379,704	89,526,990	-2,147,286	2.46%	87,494,780	88,206,160	84,409,800
	一般管理費	19,899,929	20,799,919	-899,990	4.52%	20,699,999	20,671,155	20,591,949
	一般管理費	19,899,929	20,799,919	-899,990	4.52%	20,699,999	20,671,155	20,591,949
002 第二営業部	売上高	409,169,140	403,167,280	6,001,860	14.87%	409,756,911	429,476,189	409,243,919
	売上原価	199,479,929	194,542,927	4,936,992	2.54%	194,779,929	199,479,929	179,949,929
	売上総利益	209,689,211	208,624,353	1,064,858	0.51%	214,976,982	230,006,260	229,293,990
	人件費	19,749,999	19,919,409	-169,410	0.85%	19,749,999	19,749,999	19,749,999
	人件費	79,999,999	79,999,999	0	0.00%	79,999,999	79,999,999	79,999,999
	一般管理費	19,999,999	19,999,999	0	0.00%	19,999,999	19,999,999	19,999,999
	一般管理費	19,999,999	19,999,999	0	0.00%	19,999,999	19,999,999	19,999,999
003 札幌支店	売上高	409,169,140	403,167,280	6,001,860	14.87%	409,756,911	429,476,189	409,243,919
	売上原価	199,479,929	194,542,927	4,936,992	2.54%	194,779,929	199,479,929	179,949,929
	売上総利益	209,689,211	208,624,353	1,064,858	0.51%	214,976,982	230,006,260	229,293,990
	人件費	19,749,999	19,919,409	-169,410	0.85%	19,749,999	19,749,999	19,749,999
	人件費	79,999,999	79,999,999	0	0.00%	79,999,999	79,999,999	79,999,999
	一般管理費	19,999,999	19,999,999	0	0.00%	19,999,999	19,999,999	19,999,999
	一般管理費	19,999,999	19,999,999	0	0.00%	19,999,999	19,999,999	19,999,999
004 仙台支店	売上高	409,169,140	403,167,280	6,001,860	14.87%	409,756,911	429,476,189	409,243,919
	売上原価	199,479,929	194,542,927	4,936,992	2.54%	194,779,929	199,479,929	179,949,929
	売上総利益	209,689,211	208,624,353	1,064,858	0.51%	214,976,982	230,006,260	229,293,990
	人件費	19,749,999	19,919,409	-169,410	0.85%	19,749,999	19,749,999	19,749,999
	人件費	79,999,999	79,999,999	0	0.00%	79,999,999	79,999,999	79,999,999
	一般管理費	19,999,999	19,999,999	0	0.00%	19,999,999	19,999,999	19,999,999
	一般管理費	19,999,999	19,999,999	0	0.00%	19,999,999	19,999,999	19,999,999



- 管理会計推移表でも、「借方金額」「貸方金額」の月次推移を個別に出力できるようになりました。

月次や四半期などの推移の金額を、「借方金額」「貸方金額」と個別に出力できるようになりました。（前方または後方の固定列の金額も同様）

また、勘定奉行実績の「借方金額」「貸方金額」に、発生金額だけでなく累計金額も出力できます。

《 関連メニュー 》

- ・ [管理会計帳票]-[帳票レイアウト設定]-[列項目設定]-[列項目レイアウト設定]メニュー
- ・ [管理会計帳票]-[管理会計帳票出力]の各帳票メニュー



- Excel計算式で参照する列番号・行番号を固定するために、「絶対参照」を利用できるようになりました。

Excel計算式で参照する列番号・行番号は、今までは「相対参照」だけでしたが「絶対参照」で固定できるようになりました。

例えば、マスターの合計金額や全社員数を絶対参照でExcel計算式に組み込むことで、構成比や共通費の配賦などに利用できます。

《 関連メニュー 》

- ・ [管理会計帳票]-[管理会計帳票出力]-[帳票出力設定]-[Excel計算式設定]メニュー

● **管理会計帳票でも、財務会計側の部門を使用できるようになりました。**

○[導入処理]-[部門登録]-[部門登録]メニューで登録した財務会計側の部門をそのまま、管理会計帳票で集計できるようになりました。

今までは、管理会計帳票用の部門階層を作成する必要がありました。

○財務会計側の部門ごとに、「管理会計予算」「管理会計実績」「非会計情報」を登録できるようになりました。

今までは、管理会計帳票用の部門階層に「管理会計予算」「管理会計実績」「非会計情報」を登録し、親階層の金額は[管理会計帳票]-[管理会計金額入力]の各合算メニューで合算する必要がありました。

今後は、財務会計側の部門ごとに登録することで、合算せずとも、管理会計部門別（親階層）に集計できます。

● **管理会計帳票でも、出力時の集計期間の指定で、整理仕訳を集計に含めるかを設定できるようになりました。**

整理仕訳と日常仕訳を分けて管理している場合に、今までも、整理仕訳を集計するかを各管理会計帳票メニューの[実績条件]ページの「整理仕訳の集計条件」で設定できました。

今後は別途、集計期間の範囲指定でも設定できるようになります。

例えば、決算整理業務が終わるまでは、一時的に整理仕訳を除いて集計できます。

《 関連メニュー 》

- ・ [管理会計帳票]-[管理会計帳票出力]の各帳票メニュー
- ・ [管理会計帳票]-[管理会計帳票出力]-[帳票出力設定]-[Excel計算式設定]メニュー

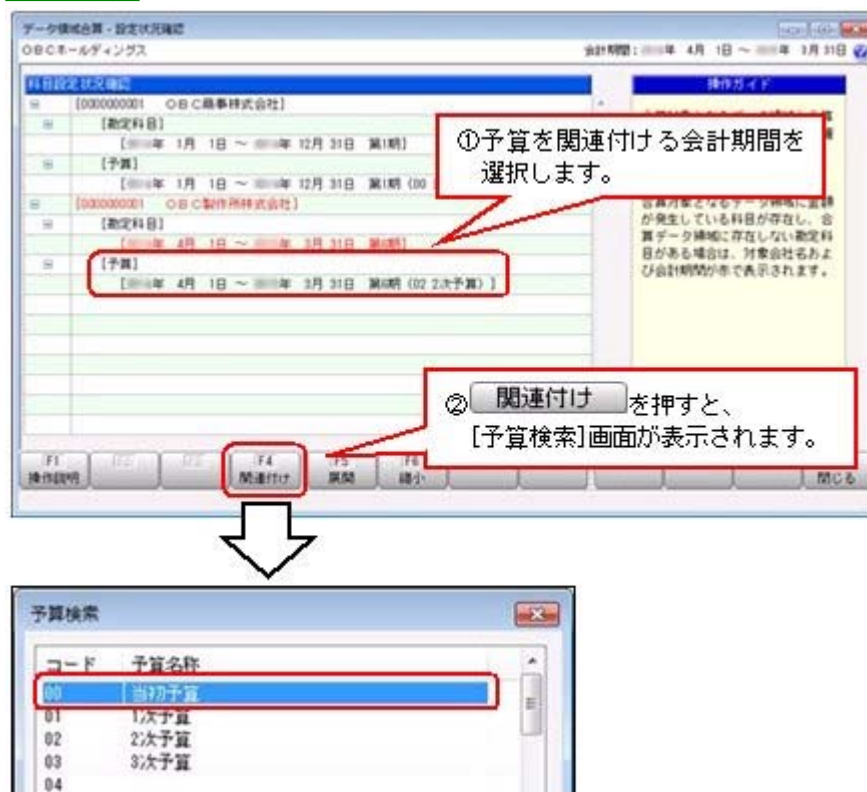
随時処理

- 当初予算など最終予算以外の予算を合算できるようになりました。

これまでは、自動で「最終予算」が合算されていましたが、「当初予算」など任意の予算を合算できます。

※この機能は、『SPシステム』または『Type NP』をお使いの場合に使用できます。

▼イメージ図



《 関連メニュー 》

- ・ [随時処理]-[データ領域合算]メニュー

- 外貨伝票を汎用データで受け入れる際に、為替レートをもとに、日本円金額を換算しながら受け入れできます。

＜『外貨入力オプション』をお使いの場合＞

外貨金額の仕訳伝票や期首残高の汎用データを、為替レートをもとに日本円金額に自動換算しながら、当システムのデータとして受け入れます。

《 関連メニュー 》


- ・ [随時処理]-[汎用データ受入]-[データ換算受入]-[仕訳伝票データ換算受入]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ受入]-[データ換算受入]-[開始残高データ換算受入]メニュー


勘定奉行シリーズ 機能アップガイド

Ver.2.16 / Ver.2.15



目次

※  マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

	【法改正情報】	
	消費税額のチェック機能が強化されました。	2
	平成27年4月施行消費税法改正（簡易課税制度のみなし仕入率の見直し）に対応しました。	3
	【消費税申告】	
	税区分明細表で、複数の税区分の確認や摘要での抽出ができるようになりました。	4
	【メニュー体系】	
	メニューの構成を変更しました。	5

法改正情報



● 消費税額のチェック機能が強化されました。

消費税 8 %改正に伴い、消費税率 8 %の取引と経過措置による消費税 5 %の取引が混在するようになったことで、消費税申告書を作成する前のチェック業務が煩雑になっています。

煩雑さを軽減し、より効率的に金額を追跡できる機能が追加されました。

○ 消費税額の入力ミス・計上漏れを可視化

課税取引額に消費税率をかけた消費税額（概算）を出力し、仕訳伝票で計上されている消費税額との差（概算との差）が「率」として表示されるようになりました。

自動計算された消費税額の手入力ミスや消費税額の計上漏れがないかを確認できます。なお、科目別課税対象額集計表では、手入力ミスや計上漏れの可能性が高い場合は欄が黄色で強調表示されます。

▼ イメージ図

消費税額			
消費税額 (伝票計上) [B]	消費税額 概算 (A × 税率) [C]	概算との差額 [B - C]	
63,817	64,033	-216	0.03%
560	6,003	-5,443	7.25%
5,600	5,600	0	0.00%

この欄をダブルクリックすると[仕訳処理]-[仕訳伝票入力内容チェック]-[消費税手入力確認リスト]メニューにジャンプし、原因となる仕訳明細が表示されます。

さらに、その修正までを一連の流れでできます。

＜ 関連メニュー ＞

- ・ [消費税申告]-[科目別課税対象額集計表]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票入力内容チェック]-[消費税手入力確認リスト]メニュー

○ 補助科目ごとに出力

消費税管理資料でも、補助科目ごとに金額を確認できるようになりました。

補助科目ごとに、課税取引と非課税取引や免税取引を分けている場合に、効率よく金額をチェックできます。

▼ イメージ図

コード	科目名	税率	仕/売	通/込	科目金額(税抜)	非課税率取引額	課税取引額(税抜)	
							本体過算 (消費税過算計上)	本体過算 (消費税自動計算) [A]
704	文庫費	-	-	-	94,016	30,000	0	64,016
001	慶弔費	-	-	-	30,000	30,000	0	0
000	その他	8.0%	仕入	通常	64,016	0	0	64,016

不課税取引（慶弔費）を
わけて確認できます。

＜ 関連メニュー ＞

- ・ [消費税申告]-[科目別課税対象額集計表]メニュー
- ・ [消費税申告]-[科目別税区分集計表]メニュー

○「科目別課税対象額集計表」から各資料へのジャンプ先を最適化

今までは、「科目別課税対象額集計表」からは一律「科目別税区分集計表」にジャンプしていました。

今後は、以下のように追跡する金額によって最適なメニューにジャンプできるようになります。

- ・課税取引と非課税や免税取引の区分けが妥当であるかは、「税区分明細表」へジャンプ
- ・仕入や費用計上の課税取引が、課税売上と非課税売上のどちらに対するものか、または区分がはっきりしないもの（共通）かの区分けが正しくされているかは、「科目別税区分集計表」へジャンプ
- ・自動計算された消費税額の手入力ミスや消費税額の計上漏れがないかは、「消費税手入力確認リスト」へジャンプ

● 平成27年4月施行消費税法改正（簡易課税制度のみなし仕入率の見直し）に対応しました。

○簡易課税制度のみなし仕入率が、次のとおりに改正されました。

- ・金融業及び保険業が、第四種事業から第五種事業へ（みなし仕入率 60%→50%）
- ・不動産業が、第五種事業から新設された第六種事業へ（みなし仕入率 50%→40%）

改正は、平成27年4月1日以後に開始する課税期間（会計期間）から適用されます。

当システムでは、課税期間（会計期間）に応じて、第六種事業が利用できるように自動的に切り替えます。

《 関連メニュー 》

- ・[導入処理]-[消費税基本登録]-[消費税基本登録]メニュー
- ・[仕訳処理]-[仕訳処理]メニューなどの仕訳関連メニュー

○消費税申告書と付表のレイアウトが変更されました。

みなし仕入率の見直しに伴い、簡易課税用の消費税申告書と付表のレイアウトが変更されました。

- ・消費税申告書
- ・付表 4
- ・付表 5
- ・付表 5－(2)

当システムでは、課税期間（会計期間）に応じて、新旧レイアウトを自動判定します。

※簡易課税制度を選択しているすべての企業に影響があります。

消費税申告

- 税区分明細表で、複数の税区分の確認や摘要での抽出ができるようになりました。

○複数の税区分を確認する際に、税区分の切り替えをファンクションキーでできるようになりました。

▼イメージ図

税区分明細表 - 条件設定

基本条件 詳細条件 付 属

検索指定

☒ 税区分明細表 ☐ 税区分未確定リスト ☐ 事業区分未確定リスト

集計期間

月割出(1)... 2015年 4月 1日 ~ 2016年 3月 31日

税区分指定

税区分コード

コード 名称

0010 課税売上分課税仕入

0011 非課税売上分課税仕入

0012 非課税売上分課税仕入

印刷(1)

①税区分を指定します。

税区分明細表

〇〇〇〇株式会社

集計期間: 2015年 4月 1日 ~ 2016年 3月 31日

税区分: 0010 課税売上分課税仕入

伝票日付	伝票内容	補助科目	税率	課税金額	消費税額	税込金額
15/05/01	消耗品費		8.0%	1,251,054	100,156	1,352,110
000002						
15/05/01	水道光熱費		8.0%	1,200,290	102,423	1,302,713
000002						
15/05/01	運賃		8.0%			
000002						
15/05/01	電力料等		8.0%			
000002						
15/05/01	燃料費		8.0%			
000002						
15/05/01	運賃		8.0%			
000002						

②[前税区分] (F4)・[次税区分] (F5) で切り替えて、税区分ごとの明細を確認します。

F1 条件設定 F2 印刷 F3 付属 F4 前税区分 F5 次税区分 F6 ジャンプ F7 再集計 F8 付属整理 F9 条件設定 F10 閉じる

表示完了

○特定の明細を摘要で絞り込めるようになりました。

旧税率 5 %の期間に新税率 8 %で前払いした明細など、事前に入力した摘要で絞り込む際に活用します。

▼イメージ図

税区分明細表 - 条件設定

基本条件 | **詳細条件** | 付 属

[詳細条件] ページで指定できます。

☐ 部門・グループを指定する

対象指定

☒ 部門 ☐ 部門グループ

科目指定

☐ 科目を指定する

☒ 勘定科目 勘定科目コード

☐ 補助科目 勘定科目コード 補助科目コード

コード 勘定科目名 コード 補助科目名

削除 (X)

摘 要

☒ 摘要を指定する

摘要コード 摘要内容

摘要内容

旧税率5%繰り落べ分

削除 (X)

メニュー体系

- メニューの構成を変更しました。

変更前	変更後
[随時処理]-[データ一括変更]-[マスターデータ一括無効]メニュー	[随時処理]-[データ一括変更]- [マスターデータ一括変更] -[マスターデータ一括無効]メニュー


※[マスターデータ一括無効]メニューは、『Sシステム』または『Type NSシステム』をお使いの場合に使用できます。





勘定奉行シリーズ 機能アップガイド






Ver.2.14 / Ver.2.13



目次

※  マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

【全般】	
仕訳伝票を自動作成するメニューで、集計する対象に未承認・未転記の伝票が存在する場合、処理実行前にメッセージを表示し、注意喚起します。	3
奉行21シリーズからデータをコンバートすると、別途設定をせずとも、奉行21と同様に、仕訳入力や元帳・合計残高試算表を出力できます。	3
【帳票全般】	
奉行21シリーズからデータをコンバートすると、合計残高試算表などの「繰越金額」の項目タイトルが、そのまま同じタイトルで出力できます。	4
【データ領域管理】	
2期以上運用しているデータ領域がわかりやすくなりました。	5
[データ領域選択]画面の各項目の列幅や並び順を変更した際に、次回起動時その状態で表示されるようになりました。	5
【導入処理】	
[会社運用設定]メニューの承認に関する設定項目が、役割ごとに整理されました。	6
【仕訳処理】	
 前回印刷後に、新規登録・修正した伝票だけを印刷できるようになりました。	6
伝票区分・用途区分を使用していない場合に、非表示にできるようになりました。	7
摘要コードの入力を省略し、摘要内容をすぐに文字入力できるようになりました。	7
伝票入力画面の摘要欄で[行削除]を押したときに、すぐに1行分削除できるようになりました。	7
定型仕訳を、コードを入力するだけで簡単に呼び出せるようになりました。	8
仕訳伝票入力時に、誤って[中止]を押したときに確認メッセージを表示します。	8
登録済みの定型仕訳を複写し、一部異なる新しい定型仕訳を効率的に登録できるようになりました。	8
承認機能を使用する場合でも、別途「転記」作業をせずに、承認と同時に管理資料に金額を反映させられるようになりました。	8
 経理責任者が、入力担当者の作業予定を登録したり、作業予定を複数の利用者と共有したりできるようになりました。	8
【会計帳票】	
 元帳で税率を指定して絞込みができるようになりました。	9
元帳で自科目側の金額で絞込みができるようになりました。	10
 元帳をPDFに出力する際に、1つのファイルにまとめて出力できるようになりました。 ＜「OMSS」の「Office連携サービス」をお使いの場合＞	11

	【配賦処理】	
	配賦後の帳票分析の粒度に応じて、配賦伝票をマスター別に作成せずにまとめる設定が付きましました。	11
	販売費及び一般管理費の間接費を配賦する際に、製造部門へは製造原価の費用科目として配賦できるようになりました。	11
	【消費税申告】	
	OCR用とは別に、提出用の消費税申告書を印刷できるようになりました。	12
	消費税計算書で、未承認・未転記の伝票を集計できるようになりました。	12
	科目別税区分集計表で、金額の検算や誤入力チェックを効率的にできます。	12
	【決算処理】	
	二期間の決算報告書を出力する場合に、帳票ごとにそれぞれ実務に則した集計ができるようになりました。	12
	決算報告書の表紙のフォントサイズや位置を調整できるようになりました。	13
	【随時処理】	
	部門グループを一から作り直す際に、汎用データ受入で効率的にできるようになりました。	13
	取引先データを、一括で無効にできるようになりました。	13
	特定の補助科目をいくつか指定して、一括で削除できるようになりました。	13
	[税区分一括変更]メニューで、定型仕訳の税区分・事業区分も一括で変更できるようになりました。	13
	合算元にマイナスで計上されている仕訳伝票がある場合は、マイナス金額のまま合算するようになりました。	13
	【OMSS業務支援サービス】	
	クイックメニューにコピー機能（クリップボード）が追加され、企業独自のひな形（Excel）に貼り付けて帳票を作成できるようになりました。 ＜「OMSS」の「Office連携サービス」をお使いの場合＞	14
	【メニュー】	
	よく使うメニューをすばやく開ける、ダイレクト起動メニューが追加されました。	15

- 仕訳伝票を自動作成するメニューで、集計する対象に未承認・未転記の伝票が存在する場合、処理実行前にメッセージを表示し、注意喚起します。

仕訳伝票を自動作成するメニューでは、未承認・未転記の伝票の金額は除かれて集計されます。未承認・未転記の伝票がある場合は、伝票作成前にメッセージにて、その後の処理を選択できます。

○処理を中断し、承認・転記後に再度実行する

○処理を続行する（ただし、未承認・未転記仕訳の金額は除く）

○未承認・未転記仕訳の集計対象別の一覧を印刷し、これをもとに承認・転記後再度実行する

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[月次処理]-[為替換算]-[為替換算]メニュー
※『外貨入力オプション』をお使いの場合
- ・ [配賦処理]-[部門実績配賦]の各メニュー

- 奉行21シリーズからデータをコンバートすると、別途設定をせずとも、奉行21と同様に、仕訳入力や元帳・合計残高試算表を出力できます。

奉行21シリーズからデータをコンバートすると、伝票入力画面のファンクションキーの配置や摘要入力の操作性、元帳や合計残高試算表の印刷レイアウトに関する設定が引き継がれるようになり、設定を変更せずにそのまま運用できるようになりました。

▼参考（引き継がれる設定）

○[仕訳処理]メニュー

- ・ 摘要内容の追加方法（[設定]画面の[運用設定]ページ）
- ・ ファンクションキーの配置（[設定]画面の[奉行21設定]ページ）
- ・ 印刷条件 ※ネットワーク対応製品でない場合

○[帳簿入力]メニューの各メニュー

- ・ 摘要未入力時の前行複写（[設定]画面の[帳簿設定]ページ）
- ・ 起動時の伝票表示（[設定]画面の[奉行21設定]ページ）
- ・ 部門情報の表示（[設定]画面の[表示設定]ページ）
- ・ ファンクションキーの配置（[設定]画面の[奉行21設定]ページ）
- ・ 印刷条件 ※ネットワーク対応製品でない場合

○[元帳]メニュー

- ・ 諸口の内訳を表示する（[条件設定]画面の[基本設定]ページ）
- ・ 印刷タイトル（自マスター）を均等割付する（[印刷等条件設定]画面の[基本設定]ページ）
- ・ 自マスターの条件内容を出力する（[印刷等条件設定]画面の[基本設定]ページ）
- ・ 金額計項目タイトルの印刷位置（[印刷等条件設定]画面の[印刷設定]ページの[設定]ボタン）
- ・ 伝票日付の出力形式（[印刷等条件設定]画面の[印刷設定]ページの[設定]ボタン）
- ・ 余白への罫線印刷（[印刷等条件設定]画面の[印刷設定]ページの[設定]ボタン）
- ・ その他の集計条件、印刷条件 ※ネットワーク対応製品でない場合

○[合計残高試算表]メニュー（[試算表見出し項目設定]メニュー）

- ・ 製造原価報告書のページの切替（[印刷等条件設定]画面の[基本設定]ページ）
- ・ 網掛け濃度を指定する、および各項目の濃度値（[印刷等条件設定]画面の[印刷設定]ページ）
- ・ その他の集計条件、印刷条件 ※ネットワーク対応製品でない場合

帳票全般

- 奉行21シリーズからデータをコンバートすると、合計残高試算表などの「繰越金額」の項目タイトルが、そのまま同じタイトルで出力できます。

奉行21シリーズからデータをコンバートすると、合計残高試算表などの「繰越金額」の項目タイトルが、そのまま奉行21シリーズのときと同じタイトルで出力できるようになりました。

▼イメージ図

コード	科目名	前月繰高	借方	貸方	残高	構成比
100	現金	0	0	0	100,000	6.3
A1220	現金計	0	100,000	0	100,000	6.3

コード	科目名	前月繰高	借方	貸方	残高	構成比
100	現金	100,000	0	0	100,000	6.3
A1220	現金計	100,000	0	0	100,000	6.3

《 関連メニュー 》

- ・ [会計帳票]-[元帳]-[元帳]メニュー
- ・ [会計帳票]-[日計表]メニュー
- ・ [会計帳票]-[内訳表]メニューの各メニュー

データ領域管理

- 2期以上運用しているデータ領域がわかりやすくなりました。

今までは、最新の会計期首日だけを表示していましたが、2期以上運用しているデータ領域は、決算期が範囲で表示されるようになりました。

▼イメージ図

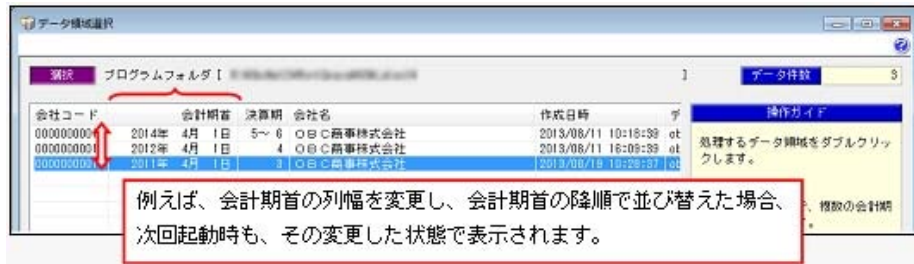


- [データ領域選択]画面の各項目の列幅や並び順を変更した際に、次回起動時にもその状態で表示されるようになりました。

[データ領域選択]画面で、画面の各項目の列幅や並び順を変更した場合に、その情報が保持されるようになりました。

次回起動時も、担当者個人の見やすい幅や並び順で表示されます。

▼イメージ図



導入処理

- [会社運用設定]メニューの承認に関する設定項目が、役割ごとに整理されました。

[会社運用設定]メニューの[承認設定]ページの各項目が、3つのカテゴリに整理され、設定しやすくなりました。

【基本設定】 【詳細設定】 【集計設定】

▼イメージ図



仕訳処理



- 前回印刷後に、新規登録・修正した伝票だけを印刷できるようになりました。

前回印刷後に新規登録・修正した伝票だけを印刷できる機能を利用することで、印刷漏れを防ぎ、会社の帳簿書類をしっかり保存できます。

※この機能は、[印刷条件設定]画面の[基本設定]ページで選択できます。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票リスト]メニュー

- 伝票区分・用途区分を使用していない場合に、非表示にできるようになりました。

伝票区分・用途区分を使用していない場合に、非表示にできるようになりました。必要のない情報を消すことで、必要な情報がより目立つようになります。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票リスト]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票承認]-[仕訳伝票承認]メニュー

▼その他の仕訳関連メニュー

- ・ [仕訳処理]-[反対仕訳一括起票]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[電子記録債権処理]-[電子記録債権仕訳起票]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[F B 処理]-[F B 仕訳起票]メニュー
- ・ [随時処理]-[電子帳簿変更履歴]-[仕訳伝票履歴]メニュー
- ・ [配賦処理]-[部門実績配賦]-[部門実績配賦]メニュー

▼その他の伝票作成関連メニュー

- ・ [導入処理]-[残高入力]-[開始残高入力]-[開始残高一括振替]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[月次処理]-[為替換算]-[為替換算]メニュー

※『外貨入力オプション』をお使いの場合

- 摘要コードの入力を省略し、摘要内容をすぐに文字入力できるようになりました。

摘要を[導入処理]-[摘要登録]メニューで別途管理せずに都度入力している場合に、仕訳伝票入力の際、摘要内容をすぐに文字入力できるようになりました。

摘要コード欄を毎回 [Enter] キーで飛ばす操作が必要なくなります。

※[仕訳処理-設定]画面の[運用設定]ページの明細摘要コードの入力で「入力しない」を選択すると、摘要内容から入力できます。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー

▼その他の[仕訳処理]関連メニュー

- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]メニューの各メニュー
- ・ [仕訳処理]-[電子記録債権処理]-[電子記録債権仕訳起票]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[F B 処理]-[F B 仕訳起票]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳入力補助]-[定型仕訳登録]メニュー

- 伝票入力画面の摘要欄で [行削除] を押したときに、すぐに 1 行分削除できるようになりました。

伝票入力画面の摘要欄で [行削除] ファンクションキーを押したときに、すぐに 1 行分を削除できるようになりました。

※[仕訳処理-設定]画面の[奉行21設定]ページの明細行の削除で「奉行21形式」を選択すると、すぐに 1 行分削除できます。

※今までは、1 行削除するか、借方または貸方だけを削除するかを選択する画面が、必ず、表示されていました。

なお、摘要欄以外の項目では、今までどおり選択画面が表示されます。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー

▼その他の[仕訳処理]関連メニュー

- ・ [仕訳処理]-[仕訳入力補助]-[定型仕訳登録]メニュー

- **定型仕訳を、コードを入力するだけで簡単に呼び出せるようになりました。**

定型仕訳を、コードを入力するだけで呼び出せるようになりました。定型仕訳のコードを覚えている場合などに便利です。

※[仕訳処理－設定]画面の[奉行21設定]ページの定型仕訳の呼び出しで「奉行21形式」を選択すると、定型仕訳のコードだけを入力する画面が表示されます。

※今までは、必ず、[定型仕訳検索]画面が表示され、定型仕訳をリストから選択、または検索して定型仕訳を呼び出す方法でした。

◀ 関連メニュー ▶

・ [仕訳処理]－[仕訳処理]メニュー

▼その他の[仕訳処理]関連メニュー

・ [仕訳処理]－[仕訳入力補助]－[定型仕訳登録]メニュー

・ [仕訳処理]－[帳簿入力]メニューの各メニュー

- **仕訳伝票入力時に、誤って[中止]を押したときに確認メッセージを表示します。**

仕訳伝票入力時に、誤って[中止]ファンクションキーを押したときに、入力していた仕訳明細がすべてクリアされてしまうのを防ぐため、確認メッセージを表示します。

◀ 関連メニュー ▶

・ [仕訳処理]－[仕訳処理]メニュー

- **登録済みの定型仕訳を複写し、一部異なる新しい定型仕訳を効率的に登録できるようになりました。**

すでに登録してある定型仕訳をもとに、一部変更したものを繰り返し登録する場合などに効率的です。

具体的には、[仕訳処理]－[仕訳入力補助]－[定型仕訳登録]メニューで、定型仕訳を複写し、新しい定型仕訳を登録できるようになりました。

- **承認機能を使用する場合でも、別途「転記」作業をせずに、承認と同時に管理資料に金額を反映させられるようになりました。**

今までは、[仕訳処理]－[仕訳伝票承認]－[仕訳伝票承認]メニューの承認機能を使用する場合は、必ず、[仕訳処理]－[仕訳伝票承認]－[仕訳伝票一括転記]メニューの別途「転記」作業が必要でした。

これからは、承認機能を使用する場合でも、別途「転記」作業をせずに、承認と同時に管理資料に金額を反映させられるようになりました。

[会社運用設定]メニューの[承認設定]ページで、転記機能を「0：使用しない」に設定します。

※今までどおり、別途「転記」することもできます。



- **経理責任者が、入力担当者の作業予定を登録したり、作業予定を複数の利用者と共有したりできるようになりました。**

[仕訳処理]－[仕訳伝票予約]メニューで、経理責任者が、入力担当者の作業予定を代わりに一括して登録したり、作業予定を複数の利用者と共有したりできるようになりました。

また、入力担当者が退職した場合に、他の担当者へ割り当てなおすこともできます。

※この機能は、管理者でログインしている場合に使用できます。

※[条件設定]画面の[利用者設定]ページで、利用者を設定することで実現できます。

会計帳票



- 元帳で税率を指定して絞込みができるようになりました。

[会計帳票]-[元帳]-[元帳]メニューで、経過措置の旧税5%の取引内容だけを確認したい場合に便利です。

▼イメージ図

○[元帳]メニュー



※拡張形式



※標準形式

なお、消費税額を検算するには、[仕訳処理]-[仕訳伝票入力内容チェック]-[消費税手入力確認リスト]メニューを利用すると便利です。

▼イメージ図

○[元帳]メニュー

消費税手入力確認リスト

〇 B C 建設株式会社

会計期間: 2014年 4月 1日 ~ 2015年 3月 31日

確認期間: 自 2014年 4月 1日 至 2015年 3月 31日

自動計算消費税の手入力確認 | 消費税科目の個別計上金額確認

伝票日付	部門	勘定科目	摘要	税区分	税率	本件金額	消費税額	手入力	消費税額	自動計算	差額
伝票No.	行	補助科目									
14/05/25		総務部	水運光熱費	課仕入	5.0%	25,600					
000089	1		水運光熱費 (5%適用分)	切り捨て			< 1,218			[1,219	-1

- 元帳で自科目側の金額で絞込みができるようになりました。

[会計帳票]-[元帳]-[元帳]メニューで、今まで相手勘定科目側の金額で絞込みができましたが、自動勘定科目側の金額でも絞込みができるようになりました。

▼イメージ図

○[元帳]メニュー

(例)

以下の仕訳伝票を例に説明します。

行	借 方			貸 方		
	部 門 / 勘定科目 / 補助科目	金 額	取引先	部 門 / 勘定科目 / 補助科目	金 額	取引先
1	001 第一営業部			001 第一営業部		
	135 売掛金	1,500		500 売上高	2,000	
					8.0%	160
2	001 第一営業部					
	130 受取手形	860				

<「500 売上高」の元帳で金額を絞り込む際の指定方法>

- ◆「135 売掛金」の1,500円で絞り込みたい場合
「自科目の金額で絞り込む」にチェックを付けません。
- ◆「500 売上高」の2,000で絞り込みたい場合
「自科目の金額で絞り込む」にチェックを付けます。



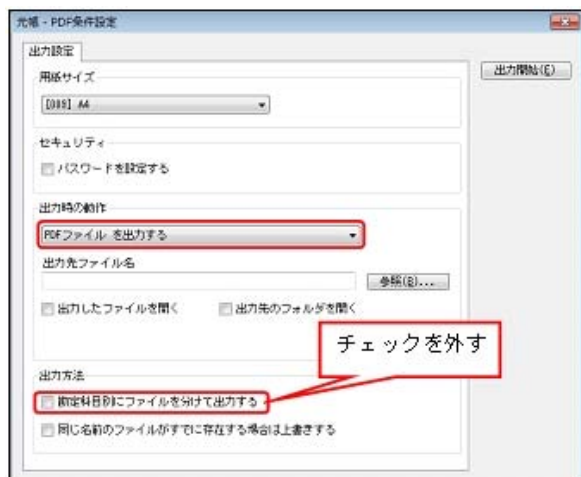
- 元帳をPDFに出力する際に、1つのファイルにまとめて出力できるようになりました。
 <「OMSS」の「Office連携サービス」／『勘定奉行i8』をお使いの場合>

元帳などの帳票をPDFに出力する際、今までは、勘定科目別や部門別などで必ずPDFが分かれて出力されていましたが、これからは、1つのファイルにまとめて出力することもできます。

※[PDF条件設定]画面で、「〇〇別にファイルを分けて出力する」のチェックを外すと、1つのファイルにまとめて出力されます。

▼イメージ図

○[元帳]メニュー



《 関連メニュー 》

- ・ [会計帳票] メニューの各メニュー
- ・ [分析帳票] メニューの各メニュー
- ・ [予算管理] メニューの各帳票メニュー

配賦処理



- 配賦後の帳票分析の粒度に応じて、配賦伝票をマスター別に作成せずにまとめる設定が付きしました。
 <『Sシステム』または『Type NSシステム』をお使いの場合>

[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの[配賦設定]ページで、以下の帳票ごとに勘定科目レベルに分析の粒度を設定できます。

- ・ 部門共通費配賦後の分析帳票

また、マスターごとに設定できます。

《部門共通費配賦後の分析帳票》

- ・ 取引先

※分析粒度をマスター別でなく勘定科目レベルにすることで、結果的に配賦伝票の作成枚数が減少するため、配賦処理のパフォーマンスアップ、帳票集計のパフォーマンスアップが見込めます。



- 販売費及び一般管理費の間接費を配賦する際に、製造部門へは製造原価の費用科目として配賦できるようになりました。

今までは、配賦先科目は必ずすべての部門で同じでしたが、これからは、[配賦処理]-[部門実績配賦]-[部門実績配賦設定]-[部門実績配賦パターン登録]メニューで、部門別に配賦先科目を指定できるようになりました。

共通部門に発生した間接費（販管費）を配賦する際に、製造部門など製造・作成する部門へ、「製造原価の費用科目」として配賦する場合に利用します。

消費税申告

- **OCR用とは別に、提出用の消費税申告書を印刷できるようになりました。**

[消費税申告]-[消費税申告書]メニューで、OCR用とは別に、提出用の消費税申告書を印刷できるようになりました。

また、提出用・添付書類の印刷部数が指定できます。

※提出用の消費税申告書とは、現物帳票の2枚目以降を指します。

- **消費税計算書で、未承認・未転記の伝票を集計できるようになりました。**

[消費税申告]-[消費税計算書]メニューで、未承認・未転記の伝票を集計することで、伝票確定前に、消費税内容の確認・訂正ができるようになりました。

※科目別課税対象額集計表など、他の消費税管理資料にはすでにこの機能が追加されていますが、消費税計算書についても機能が追加されました。

※他の消費税管理資料と同様、[条件設定]画面の[詳細設定]ページの「未承認仕訳・未転記仕訳を含めて集計する」チェックボックスにチェックを付けると、集計できます。

- **科目別税区分集計表で、金額の検算や誤入力チェックを効率的にできます。**

[消費税申告]-[科目別税区分集計表]メニューに以下の機能が追加され、金額の検算や誤入力チェックを効率的にできます。

○消費税率の指定（[条件設定]画面の[基本条件]ページ）

消費税率を指定すると、以下のような場合に便利です。

- ・複数の税率が混在している場合に、税率ごとに分けて検算する
- ・頻度の少ない経過措置の旧税率で、誤って仕訳入力していないかを確認する

○売上科目と仕入・費用科目をまとめて一覧で表示（[条件設定]画面の[詳細条件]ページ）

集計結果のページを、売上科目と仕入・費用科目を分けずに、まとめて一覧で確認できます。

例えば、建物の購入と売却の結果をまとめて確認できます。

○勘定科目ごとの金額を表示（[条件設定]画面の[詳細条件]ページ）

勘定科目ごとの金額で、大まかに確認できるようになりました。

※今までは必ず、税率（内訳金額）ごとの確認でした。

決算処理

- **二期間の決算報告書を出力する場合に、帳票ごとにそれぞれ実務に則した集計ができるようになりました。**

[決算処理]-[決算報告書]-[決算報告書]メニューで、二期間（前期・当期）の決算報告書を出力する場合には、前期の貸借対照表（株主資本等変動計算書も含む）は指定された集計期間に関係なく、会計期末時点の残高で集計できるようになりました。

今までは、貸借対照表と損益計算書を2回に分けて印刷する必要がありましたが、1回の印刷で済みます。

例）中間決算期に、貸借対照表と損益計算書を同時に出力する場合

前期の会計期間：2014年4月1日～2015年3月31日

前期の集計期間：2014年4月1日～2014年9月30日

チェックを付けると、帳票ごとにそれぞれ実務に則した集計がされます。

前期の貸借対照表 ⇒ 2015年3月31日（会計期間末）時点の残高

前期の損益計算書 ⇒ 2014年9月30日までの累計

※[印刷等条件設定]画面の[基本条件]ページで設定できます。



- 決算報告書の表紙のフォントサイズや位置を調整できるようになりました。

[決算処理]-[決算報告書]-[決算報告書]メニューで、表紙のフォントサイズや、タイトルや会社名などの各項目の印字位置を調整できるようになりました。

※[決算報告書 - 印刷設定]ページの[設定]ボタンから表示レイアウト形式を「奉行21形式」に変更すると、『奉行21シリーズ』と同じ表紙で印刷できます。(フォントサイズ・位置調整は必要ありません。)

随時処理

- 部門グループを一から作り直す際に、汎用データ受入で効率的にできるようになりました。

組織改編などで部門グループを一から作り直す際、今までは、[随時処理]-[データ一括変更]-[マスターデータ一括削除]-[部門グループデータ一括削除]メニューで部門グループを一旦削除してから、汎用データを受け入れ直す必要がありました。

これからは、[随時処理]-[汎用データ受入]-[マスターデータ受入]-[部門グループデータ受入]メニューで、部門グループすべての階層の削除と受け入れを同時にできるようになった(※)ため、効率的に一から作り直すことができます。

※[条件設定]画面で、[拡張項目設定]ページの「すべての部門グループを削除してから汎用データを受け入れる」にチェックを付けます。



- 取引先データを、一括で無効にできるようになりました。

<『Sシステム』または『Type NSシステム』をお使いの場合>

[随時処理]-[データ一括変更]-[マスターデータ一括無効]メニューが追加され、新年度から利用しないように、取引先データを一括で無効にできるようになりました。

※不要なマスターを無効にすることで、マスター数を減らす効果があり、結果、帳票等での集計パフォーマンスを改善できます。

- 特定の補助科目をいくつか指定して、一括で削除できるようになりました。

[随時処理]-[データ一括変更]-[マスターデータ一括削除]-[補助科目データ一括削除]メニューで、今までは勘定科目の指定のため、すべての補助科目が一括で削除されていました。これからは、特定の補助科目をいくつか指定して、部分的な一括削除ができるようになりました。

※今までは、勘定科目だけ指定できました。

- [税区分一括変更]メニューで、定型仕訳の税区分・事業区分も一括で変更できるようになりました。

[随時処理]-[データ一括変更]-[仕訳伝票データ一括変更]-[税区分一括変更]メニューで、仕訳伝票だけでなく、定型仕訳の税区分・事業区分も一括で変更できるようになりました。

- 合算元にマイナスで計上されている仕訳伝票がある場合は、マイナス金額のまま合算するようになりました。

[随時処理]-[データ領域合算]メニューで、今までは、合算元にマイナスで計上されている仕訳伝票がある場合は、貸借を入れ替えてプラスの金額として合算していました。

これからは、貸借を入れ替えずにマイナス金額のまま合算するようになりました。

▼イメージ図

以下のような仕訳伝票が登録されていた場合に、貸借を入れ替えずに「売掛金」「-500,000」、「売上高」「-500,000」のまま合算します。

001 第一営業部			001 第一営業部		
135 売掛金	-500,000	500	売上高	8.0%	-500,000
					(-37,007)

OMSS業務支援サービス

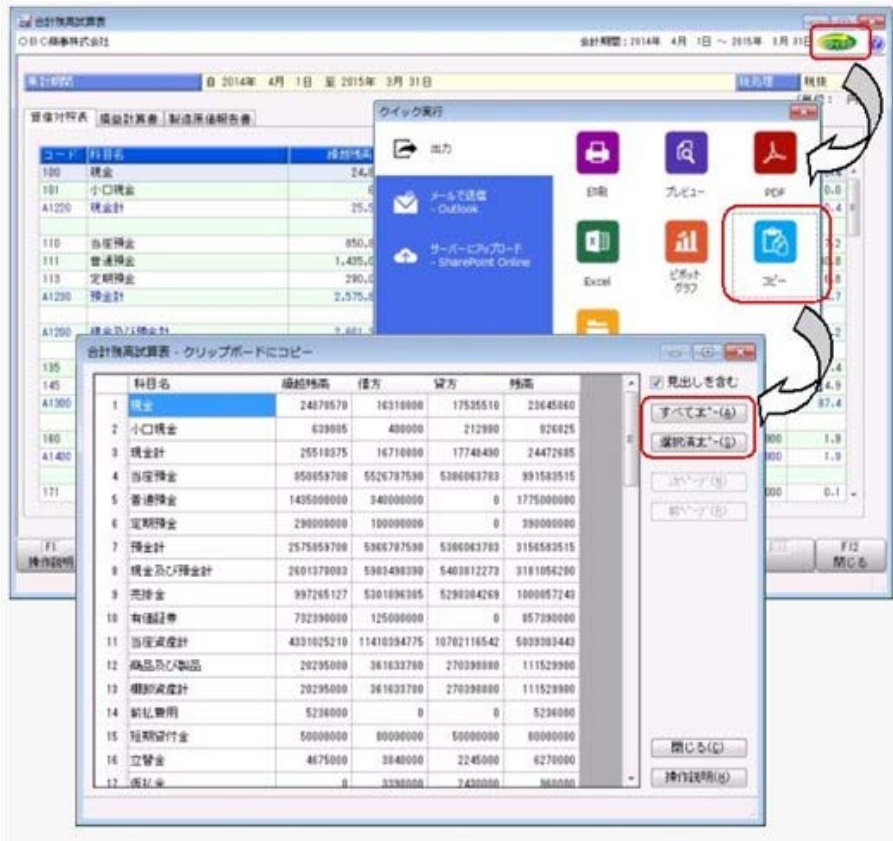


- クイックメニューにコピー機能（クリップボード）が追加され、企業独自のひな形（Excel）に貼り付けて帳票を作成できるようになりました。

<「OMSS」の「Office連携サービス」／『勘定奉行i8』をお使いの場合>

画面の表示内容をコピーして、企業独自のひな形（Excel）に貼り付けて帳票を作成できるようになりました。

▼イメージ図



企業独自のひな形（Excel）に、
コピーした内容を貼り付けます。

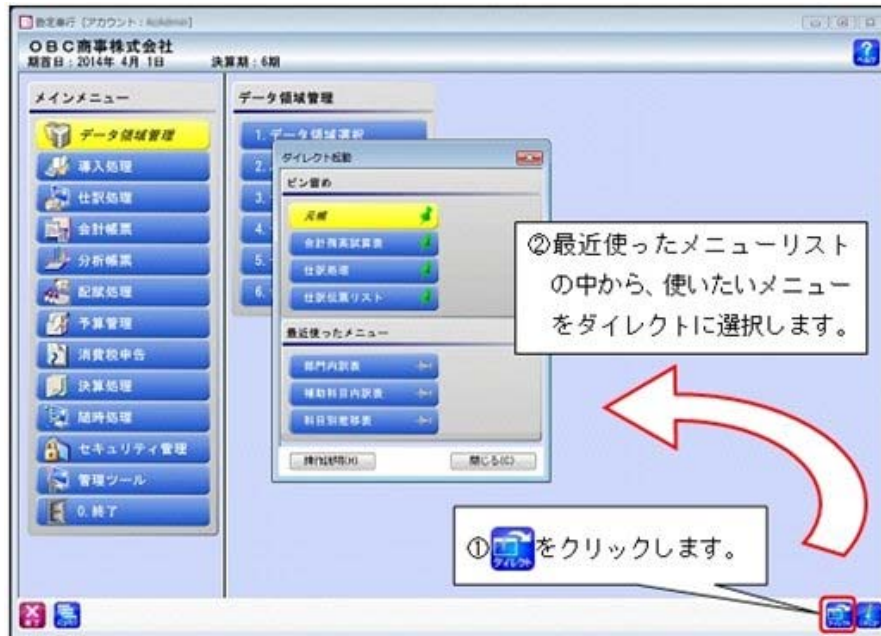


メニュー

- よく使うメニューをすばやく開ける、ダイレクト起動メニューが追加されました。
＜『勘定奉行 i8』をお使いの場合＞

ダイレクト起動メニューを利用すると、最近使ったメニューを簡単に開くことができます。
さらに、よく使うメニューをリストに固定表示することで、毎日使用しているメニューをすばやく起動できます。

▼イメージ図



勘定奉行シリーズ

機能アップガイド

Ver.2.12



【消費税申告】	
税務代理権限証書の様式を改訂しました。	2
【決算処理】	
地方税の電子申告（XBRL Spec2.1 Ver. 2.0）に対応しました。	2

消費税申告

● 税務代理権限証書の様式を改訂しました。

電子申告・書面申告において、「所得税法等の一部を改正する法律」（平成26年法律第10号）に対応しました。

平成26年7月1日以後に提出する税務代理権限証書について、「調査の通知に関する同意」に関する項目の追加など、改訂後の様式で作成できます。

《 関連メニュー 》

[消費税申告]-[税理士添付書面]-[税務代理権限証書]メニュー

決算処理

● 地方税の電子申告（XBRL Spec2.1 Ver.2.0）に対応しました。

地方税の電子申告を、国税の電子申告と同一バージョン（XBRL Spec2.1 Ver.2.0）に対応しました。

具体的には、地方税申告に必要な財務諸表データを XBRL Spec2.1 Ver.2.0 に対応しました。

今までは、法人税申告に加えて地方税申告にも財務諸表データを添付する際は、電子申告科目や注記の登録を別途「地方税申告」用に設定していましたが、今後は共通になります。

《 関連メニュー 》


- ・ [決算処理]-[決算報告書]-[電子申告]-[電子申告科目設定]メニュー
- ・ [決算処理]-[決算報告書]-[電子申告]-[電子申告注記登録]メニュー
- ・ [決算処理]-[決算報告書]-[電子申告]-[電子申告データ作成[財務諸表]]メニュー






勘定奉行 / シリーズ 機能アップガイド

Ver.2.10



目次

※  マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

	【法改正情報】	
	消費税申告書の新レイアウト（平成26年4月1日以降終了課税期間分）に対応しました。	2
	【会計帳票】	
	摘要集計表など各集計表から元帳へジャンプできるようになり、内訳明細を確認できます。	2
	【分析帳票】	
	従業員数を部門ごとに入力する際に部門合計が確認できるようになりました。	2
	【随時処理】	
	『人事奉行』の『退職金管理オプション』から退職金支給時の仕訳を受け入れられます。	3
	【OMSS業務支援サービス】	
	Office連携サービスの機能を強化（テンプレート・パスワード）しました。 ＜「OMSS」の「Office連携サービス」をお使いの場合＞	3
	Excelピボットグラフを作成できるメニューが追加されました。 ＜「OMSS」の「Office連携サービス」をお使いの場合＞	4

注意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

法改正情報



- 消費税申告書の新レイアウト（平成26年4月1日以降終了課税期間分）に対応しました。

消費税申告書の新レイアウト（平成26年4月1日以降終了課税期間分）に対応しました。
レイアウトが変更された申告書は、以下の通りです。
電子申告にも対応しています。

原則課税	簡易課税
消費税申告書	消費税申告書
付表 2	付表 4
付表 1	付表 5－（2）
付表 2－（2）	

会計帳票



- 摘要集計表など各集計表から元帳へジャンプできるようになり、内訳明細を確認できます。

元帳にジャンプすることで、効率的に、該当項目の内訳明細を確認できます。
例えば、摘要集計表の場合には、勘定科目ごとに特定の摘要で集計された金額について、その内訳明細を確認できます。

《 関連メニュー 》

[会計帳票]-[集計表]の各メニュー

分析帳票

- 従業員数を部門ごとに入力する際に部門合計が確認できるようになりました。

[分析帳票]-[経営分析]-[従業員数設定]メニューで従業員数を部門別に入力している際に、部門合計の従業員数を確認しながら、入力することができます。最終的に部門合計を全社の従業員数と確認することで、正しく入力できているか確認できます。

随時処理



- 『人事奉行』の『退職金管理オプション』から退職金支給時の仕訳を受け入れられます。

奉行シリーズ『人事奉行』の『退職金管理オプション』を導入している場合に、退職金支給時の仕訳が自動作成され、勘定奉行に連携できます。

仕訳伝票は、[随時処理]-[奉行連動データ受入]-[仕訳伝票受入]メニューで受け入れます。

OMSS業務支援サービス

参 考

- 「OMSS」や「業務支援サービス」の詳細については、以下のサイトをご確認ください。

<http://www.obc.co.jp/click/omss/>

- 「業務支援サービス」は、「OMSS」の契約期間中に利用できるサービスです。
「OMSS」の契約期間が終了した時点で、「業務支援サービス」も利用できなくなりますので、ご注意ください。

- Office連携サービスの機能を強化（テンプレート・パスワード）しました。
＜「OMSS」の「Office連携サービス」／『勘定奉行 i 8』をお使いの場合＞



- Excelピボットグラフのテンプレート機能

ピボットグラフを作成した後、分析しやすいようにExcel上でデザインを変更した場合に、次回以降も同じデザインで作成できます。

当システムでは、同じメニューの同条件で作成したピボットグラフのファイルをテンプレートとして指定すると、毎回独自のデザインでピボットグラフが作成できます。

《 関連メニュー 》

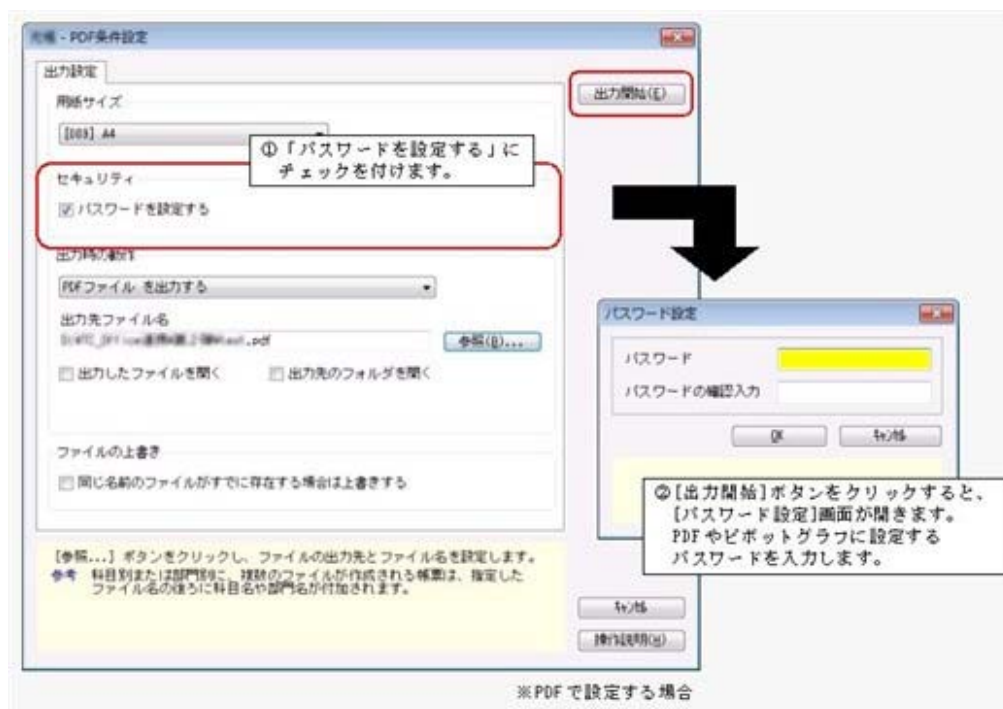
- ・ [元帳]-[元帳]メニュー
- ・ [分析帳票]-[推移表]-[部門別推移表]メニュー
- ・ [分析帳票]-[推移表]-[補助科目別推移表]メニュー
- ・ [分析帳票]-[推移表]-[取引先別推移表]メニュー
- ・ [分析帳票]-[対比表]-[部門別対比表]メニュー
- ・ [分析帳票]-[対比表]-[補助科目別推移表]メニュー
- ・ [分析帳票]-[対比表]-[取引先別推移表]メニュー

- Outlookメールのテンプレート機能

当システムでは、作成したPDFやピボットグラフをMicrosoft Outlookのメールに添付して送信する際に、宛先や件名、メール本文が毎回同じ場合は、Microsoft Outlookで保存したテンプレートを利用できます。

○パスワード機能

当システムでは、作成したPDFやピボットグラフにパスワードを設定できます。



- Excelピボットグラフを作成できるメニューが追加されました。
＜「OMSS」の「Office連携サービス」／『勘定奉行i8』をお使いの場合＞

当システムの基幹データをもとに、業務情報の集計表（ピボットテーブル）やグラフ（ピボットグラフ）に出力し、ピボット分析ができるメニューが追加されました。

《 関連メニュー 》


- ・ [分析帳票] - [推移表] - [補助科目別推移表] メニュー
- ・ [分析帳票] - [推移表] - [取引先別推移表] メニュー
- ・ [分析帳票] - [対比表] - [補助科目別対比表] メニュー
- ・ [分析帳票] - [対比表] - [取引先別対比表] メニュー



勘定奉行 / シリーズ
機能アップガイド

Ver.2.07



目次

※  マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

	【法改正情報】	
	平成26年4月施行消費税8%改正に対応しました。	2
	国税電子申告について、平成25年度の電子申告（XBRL Spec2.1 Ver. 2.0）に対応しました。	2
	【仕訳処理】	
	定型仕訳を仕訳伝票と同時に登録する際、金額をクリアしたり、編集してから登録できるようになりました。 また、登録済みの定型仕訳の上書き登録もできます。	4
	【随時処理】	
	定型仕訳の汎用データを作成する際に、詳細な条件を指定できるようになりました。	5
	特定の仕訳明細の税率を一括で変更できるようになりました。	6

注 意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

法改正情報



● 平成26年4月施行消費税8%改正に対応しました。

平成26年4月施行消費税8%改正に伴い、下記項目に対応しました。

- ・ 消費税率8%への引き上げ
- ・ 旧税率5%が適用される経過措置の取引入力
- ・ 消費税申告書と付表のレイアウト変更

具体的な対応内容は、操作説明の「《法改正》平成26年4月1日施行 消費税8%改正」をご参照ください。

● 国税電子申告について、平成25年度の電子申告（XBRL Spec2.1 Ver.2.0）に対応しました。

平成25年度の法人税の電子申告に対応しました。

具体的には、法人税申告に必要な財務諸表データを XBRL Spec2.1 Ver.2.0 に対応しました。

なお、地方税申告は、今までどおりVer.1.0です。そのため、法人税申告に加えて地方税申告にも財務諸表データを添付する際は、別途、電子申告科目や注記を登録する際に、税目を「地方税申告」に切り替えて設定します。

▼イメージ図

○[電子申告科目設定]メニュー

○[電子申告データ作成[財務諸表]]メニュー

《 関連メニュー 》

- ・ [決算処理]-[決算報告書]-[電子申告]-[電子申告科目設定]メニュー
- ・ [決算処理]-[決算報告書]-[電子申告]-[電子申告注記登録]メニュー
- ・ [決算処理]-[決算報告書]-[電子申告]-[電子申告データ作成[財務諸表]]メニュー

仕訳処理

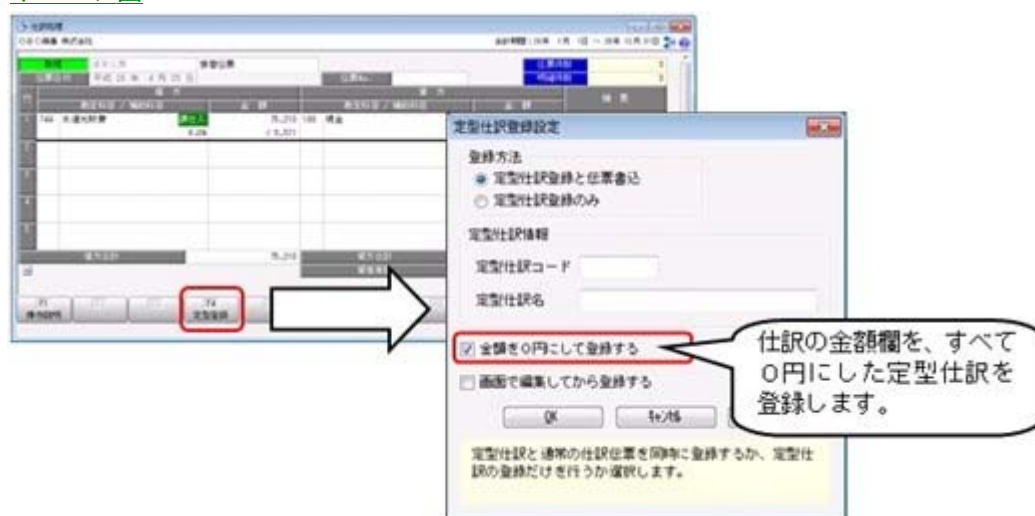


- 定型仕訳を仕訳伝票と同時に登録する際、金額をクリアしたり、編集してから登録できるようになりました。
また、登録済みの定型仕訳の上書き登録もできます。

[仕訳処理]-[仕訳処理]メニューで伝票を登録すると同時に、その仕訳を「定型仕訳」としても登録する際に、今までは必ず金額が入ったままで登録されていましたが、これからは金額を0円で登録できます。

金額が毎回異なるような定型仕訳の場合に、活用します。

▼イメージ図



さらに、摘要を編集したり、部門や取引先などのマスターを未指定にして登録できます。「定型仕訳」を呼び出した後に個別入力させる項目など、一部編集する際に活用します。

▼イメージ図



なお、今までは、新規に追加することしかできませんでしたが、定型仕訳を呼び出して、一部修正した場合に、上書きでその変更内容を、元の定型仕訳に反映できるようになりました。

▼イメージ図



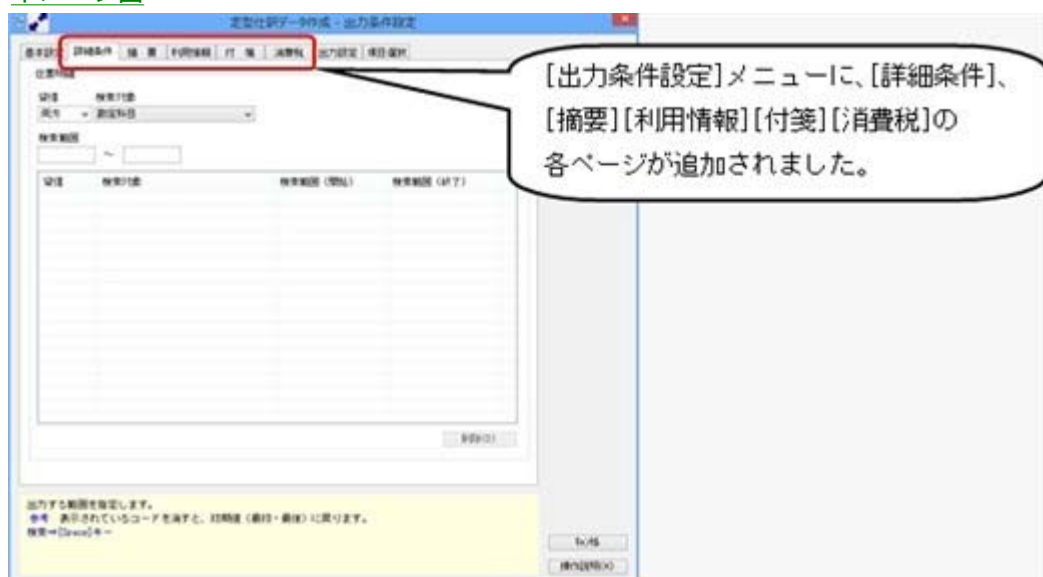
随時処理

- 定型仕訳の汎用データを作成する際に、詳細な条件を指定できるようになりました。

[随時処理]-[汎用データ作成]-[仕訳伝票データ作成]-[定型仕訳データ作成]メニューで汎用データを作成する際に、詳細な条件を指定することで、必要なデータだけに絞って出力できます。

一度転送して、Excelなどで加工してから再度受け入れることで、効率的に定型仕訳の内容を更新できます。

▼イメージ図



● **特定の仕訳明細の税率を一括で変更できるようになりました。**

[随時処理]-[データー一括変更]-[仕訳伝票データー一括変更]-[税率一括変更]メニューが新規に追加され、以下のような場合に、特定の仕訳明細の税率を一括で変更できるようになりました。

新税率から旧税率（経過措置の取引）へ、また、旧税率から新税率へ変更する場合に有効です。

- ・ 外部システムから汎用受入をしているが、外部システムが旧税率の取引に対応していない
- ・ 消費税改正対応プログラムをセットアップする前に、先行登録した新税率施行日（平成26年4月1日など）以後の仕訳伝票


具体例や手順は、操作説明の「税率を一括で変更する具体例と手順」をご確認ください。





勘定奉行 / シリーズ 機能アップガイド

Ver.2.06



目次

※  マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

	【OMSS業務支援サービス】	
	「OMSS OBCメンテナンスサポートサービス」の「業務支援サービス」に対応しました。	3
	【帳票全般】	
	決算報告書などの特定の帳票だけ、どの利用者でも共通の印刷レイアウトにできるようになりました。	5
	帳票で、集計条件のマスターコードを、次回以降も固定できます。（コード保存） ＜『勘定奉行 i 8』をお使いの場合＞	6
	【仕訳処理】	
	伝票検索後、条件に該当する明細行が青色で強調表示されるとともに、その行へジャンプでき、見つけやすくなりました。 ＜『勘定奉行 i 8』をお使いの場合＞	7
	仕訳伝票の入力時に、借方の取引先を貸方に複写する機能が追加され、効率的に入力できます。	8
	仕訳伝票リストの画面上でも、付箋の貼り付けや取り外しができるようになりました。	8
	【分析帳票】	
	推移表・対比表から、直接元帳にジャンプして、金額を追跡できるようになりました。	9
	【管理会計帳票】	
	管理会計帳票の印刷条件が、パターンごとに保持されるようになりました。 ＜『管理会計オプション』をお使いの場合＞	10
	【配賦処理】	
	履歴メニューから、配賦伝票を一括で削除できるようになりました。 ＜『勘定奉行 i 8』をお使いの場合＞	11
	【決算処理】	
	決算報告書を、要約印刷する・しないを都度切り替えて出力できるようになりました。	11
	決算報告書を、それぞれの用途に応じて、要約形式（要約設定や見出し項目の内容）を複数用意できるようになりました。 ＜『勘定奉行 i 8』をお使いの場合＞	11
	キャッシュ・フロー計算書が「直接法」でも印刷できます。	11
	補助科目ごとに、キャッシュ・フロー属性を設定できるようになりました。	12
	【随時処理】	
	他の奉行シリーズまたは他システムで作成された仕訳伝票の伝票No. を、当システムで手入力した仕訳伝票の伝票No. とは分けて、付番管理できるようになりました。 ＜『勘定奉行 i 8』をお使いの場合＞	12
	追加で登録した、仕訳伝票の汎用データの「受入データ形式」を、すべての利用者共通で利用できるようになりました。	12
	『SUPER COMPACT Pathfinder』との連携で、貸借対照表は「残高」・損益計算書は「発生」という場合も、一度に集計して、連携できるようになりました。	14

	【その他の変更情報】	
	メニュー形式が「メニューバー」の場合でも、「奉行 i メニュー」を表示できるようになりました。	14

	税理士事務所（ASOS会員）のお客様へ	
	【導入処理】	
	申告結果などのメールの送信先を、最大3件まで登録できるようになりました。	14

注 意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

OMSS 業務支援サービス



- 「OMSS OBCメンテナンスサポートサービス」の「業務支援サービス」に対応しました。

「OMSS OBCメンテナンスサポートサービス（以下、OMSS）」にご加入いただいているお客様向けに、当システムを活用して業務生産性や情報活用の向上を支援する「業務支援サービス」をご用意しました。

また、新たに「OMSS+」というサービスも用意しています。「OMSS」にご加入いただいているお客様が、製品や業務カテゴリごとに、さらに充実した便利さを追求いただくにあたり、お客様が選択できるサービスです。

「OMSS」や「業務支援サービス」の詳細については、以下のサイトをご確認ください。

<http://www.obc.co.jp/click/omss/>

注 意

- 「業務支援サービス」は、「OMSS」の契約期間中に利用できるサービスです。
「OMSS」の契約期間が終了した時点で、「業務支援サービス」も利用できなくなりますので、ご注意ください。
- 「OMSS+」は、「OMSS」にご加入いただいているお客様が、別途、追加料金によってご利用いただけるサービスです。

当システムでは、以下の「業務支援サービス」について利用できます。

■電子記録債権連携サービス

参 考

操作説明（ヘルプ）では、以下のように記載しています。

- 「OMSS」の「業務支援サービス」で提供する機能

OMSS

または『OMSS』

- 「OMSS+」の「業務支援サービス」で提供する機能

OMSS PLUS

または『OMSS+』

■電子記録債権連携サービス

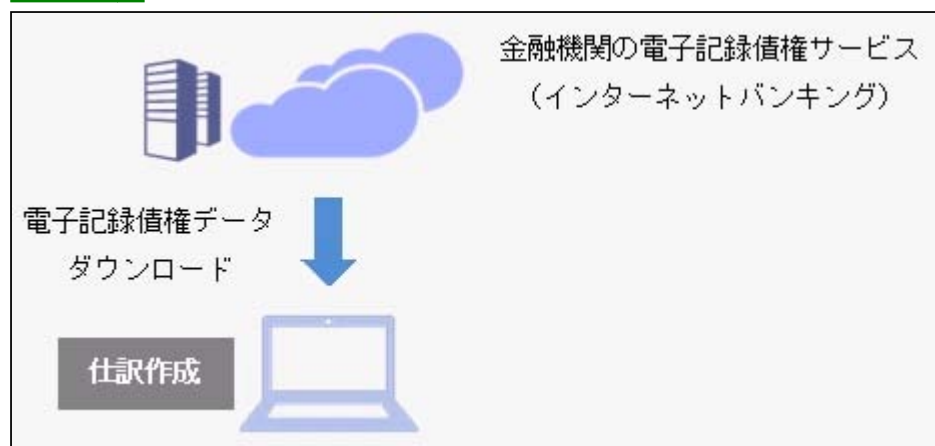
<「OMSS」をお使いの場合>

「電子記録債権」とは、事業者の資金調達の円滑化等を図るために創設された、既存の手形・売掛債権とは異なる新たな金銭債権です。

このサービスをご利用いただくことで、金融機関の電子記録債権サービスでダウンロードした電子記録債権（債務）データファイルをもとに、簡単に仕訳伝票を作成できます。

※ASOS会員のお客様の場合は利用できません。

▼イメージ図



《 関連メニュー 》

[電子記録債権処理]メニューの各メニュー

電子記録債権連携サービス（てん末管理対応サービス）

<「OMSS+」をお使いの場合>

『OMSS+』の「てん末管理対応サービス」をご利用いただくことで、電子記録債権の仕訳自動作成に加えて、割引や決済のてん末管理が行えるようになります。

また、電子記録債務のデータの生成も可能となります。電子記録債権の管理と業務の効率化を実現します。

上記、「業務支援サービス」の利用期間を確認できる、[管理ツール]-[ライセンス一覧]メニューが追加されました。

当システムで使用できる「業務支援サービス」について、利用期間を一覧で確認できます。

また、当システムおよびオプション製品についても、ライセンス情報（登録番号やライセンスキー等）を一覧で確認できます。

▼イメージ図

※利用期間やライセンス情報の最新情報は、以下の方法で取得できます。

【インターネット接続環境のコンピュータで、当システムをお使いの場合】
常に最新情報が表示されます。

【インターネットに接続されていないコンピュータで、当システムをお使いの場合】
OMS Sにご加入いただいたお客様がダウンロードできる「OMS Sライセンスファイル」を、[ライセンス一覧]メニューで読み込むことで最新情報を表示できます。

※[ライセンス一覧]メニューは、管理者だけに表示されます。

※[ライセンス一覧]メニューは、ASOS会員のお客様の場合は表示されません。

帳票全般

- 決算報告書などの特定の帳票だけ、どの利用者でも共通の印刷レイアウトにできるようにしました。

集計条件や印刷の条件を、利用者ごとに保持するか、全利用者で共通で保持するかを設定できるようになりました。

※[会社運用設定]メニューの[基本設定]ページの「条件設定の保持」で設定できます。

以下のような場合に、有効です。

- 決算報告書などの特定の帳票だけ、どの利用者でも共通の印刷レイアウトにする場合
- 税理士事務所など、どの利用者でも同じ設定条件で印刷する場合

- 帳票で、集計条件のマスターコードを、次回以降も固定できます。（コード保存）

＜『勘定奉行 i 8』をお使いの場合＞

コード保存の具体的な利用方法は、操作説明の「集計条件のマスターコードを、次回以降も固定する」をご確認ください。

※[会計帳票]の各帳票メニューや決算報告書については、すでにこの機能が追加されていますが、他の帳票にも機能が追加されました。

《 関連メニュー 》

- ・ [会計帳票]-[内訳表]-[現預金内訳表]メニュー
- ・ [会計帳票]-[資金繰]-[資金繰実績推移表]／[資金繰明細表]メニュー
- ・ [分析帳票]-[推移表]／[対比表]の各メニュー
- ・ [予算管理]-[予算実績対比表]の各メニュー
- ・ [消費税申告]-[科目別課税対象額集計表]メニュー／[科目別税区分集計表]メニュー／[税区分明細表]メニュー
- ・ [決算処理]-[キャッシュ・フロー計算書]-[キャッシュ・フロー計算書]／[キャッシュ・フロー精算表]メニュー

仕訳処理



- 伝票検索後、条件に該当する明細行が青色で強調表示されるとともに、その行へジャンプでき、見つけやすくなりました。

＜『勘定奉行 i 8』をお使いの場合＞

[条件設定]画面で指定した条件と一致する明細行が、青色で強調されて表示されるようになりました。

▼イメージ図

例) 「021 仙台支店」を条件指定した場合

行	借方	貸方	摘要
部門 / 勘定科目 / 補助科目	金額	部門 / 勘定科目 / 補助科目	金額
001 第一営業部		002 経理	
T02 広告宣伝費	1,500,000	T10 当座預金	15,000,000
5.0%	(31,428	001 東都中央銀行本店	
2 002 第二営業部			
T02 広告宣伝費	1,500,000		
5.0%	(31,428		
3 011 札幌支店			
T02 広告宣伝費	1,000,000		
5.0%	(47,819		
4 021 仙台支店			
T02 広告宣伝費	1,000,000		
5.0%	(47,819		
5 001 北関東支店			
T02 広告宣伝費	700,000		

また、一致した明細行が次画面以降にある場合でも、[次検索明細]（F8）を押すことで、該当する明細行へジャンプでき、効率的に見つけやすくなりました。

※ [次検索明細]（F8）は、[Ctrl] キーでWindowsファンクションを切り替えると、以下のように表示されます。



《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票リスト]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票承認]-[仕訳伝票承認]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳入力補助]-[定型仕訳登録]メニュー

- 仕訳伝票の入力時に、借方の取引先を貸方に複写する機能が追加され、効率的に入力できます。

[仕訳処理]画面で、貸方の取引先のコード入力欄にカーソルが入ったときに、借方の取引先を複写する機能が追加されました。

※取引先は、『Bシステム』をお使いの場合は管理できません。

※[仕訳処理 - 設定]画面の[複写設定]ページの借方複写で設定

▼イメージ図



これにより、借方貸方それぞれで、同じサブマスターのコードを指定する煩雑さが解消されます。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]-[仕訳帳入力]メニュー

- 仕訳伝票リストの画面上でも、付箋の貼り付けや取り外しができるようになりました。

[仕訳処理]-[仕訳伝票リスト]メニューのリスト参照画面上では、今までは、貼ってある付箋を確認するだけでしたが、貼ったりはがしたり、メモ内容を編集したりできるようになりました。

分析帳票



- 推移表・対比表から、直接元帳にジャンプして、金額を追跡できるようになりました。

金額の推移や前年比から変化の大きい科目にあたりをつけて、そのまま元帳に直接ジャンプすることで、効率的に明細レベルでの確認作業ができます。

▼イメージ図

①前期と比べて変更の大きい金額欄を選択して[ジャンプ](F6)を押すか、ダブルクリックします。

コード	科目名	当期	前期	当期
701	荷造り装費	1,238,182	0	2,184,288
702	広告宣伝費	14,476,198	14,476,198	14,339,054
704	交際費	2,616,650	816,192	137,620
710	貸倒引当金繰入額			
721	給料手当			
722	賞与			
730	法定福利費			
740	旅費交通費			
741	通信費			
742	消耗品費			

他の帳票へのジャンプ

②続いて、[他の帳票へジャンプ]画面で「元帳」ボタンをクリックします。

《 関連メニュー 》

- ・ [分析帳票]-[推移表]の各メニュー
- ・ [分析帳票]-[対比表]の各メニュー

- 管理会計帳票の印刷条件が、パターンごとに保持されるようになりました。
 <『管理会計オプション』をお使いの場合>

管理会計帳票の[印刷条件設定]画面の[印刷設定]ページ・[プリンタ設定]ページの設定した印刷条件が、パターンごとに保持されるようになりました。

※[基本設定]ページ・[詳細条件]ページの印刷条件は、以前からパターンごとに保持されています。

今までは、[管理会計帳票]-[管理会計帳票出力]-[管理会計分析表]メニューなど、1つのメニュー内でパターンごとに帳票レイアウトが異なる（例えば、1つの帳票が用紙サイズ「A4」の縦で、もう1つの帳票が「B4」の横）場合に、それぞれの帳票を印刷するたびに用紙サイズや印刷の向きを切り替える必要がありました。

これからはパターンごとに印刷条件が保持されるため、切り替える手間が省けます。

▼イメージ図（印刷条件設定）

[印刷設定]ページ

[プリンタ設定]ページ

《 関連メニュー 》

- ・ [管理会計帳票]-[管理会計帳票出力]-[管理会計分析表]メニュー
- ・ [管理会計帳票]-[管理会計帳票出力]-[管理会計集計表]メニュー
- ・ [管理会計帳票]-[管理会計帳票出力]-[管理会計推移表]メニュー

配賦処理

- 履歴メニューから、配賦伝票を一括で削除できるようになりました。
＜『勘定奉行 i 8』をお使いの場合＞

配賦基準（配賦パターン）を見直して配賦をやり直す場合、今までは、[仕訳処理]メニューなどで配賦伝票を検索して削除する必要がありましたが、今後は、[配賦処理]-[部門実績配賦]-[部門実績配賦履歴]メニューから配賦伝票を一括削除できます。

決算処理

- 決算報告書を、要約印刷する・しないを都度切り替えて、出力できるようになりました。

[決算処理]-[決算報告書]-[決算報告書]メニューの決算報告書を、要約印刷する場合としない場合を、それぞれの用途に応じて、都度切り替えて出力できるようになりました。今までは、[要約設定]メニューで、要約したり解除したりと煩雑な作業が必要でしたが、今回から、要約設定はそのままに、決算報告書の条件で要約印刷と要約しない印刷を切り替えるだけで、簡単に出力できます。

また、必要に応じて、それぞれの見出し項目を別々に設定できます。

※要約する・しないの使用方法是、操作説明の「決算報告書を作成する」をご参照ください。

- 決算報告書を、それぞれの用途に応じて、要約形式（要約設定や見出し項目の内容）を複数用意できるようになりました。
＜『勘定奉行 i 8』をお使いの場合＞

[決算処理]-[決算報告書]-[決算報告書]メニューの決算報告書を、社内用や外部向けなどの用途に応じて、要約形式（要約設定や見出し項目の内容）を複数用意できるようになり、決算報告書のパターンと関連付けることで、パターンを切り替えながら効率的に印刷できます。

※要約形式を複数用意する手順は、操作説明の「決算報告書を作成する」をご参照ください。

- キャッシュ・フロー計算書が「直接法」でも印刷できます。

今まで、[決算処理]-[キャッシュ・フロー計算書]-[キャッシュ・フロー計算書]メニューのキャッシュ・フロー計算書の表示方法は、「間接法」だけに対応していましたが、「直接法」でも印刷できるようになりました。

表示方法は、[導入処理]-[会計期間設定]-[会計期間設定]メニューで選択します。

＜ 関連メニュー ＞

- ・ [分析帳票]-[キャッシュ・フロー確認表]-[キャッシュ・フロー確認表]メニュー
- ・ [決算処理]-[キャッシュ・フロー計算書]（または[分析帳票]-[キャッシュ・フロー確認表]）-[キャッシュ・フロー項目設定]-[キャッシュ・フロー属性設定]メニュー



- 補助科目ごとに、キャッシュ・フロー属性を設定できるようになりました。

1つの勘定科目で複数のキャッシュ・フロー項目へ影響を与える場合や、取引内容によりキャッシュ・フロー項目へ影響したりしなかったりする勘定科目の場合には、補助科目ごとにキャッシュ・フロー属性を設定することで、適切に反映させることができます。

※補助科目ごとに設定する方法は、操作説明の「補助科目ごとにキャッシュ・フロー属性を設定する」をご参照ください。

随時処理

- 他の奉行シリーズまたは他システムで作成された仕訳伝票の伝票No. を、当システムで手入力した仕訳伝票の伝票No. とは分けて、付番管理できるようになりました。

＜『勘定奉行 i 8』をお使いの場合＞

[会計期間設定]メニューの[伝票設定]ページの付番伝票で、伝票No. を、業務別に付番管理できるようになりました。

例えば、勘定奉行内で手入力した仕訳伝票については、伝票No. を月ごとに自動付番していても、『商蔵奉行』『償却奉行／固定資産奉行』などの奉行シリーズで付番した伝票No. をそのまま勘定奉行に受け入れることができるため、伝票No. をもとに受入元のシステム側のデータと突き合わせる際に有効です。

また、『商蔵奉行』は何番台、『償却奉行／固定資産奉行』は何番台、と業務別に付番管理することもできます。

なお、「汎用データ受入（仕訳伝票データ受入）」についても別に管理できます。

さらに、上記の付番管理のほか、伝票No. の重複チェックについても、[会計期間設定]メニューの[伝票設定]ページの重複チェック伝票で、業務別に管理できます。

例えば、勘定奉行内で手入力する仕訳伝票だけ重複していないかチェックして誤入力を防ぐとともに、『商蔵奉行』『償却奉行／固定資産奉行』などで作成された仕訳伝票の伝票No. については、重複を許可し、その伝票No. での受け入れを優先させたい場合に有効です。

- 追加で登録した、仕訳伝票の汎用データの「受入データ形式」を、すべての利用者共通で利用できるようになりました。

＜「Ver. 2. 03」をセットアップして運用していた場合だけ、ご確認ください。＞

「Ver. 2. 03」では、[随時処理]-[汎用データ受入]-[仕訳伝票データ受入]-[仕訳伝票データ受入]メニューで「受入データ形式」を追加する場合は、利用者ごとに[受入ファイル設定]ページで、[形式作成] ボタンをクリックして作成が必要でしたが、今後は、すべての利用者共通で運用できます。

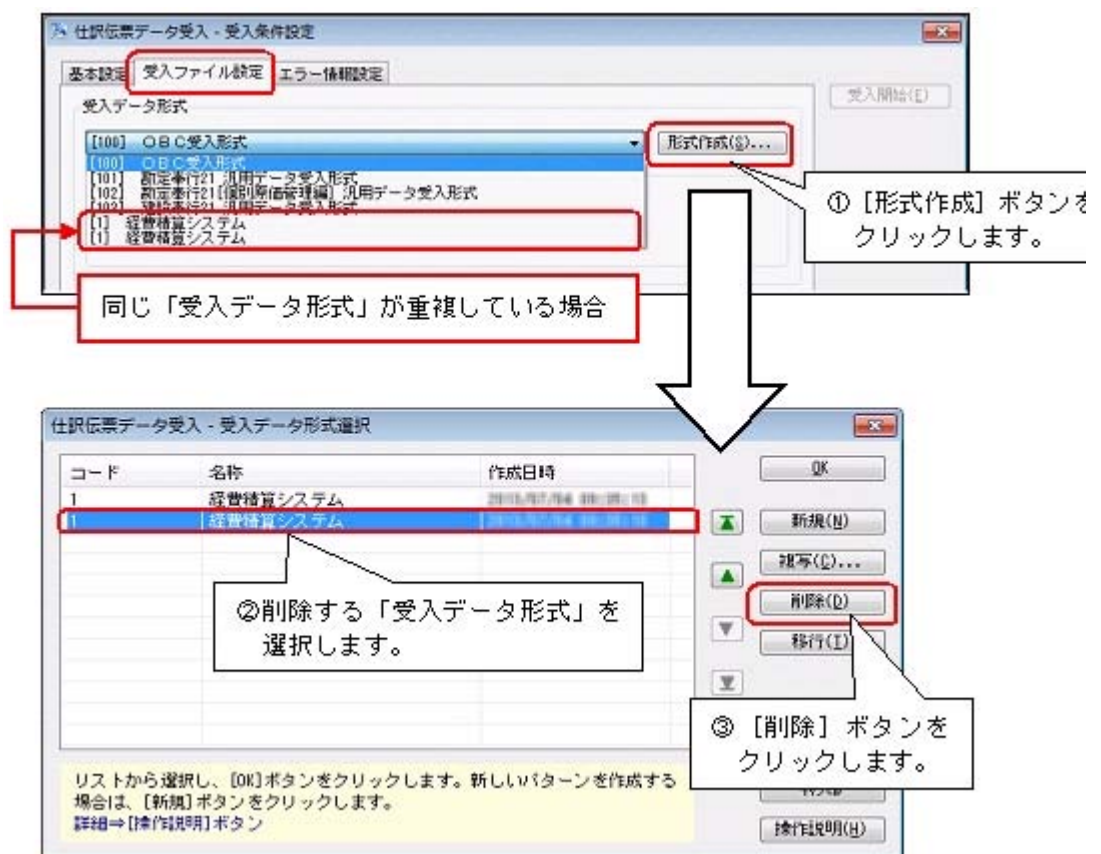
▼イメージ図（受入データ形式）



※「Ver. 2.03」で、[随時処理]-[汎用データ受入]-[仕訳伝票データ受入]-[仕訳伝票データ受入]メニューを複数の利用者が運用していた場合、新しいバージョンになると、同じ「受入データ形式」が重複して表示されることがあります。
その場合は、1つだけ残して、他の重複した「受入データ形式」は削除してください。

▼イメージ図（「受入データ形式」の削除）

同じ「受入データ形式」が重複して表示されている場合は、[受入条件設定]画面の[受入ファイル設定]ページで、以下のように削除します。



- 『SUPER COMPACT Pathfinder』との連携で、貸借対照表は「残高」・損益計算書は「発生」という場合も、一度に集計して、連携できるようになりました。


[随時処理]-[他システム連携]メニューで『SUPER COMPACT Pathfinder』と連携する際、貸借対照表・損益計算書別々に、集計方法「発生/累計」を選択できるようになりました。

貸借対照表は「残高」・損益計算書は「発生」で集計して連携することが、一度の操作でできます。

その他の変更情報

- メニュー形式が「メニューバー」の場合でも、「奉行iメニュー」を表示できるようになりました。

[管理ツール]-[利用者別設定]メニューの[メニュー設定]ページで設定した、メニュー形式が「メニューバー」の場合でも、「奉行iメニュー」を表示できるようになりました。

「メニューバー」の右下の  アイコンをクリックすると、別ウィンドウで「奉行iメニュー」を表示できます。

※「奉行iメニュー」のご利用には、インターネット接続環境が必要となります。

税理士事務所（ASOS会員）のお客様へ

導入処理

- 申告結果などのメールの送信先を、最大3件まで登録できるようになりました。

[導入処理]-[税理士登録]-[電子申告情報変更]-[税理士情報変更]メニューで、メールアドレスを、メイン1つに加えて、サブメールアドレスとして2件、最大3件まで登録できるようになりました。

登録先のメールアドレスへ、メッセージボックスに情報が格納された段階など、「税務署からのお知らせ」メールが送信されます。

税理士のほかに、依頼元の顧問先などのメールアドレスを登録すると、申告結果を共有できます。

◀ 関連メニュー ▶


[導入処理]-[電子申告情報変更]-[納税者情報変更]メニュー

勘定奉行 / シリーズ
機能アップガイド

Ver.2.03



目次

※  マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

	【帳票全般】	
	元帳や決算報告書で、複数の集計条件を、用途・目的に合わせてパターン化できます。 ＜『勘定奉行 i 8』をお使いの場合＞	2
	元帳や内訳表・集計表などの帳票で、集計条件のマスターコードを、次回以降も固定できます。 ＜『勘定奉行 i 8』をお使いの場合＞	3
	【会計帳票】	
	元帳の集計（画面・印刷・転送すべて）のパフォーマンスが向上しました。	3
	【配賦処理】	
	配賦を実行する前の確認リストの印刷で、2 ページ以降にも科目名を印字することで、配賦結果が確認しやすくなりました。	4
	【決算処理】	
	法人税電子申告の添付書類「財務諸表 (XBRL)」データの連動で、ファイルを作成せずに、直接、『申告奉行 [法人税・地方税編]』で受け入れられるようになりました。	5
	【随時処理】	
	外部システムで作成された仕訳伝票の汎用データを受け入れる場合など、伝票日付が同じ伝票を1枚の仕訳伝票にまとめることができます。 ＜『勘定奉行 i 8』をお使いの場合＞	5
	外部システムで作成された仕訳伝票の汎用データなど、摘要の文字数が上限（40文字）を超えている際に、摘要を加工してその仕訳伝票を受け入れることができます。 ＜『勘定奉行 i 8』をお使いの場合＞	5
	仕訳伝票の汎用データを、複数の目的で、定期的に作成している場合に、異なる出力条件をパターン化できます。 ＜『勘定奉行 i 8』をお使いの場合＞	6
	仕訳伝票の汎用データを、複数の外部システムから、定期的に受け入れている場合に、異なる受入条件をパターン化できます。 ＜『勘定奉行 i 8』をお使いの場合＞	6
	『建設奉行21』対応のソリューションと連携が可能になりました。	6
	『申告奉行 [法人税・地方税編]』での税金のシミュレーション用に、「四半期」「月次」のデータを連動できるようになりました。	6
	税理士事務所（ASOS会員）のお客様へ	
	【データ領域管理】	
	『償却奉行』をあわせてお使いの場合に、会社データごとに利用する製品を設定できるメニューが追加されました。	7

注 意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

帳票全般



- 元帳や決算報告書で、複数の集計条件を、用途・目的に合わせてパターン化できます。

＜『勘定奉行 i 8』をお使いの場合＞

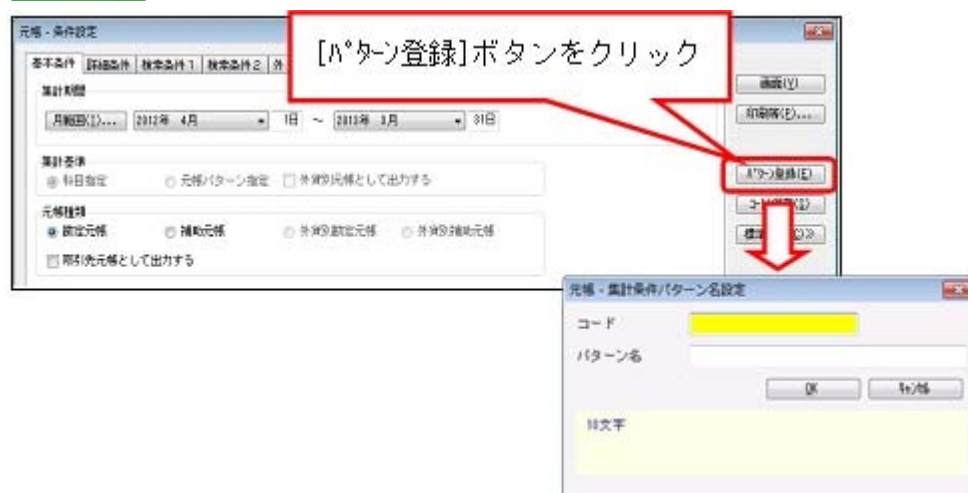
以下のように、用途・目的に合わせてパターン化すると、有効です。

○決算報告書など、貸借対照表は「累計」で出力して損益計算書は「発生」で出力するといったように、帳票ごとに集計方法（発生・累計）を切り替えている場合

○元帳で、勘定科目を分類ごとに毎回、複数回に分けて出力している場合

○固定した複数の部門グループの帳票を、毎回出力している場合

▼イメージ図



集計条件パターンの具体的な利用方法は、操作説明の「複数の集計条件を、用途・目的に合わせてパターン化する」をご確認ください。

《 関連メニュー 》

- ・ [会計帳票]-[元帳]-[元帳]メニュー
- ・ [決算処理]-[決算報告書]-[決算報告書]メニュー



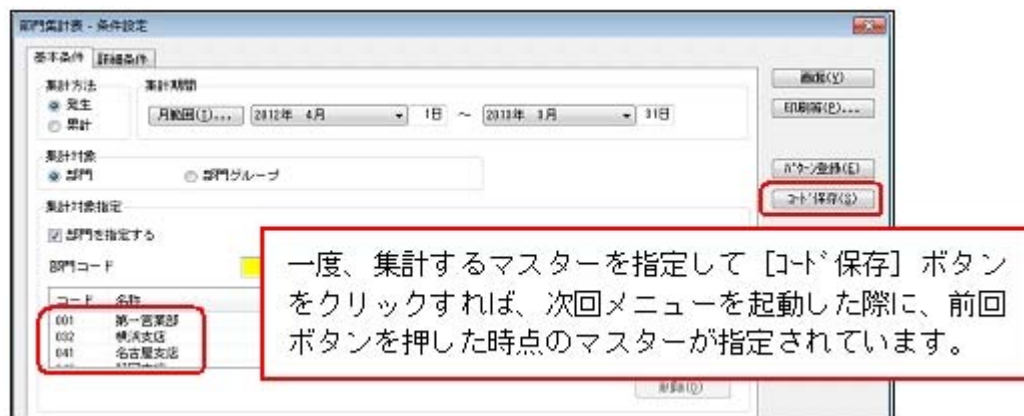
- 元帳や内訳表・集計表などの帳票で、集計条件のマスターコードを、次回以降も固定できます。

＜『勘定奉行 i 8』をお使いの場合＞

以下のような運用の場合、集計条件のマスターコードを次回以降も固定すると、有効です。

- 常に、確認するマスターが固定している場合
- 常に、固定のマスターと、毎回変更するマスターが混在している場合
または
- 常に、固定のマスターと、全範囲のマスターが混在している場合

▼イメージ図



コード保存の具体的な利用方法は、操作説明の「集計条件のマスターコードを、次回以降も固定する」をご確認ください。

《 関連メニュー 》

- ・ [会計帳票] の各帳票メニュー
 - ※ [現預金内訳表] メニュー・[資金繰実績推移表] メニュー・[資金繰明細表] メニューを除く
- ・ [決算処理] - [決算報告書] - [決算報告書] メニュー

会計帳票

- 元帳の集計（画面・印刷・転送すべて）のパフォーマンスが向上しました。

[会計帳票] - [元帳] - [元帳] メニューで、取引先元帳や外貨別元帳、部門を個別に表示する場合のような、マスターと勘定科目を組み合わせるケースで、パフォーマンスが向上しました。

「指定された日付範囲に明細がある場合だけ出力する」際に、次の科目を検索するパフォーマンスが向上しています。

※ 取引先は、『Bシステム』をお使いの場合は管理できません。

※ 外貨別元帳は、『外貨入力オプション』をお使いの場合に使用できます。

配賦处理

- 配賦を実行する前の確認リストの印刷で、2ページ以降にも科目名を印字することで、配賦結果が確認しやすくなりました。

〔配賦処理〕-〔部門実績配賦〕-〔部門実績配賦〕メニューの配賦リスト（基準確認・結果確認）で、２ページ以降にも科目を印字すると、どの科目の配賦金額が把握しやすくなります。

※[印刷等条件設定]画面の[基本設定]ページで設定

▼イメージ図

配賦結果確認

(1ページ目)

[illegible]

(2ページ目)

部門実績配賦リスト									
※ 2022年 4月 1日 至 2022年 3月 31日									
〇〇〇〇株式会社									
【配賦パターン】	0002	所属部署配賦パターン							
【部門】	000	その他							
【配賦年度】									
科目	000 元金	001 第一事業部 元金	002 第二事業部 元金	003 総務部 元金	004 総務部 元金	005 総務部 元金	006 総務部 元金	007 総務部 元金	008 総務部 元金
経費科									
新聞広告費									
新聞広告費	1,176.00	24,717.00	27,756.00	28,224.00	27,756.00	27,756.00	27,756.00	27,756.00	27,756.00
印刷費	0	31,964.00	24,000.00	48,000.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00
印刷費	0	25,440.00	38,000.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00
印刷費	0	35,400.00	42,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00
印刷費	0	35,400.00	24,000.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00
印刷費	0	25,440.00	38,000.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00
印刷費	0	35,400.00	42,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00
印刷費	0	35,400.00	24,000.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00
印刷費	0	25,440.00	38,000.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00
印刷費	0	35,400.00	42,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00
印刷費	0	35,400.00	24,000.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00
印刷費	0	25,440.00	38,000.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00
印刷費	0	35,400.00	42,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00
印刷費	0	35,400.00	24,000.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00
印刷費	0	25,440.00	38,000.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00
印刷費	0	35,400.00	42,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00
印刷費	0	35,400.00	24,000.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00
印刷費	0	25,440.00	38,000.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00
印刷費	0	35,400.00	42,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00
印刷費	0	35,400.00	24,000.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00
印刷費	0	25,440.00	38,000.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00
印刷費	0	35,400.00	42,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00
印刷費	0	35,400.00	24,000.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00
印刷費	0	25,440.00	38,000.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00
印刷費	0	35,400.00	42,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00
印刷費	0	35,400.00	24,000.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00
印刷費	0	25,440.00	38,000.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00
印刷費	0	35,400.00	42,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00
印刷費	0	35,400.00	24,000.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00
印刷費	0	25,440.00	38,000.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00
印刷費	0	35,400.00	42,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00
印刷費	0	35,400.00	24,000.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00
印刷費	0	25,440.00	38,000.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00
印刷費	0	35,400.00	42,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00
印刷費	0	35,400.00	24,000.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00
印刷費	0	25,440.00	38,000.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00
印刷費	0	35,400.00	42,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00
印刷費	0	35,400.00	24,000.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00
印刷費	0	25,440.00	38,000.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00
印刷費	0	35,400.00	42,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00
印刷費	0	35,400.00	24,000.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00
印刷費	0	25,440.00	38,000.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00
印刷費	0	35,400.00	42,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00
印刷費	0	35,400.00	24,000.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00
印刷費	0	25,440.00	38,000.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00
印刷費	0	35,400.00	42,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00
印刷費	0	35,400.00	24,000.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00
印刷費	0	25,440.00	38,000.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00
印刷費	0	35,400.00	42,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00
印刷費	0	35,400.00	24,000.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00
印刷費	0	25,440.00	38,000.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00
印刷費	0	35,400.00	42,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00
印刷費	0	35,400.00	24,000.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00
印刷費	0	25,440.00	38,000.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00
印刷費	0	35,400.00	42,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00
印刷費	0	35,400.00	24,000.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00
印刷費	0	25,440.00	38,000.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00
印刷費	0	35,400.00	42,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00
印刷費	0	35,400.00	24,000.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00
印刷費	0	25,440.00	38,000.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00
印刷費	0	35,400.00	42,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00
印刷費	0	35,400.00	24,000.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00
印刷費	0	25,440.00	38,000.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00
印刷費	0	35,400.00	42,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00
印刷費	0	35,400.00	24,000.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00
印刷費	0	25,440.00	38,000.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00
印刷費	0	35,400.00	42,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00
印刷費	0	35,400.00	24,000.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00
印刷費	0	25,440.00	38,000.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00
印刷費	0	35,400.00	42,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00
印刷費	0	35,400.00	24,000.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00
印刷費	0	25,440.00	38,000.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00
印刷費	0	35,400.00	42,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00
印刷費	0	35,400.00	24,000.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00
印刷費	0	25,440.00	38,000.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00
印刷費	0	35,400.00	42,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00
印刷費	0	35,400.00	24,000.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00
印刷費	0	25,440.00	38,000.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00
印刷費	0	35,400.00	42,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00
印刷費	0	35,400.00	24,000.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00
印刷費	0	25,440.00	38,000.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00
印刷費	0	35,400.00	42,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00
印刷費	0	35,400.00	24,000.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00
印刷費	0	25,440.00	38,000.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00
印刷費	0	35,400.00	42,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00
印刷費	0	35,400.00	24,000.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00
印刷費	0	25,440.00	38,000.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00
印刷費	0	35,400.00	42,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00	24,000.00
印刷費	0	35,400.00	24,000.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00	37,440.00
印刷費	0	25,440.00	38,000.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00	32,400.00
印刷									

なお、科目をすべてのページに印字する場合は、別途、[印刷設定] ページで各情報の列の間隔を狭く補正することで、確認しやすいリストになり、印刷枚数も抑えられます。

また、合計を表示できる機能も追加されています。

※[条件設定]画面の[詳細条件]ページで設定できます。

決算処理



- 法人税電子申告の添付書類「財務諸表(XBRL)」データの連動で、ファイルを作成せずに、直接、『申告奉行[法人税・地方税編]』で受け入れられるようになりました。

『申告奉行[法人税・地方税編]』と連動する場合、[決算処理]-[決算報告書]-[電子申告]-[電子申告データ作成[財務諸表]]メニューで作成した電子申告データ「財務諸表(XBRL)」を、受け入れる方法が2通りになりました。

- ・ 直接、『申告奉行[法人税・地方税編]』で受け入れる
- ・ ファイルを作成してから、『申告奉行[法人税・地方税編]』で受け入れる ※今まではこの方法

『申告奉行[法人税・地方税編]』が、当システムと同じコンピュータにセットアップされている場合は、「直接受入」を選択します。異なるコンピュータの場合は、「ファイル受入」を選択します。

随時処理



- 外部システムで作成された仕訳伝票の汎用データを受け入れる場合など、伝票日付が同じ伝票を1枚の仕訳伝票にまとめることができます。

＜『勘定奉行 i 8』をお使いの場合＞

[随時処理]-[汎用データ受入]-[仕訳伝票データ受入]-[仕訳伝票データ受入]メニューから、外部システムで1伝票1明細で作成された仕訳伝票データを受け入れる場合など、伝票日付が同じ伝票を1枚の仕訳伝票にまとめることができます。

※1伝票あたり、最大250明細までまとめます。

※[仕訳伝票データ受入]メニューの[拡張項目]ページで設定できます。

なお、1枚の伝票にまとめることで、一度に大量のデータを受け入れる際に、その時間を短縮する効果もあります。



- 外部システムで作成された仕訳伝票の汎用データなど、摘要の文字数が上限（40文字）を超えている際に、摘要を加工してその仕訳伝票を受け入れることができます。

＜『勘定奉行 i 8』をお使いの場合＞

[随時処理]-[汎用データ受入]-[仕訳伝票データ受入]-[仕訳伝票データ受入]メニューで、今までは、摘要の文字数の上限（40文字）を超えている場合、必ず未受入になっていましたが、今後は、摘要を加工して受け入れられるようになりました。

摘要文字をすべて受け入れるか、上限を超えた文字（41文字以降）を切り捨てて受け入れるかを選択できます。

※[仕訳伝票データ受入]メニューの[拡張項目]ページで設定できます。

外部システムで作成された、仕訳伝票の汎用データを受け入れる場合などに有効です。外部システム側で別途、摘要の文字数を当システムに合わせる必要はありません。



- 仕訳伝票の汎用データを、複数の目的で、定期的に作成している場合に、異なる出力条件をパターン化できます。

＜『勘定奉行 i 8』をお使いの場合＞

[随時処理]-[汎用データ作成]-[仕訳伝票データ作成]-[仕訳伝票データ作成]メニューで、仕訳伝票の汎用データを、以下のような複数の目的で、定期的に作成している場合に、それぞれパターンとして登録すると、有効です。

- ・ 仕訳伝票データを外部システムで使用する
- ・ 仕訳伝票のチェックや分析用に、データを加工して2次利用する

※詳細は、操作説明の「出力条件パターンの利用方法」参照



- 仕訳伝票の汎用データを、複数の外部システムから、定期的に受け入れている場合に、異なる受入条件をパターン化できます。

＜『勘定奉行 i 8』をお使いの場合＞

[随時処理]-[汎用データ受入]-[仕訳伝票データ受入]-[仕訳伝票データ受入]メニューで、仕訳伝票の汎用データを、「経費精算システム」「販売管理システム」といった複数の外部システムから、定期的に作成している場合に、受入条件が異なるときは、それぞれパターンとして登録すると有効です。

- ・ 「経費精算システム」と「販売管理システム」で、受入データ形式が異なる
- ・ 販売管理システムの仕訳伝票データは、同じ日付の伝票を1枚にまとめて受け入れる

※詳細は、操作説明の「受入条件パターンの利用方法」参照

- 『建設奉行21』対応のソリューションと連携が可能になりました。

[随時処理]-[汎用データ作成]-[仕訳伝票データ作成]-[仕訳伝票データ作成]メニューで、建設奉行21形式の汎用データを作成できるようになりました。

※奉行21シリーズの「他ソフト編集」形式と同じ項目レイアウトで出力できます。

また、[随時処理]-[汎用データ受入]-[仕訳伝票データ受入]-[仕訳伝票データ受入]メニューで、『建設奉行21』のソリューション製品で作成した仕訳伝票のデータを受け入れできるようになりました。

《 関連メニュー 》

[随時処理]-[奉行間連動]-[連動データ受入]-[仕訳伝票受入]メニュー

- 『申告奉行[法人税・地方税編]』での税金のシミュレーション用に、「四半期」「月次」のデータを連動できるようになりました。

[申告奉行データ作成]メニューで、今までは、税務申告として必要な「確定」「中間」だけの連動でしたが、「四半期」「月次」での税金のシミュレーション用の連動もできます。

データ領域管理

- 『償却奉行』をあわせてお使いの場合に、会社データごとに利用する製品を設定できるメニューが追加されました。

会計カテゴリの製品（『勘定奉行』および『償却奉行』）を同じコンピュータにセットアップしてお使いの場合に、会社データごとに利用する製品を設定できるメニューが追加されました。

奉行製品上のデータ領域選択画面に、利用するデータ領域だけが表示されます。

○[データ領域管理]-[データ領域保守]-[データ領域別利用製品制限]メニュー

▼利用例

税理士事務所では顧問先の固定資産管理も代行しているため、『勘定奉行』と『償却奉行』を利用しているが、顧問先は『勘定奉行』だけを利用している場合







機能アップガイド

Ver.2.01 / Ver.2.00







目次

※  マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

【メニュー体系】	
メニューの構成を変更しました。	3
【帳票全般】	
転送のパフォーマンスが向上しました。	3
【導入処理】	
[会社運用設定]メニューに、[承認設定]ページが追加されました。	3
勘定科目リストに、[仕訳処理]メニューで使用する勘定科目だけを印刷できるようになりました。	3
1科目を1行で印字することで、印刷枚数を減らすできるようになりました。	4
印刷する際に、項目ごとの間隔を、お客様の見やすさに合わせて調整できるようになりました。	4
勘定科目リストを印刷する際に、科目区分や税区分の区分コードを除くことで、印刷枚数を減らすことができるようになりました。	4
補助科目のコード表を印刷できるようになりました。	5
補助科目などのマスターのリスト印刷に、件数が印字されるようになりました。	5
【仕訳処理】	
仕訳伝票リストで、伝票の途中で改ページされた場合、改ページの先頭に、伝票日付・伝票No. を印刷できるようになりました。	6
仕訳伝票リストを印刷する際に、空白の明細行を上へ詰めるか設定できるようになりました。	8
専用用紙・応用用紙（標準形式）でも、伝票No. 印字の有無を選択できるようになりました。	8
仕訳処理で、1画面に表示する明細行数を、より簡単に増やすことができるようになりました。	9
帳簿入力の画面上段で自科目の取引先・補助科目を切り替える際に、その場で未登録の科目を追加する操作が、簡単になりました。	10
 仕訳伝票の承認作業を、段階的に効率よくできるようになりました。	11
 定型仕訳のコード表を印刷できるようになりました。	11
[定型仕訳登録]メニューで、付箋機能を使用できるようになりました。	11
【分析帳票】	
 各項目（科目区分）の帳票全体に占める割合（構成比）やその金額推移を視覚的にとらえられる、構成グラフのメニューが追加されました。	12

< 『勘定奉行 i 8』 をお使いの場合 >

【管理会計帳票】		
＜『管理会計オプション』をお使いの場合＞		
	管理会計帳票を作成する際に、奉行上のメニューではおぎないきれない計算でも、Excelの計算式（関数）を組み込むことで、お客様独自の分析ができるようになりました。	12
	管理会計帳票で、科目名（行項目の名称）をバランスよく均等割り付けして出力できるようになりました。	13
	管理会計帳票で、行項目の名称セル内側の縦罫線を出力しない設定ができるようになりました。	14
	[帳票出力設定]メニューの位置を変更しました。	14
	帳票出力設定が印刷できるようになり、設定内容を確認しやすくなりました。	14
	管理会計の予算額など、実際に合算する前に、合算結果の金額をシミュレーションできるようになりました。	15
【消費税申告】		
	消費税の還付申告に関する明細書で、取引先マスターを検索して、取引先情報（氏名・住所）を入力できるようになりました。	15
	科目別課税対象額集計表などの消費税管理資料で、未承認・未転記の伝票を集計できるようになりました。	15
【決算処理】		
	決算報告書の印刷形式「勘定式」と「二期間」で共通だった、見出し項目設定や要約設定を、それぞれ個別の設定で印刷できるようになりました。	16
	[期末残高繰越]画面で、「繰越利益剰余金科目・消費税科目」の繰越残高の算出方法を確認できるようになりました。	17
	1つも部門が登録されていない場合は、取引先など、マスターごとに繰越利益剰余金を繰り越さず、全社の金額として繰り越されるようになりました。	17
【随時処理】		
	勘定科目マスターの項目「使用」の名称を、「使用区分」に変更しました。	17
	[消費税一括自動計算]メニューで、特定の仕訳明細の消費税を、一括で自動計算できるようになりました。	18
	[税区分一括変更]メニューで、税区分に加えて、特定の仕訳明細の事業区分を一括で変更できるようになりました。	18
	データ領域合算で、合算時に設定した勘定科目の関連付けを、前回情報として保持できるようになりました。	18
【その他の変更情報】		
	Windowsの[スタート]ボタンからの、ヘルプ等の起動方法が変更になりました。	19
税理士事務所（ASOS会員）のお客様へ		
【仕訳処理】		
	帳簿入力（簡単入力画面）の操作性が向上しました。	20

注意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

メニュー体系

- メニューの構成を変更しました。

＜『管理会計オプション』をお使いの場合＞

変更前	変更後
[管理会計帳票]-[帳票レイアウト設定]-[帳票出力設定]メニュー	[管理会計帳票]- [管理会計帳票出力] - [帳票出力設定] -[帳票出力設定]メニュー

帳票全般

- 転送のパフォーマンスが向上しました。

複数の部門個別の集計など、マスター別に連続して転送する場合に、パフォーマンスが向上しました。

例えば、科目別推移表（[科目別推移表]）のように、「前部門」「次部門」の集計ができる帳票でパフォーマンスが向上しています。

導入処理

- [会社運用設定]メニューに、[承認設定]ページが追加されました。

[会社運用設定]メニューに[承認設定]ページが追加され、[伝票設定]ページから承認に関する設定を移動しました。

- 勘定科目リストに、[仕訳処理]メニューで使用する勘定科目だけを印刷できるようになりました。

勘定科目リストを印刷する際に、今までは、未使用の勘定科目（[勘定科目登録]画面の[基本]ページで「未使用にする」にチェックを付けた科目）も印刷されていましたが、実際に、[仕訳処理]メニューで使用する勘定科目だけを印刷できるようになりました。

[勘定科目登録 - 印刷条件設定]画面の[基本設定]ページで、「未使用の科目を含める」のチェックを外すと、未使用の勘定科目を除いて印刷できます。

- 1科目を1行で印字することで、印刷枚数を減らすことができるようになりました。

今までのコードと名称の2段印字ではなく、1科目を1行で印字することで、印刷枚数を減らすことができるようになりました。

[印刷条件設定]画面の[基本設定]ページの印刷段数で、「1段」を選択すると、1科目が1行で印字されます。

▼イメージ図

勘定科目リスト		
会計期間：2012年 4月 1日 ～ 2013年 3月 31日		
OBC商事株式会社		
勘定科目	貸借区分	科目区分
100 現金	借方	A1220 現金計
101 小口現金	借方	A1220 現金計
110 当座預金	借方	A1230 預金計

1つの勘定科目の情報を1行で印字します。

《 関連メニュー 》

- ・ [導入処理]-[科目体系登録]-[勘定科目登録]メニュー
- ・ [導入処理]-[科目体系登録]-[補助科目登録]メニュー
- ・ [導入処理]-[科目体系登録]-[科目体系登録]メニュー
- ・ [導入処理]-[科目体系登録]-[管理会計科目登録]メニュー
※このメニュー『管理会計オプション』をお使いの場合に使用できます。
- ・ [導入処理]-[科目体系登録]-[出力様式登録]メニュー
※このメニューは、『SPシステム』または『Type NP』の場合に使用できます。

- 印刷する際に、項目ごとの間隔を、お客様の見やすさに合わせて調整できるようになりました。

項目ごとの間隔を、お客様の見やすさに合わせて調整して印刷できるようになりました。
調整することで、印刷枚数を減らすこともできます。

※間隔補正値は、[印刷条件設定]画面の[印刷設定]ページで設定できます。

《 関連メニュー 》

- ・ [導入処理]-[科目体系登録]-[勘定科目登録]メニュー
- ・ [導入処理]-[科目体系登録]-[補助科目登録]メニュー
- ・ [導入処理]-[科目体系登録]-[科目体系登録]メニュー
- ・ [導入処理]-[科目体系登録]-[管理会計科目登録]メニュー
※このメニュー『管理会計オプション』をお使いの場合に使用できます。
- ・ [導入処理]-[科目体系登録]-[出力様式登録]メニュー
※このメニューは、『SPシステム』または『Type NP』の場合に使用できます。

- 勘定科目リストを印刷する際に、科目区分や税区分の区分コードを除くことで、印刷枚数を減らすことができるようになりました。

勘定科目リストを印刷する際に、科目区分や税区分（事業区分）の区分コードを除いて、科目コードなど、必要なコードだけを印字することで、印刷枚数を減らすことができるようになりました。

[勘定科目登録 - 印刷条件設定]画面の[基本設定]ページで、「コードを印刷する」にチェックを付けて、「勘定科目コードだけを印刷する」を選択すると、区分コードを除いて印刷されます。

- 補助科目のコード表を印刷できるようになりました。

補助科目のコード表（「補助科目のコード・名称」「勘定科目ごとの補助科目の件数」だけの一覧表）を印刷できるようになりました。

[補助科目登録 - 印刷条件設定]画面の[基本設定]ページの印刷形式で、「コードリスト」を選択すると、補助科目のコード表を印刷できます。

▼イメージ図

補助科目コードリスト			
〇ＢＣ商事株式会社		会計期間：2012年 4月 1日 ～ 2013年 3月 31日	
		PAGE: 1	
勘定科目 補助科目	件数	勘定科目 補助科目	件数
110 当座預金	29 件	004 南の島銀行本店	
001 東都中央銀行本店		005 北海道銀行本店	
002 北日本銀行本店		006 東北銀行本店	
003 西部銀行本店		007 関東銀行本店	
004 南の島銀行本店		008 信越銀行本店	
005 北海道銀行本店		009 北陸銀行本店	
006 東北銀行本店		010 東海銀行本店	
007 関東銀行本店		011 近畿銀行本店	
008 信越銀行本店		000 その他	
009 北陸銀行本店			
010 東海銀行本店		704 交際費	3 件
011 近畿銀行本店		001 通常課税分	
012 中国銀行本店		002	
013 四国銀行本店		000	
014 九州銀行本店			
015 沖縄銀行本店			
016 関西銀行本店			
017 東京銀行本店			
018 神奈川銀行本店			
019 千葉銀行本店			

「補助科目コード」「補助科目名称」
「各勘定科目の補助科目の件数」が
印字されます。

- 補助科目などのマスターのリスト印刷に、件数が印字されるようになりました。

[導入処理]-[部門登録]-[部門登録]メニューの「部門リスト」や、[導入処理]-[科目体系登録]-[補助科目登録]メニューの「補助科目リスト」に、件数が印字されるようになりました。

▼イメージ図

補助科目コードリスト			
〇ＢＣ商事株式会社		会計期間：2012年 4月 1日 ～ 2013年 3月 31日	
		PAGE: 1	
勘定科目 補助科目	件数	勘定科目 補助科目	件数
110 当座預金	5 件		
001 東都中央銀行本店			
002 北日本銀行本店			
003 西部銀行本店			
004 南の島銀行本店			
000 その他			
111 普通預金	6 件		
001 東都中央銀行本店			
002 北日本銀行本店			
003 西部銀行本店			
004 南の島銀行本店			
105 三井住友銀行			
000 その他			
113 定期預金	5 件		
001 東都中央銀行本店			
002 北日本銀行本店			
003 西部銀行本店			
004 南の島銀行本店			
000 その他			
704 交際費	3 件		
001 通常課税分			
002 軽減税率非課税分			
000 その他			

例) 補助科目コードリスト
勘定科目ごとの補助科目
の件数が印字されます。

《 関連メニュー 》

- ・ [導入処理]-[科目体系登録]-[勘定科目登録]メニュー
- ・ [導入処理]-[外貨登録]-[外貨登録]メニュー

※このメニューは、『外貨入力オプション』をお使いの場合に使用できます。

- 仕訳伝票リストで、伝票の途中で改ページされた場合、改ページの先頭に、伝票日付・伝票No. を印刷できるようになりました。

[仕訳処理]-[仕訳伝票リスト]メニューの仕訳伝票リストで、1つの伝票が複数のページにまたがる場合に、そのつながりがわかるよう、改ページ後の先頭に伝票日付・伝票No. を出力できるようになりました。

枝番がついているため、連続性もわかります。

▼イメージ図

仕訳伝票リスト
日 2012年 5月 1日 至 2012年 5月 31日

PAGE: 1

B C 商事株式会社

借方	貸方
部門・勘定科目 / 補助科目	部門・勘定科目 / 補助科目
元帳	元帳
[伝票日付] 2012年 5月 1日 [伝票No.] 000003	[伝票区分] 通常伝票 [所在地区分] 振替伝票
002 鹿児島支店	
004 仕入高	
002 鹿児島支店	
004 仕入高	
002 鹿児島支店	
004 仕入高	
[伝票日付] 2012年 5月 3日 [伝票No.]	
011 札幌支店	
135 売掛金	
002 仙台支店	
135 売掛金	
003 千葉支店	
135 売掛金	
[伝票日付] 2012年 5月 4日	
001 第一営業所	
135 売掛金	
[伝票日付] 2012年 5月	
001 第一営業所	
135 売掛金	
001 第一営業所	
135 売上債引及び振り高	
002 横浜支店	
135 売掛金	
[伝票日付] 2012年 5月 5日 [伝票No.] 000009-1	[伝票区分] 通常伝票 [所在地区分] 振替伝票
001 北関東支店	
135 売掛金	
L 490,000	000 売上高
	L 490,000

2012年 5月 5日 [伝票No.] 000009-1

仕訳伝票リスト
日 2012年 5月 1日 至 2012年 5月 31日

PAGE: 2

B C 商事株式会社

借方	貸方
部門・勘定科目 / 補助科目	部門・勘定科目 / 補助科目
元帳	元帳
[伝票日付] 2012年 5月 5日 [伝票No.] 000009-2	[伝票区分] 通常伝票 [所在地区分] 振替伝票
001 北関東支店	
135 売掛金	
231,000	000 売上高
	220,000
	11,000
[伝票日付] 2012年 5月 5日 [伝票No.]	
001 札幌支店	
135 売掛金	
041 名古屋支店	
135 売掛金	
041 名古屋支店	
135 売掛金	
041 名古屋支店	
135 売上債引及び振り高	
040 金沢支店	
135 売掛金	
040 金沢支店	
135 売掛金	
[伝票日付] 2012年 5月 9日 [伝票No.] 000011-1	[伝票区分] 通常伝票 [所在地区分] 振替伝票
001 第一営業所	
135 売掛金	
L 740,000	000 売上高
	L 740,000
001 第一営業所	
005 売上債引及び振り高	
001 札幌支店	
135 売掛金	
804,750	000 売上高
	795,000
	39,750

2012年 5月 5日 [伝票No.] 000009-2

こちらのページだけ見ても、伝票日付・伝票 No.が確認できるため、前のページに戻ることなく、伝票の特定に役立ちます。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
 - ・ [仕訳処理]-[F B処理]-[F B仕訳起票]メニュー
 - ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票入力内容チェック]-[自己承認伝票確認リスト]メニュー
 - ・ [仕訳処理]-[月次処理]-[為替換算]-[為替換算]メニュー
- ※このメニューは、『外貨入力オプション』をお使いの場合に使用できます。
- ・ [配賦処理]-[部門実績配賦]-[部門実績配賦]メニュー
- ※このメニューは、『Bシステム』の場合は使用できません。

- 仕訳伝票リストを印刷する際に、空白の明細行を上へ詰めるか設定できるようになりました。

仕訳伝票リスト（応用用紙）を印刷する際に、行の途中の空白の明細行について、そのまま空けて出力するか、上へ詰めて出力するかを設定できるようになりました。

▼イメージ図

仕訳伝票リスト
 日 2012年 11月 8日 至 2012年 11月 8日

○ＢＣ商事株式会社

借 方		貸 方	
前門・勘定科目・補助科目	税別・税率	前門・勘定科目・補助科目	税別・税率
金 額			
【伝票日付】 2012年 11月 8日	【伝票No.】 000025	【伝票区分】 通常伝票	【得意区分】
001 第一営業所	001	第一営業所	
125 売上高	001 21.0	003 売上高	
002 第二営業所	002 21.0	002 第二営業所	
004 仕入高	004 00.0	005 買掛金	004 00.0
	< 30.571		
【合 計】	1,290.310		1,290.310

このような空白行を、上へ詰めるか、空白のまま出力するかの設定です。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票リスト]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票承認]-[仕訳伝票承認]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[反対仕訳一括起票]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票入力内容チェック]-[自己承認伝票確認リスト]メニュー
- ・ [随時処理]-[電子帳簿変更履歴]-[仕訳伝票履歴]メニュー

- 専用用紙・応用用紙（標準形式）でも、伝票No. 印字の有無を選択できるようになりました。

今までは、応用用紙（簡易形式）の場合だけ、伝票No. 印字の有無を選択できましたが、専用紙・応用用紙（標準形式）でも、選択できるようになりました。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票リスト]メニュー

- 仕訳処理で、1画面に表示する明細行数を、より簡単に増やすことができるようになりました。

今まで、明細行の高さを変更する場合は、[仕訳処理 - 設定]画面の[表示設定]ページで設定

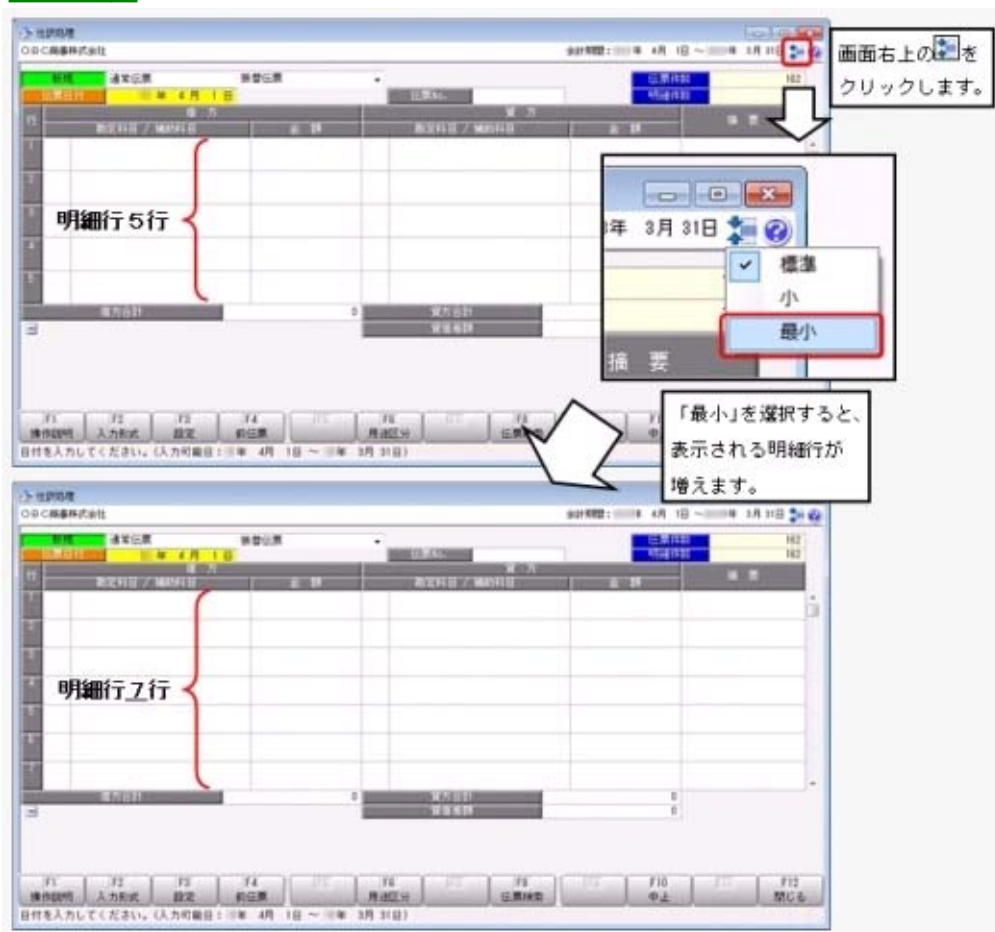
していましたが、直接、画面右上の  アイコンから設定できるようになりました。

より簡単に、1画面に表示する明細行数を増やすことができるようになりました。

※今までは、利用者ごとにすべてのメニューで共通の設定でした。今回から、パソコンごとにメニューそれぞれの設定になりました。

今まで、[仕訳処理 - 設定]画面で設定を変更していた場合は、再設定してください。

▼イメージ図



※この画面は、[仕訳処理]メニューの画面です。

※解像度など環境や、明細上入力するマスター種類の数によって、画面に表示する明細行数は異なります。

《 関連メニュー 》

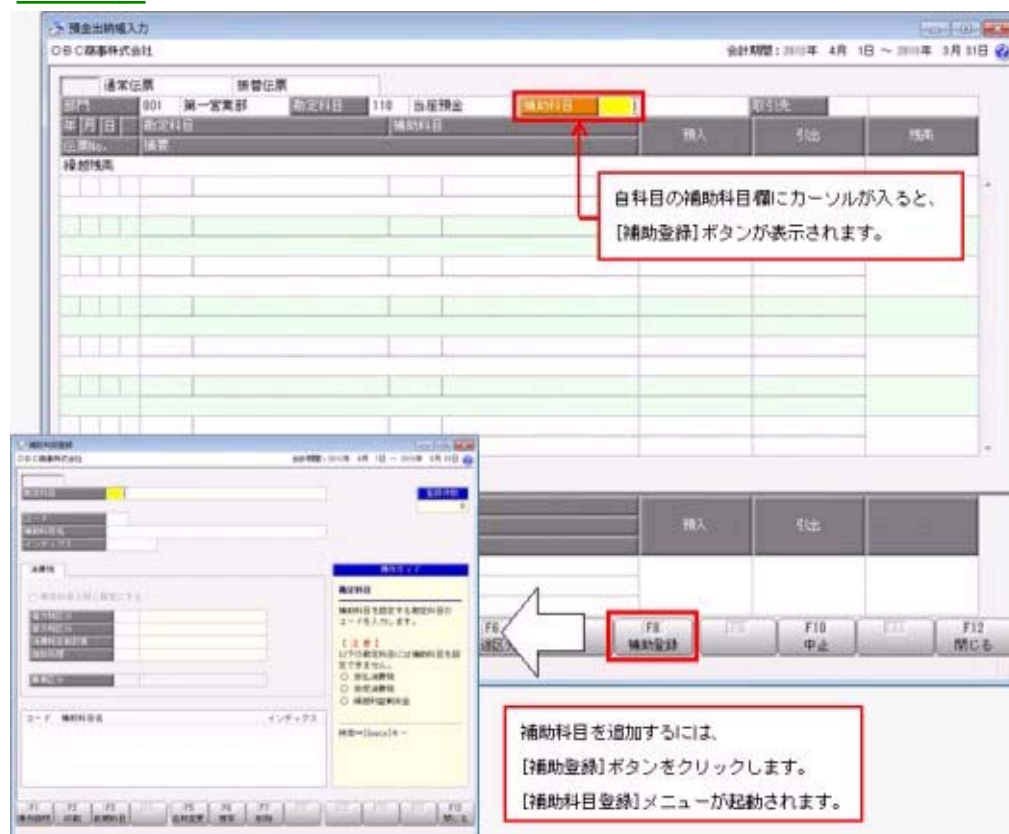
- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票リスト]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票承認]-[仕訳伝票承認]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[反対仕訳一括起票]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票入力内容チェック]-[自己承認伝票確認リスト]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳入力補助]-[定型仕訳登録]メニュー
- ・ [随時処理]-[電子帳簿変更履歴]-[仕訳伝票履歴]メニュー

- 帳簿入力の画面上段で自科目の取引先・補助科目を切り替える際に、その場で未登録の科目を追加する操作が、簡単になりました。

今までは、帳簿入力の画面上段で自科目の取引先・補助科目（部門・勘定科目など）を切り替える際に、未登録の科目を追加する場合は、一度、メニュー選択画面へ戻り、マスターを登録するメニューを、別途、開く必要がありました。

今後は、科目欄にカーソルが入ると、マスターを登録するためのファンクションボタンが表示されるようになり、効率よく帳簿入力が続けられます。

▼イメージ図



《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]-[現金出納帳入力] メニュー
 - ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]-[預金出納帳入力] メニュー
 - ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]-[元帳入力] メニュー
 - ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]-[売掛帳入力] メニュー
 - ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]-[買掛帳入力] メニュー
- ※ A S O S 会員の場合に使用できます。



- 仕訳伝票の承認作業を、段階的に効率よくできるようになりました。

[仕訳処理]-[仕訳伝票承認]-[仕訳伝票承認]メニューで、承認の際、今までは、仕訳明細のすべての情報が表示されていたので、承認する伝票の大枠での確認ができませんでした。今回からは、伝票日付・伝票No.・伝票金額・摘要など、伝票の基本的な情報だけの簡易画面も選択できるようになり、最初に大枠を把握した後、必要に応じて、伝票の詳細を確認しながら承認できるようになりました。

《 関連メニュー 》

[仕訳処理]-[反対仕訳一括起票]メニュー



- 定型仕訳のコード表を印刷できるようになりました。

定型仕訳のコード表（「定型仕訳のコード・名称」だけの一覧表）を印刷できるようになりました。

[定型仕訳登録 - 印刷条件設定]画面の[基本設定]ページの印刷形式で、「コードリスト」を選択すると、定型仕訳のコード表を印刷できます。

▼イメージ図

定型仕訳コードリスト

会計期間: 2012年 4月 1日 ~ 2013年 3月 31日

OBC商事株式会社

PAGE: 1

定型仕訳コード	定型仕訳名	定型仕訳コード	定型仕訳名
azukari_jou	預り住民税を普通預金より支払	kakukoumyu	株式購入代金を普通預金より支払
azukari_shu	預り社会保険料を普通預金より支払	kaigaitoko	海外渡航費の現金支払
azukari_sho	預り所得税を普通預金より支払	kaikakefut	買掛金を普通預金より支払
bayudaishi	バス代の現金支払	kaikakegen	買掛金の現金支払
bikinshurf	備品修理費を普通預金より支払	kaikakehog	買掛金を小切手にて支払
bikinshurg	備品修理費の現金支払	kaikaketeg	買掛金を手形で支払
bunkouguryo	文房具用品代の現金支払	kaikaketof	買掛金を当座預金より振込、振込料を負担
chakusharai	着払い運賃の現金支払	kaikaketou	買掛金を当座預金より支払
choukiyuu	長期融資により普通預金より支払	kaiteiwai	開店・開業の祝い金
chougendai	中元・歳暮代の現金支払	kakeshineb	借仕入の商品債引
chousharyo	駐車料金の現金支払	kakeurineb	借売上の商品債引
denkiroyuf	電気料金を普通預金より支払	kappodaiki	割賦代金を普通預金より支払
denkiroyug	電気料金の現金支払	kappuriosh	割賦利息を普通預金より支払
denshadain	電車代の現金支払	karihorais	仮払清算による現金戻入
densaryouf	電話料金を普通預金より支払	kariireben	借入金を当座預金にて返済
densaryoug	電話料金の現金支払	kariirenyf	銀行からの借入により普通預金に入金
dougryousha	同業者団体の会費の現金支払	kariirenyt	借入金を当座預金に入金
eigryoushas	営業車修理費用の現金支払	kariirerif	借入利息を普通預金より支払
fayryoushid	FAX用紙代の現金支払	kariireris	借入金利息の未払額を決算計上
fudousansf	不動産取得税を普通預金より支払	kariirerit	借入利息を当座預金より支払
fudousang	不動産取得税の現金支払	kanaihoiken	火災保険料を小切手にて支払
fukurikous	福利厚生費を普通預金より支払	kashidaork	貸倒引当金の繰入
furikomiry	振込料(当方負担)と売掛金を相殺	kashidaorm	
futsusazuk	普通預金へ借入	kashitake	
futsusazuki	普通預金より引出	keitaiden	
futsusuriso	普通預金の利息分の受取	kikaikappu	
futsuuteik	普通預金から定期預金へ振替	kikaishufu	機械修理費を普通預金より支払
futsuutoz	普通預金から当座預金へ振替	kikaishuge	機械修理費の現金支払
gouryouskf	ガス料金を普通預金より支払	kikaishouda	機械買置代金を普通預金より支払

「定型仕訳コード」「定型仕訳名」が
印字されます。

「定型仕訳コード」「定型仕訳名」が
印字されます。

- [定型仕訳登録]メニューで、付箋機能を使用できるようになりました。

仕訳処理と同様、[仕訳処理]-[仕訳入力補助]-[定型仕訳登録]メニューの定型仕訳に対しても、付箋を貼れるようになりました。

仕訳伝票入力時に、その定型仕訳を呼び出した際には、その付箋も付いて表示されます。

また、貼った付箋をキーに検索もできます。

《 関連メニュー 》

- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[仕訳伝票データ作成]-[定型仕訳データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ受入]-[仕訳伝票データ受入]-[定型仕訳データ受入]メニュー

分析帳票



- 各項目（科目区分）の帳票全体に占める割合（構成比）やその金額推移を視覚的にとらえられる、構成グラフのメニューが追加されました。

＜『勘定奉行 i 8』をお使いの場合＞

[分析帳票]-[構成グラフ]-[構成グラフ]メニューの構成グラフでは、貸借対照表・損益計算書などの帳票ごとに、各項目（科目区分）の構成比やその金額推移を、グラフにして表示します。

帳票全体に占める割合や推移の概要を視覚的にとらえることができるため、概要把握を容易にできます。

必要に応じて、[分析帳票]-[構成グラフ]-[構成グラフ項目設定]メニューで、構成グラフの色を変更したり、項目を追加することもできます。

管理会計帳票



＜『管理会計オプション』をお使いの場合＞

- 管理会計帳票を作成する際に、奉行上のメニューではおぎないきれない計算でも、Excelの計算式（関数）を組み込むことで、お客様独自の分析ができるようになりました。

管理会計帳票（[管理会計帳票]-[管理会計帳票出力]-[管理会計分析表]メニュー・[管理会計帳票]-[管理会計帳票出力]-[管理会計集計表]メニュー・[管理会計帳票]-[管理会計帳票出力]-[管理会計推移表]メニュー）を作成する際に、奉行上のメニューではおぎないきれない計算でも、[管理会計帳票]-[管理会計帳票出力]-[帳票出力設定]-[Excel計算式設定]メニューで、Excelの計算式（関数）を組み込むことで、お客様独自の分析ができるようになりました。

組み込んだ計算式（関数）は、管理会計帳票をExcelへ出力する際はもちろんのこと、印刷する際にも反映されます。

※Excelの計算式（関数）の設定イメージは、操作説明の[Excel計算式設定]メニューの「活用例」をご参照ください。

- 管理会計帳票で、科目名（行項目の名称）をバランスよく均等割り付けして出力できるようになりました。

管理会計帳票で、科目名（行項目の名称）の全体の長さをそろえて、均等割り付けして出力できるようになりました。

[条件設定]画面の[出力設定]ページで、「均等割り付する」のチェックを付けると、均等割り付されます。

▼イメージ図

コード	名称
P4000	営業利益
P2000	売上総利益
P1000	純売上高
P1100	売上原価
P3000	販売費及び一般管理費計
P3100	販売費
P3200	人件費

「均等割り付する」のチェックを付けると、行項目名の全体の長さがそろいます。

コード	名称
P4000	営 業 利 益
P2000	売 上 総 利 益
P1000	純 売 上 高
P1100	売 上 原 価
P3000	販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 計
P3100	販 売 費
P3200	人 件 費

また、管理会計帳票を印刷する際は、指定した文字数の幅で、均等割り付することもできます。

[印刷条件設定]画面の[詳細設定]ページで、「文字数を指定して均等割り付する」を選択すると、割り付時の文字数の幅を設定できます。

▼イメージ図

○ 「行項目の幅で均等割り付する」

「行項目名の幅で均等割り付する」の場合、「販売費」などの文字数が少ない場合は、文字と文字との間隔が大きくなります。

販 売 費

○ 「文字数を指定して均等割り付する」

文字と文字との間隔があきすぎないように調整する場合は、「文字数を指定して均等割り付する」を選択し、行項目名の全体の長さをそろえるための文字数を設定します。

販 売 費

≪ 関連メニュー ≫

- ・ [管理会計帳票]-[管理会計帳票出力]-[管理会計分析表]メニュー
- ・ [管理会計帳票]-[管理会計帳票出力]-[管理会計集計表]メニュー
- ・ [管理会計帳票]-[管理会計帳票出力]-[管理会計推移表]メニュー

- 管理会計帳票で、行項目の名称セル内側の縦罫線を出力しない設定ができるようになりました。

管理会計帳票で、行項目の名称セル内側の縦罫線が不要な場合は、出力しないよう設定できるようになりました。

[条件設定]画面の[出力設定]ページで、「縦罫線を出力する」のチェックを外すと、行項目の名称セル内側の縦罫線は出力されません。

▼イメージ図

コード	名称
P4000	営業利益
P2000	売上総利益
P1000	売上高
P1100	売上原価
P3000	販売費及び一般管理費計
P3100	販売費
P3200	人件費
P3300	一般管理費

「縦罫線を出力する」のチェックを外すと、行項目の名称セルの内側の縦罫線は出力されません。

コード	名称
P4000	営業利益
P2000	売上総利益
P1000	売上高
P1100	売上原価
P3000	販売費及び一般管理費計
P3100	販売費
P3200	人件費
P3300	一般管理費

《 関連メニュー 》

- ・ [管理会計帳票]-[管理会計帳票出力]-[管理会計分析表]メニュー
- ・ [管理会計帳票]-[管理会計帳票出力]-[管理会計集計表]メニュー
- ・ [管理会計帳票]-[管理会計帳票出力]-[管理会計推移表]メニュー

- [帳票出力設定]メニューの位置を変更しました。

[管理会計帳票]-[管理会計帳票出力]メニューの階層の下に、[帳票出力設定]メニューを配置することで、帳票の出力結果を確認後に、続けて、出力設定を変更しやすくなります。

- 帳票出力設定が印刷できるようになり、設定内容を確認しやすくなりました。

[管理会計帳票]-[管理会計帳票出力]-[帳票出力設定]-[帳票出力設定]メニューと[帳票レイアウト設定]の各メニューで、印刷機能が追加され、設定内容を確認しやすくなりました。

《 関連メニュー 》

- ・ [管理会計帳票]-[管理会計帳票出力]-[帳票出力設定]-[帳票出力設定]メニュー
- ・ [管理会計帳票]-[帳票レイアウト設定]-[行項目設定]-[行項目レイアウト設定]メニュー
- ・ [管理会計帳票]-[帳票レイアウト設定]-[列項目設定]-[列項目登録]メニュー
- ・ [管理会計帳票]-[帳票レイアウト設定]-[列項目設定]-[列項目レイアウト設定]メニュー
- ・ [管理会計帳票]-[帳票レイアウト設定]-[列項目設定]-[構成比登録]メニュー

- 管理会計の予算額など、実際に合算する前に、合算結果の金額をシミュレーションでできるようになりました。

個々の部門の管理会計予算額などを、部門グループの予算に合算する際に、事前に、合算結果の金額をシミュレーションすることで、合算条件が適切であることを確認できるようになりました。

[条件設定]画面の [実行前確認] ボタンをクリックし、グループごとの合算金額が正しいことを、印刷して確認できます。

◀ 関連メニュー ▶

- ・ [管理会計帳票]-[管理会計金額入力]-[管理会計予算額入力]-[管理会計予算額合算]メニュー
- ・ [管理会計帳票]-[管理会計金額入力]-[管理会計実績額入力]-[管理会計実績額合算]メニュー
- ・ [管理会計帳票]-[管理会計金額入力]-[非会計情報入力]-[非会計情報合算]メニュー

消費税申告

- 消費税の還付申告に関する明細書で、取引先マスターを検索して、取引先情報（氏名・住所）を入力できるようになりました。

[消費税申告]-[消費税申告]メニューの[消費税の還付申告に関する明細書]画面で、取引先情報（氏名・住所）を入力時に、取引先マスターを検索できるようになりました。

検索することで、登録済みの取引先情報を活用できるようになりました。

※取引先は、『Bシステム』の場合は管理できません。



- 科目別課税対象額集計表などの消費税管理資料で、未承認・未転記の伝票を集計できるようになりました。

[消費税申告]-[科目別課税対象額集計表]メニューなどの消費税管理資料で、未承認・未転記の伝票を集計することで、伝票確定前に、消費税内容の確認・訂正ができるようになりました。

※事前に、[会社運用設定]メニューの[伝票設定]ページで「0：未承認・未転記の仕訳を集計する」に設定します。

消費税管理資料の各メニューの[条件設定]画面の[条件設定]ページで、「未承認仕訳・未転記仕訳を含めて集計する」チェックボックスにチェックを入れると、集計できます。

◀ 関連メニュー ▶

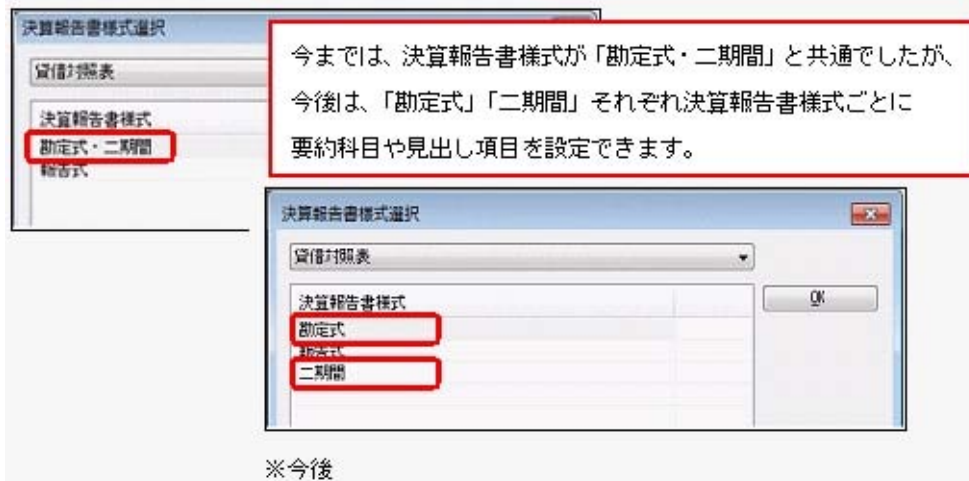
- ・ [消費税申告]-[科目別税区分集計表]メニュー
- ・ [消費税申告]-[税区分明細表]メニュー

- 決算報告書の印刷形式「勘定式」と「二期間」で共通だった、見出し項目設定や要約設定を、それぞれ個別の設定で印刷できるようになりました。

今までは、見出し項目設定と要約設定は、「勘定式」と「二期間」で共通の設定でしたが、それぞれ個別の設定で印刷できるようになり、設定の手間がなくなります。

▼イメージ図

※今まで



《 関連メニュー 》

- ・ [決算処理]-[決算報告書]-[決算報告書]メニュー
- ・ [決算処理]-[決算報告書]-[決算書見出し項目設定]メニュー
- ・ [決算処理]-[決算報告書]-[決算書要約科目設定]-[要約設定]メニュー
- ・ [決算処理]-[決算報告書]-[決算書要約科目設定]-[要約科目表示設定]メニュー

- [期末残高繰越]画面で、「繰越利益剰余金科目・消費税科目」の繰越残高の算出方法を確認できるようになりました。

[期末残高繰越 - 詳細設定]画面で設定した、「繰越利益剰余金科目・消費税科目」の繰越残高の算出方法が、[期末残高繰越]画面で明示的になり、確認できるようになりました。

▼イメージ図



- 1つも部門が登録されていない場合は、取引先など、マスターごとに繰越利益剰余金を繰り越さず、全社の金額として繰り越されるようになりました。

部門が登録されていない場合は、「繰越利益剰余金」科目は部門ごとに繰り越されないため、取引先などの他のマスターごとにも繰り越さず、全社の金額として繰り越されます。

取引先などのマスターの繰越利益剰余金は、「0：その他」に集約されます。

※取引先は、『Bシステム』の場合は管理できません。

随時処理

- 勘定科目マスターの項目「使用」の名称を、「使用区分」に変更しました。

[随時処理]-[汎用データ作成]-[マスターデータ作成]-[勘定科目マスター作成]メニューで作成されるデータについて、項目名「使用」を「使用区分」に変更しました。

《 関連メニュー 》

- ・ [導入処理]-[科目体系登録]-[勘定科目登録]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[マスターデータ作成]-[勘定科目マスター作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ受入]-[マスターデータ受入]-[勘定科目マスター受入]メニュー



- **[消費税一括自動計算]メニューで、特定の仕訳明細の消費税を、一括で自動計算できるようになりました。**

[随時処理]-[データ一括変更]-[仕訳伝票データ一括変更]-[消費税一括自動計算]メニューで、消費税を計算していない仕訳明細に対し、消費税を一括で自動計算できるようになりました。

前年度が免税業者で、今年度から課税業者になったにも関わらず、免税として消費税の自動計算しないまま、仕訳伝票を登録していた場合などに活用します。

- **[税区分一括変更]メニューで、税区分に加えて、特定の仕訳明細の事業区分を一括で変更できるようになりました。**

以下のような場合に、[随時処理]-[データ一括変更]-[仕訳伝票データ一括変更]-[税区分一括変更]で事業区分を一括で変更します。

- ・ 免税業者から課税業者（簡易課税）になり、期中で、仕訳明細上の事業区分が誤っていたことに気づいた場合
- ・ 事業区分の初期設定に誤りがあることに気づかず、仕訳伝票を入力していた場合
- ・ 他の奉行シリーズまたは他システムで作成された仕訳伝票上の事業区分に誤りがあった場合



- **データ領域合算で、合算時に設定した勘定科目の関連付けを、前回情報として保持できるようになりました。**

今までは、合算の都度、[データ領域合算 - コード設定]画面で、勘定科目を関連付ける必要がありました。

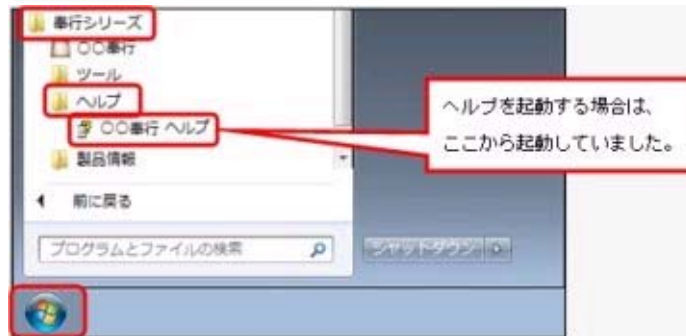
今回から、合算時に設定した勘定科目の関連付けを、前回情報として保持できるようになり、次回以降の再設定は必要なくなります。

その他の変更情報

- Windowsの「スタート」ボタンからの、ヘルプ等の起動方法が変更になりました。

今までは、「スタート」ボタンをクリックし、「すべてのプログラム」-「奉行シリーズ」から、ヘルプ等を起動していました。

▼イメージ図



今回より、「スタート」ボタンをクリックし、「すべてのプログラム」-「奉行シリーズ」-「ツール」-「〇〇奉行 ツール」から、ヘルプ等を起動します。

▼イメージ図



仕訳処理

● 帳簿入力（簡単入力画面）の操作性が向上しました。

[帳簿入力 - 設定]画面の[帳簿設定]ページの帳簿入力画面の形式で、「簡単入力画面」を選択した場合、帳簿入力で、自科目の勘定科目を固定したままで、次の補助科目や取引先に切り替えやすくなりました。

例えば補助科目を切り替える場合、今までは、一度、[終了]（F12）を押す必要がありましたが、今後は、補助科目欄をマウスでクリックすれば補助科目を切り替えられます。

また、金額修正時に電卓を表示した際、電卓上に入力済みの金額が初期表示されるようになりました。

今までは、新規に仕訳を入力する場合も、修正の場合も、電卓上は「0（ゼロ）」が表示されていましたが、今後は、修正時には入力済みの金額が表示されるため、金額の一部訂正がしやすくなります。

◀ 関連メニュー ▶

- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]-[現金出納帳入力]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]-[預金出納帳入力]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]-[売掛帳入力]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]-[買掛帳入力]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]-[元帳入力]メニュー








機能アップガイド

Ver.1.64 / Ver.1.62



目次

※  マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

	【改正情報】	
	平成23年度消費税法改正（平成24年4月1日以降に適用）に伴い、法改正対応と業務支援機能を追加しました。	2
	【メニュー体系】	
	メニューの名称を変更しました。	6
	【仕訳処理】	
	[部門別税区分表示設定]メニューで、仕訳伝票入力時に部門ごとに初期表示する税区分をあらかじめ設定できるようになりました。	7
	[帳簿入力]メニューで、自科目として扱う勘定科目が1つだけの場合は、自動的に自勘定科目が表示されるようになりました。	7
	帳簿の入力画面で、定型仕訳の検索機能が向上しました。	8
	新規にデータ領域を作成した場合に、定型仕訳の検索機能が向上しました。	8
	【会計帳票】	
	元帳の転送パフォーマンスが向上しました。	8
	【随時処理】	
	[税区分一括変更]メニューで、特定の明細の税区分を一括で変更できるようになりました。	9
	税理士事務所（ASOS会員）のお客様へ	
	【仕訳処理】	
	売掛金科目または買掛金科目を固定して、一覧画面で効率的に仕訳を入力できるようになりました。	9
	帳簿入力の各メニューにおいて、標準の入力画面のほかに、簡単入力画面が追加されました。	10

注 意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

改正情報



- 平成23年度消費税法改正（平成24年4月1日以降に適用）に伴い、法改正対応と業務支援機能を追加しました。

平成23年度消費税法改正（平成24年4月1日以降に適用）に対応しました。

▼法改正のポイント

○仕入税額控除制度における「95%ルール」適用要件の見直し

課税売上割合が95%以上の場合に、課税仕入れ等に係る消費税額の「全額」仕入税額控除の対象とする制度について、その課税期間の課税売上高が5億円以下の事業者に限り、適用することとされます。

つまり、課税売上高が5億円を超える事業者は、「全額控除」ではなく、「課税売上割合」を乗じて計算します。

※1 適用時期：平成24年4月1日以降に開始する課税期間から適用

○消費税申告書・付表2のレイアウト変更

仕入税額控除制度における「95%ルール」適用要件の見直しに伴い、消費税申告書・付表2のレイアウトが変更されます。

○還付申告書への「消費税の還付申告に関する明細書」の添付義務化

消費税の還付申告書を提出する際、「消費税の還付申告に関する明細書」（新設）の提出が、義務付けられます。

※2 適用時期：平成24年4月1日以降に提出する還付申告書から適用

○事業者免税点制度の適用要件の見直し

当課税期間の基準期間※aにおける課税売上高が1,000万円以下であっても、当課税期間の前年※bの事業年度開始の日から6ヵ月間の課税売上高が1,000万円を超えた場合は、当課税期間においては、課税事業者となります。

なお、課税売上高に代えて、給与等支払額の合計額により判定することもできます。

例)

当課税期間が「平成25年」の場合、※a当課税期間の基準期間は「平成23年」※b当課税期間の前年は「平成24年」となります。

※3 適用時期：平成25年1月1日以降に開始する事業年度から適用

【法改正】

- 『仕入税額控除制度における「95%ルール」適用要件の見直し』に対応しました。
消費税申告書・付表2のレイアウト変更にも対応しています。

▼消費税申告書のイメージ

○第27-(1)号様式の変更

[illegible]

○第28-(1)号様式の変更

第26-11号模式

付表2 課税売上割合・控除対象仕入税額等の計算表

40

[illegible][illegible]

② 当該欄には、前年度、前年度に、前年度より法人財産の減価償却の金額がある場合は法人財産の減価償却の金額を法人金額から減額計算して記入する。③には、その金額を控除した後の金額を記入する。

※ 上記②が該当する場合に③、④欄に①条の準則により計算した金額を記入する。

$$\text{課税仕入に係る消費税率} = \left[\frac{\text{課税仕入に課税及非課税の割合(仕入税額の総額)} \times \frac{1}{105} \right] - \left[\frac{\text{仕入税額の総額の増額(税込仕入)} \times \frac{1}{105} \right]$$

4. 店舗の店舗の「サブ」にも変更がある場合は、その合併会社を合併会社として記入する。

- ・[消費税申告]-[消費税申告書]メニュー
- ・[消費税申告]-[課税制度別納税額比較表]-[課税制度別納税額比較表]メニュー
- ・[消費税申告]-[課税制度別納税額比較表]-[課税制度別納税額シミュレーション]メニュー
- ・[消費税申告]-[電子申告]-[消費税申告データ作成]メニュー

○還付申告書への『消費税の還付申告に関する明細書の添付義務化』に対応しました。
新設の「消費税の還付申告に関する明細書」を印刷できます。

▼消費税の還付申告に関する明細書のイメージ

【新機能】

平成23年度消費税法改正に伴う業務支援機能として、「部門別の税区分初期表示」「税区分の一括変更」の新規メニューが追加されました。

◀ 新規メニュー ▶

- ・ [仕訳処理]-[仕訳入力補助]-[部門別税区分表示設定]メニュー
- ・ [随時処理]-[データ一括変更]-[仕訳伝票データ一括変更]-[税区分一括変更]メニュー

仕入税額控除制度における「95%ルール」適用要件の見直しに伴い、以下の表で「必要」に該当する場合だけ、今までに比べて、仕訳伝票入力時に税区分の切り替えが必要になり、業務が煩雑になります。

申告書計算方法	課税売上割合	課税売上高	「95%ルール」適用要件の見直し
免税事業者	—	—	影響なし
簡易課税	—	—	影響なし
原則課税	課税売上割合95%以上	課税売上高 5 億円超	必要
		課税売上高 5 億円以下	影響なし
	課税売上割合95%未満		影響なし

新規メニューの[仕訳処理]-[仕訳入力補助]-[部門別税区分表示設定]メニューは、そういった、仕訳伝票入力時の業務の煩雑さを軽減するために有効です。

また、[随時処理]-[データ一括変更]-[仕訳伝票データ一括変更]-[税区分一括変更]メニューは、「95%ルール」の変更に伴い、特定の税区分を一括で変更する必要がある場合に有効です。

※詳細は、「[部門別税区分表示設定]メニューで、仕訳伝票入力時に部門ごとに初期表示する税区分をあらかじめ設定できるようになりました。」

または「[税区分一括変更]メニューで、特定の明細の税区分を一括で変更できるようになりました。」を参照。

メニュー体系

● メニューの名称を変更しました。

メニューの名称を変更しました。

変更前	変更後
[仕訳処理]-[F B 処理]-[F B 処理設定] -[会社銀行口座登録]メニュー	[仕訳処理]-[F B 処理]-[F B 処理設定] -[会社銀行口座登録 [F B]]メニュー



- **[部門別税区分表示設定]メニューで、仕訳伝票入力時に部門ごとに初期表示する税区分をあらかじめ設定できるようになりました。**

一般的に、費用などの科目の税区分は、部門ごとの活動内容によって、ある程度確定するケースがあります。

[仕訳処理]-[仕訳入力補助]-[部門別税区分表示設定]メニューで、部門ごとに初期表示する税区分をあらかじめ設定しておく、仕訳伝票入力時の補助機能として、部門に応じて税区分が初期表示されるので、日々の入力業務の煩雑さを軽減できます。

活用例)

水道光熱費	税区分
●管理部門の存在する事業所の水道光熱費	→「共通売上分課税仕入」
●営業部門だけの事業所の水道光熱費	→「課税売上分課税仕入」

※当システムでは、仕訳伝票入力時に初期表示する税区分を設定できますが、勘定科目の特性により、補助科目別または部門別に設定することが適切なケースがあります。

いずれのケースに当てはまるか、操作説明の「初期表示する税区分の運用・設定方法」でご確認の上、該当のメニューで初期表示する税区分を設定してください。

※平成23年度消費税法改正に伴う機能アップ内容です。平成23年度消費税法改正の詳細は、「平成23年度消費税法改正（平成24年4月1日以降に適用）に伴い、法改正対応と業務支援機能を追加しました。」をご確認ください。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]メニューの各メニュー
- ・ [仕訳処理]-[F B処理]-[F B仕訳起票]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳入力補助]-[定型仕訳登録]メニュー

- **[帳簿入力]メニューで、自科目として扱う勘定科目が1つだけの場合は、自動的に自勘定科目が表示されるようになりました。**

[導入処理]-[会計期間設定]-[システム科目設定]メニューの[帳簿科目設定]ページで、自科目として扱う勘定科目が1つだけ設定している場合は、入力時に、自動的に自勘定科目が表示されるようになりました。

また、1つも部門が登録されていない場合、かつ自勘定科目に、補助科目が登録されていない場合は、[帳簿入力]メニューを起動すると伝票日付にカーソルが入り、すぐに入力ができ効率的になりました。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]-[現金出納帳入力]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]-[預金出納帳入力]メニュー

● 帳簿の入力画面で、定型仕訳の検索機能が向上しました。

定型仕訳を検索すると、開いている帳簿入力メニューで利用できる定型仕訳だけが一覧表示され、その中から選択できるようになります。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]-[現金出納帳入力]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]-[預金出納帳入力]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]-[元帳入力]メニュー

● 新規にデータ領域を作成した場合に、定型仕訳の検索機能が向上しました。

今まで、初期登録されていた定型仕訳コードは数字でしたが、新規にデータ領域を作成した場合は、定型仕訳の名称が英字で表示されるようになりました。

これにより、定型仕訳の名称で検索をできるので、より効率的に伝票を入力できるようになりました。

※この変更は、新規にデータ領域を作成した段階で反映されます。すでに運用中のデータ領域には影響しません。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]-[仕訳帳入力]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]-[現金出納帳入力]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]-[預金出納帳入力]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]-[元帳入力]メニュー

会計帳票

● 元帳の転送パフォーマンスが向上しました。

複数の勘定科目を連続して転送する場合や、複数の部門別元帳を連続して転送する場合に、パフォーマンスが向上しました。

随時処理



- [税区分一括変更]メニューで、特定の明細の税区分を一括で変更できるようになりました。

[随時処理]-[データー一括変更]-[仕訳伝票データー一括変更]-[税区分一括変更]メニューでは、税区分を一括変更する前に、対象となる明細を確認し、その中から特定の明細だけを指定して一括変更することができます。

例えば、部門ごとの活動内容によって税区分を管理することになった場合に、[仕訳処理]メニューで1明細ごとに修正せず、部門ごとに、特定の明細の税区分を一括で変更することができます。

活用例)

月次・決算時など、変更したい期間に応じて一括で税区分を変更します。

※平成23年度消費税法改正に伴う機能アップ内容です。平成23年度消費税法改正の詳細は、「平成23年度消費税法改正（平成24年4月1日以降に適用）に伴い、法改正対応と業務支援機能を追加しました。」をご確認ください。

税理士事務所（ASOS会員）のお客様へ

仕訳処理

- 売掛金科目または買掛金科目を固定して、一覧画面で効率的に仕訳を入力できるようになりました。

[仕訳処理]-[帳簿入力]-[売掛帳入力]メニューまたは[仕訳処理]-[帳簿入力]-[買掛帳入力]メニューで、売掛金科目または買掛金科目を固定して、1：1の仕訳を連続で入力できるようになりました。

[仕訳処理]-[帳簿入力]-[売掛帳入力]メニューでは、売掛金科目を固定して、「掛売上の計上」や「掛の回収」の仕訳を効率的に入力することができます。

また、[仕訳処理]-[帳簿入力]-[買掛帳入力]メニューも同様に、効率的に入力することができます。

※すでに、運用を開始している会社データの場合は、事前に、[導入処理]-[会計期間設定]-[システム科目設定]メニューの[帳簿科目設定]ページで、売掛金科目または買掛金科目を設定してください。

《 関連メニュー 》

- ・ [導入処理]-[会計期間設定]-[システム科目設定]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]-[売掛帳入力]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]-[買掛帳入力]メニュー

● 帳簿入力の各メニューにおいて、標準の入力画面のほかに、簡単入力画面が追加されました。

簡単入力機能のポイントは、以下のとおりです。

○一覧形式の入力画面です

○カレンダーから日付を指定できます

○定型仕訳から伝票を容易に起票できます

○科目などのマスターをすばやく入力できます

- ・マスター入力時に、「インデックス」での検索ができます。
- ・マスター入力時に、リスト形式でのリアルタイムな検索ができます。
- ・勘定科目欄にカーソルが入ると、[導入処理]-[会計期間設定]-[システム科目設定]メニューの[帳簿科目設定]ページで、自勘定科目として設定した勘定科目または科目区分に属している勘定科目だけが一覧表示され、その中から選択できるようになりました。
- ・定型仕訳を検索や一覧表示の際、設定の帳簿入力メニューで利用できる定型仕訳だけが表示され、その中から選択できるようになります。

○電卓で計算した金額を入力できます

新規			
伝票日付		借方勘定科目	
伝票No.		借方補助科目	
10/04/01		ウ	
000001		ウ 勘定 135 売掛金	
		ウ ア カ 500 売上高	
		ウ ア 仕 材 515 売上債引き及び戻り高	
		ウ ア 仕 837 売上割引	

※帳簿入力画面の形式（標準・簡単）は、[設定]画面の[帳簿設定]ページで選択できます。

※科目の指定方法（コード・インデックス）も、[設定]画面の[帳簿設定]ページで選択できます。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]-[仕訳帳入力]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]-[現金出納帳入力]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]-[預金出納帳入力]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]-[売掛帳入力]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]-[買掛帳入力]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]-[元帳入力]メニュー



機能アップガイド

Ver.1.61



【消費税申告】	
科目別課税対象額集計表で、差し引き消費税の根拠となる仮払消費税・仮受消費税の金額を確認しやすくなりました。	2

消費税申告

- 科目別課税対象額集計表で、差し引き消費税の根拠となる仮払消費税・仮受消費税の金額を確認しやすくなりました。

[消費税申告]-[科目別課税対象額集計表]メニューに、以下の行が追加されました。

差し引き消費税の根拠となる仮払消費税・仮受消費税の合計額の内訳表示により、検算に利用できます。

○「合計」行

消費税額の確認において、勘定科目ごとの検算の前に、その総合計額での検算ができるようになりました。

従来の仮払消費税・仮受消費税の合計額の表示に加え、「課税取引額」の合計額も表示されるようになり、売上・売却の科目だけ、または仕入・費用の科目だけなど、[科目別課税対象額集計表 - 条件設定]画面の[基本条件]ページで集計対象にする勘定科目を絞り込むことで、消費税額を検算しやすくなりました。(①)

検算した結果、さらに確認が必要な場合は、勘定科目ごとの課税取引額・消費税額(仮払消費税・仮受消費税)を確認して、原因を追跡できます。(②)

コード	勘定科目名	税率	仕/売	通/送	科目金額(税込)	非課税等	課税取引額	仮払消費税	仮受消費税	科目金額(税抜)
740	旅費交通費	5.0%	仕入	通常	14,800,340	0	14,800,340	704,770	0	14,095,562
741	通信費	5.0%	仕入	通常	10,850,870	0	10,850,870	516,708	0	10,334,162
742	消耗品費	5.0%	仕入	通常	3,029,850	0	3,029,850	143,992	0	2,879,850
743	事務用品費	5.0%	仕入	通常	3,500	0	3,500	166	0	3,334
744	水道光熱費	5.0%	仕入	通常	8,534,000	0	8,534,000	406,380	0	8,127,620
748	新聞図書費	5.0%	仕入	通常	1,801,800	0	1,801,800	85,800	0	1,716,000
756	会議費	5.0%	仕入	通常	6,300	0	6,300	30	0	6,000
	【合計】	-	-	-	39,020,660	0	39,020,660	1,858,124	0	37,162,536

○「消費税計」の「対象外(課税対象外)」分と「課税」分の分類

○「課税」分の内訳ごとの「課税取引額」

消費税額を検算するのに有効な金額が表示されます。

「対象外(課税対象外)」行には、仕訳伝票上、「00:対象外」など課税対象外の税区分を指定している仮払消費税・仮受消費税の金額が集計され、中間申告や確定申告時の消費税の精算仕訳が正しく計上されているかを確認できます。(下図の赤色の枠)

また、課税取引額が、税率および取引の種類ごと(売上/売却・仕入/購入/費用・返還など)に集計されるようになり、消費税額の内訳を、課税取引額からも検算できるようになりました。(下図の青色の枠)

コード	勘定科目名	税率	仕/売	通/送	科目金額(税込)	非課税等	課税取引額	仮払消費税	仮受消費税	科目金額(税抜)
102	仮払消費税	-	-	-	-2,372,982	-2,372,982	0	-2,372,982	0	0
203	機械及び装置	5.0%	-	-	0	0	0	36,666	36,666	0
		5.0%	仕入	通常			(770,000	(36,666		
		5.0%	売上	通常			(770,000		(36,666	
930	仮受消費税	-	-	-	-3,757,570	-3,757,570	0	0	-3,757,570	0
500	売上高	5.0%	売上	通常	78,124,000	0	78,124,000	0	3,750,190	74,403,810
515	売上譲引き及び戻し	5.0%	-	-	15,012	0	15,012	0	-714	14,298
		5.0%	売上	返還			(15,012		(714	
604	仕入高	5.0%	仕入	通常	10,050,020	0	10,050,020	476,572	0	9,571,448
612	仕入譲引き及び戻し	5.0%	-	-	8,000	0	8,000	-380	0	7,620
		5.0%	仕入	返還			(8,000	(380		
740	旅費交通費	5.0%	仕入	通常	14,800,340	0	14,800,340	704,770	0	14,095,562
741	通信費	5.0%	仕入	通常	10,850,870	0	10,850,870	516,708	0	10,334,162
742	消耗品費	5.0%	仕入	通常	3,029,850	0	3,029,850	143,992	0	2,879,850
743	事務用品費	5.0%	仕入	通常	3,500	0	3,500	166	0	3,334
744	水道光熱費	5.0%	仕入	通常	8,534,000	0	8,534,000	406,380	0	8,127,620
748	新聞図書費	5.0%	仕入	通常	1,801,800	0	1,801,800	85,800	0	1,716,000
756	会議費	5.0%	仕入	通常	6,300	0	6,300	30	0	6,000
905	固定資産売却益	5.0%	売上	通常	30,000	0	30,000	0	1,400	28,600
	【合計】	-	-	-	121,117,140	-6,130,552	127,247,692	0	0	1,168,284
	【消費税計】									
	対象外	-	-	-				-2,372,982	-3,757,570	
	課税	-	-	-				-2,372,982	-3,757,570	
	5.0%	-	-	-			127,247,692	2,372,982	3,757,570	
	5.0%	仕入	通常			(49,840,660	(2,373,362			
	5.0%	仕入	返還			(8,000		(380		
	5.0%	売上	通常			(78,924,000		(3,758,284		
	5.0%	売上	返還			(15,012		(714		
	【仮払消費税】							0		
	【仮受消費税】								0	
	【差し引き消費税】									









機能アップガイド









Ver.1.60



目次

※  マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

	【メニュー体系】	
	メニューの名称を変更しました。	4
	【画面表示全般】	
	現在作業している会社名および会計年度が、常に画面上に表示されるようになりました。	4
	【帳票全般】	
	仕訳伝票リストを印刷する際に、明細行の高さを補正することで、1 ページ当たりの印刷行数を増やせるようになりました。	5
	グラフと帳票を1枚にあわせて印刷できるようになりました。	6
	【導入処理】	
	グループに属している部門も削除できるようになりました。	7
	グループマスターの件数が表示され、グループの総件数を確認できるようになりました。	7
	[取引先登録]メニューで、印刷時に、取引先コードの範囲指定ができるようになりました。	7
	[勘定科目登録]メニューで、定型仕訳で使用している勘定科目でも、削除および「未使用」に変更できるようになりました。	8
	【仕訳処理】	
	「簡易形式」の仕訳伝票リストを印刷する際に、科目などの文字を大きく調整し、見やすくできます。また、印刷方向が「縦形式」の場合でも、摘要40文字をすべて印刷できるようになりました。	8
	[帳簿入力]メニューで、「0：その他」のサブマスターは、コードと名称を空欄で表示・印刷するように変更しました。	8
	[汎用データ受入]メニューで受け入れた伝票など、外部のシステムですでに承認済みで、正当性が保証されている伝票を、簡易的に承認できるようになりました。	8
	[仕訳伝票承認]メニューで、承認後の取り消し伝票（反対仕訳）を簡単に判別するための「反仕」マークが表示されるようになりました。	9
	[仕訳伝票承認]メニューなどで、処理中に経過件数を確認できるようになりました。	9
	[自己承認伝票確認リスト]メニューで、承認済みの伝票の中から、登録者と承認者が同一である伝票（自己承認伝票）だけを、一覧で確認できるようになりました。	9
	[伝票No. 欠番確認リスト]メニューで、伝票No. の欠番を一覧で確認できるようになりました。	9
	[消費税手入力確認リスト]メニューで、仮払消費税・仮受消費税の金額を手入力した仕訳明細だけを、一覧で確認できるようになりました。	10
	定型仕訳が、初期登録されるようになりました。	10
	【会計帳票】	
	[元帳]メニューで、消費税情報（税区分・事業区分・税率）を、金額欄ではなく「科目名欄」に印刷できるようになりました。	11

	[元帳パターン登録]メニューで、勘定科目を複数指定する際に、[勘定科目検索]画面から一度に複数選択できるようになりました。	12
	[部門内訳表]メニューで、集計部門の個別指定に加えて、範囲指定して集計できるようになりました。	12
	[取引先内訳表]メニューで、すべての取引先集計に加えて、取引先を個別指定して集計できるようになりました。	12
	[現預金内訳表]メニューで、勘定科目だけを表示するように、補助科目の内訳表示の選択ができるようになりました。	13
	【管理会計帳票】	
	＜『管理会計オプション』をお使いの場合＞	
	管理会計帳票などを、勘定奉行から直接印刷できるようになりました。	13
	集計対象のマスターが多い際に、管理会計帳票出力処理のパフォーマンスが向上しました。	14
	管理会計帳票のヘッダーの項目タイトルに文字色と背景色を付けることができるようになりました。	14
	管理会計帳票に、常に固定した会計期間の金額を、比較用の対比金額として出力できるようになりました。	14
	すべての会計期間の管理会計帳票を出力できるようになりました。	14
	管理会計帳票で、列ごとに管理会計科目や行項目の出力の有無を、設定できるようになりました。	15
	[非会計情報出力設定]メニューの機能は、[帳票出力設定]メニューに統合されました。	16
	【配賦処理】	
	[部門実績配賦履歴]メニューで、部門実績配賦の履歴を確認できるようになりました。	16
	【消費税申告】	
	電子申告の手続き前に、[電子申告]メニューを擬似的に操作して確認できるようになりました。	16
	[消費税申告書]メニューで消費税申告書を印刷する際に、関与税理士の「事務所名」「税理士名」の印字の有無を個々に設定できるようになり、自署する場合などに「税理士名」だけを印字しないようにできます。	17
	[科目別課税対象額集計表]メニューで、税率ごとの内訳に加え、取引の種類ごとの内訳金額（売上/売却・仕入/購入/費用・返還など）を、個々に確認できるようになりました。	18
	[税務代理権限証書]メニューで、「年月日」の項目は未入力でも登録できるようになりました。	18
	【決算処理】	
	株主資本等変動計算書の「横様式（一段表示）」「横様式（二段表示）」の印刷で、フォントサイズ、間隔補正値を設定することで、1ページ内に均等に印刷できるようになりました。	19
	【随時処理】	
	管理会計帳票の設定内容を、他のデータ領域に移行できるようになりました。 ＜『管理会計オプション』をお使いの場合＞	19
	マスターデータの上書き受入の際に、受入処理のパフォーマンスを改善しました。	20



汎用データの受け入れにおいて、テキストファイル内の「改行コード」と「最終行」の判定の精度を高めました。	20
申告奉行[法人税・地方税編]に連動可能なファイルを作成するメニューが追加されました。	20
連結決算会計システム『DivaSystem』または『STRAVIS』に連携する場合に、内部取引金額の相殺データの連携に際して、自社グループ内の取引先だけに絞り込めるようになりました。	21
連結決算会計システム『STRAVIS』に連携する場合に、月次での連携をはじめ、より運用に即した連携データを作成できるようになりました。	21
連結決算会計システム『連結大王SUMMIT』の後継商品『BTrex』との連携に対応しました。	21
[仕訳伝票一括削除]メニューなどで、処理中に経過件数を確認できるようになりました。	21
仕訳伝票を一括削除する前に、「対象伝票件数」と「合計金額」を確認できるようになりました。	21

注 意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

メニュー体系

● メニューの名称を変更しました。

メニューの名称を変更しました。

変更前	変更後
[配賦処理]-[部門実績配賦]-[部門配賦設定] -[部門配賦パターン登録]メニュー -[部門別配賦基準登録]メニュー -[実績配賦基準科目登録]メニュー	[配賦処理]-[部門実績配賦]-[部門 実績 配賦設定] -[部門 実績 配賦パターン登録]メニュー -[部門別配賦基準登録]メニュー -[実績配賦基準科目登録]メニュー
[随時処理]-[奉行連動データ作成] -[内訳書／概況書データ作成]メニュー	[随時処理]-[奉行連動データ作成] -[申告奉行データ作成]メニュー

※[配賦処理]-[部門実績配賦]の各メニューは、『Sシステム』または『Type NSシステム』をお使いの場合に使用できます。

画面表示全般

● 現在作業している会社名および会計年度が、常に画面上に表示されるようになりました。

現在作業している会社名および会計年度が、常に画面上で確認できるようになりました。これにより、決算期の変わり目など、現在作業している会計年度に誤りがないかを簡単に確認できます。

また、会社名を常に確認できるので、シェアードサービスでの運用など、グループ企業のデータ領域を複数管理しているような場合にも有効です。

▼イメージ図





- 仕訳伝票リストを印刷する際に、明細行の高さを補正することで、1 ページ当たりの印刷行数を増やせるようになりました。

仕訳伝票をリスト形式で印刷する際に、明細行の高さを補正することで、1 ページ当たりの印刷行数を調整できるようになりました。

お客様の見やすさに合わせて調整できます。

※明細行の高さは、[印刷条件設定]画面の[印刷設定]ページで設定できます。

※会計帳票や決算報告書など、他の帳票については、すでに行の高さを補正できる機能が追加されていますが、仕訳伝票リストについても機能が追加されました。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票リスト]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[月次処理]-[為替換算]-[為替換算]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[F B 処理]-[F B 仕訳起票]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]-[仕訳帳入力]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳入力補助]-[定型仕訳登録]メニュー
- ・ [配賦処理]-[部門実績配賦]-[部門実績配賦]メニュー
- ・ [随時処理]-[電子帳簿変更履歴]-[仕訳伝票履歴]メニュー



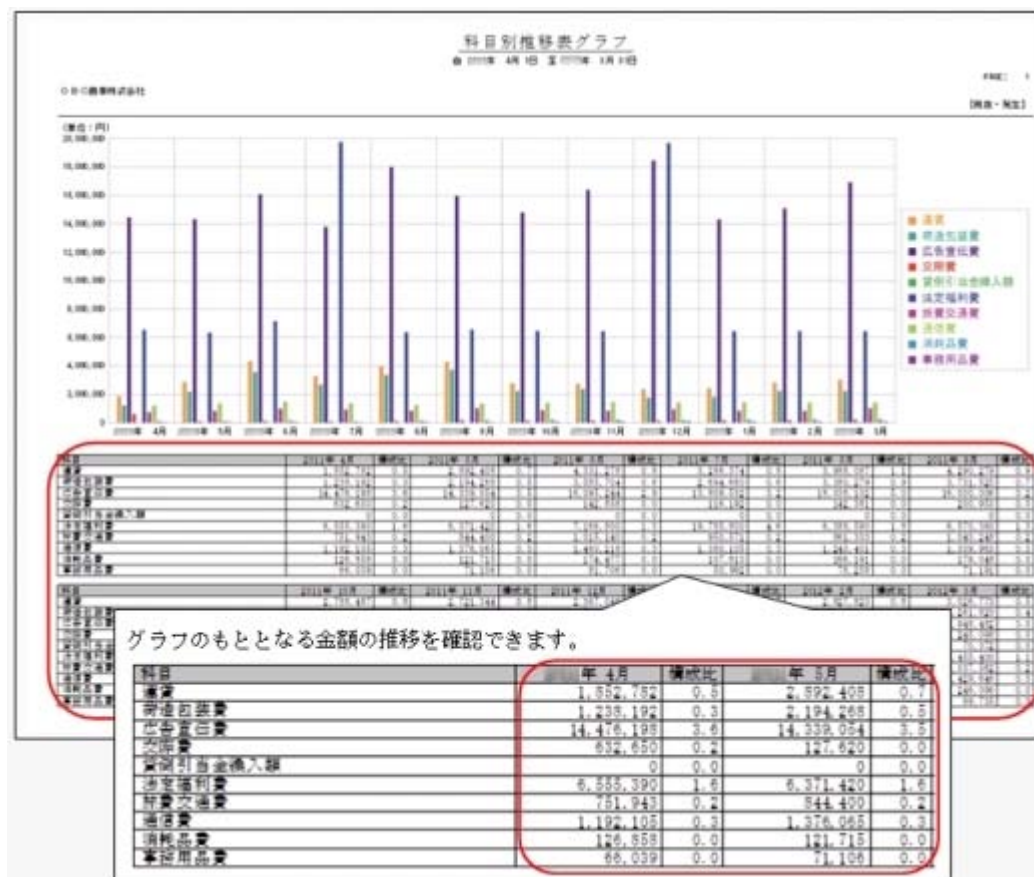
- グラフと帳票を1枚にあわせて印刷できるようになりました。

[予算管理]-[予算実績対比表]の各帳票メニューに、グラフ作成の機能が追加されました。

あわせて、推移表や対比表など、すでにグラフを作成できるメニューにおいても、グラフとその金額推移を、同時に確認できるようになりました。

印刷時に、グラフだけの印刷か、グラフ・帳票印刷を一緒に印刷するかを選択します。

▼イメージ図



《 関連メニュー 》

- ・ [分析帳票]-[推移表]の各帳票メニュー
- ・ [分析帳票]-[対比表]の各帳票メニュー
- ・ [分析帳票]-[損益分岐点分析]-[損益分岐点分析]メニュー
- ・ [予算管理]-[予算実績対比表]の各帳票メニュー

導入処理

- グループに属している部門も削除できるようになりました。

今まで、グループに属している部門を削除する際は、事前に、グループから解除する必要がありました。

今後は、部門を削除する際に、あわせてグループから解除する旨のメッセージが表示され、そのまま削除できます。（事前に、グループから削除する必要がなくなりました。）

《 関連メニュー 》

- ・ [導入処理]-[部門登録]-[部門登録]メニュー
- ・ [随時処理]-[データ一括変更]-[マスターデータ一括削除]-[部門データ一括削除]メニュー

- グループマスターの件数が表示され、グループの総件数を確認できるようになりました。

[導入処理]-[部門登録]-[部門グループ登録]メニューの画面右上にグループマスターの件数が表示され、グループの総件数を確認できるようになりました。

▼イメージ図



- [取引先登録]メニューで、印刷時に、取引先コードの範囲指定ができるようになりました。

[導入処理]-[取引先登録]-[取引先登録]メニューで、取引先リスト（台帳形式）を印刷する際に、取引先コードの範囲指定ができるようになりました。新しく追加した取引先や修正した取引先だけのリストを印刷する際に便利です。

※取引先は、『Bシステム』をお使いの場合は管理できません。

- [勘定科目登録]メニューで、定型仕訳で使用している勘定科目でも、削除および「未使用」に変更できるようになりました。

今まで、定型仕訳を使用している勘定科目を削除する際は、事前に、その定型仕訳を削除する必要がありました。

今後は、勘定科目を削除または「未使用」に変更する際に、定型仕訳もあわせて削除する旨のメッセージが、表示され、そのまま削除できます。

仕訳処理



- 「簡易形式」の仕訳伝票リストを印刷する際に、科目などの文字を大きく調整し、見やすくなります。また、印刷方向が「縦形式」の場合でも、摘要40文字をすべて印刷できるようになりました。

「簡易形式」の仕訳伝票リストを印刷する際に、科目や部門などの各マスター、摘要のフォントサイズを変更できるようになりました。お客様の見やすさに合わせて調整できます。

また、印刷方向が「縦形式」の場合でも、摘要のフォントサイズを「5」に設定することで、摘要40文字をすべて印刷できます。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票リスト]メニュー

- [帳簿入力]メニューで、「0：その他」のサブマスターは、コードと名称を空欄で表示・印刷するように変更しました。

[仕訳処理]-[仕訳処理]メニューと同様に、[仕訳処理]-[帳簿入力]メニューの各メニューでも、「0：その他」の取引先のコードと名称は空欄で表示・印刷するようになりました。

※取引先は、『Bシステム』をお使いの場合は管理できません。



- [汎用データ受入]メニューで受け入れた伝票など、外部のシステムですでに承認済みで、正当性が保証されている伝票を、簡易的に承認できるようになりました。

[仕訳処理]-[仕訳伝票承認]-[仕訳伝票承認]メニューに、今までの、伝票内容を画面で確認後に承認を個別に付与する方法のほかに、承認を一括で付与できる機能が追加されました。

主に、[汎用データ受入]メニューで受け入れた伝票など、外部のシステムですでに承認済みで、正当性が保証されている伝票に対して処理を行うときに有効です。

また、承認を一括で付与する際、処理前に、参考情報として「対象伝票件数」と「合計金額」を確認できるため、例えば、[汎用データ受入]メニューで受け入れた情報との突き合わせに利用できます。

- [仕訳伝票承認]メニューで、承認後の取り消し伝票（反対仕訳）を簡単に判別するための「反仕」マークが表示されるようになりました。

[仕訳処理]-[仕訳伝票承認]-[仕訳伝票承認]メニューの[仕訳伝票承認]画面上、取り消し伝票（反対仕訳として登録された伝票）には、「反仕」マークが表示されるようになりました。その伝票を選択して「反対仕訳元」（[F9]キー）を押すと、反対仕訳の作成元の仕訳伝票を確認できます。

「反仕」マークは、承認時の細かい確認作業を省略できるかの目安にするなど、承認作業をスムーズに行う上で活用できます。

- [仕訳伝票承認]メニューなどで、処理中に経過件数を確認できるようになりました。

以下のメニューで、処理中の経過件数が、実行中のメッセージに表示されるようになりました。

進捗過程の確認、どれくらいで処理が完了するかの目安になります。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票承認]-[仕訳伝票承認]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票承認]-[仕訳伝票一括転記]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票承認]-[仕訳伝票一括転記]メニュー



- [自己承認伝票確認リスト]メニューで、承認済みの伝票の中から、登録者と承認者が同一である伝票（自己承認伝票）だけを、一覧で確認できるようになりました。

[仕訳処理]-[仕訳伝票入力内容チェック]-[自己承認伝票確認リスト]メニューが追加されました。

承認済みの伝票の中から、登録者と承認者が同一である伝票（自己承認伝票）だけを、一覧で確認できます。

経営責任者や監査人などが、不正のリスクの高い自己承認伝票をチェックする場合に活用できます。

なお、表示形式として「簡易表示」を選択すると、伝票日付や伝票No.などの伝票の基本的な情報が一覧表示されるため、まずは、該当する伝票の全体を把握できます。

その後、「詳細表示」を選択し、仕訳明細の内容を細かく確認するなど、段階的な確認もできます。



- [伝票No. 欠番確認リスト]メニューで、伝票No.の欠番を一覧で確認できるようになりました。

[仕訳処理]-[仕訳伝票入力内容チェック]-[伝票No. 欠番確認リスト]メニューが追加されました。

[導入処理]-[会計期間設定]-[会計期間設定]メニューの[伝票設定]ページの「付番方法」や「付番基準」に応じて、伝票No.の欠番を一覧で確認できます。

伝票No.の欠番が発生している場合に、それが入力漏れによるものなのか、伝票の修正・削除によるものなのかを確認できます。修正・削除による欠番の場合には、その処理日時（処理アカウント）などの参考情報も出力されるため、内容確認する際に有効です。



- **[消費税手入力確認リスト]メニューで、仮払消費税・仮受消費税の金額を手入力した仕訳明細だけを、一覧で確認できるようになりました。**

[仕訳処理]-[仕訳伝票入力内容チェック]-[消費税手入力確認リスト]メニューが追加されました。

以下のような、仮払消費税・仮受消費税の金額を手入力した仕訳明細だけを、一覧で確認できます。

○自動計算された消費税金額を手修正している場合

○仮払消費税科目・仮受消費税科目を直接計上している場合

該当の仕訳明細だけを一覧で確認できるため、消費税金額の計上の誤りをチェックする際に有効です。

- **定型仕訳が、初期登録されるようになりました。**

今まで、必要な定型仕訳を一から作成する必要がありましたが、あらかじめ、毎月発生する仕訳や頻繁に使用する仕訳が初期登録されるようになりました。

初期登録されている定型仕訳の内容を必要に応じて変更し、仕訳伝票を登録する際に利用できます。

※この変更は、新規にデータ領域を作成した段階から反映されます。すでに運用中のデータ領域には影響しません。

なお、初期登録されている定型仕訳が不要な場合は、[随時処理]-[データ一括変更]-[仕訳伝票データ一括変更]-[定型仕訳一括削除]メニューで削除します。



- [元帳]メニューで、消費税情報（税区分・事業区分・税率）を、金額欄ではなく「科目名欄」に印刷できるようになりました。

元帳を表示・印刷する際や、帳簿を印刷する際に、消費税情報（税区分・事業区分・税率）を「金額欄」ではなく「科目名欄」に出力できるようになりました。

元帳を表示・印刷する場合は、[条件設定]画面の[基本条件]ページ（拡張形式の[条件設定]画面の場合は、[詳細条件]ページ）で、「表示設定」の「税区分・事業区分・税率を金額欄に表示する」のチェックを外します。

帳簿を印刷する場合は、[印刷条件設定]画面の[基本設定]ページで、「表示設定」の「税区分・事業区分・税率を金額欄に表示する」のチェックを外します。

▼イメージ図

- 「金額欄」に出力する場合

500 売上高				
○B C商事株式会社			Page: 1 【税抜】 【勘定元帳】	
伝票日付 伝票No.	相手勘定科目 / 補助科目 摘要	借方	貸方	残高
	繰越金額			0
000001	110 当座預金 001 東都銀行	売上上 5.0%	50,000	50,000
000002	110 当座預金 001 東都銀行	売上上 5.0%	85,000	135,000
000003	110 当座預金 001 東都銀行	売上上 5.0%	110,000	245,000

金額欄に表示されます。

- 「明細欄」に出力する場合

500 売上高				
○B C商事株式会社			Page: 1 【税抜】 【勘定元帳】	
伝票日付 伝票No.	相手勘定科目 / 補助科目 摘要	借方	貸方	残高
	繰越金額			0
000001	110 当座預金 001 東都銀行	売上上 5.0%	50,000	50,000
000002	110 当座預金 001 東都銀行	売上上 5.0%	85,000	135,000
000003	110 当座預金 001 東都銀行	売上上 5.0%	110,000	245,000

明細欄に表示されます。

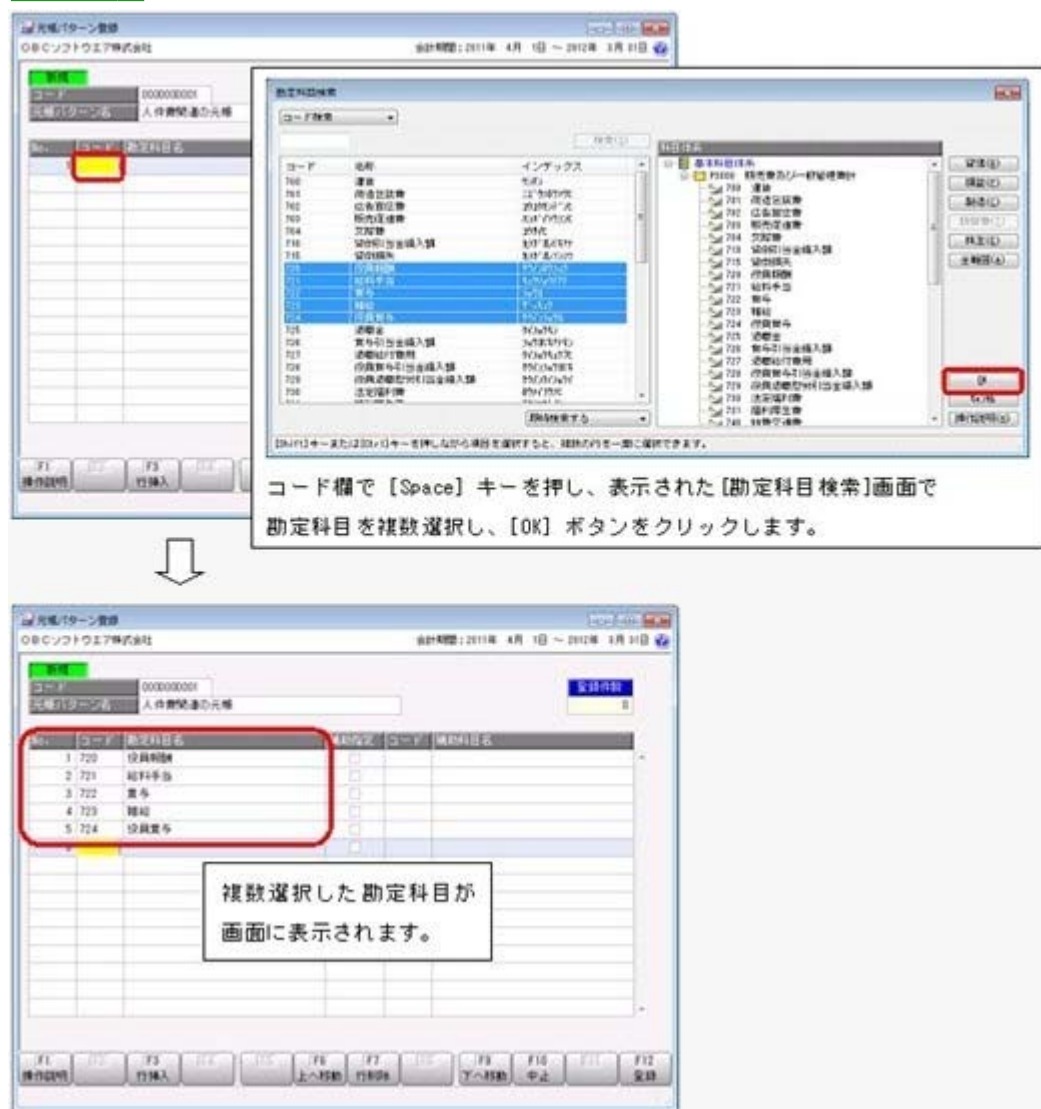
《 関連メニュー 》

- ・ [会計帳票]-[元帳]-[元帳]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]-[現金出納帳入力]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]-[預金出納帳入力]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]-[元帳入力]メニュー

- [元帳パターン登録]メニューで、勘定科目を複数指定する際に、[勘定科目検索]画面から一度に複数選択できるようになりました。

今まで、[補助科目検索]画面では、一度に複数の補助科目を選択できていましたが、勘定科目についても同じように、[勘定科目検索]画面から一度に複数の勘定科目を選択できるようになりました。

▼イメージ図



- [部門内訳表]メニューで、集計部門の個別指定に加えて、範囲指定して集計できるようになりました。

[会計帳票]-[内訳表]-[部門内訳表]メニューで、複数の部門の内訳を確認する場合は、今まで、複数の部門を個別に指定するか、検索画面から指定するだけでしたが、部門コードを範囲指定できるようになり、指定しやすくなりました。

また、[基本条件2]ページで、部門を指定していましたが、[基本条件]ページで指定できるようになりました。



- [取引先内訳表]メニューで、すべての取引先集計に加えて、取引先を個別指定して集計できるようになりました。

[会計帳票]-[内訳表]-[取引先内訳表]メニューで、すべての取引先集計に加えて、取引先を個別指定して集計できるようになりました。

※取引先は、『Bシステム』をお使いの場合は管理できません。

以下の例のように、目的にあわせて分類したまとまりで、集計できるようになりました。

【例】

- ・ 自社の子会社や関連会社などの内部取引先と、外部取引先を区分けする場合
- ・ 外部取引先を、重要取引先とそれ以外の取引先に区分けする場合



- [現預金内訳表]メニューで、勘定科目だけを表示するように、補助科目の内訳表示の選択ができるようになりました。

[会計帳票]-[内訳表]-[現預金内訳表]メニューで、今までは金額が発生している補助科目は必ず出力されていましたが、補助科目を表示するかどうか選択できるようになり、勘定科目だけの表示が可能になりました。

管理会計帳票

＜『管理会計オプション』をお使いの場合＞



- 管理会計帳票などを、勘定奉行から直接印刷できるようになりました。

[管理会計帳票出力]と[管理会計金額入力]の各メニューに、印刷機能が付きまして。今までは、Excelに出力して、Excelから印刷していましたが、勘定奉行から直接印刷できるようになりました。

▼イメージ図

売上対費用 5 期間比較表									
○ 〇 〇 〇 〇 〇 〇 株式会社		報告期間：2020年 4月 1日 ~ 2020年 3月 31日						Page: 1 【印刷】 (単位：円)	
コード	名称	当期末	前期末	増減額	増減率	二増減	三増減	四増減	五増減
P000	売上高	997,463,518	1,520,722,594	-523,259,076	-34.39%	915,471,945	912,927,295	874,555,794	
P100	売上原価	594,595,059	740,938,405	-146,343,346	-19.75%	655,225,954	645,295,554	612,405,053	
P200	売上総利益	402,868,459	779,784,189	-376,915,730	-47.06%	260,245,991	267,631,741	262,150,741	
P300	販費	0	0	0	0.00%	0	0	0	
P400	小売費	0	0	0	0.00%	0	0	0	
P500	一般管理費	0	0	0	0.00%	0	0	0	
P600	販費合計(一般管理費)	0	0	0	0.00%	0	0	0	
P700	営業利益	402,868,459	779,784,189	-376,915,730	-47.06%	260,245,991	267,631,741	262,150,741	

売上対費用 5 期間比較表									
〇 〇 〇 〇 〇 〇 株式会社		報告期間：2020年 4月 1日 ~ 2020年 3月 31日						Page: 1 【印刷】 (単位：円)	
コード	名称	当期末	前期末	増減額	増減率	二増減	三増減	四増減	五増減
P000	売上高	888,534,597	936,135,923	-47,601,326	-5.09%	840,933,271	837,932,932	825,551,947	
P100	売上原価	555,142,974	585,255,745	-30,112,771	-5.14%	605,820,505	602,932,932	592,551,947	
P200	売上総利益	333,391,623	350,880,178	-17,488,555	-4.98%	235,112,766	235,000,000	233,000,000	
P300	販費	0	0	0	0.00%	0	0	0	
P400	小売費	0	0	0	0.00%	0	0	0	
P500	一般管理費	0	0	0	0.00%	0	0	0	
P600	販費合計(一般管理費)	0	0	0	0.00%	0	0	0	
P700	営業利益	333,391,623	350,880,178	-17,488,555	-4.98%	235,112,766	235,000,000	233,000,000	

売上対費用 5 期間比較表									
〇 〇 〇 〇 〇 〇 株式会社		報告期間：2020年 4月 1日 ~ 2020年 3月 31日						Page: 1 【印刷】 (単位：円)	
コード	名称	当期末	前期末	増減額	増減率	二増減	三増減	四増減	五増減
P000	売上高	352,327,897	524,435,035	-172,107,138	-32.84%	280,220,759	277,376,517	275,376,517	
P100	売上原価	225,791,827	371,938,433	-146,146,606	-39.33%	154,475,153	153,475,153	152,475,153	
P200	売上総利益	126,536,070	152,496,602	-25,960,532	-16.99%	125,745,606	123,901,364	122,901,364	
P300	販費	0	0	0	0.00%	0	0	0	
P400	小売費	0	0	0	0.00%	0	0	0	
P500	一般管理費	0	0	0	0.00%	0	0	0	
P600	販費合計(一般管理費)	0	0	0	0.00%	0	0	0	
P700	営業利益	126,536,070	152,496,602	-25,960,532	-16.99%	125,745,606	123,901,364	122,901,364	

《 関連メニュー 》

- ・ [管理会計帳票]-[管理会計帳票出力]の各メニュー
- ・ [管理会計帳票]-[管理会計金額入力]の各メニュー

- 集計対象のマスターが多い際に、管理会計帳票出力処理のパフォーマンスが向上しました。

管理会計部門や取引先など、集計対象のマスターの数が多い際に、管理会計帳票出力処理のパフォーマンスが向上しました。

《 関連メニュー 》

[管理会計帳票]-[管理会計帳票出力]の各メニュー

- 管理会計帳票のヘッダーの項目タイトルに文字色と背景色を付けることができるようになりました。

管理会計帳票のヘッダーの項目に文字色と背景色を付けて、強調できるようになりました。

《 関連メニュー 》

[管理会計帳票]-[管理会計帳票出力]の各メニュー



- 管理会計帳票に、常に固定した会計期間の金額を、比較用の対比金額として出力できるようになりました。

通常は、当期・前期・2期前など、翌会計期間に移行した場合でも、会計期間に対応して金額が集計されます。

一方で、「過去最高売上決算期」の金額と比較する場合など、常に固定した決算期の金額と比較する際には、「会計期間を固定する」にチェックを付けます。

▼イメージ図

- すべての会計期間の管理会計帳票を出力できるようになりました。

今までは、5期間（「今期」＋「過去4期分」）の中から出力する会計期間の金額を指定していましたが、すべての会計期間の金額を出力できるようになりました。



- 管理会計帳票で、列ごとに管理会計科目や行項目の出力の有無を、設定できるようになりました。

[管理会計帳票]-[帳票レイアウト設定]-[帳票出力設定]メニューが追加され、列項目ごとに、管理会計科目や行項目の出力の有無を設定できるようになりました。

また、行と列が重なる部分について、出力データの設定(小数桁数、パーセント表示、単位設定)を、行と列のどちらにするか設定します。

▼イメージ図

帳票出力設定

出力の有無を設定する場合

会計期間: 2019年 4月 1日 ~ 2019年 3月 31日

管理会計科目体系	01	売上対費用率
行項目レイアウト	01	売上対費用率
列項目レイアウト	01	売上対費用率期間比較

列項目ごとに、管理会計科目や行項目の出力の有無を設定します。

	コード	表示名称	3 対前期差異 06 対前期差異	4 対前期比 07 対前期比	6 二期的実績 08 二期的実績
1	科 P1000	純売上高	1 出力する	1 出力する	
2	科 P1100	売上原価	1 出力する	1 出力する	
3	科 P2000	売上総利益	1 出力する	1 出力する	
4	科 P3100	販売費	1 出力する	1 出力する	
5	科 P3200	人件費	1 出力する	1 出力する	
6	科 P3300	一般管理費	1 出力する	1 出力する	
7	科 P3000	販売費及び一般管理費計	1 出力する	1 出力する	
8	科 P4000	営業利益	1 出力する	1 出力する	

F1 操作説明 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 →移動 F9 一括変更 F10 条件設定 F11 ガイド F12 閉じる

帳票出力設定

小数桁数、パーセント表示、単位設定を設定する場合

会計期間: 2019年 4月 1日 ~ 2019年 3月 31日

管理会計科目体系	02	変動損益
行項目レイアウト	02	変動損益計算書
列項目レイアウト	02	変動損益集計表

行と列が重なる部分について、出力データの設定(小数桁数、パーセント表示、単位設定)として、行と列のどちらにするか設定します。

	コード	表示名称	7 予算額 04 予算額	達成率
25	科 FC127	その他固定販管費		
26	科 FC120	固定販売費及び一般管理		
27	科 FC100	固定費計		
28	科 P4000	営業利益		
29	空	【顧客単価】		
30	非	顧客数(人)	0 行項目	1 列項目
31	計	顧客単価	0 行項目	1 列項目
32	空	【構成比一覧】		
33	構	売上高構成比	0 行項目	
34	構	変動費構成比	0 行項目	
35	構	限界利益構成比	0 行項目	
36	構	固定費構成比	0 行項目	
37	構	営業利益構成比	0 行項目	

F1 操作説明 F2 F3 F4 F5 出力設定 F6 設定方法 F7 F8 →移動 F9 一括変更 F10 条件設定 F11 ガイド F12 閉じる

- [非会計情報出力設定]メニューの機能は、[帳票出力設定]メニューに統合されました。

[管理会計帳票]-[帳票レイアウト設定]-[帳票出力設定]メニューが追加され、列項目ごとに、管理会計科目や行項目の出力の有無を設定できるようになりました。

それに伴い、[非会計情報出力]設定メニューの機能が[帳票出力設定]メニューに統合されました。

▼イメージ図

配賦処理

- [部門実績配賦履歴]メニューで、部門実績配賦の履歴を確認できるようになりました。

[配賦処理]-[部門実績配賦]-[部門実績配賦履歴]メニューが追加され、[配賦処理]-[部門実績配賦]-[部門実績配賦]メニューで実行した、部門実績配賦の履歴を確認できます。

※このメニューは、『Sシステム』または『Type NSシステム』をお使いの場合に使用できます。

消費税申告

- 電子申告の手続き前に、[電子申告]メニューを擬似的に操作して確認できるようになりました。

電子申告の手続きをしなくても、『国税受付システム (e-Tax)』にログインしたイメージ (オフライン) で、[電子申告]メニューを擬似的に操作して確認できるようになりました。

※すべての操作はオフラインで実行されるため、実際に電子申告されることは一切ありません。

- [消費税申告書]メニューで消費税申告書を印刷する際に、関与税理士の「事務所名」「税理士名」の印字の有無を個々に設定できるようになり、自署する場合などに「税理士名」だけを印字しないようになります。

今までは、[消費税申告]-[消費税申告書]メニューで消費税申告書を印刷すると、[導入処理]-[消費税基本登録]-[消費税基本登録]メニューの[関与税理士設定]ページで登録している関与税理士の「事務所名」「税理士名」の両方が必ず印字されていました。

今後は、自署する場合などに「税理士名」だけを印字しないことや、「事務所署名」は印字せずに「税理士名」だけを印字できるようになりました。

※関与税理士の「事務所名」と「税理士名」を印字する箇所は、イメージ図をご参照ください。

▼イメージ図



- **[科目別課税対象額集計表]メニューで、税率ごとの内訳に加え、取引の種類ごとの内訳金額（売上/売却・仕入/購入/費用・返還など）を、個々に確認できるようになりました。**

[消費税申告]-[科目別課税対象額集計表]メニューで、今までは、売上・仕入や返還などが混在していた場合に、「売上・仕入」「返還」それぞれの金額を確認できず、勘定科目単位での金額だけしか確認できませんでした。

今後は、[条件設定]画面の[詳細条件]ページの「税率等の内訳を個別表示する」にチェックを付けることで、取引の種類ごとの内訳金額を個々に確認できるようになりました。

- **[税務代理権限証書]メニューで、「年月日」の項目は未入力でも登録できるようになりました。**

税務代理権限証書の「委任年月日」の日にちを、後で手書きするために、未入力でも登録できるようにしました。（他の「年月日」の項目も、未入力で登録できるようになりました。）

決算処理



- 株主資本等変動計算書の「横様式（一段表示）」「横様式（二段表示）」の印刷で、フォントサイズ、間隔補正値を設定することで、1ページ内に均等に印刷できるようになりました。

[決算処理]-[決算報告書]-[決算報告書]メニューで、株主資本等変動計算書「横様式（一段表示）」「横様式（二段表示）」を印刷する際に、フォントサイズや間隔補正値を設定できるようになりました。

今までは、勘定科目数が少ない場合は、金額列の幅が固定であったため、左寄りに印刷されました。金額列幅を設定することにより、1ページ内に均等に印刷できるようになりました。

▼イメージ図

株主資本等変動計算書

〇〇〇〇年 4月 1日 至 〇〇〇〇年 3月 31日

(金額累計額)

〇〇〇株式会社

(単位:円)

	株主資本	純資産合計					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			株主資本合計	
			資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金		
					利益剰余金合計		
当期首残高	300,000,000	90,000,000	120,000,000	240,000,000	3,317,214,320	3,697,214,320	4,087,214,320
当期変動額							
利益準備金に繰り入れ			30,000,000		30,000,000		
任意準備金に繰り入れ				30,000,000	30,000,000		
利益準備金に繰り入れ				30,000,000	30,000,000		
当期変動合計	0	0	30,000,000	60,000,000	60,000,000	1,021,230,000	1,021,230,000
当期末残高	300,000,000	90,000,000	150,000,000	300,000,000	4,338,444,320	5,718,444,320	5,108,444,320

左寄りに印刷された（余白がある）場合は、金額の列幅を広くすると、1ページ内に均等に印刷できます。

株主資本等変動計算書

〇〇〇〇年 4月 1日 至 〇〇〇〇年 3月 31日

(金額累計額)

〇〇〇株式会社

(単位:円)

	株主資本	純資産合計					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			株主資本合計	
			資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金		
					利益剰余金合計		
当期首残高	300,000,000	90,000,000	120,000,000	240,000,000	3,317,214,320	3,697,214,320	4,087,214,320
当期変動額							
利益準備金に繰り入れ			30,000,000		30,000,000		
任意準備金に繰り入れ				30,000,000	30,000,000		
利益準備金に繰り入れ				30,000,000	30,000,000		
当期変動合計	0	0	30,000,000	60,000,000	60,000,000	1,021,230,000	1,021,230,000
当期末残高	300,000,000	90,000,000	150,000,000	300,000,000	4,338,444,320	5,718,444,320	5,108,444,320

随時処理



- 管理会計帳票の設定内容を、他のデータ領域に移行できるようになりました。
＜『管理会計オプション』をお使いの場合＞

[随時処理]-[汎用データ作成]-[管理会計帳票データ作成]メニュー・[随時処理]-[汎用データ受入]-[管理会計帳票データ受入]メニューが追加され、管理会計帳票の設定内容を、他のデータ領域に移行できるようになりました。

- **マスターデータの上書き受入の際に、受入処理のパフォーマンスを改善しました。**

[マスターデータ受入]の各メニューで、すでに登録済みのマスターと同じ設定のデータを受け入れた場合（受入項目すべてで変更点がない場合）は、受入処理のパフォーマンスを改善しました。

その際は、マスター項目は何も変更されないため、変更履歴情報も保存しません。

◀ 関連メニュー ▶

[随時処理]-[汎用データ受入]-[マスターデータ受入]の各メニュー

- **汎用データの受け入れにおいて、テキストファイル内の「改行コード」と「最終行」の判定の精度を高めました。**

汎用データのテキストファイルを受け入れる際に、1行データの区切りである「改行コード」について、今までは「CR+LF」だけを「改行」と認識していましたが、「CR」または「LF」だけの場合でも改行と認識するようになりました。

また、テキストファイルの最終行が「Tab」または「スペース」だけの場合に、今まではデータ行と認識して未受入データにしていたましたが、データ行とは認識せずに未受入データに含めないようになりました。



- **申告奉行[法人税・地方税編]の別表とデータ連動ができるようになり、業務が効率化されます。**

申告奉行[法人税・地方税編]の別表へ、データ連動ができるようになりました。

▼ 合計残高試算表の金額

- ・別表一(一) 売上金額
- ・別表四 当期利益又は当期欠損の額
- ・別表五(一) 利益準備金、別途積立金などの各種積立金、資本金、資本準備金
- ・別表六(一) 預貯金の利子
- ・別表十五 交際費の支出額

▼ 取引先内訳表・補助科目内訳表の金額

- ・別表六(一) 受取配当金の銘柄、収入金額
- ・別表八(一) 配当を受ける法人名又は銘柄、受取配当の額
- ・第六号様式別表五の四 借入先、支払利子額、貸付先、受取利子額

会計システムから申告書作成システムへデータ連動することで、一連の業務の効率化と共に、入力ミスを低減します。

[内訳書／概況書データ作成]メニューが、[随時処理]-[奉行連動データ作成]-[申告奉行データ作成]メニューにメニュー名が変更になり、当メニューで、申告奉行[法人税・地方税編]と申告奉行[内訳書・概況書編]の両方の連動データを作成（ファイル連動）できます。

※申告奉行の[奉行連動データ受入]メニューから、「直接連動」もできます。

※取引先は、『Bシステム』をお使いの場合は管理できません。

- **連結決算会計システム『DivaSystem』または『STRAVIS』に連携する場合に、内部取引金額の相殺データの連携に際して、自社グループ内の取引先だけに絞り込めるようになりました。**

[随時処理]-[他システム連携]メニューで、『DivaSystem』または『STRAVIS』に連携する場合に、今までは、すべての取引先のデータを連携していましたが、自社グループ内の取引先だけに絞り込めるようになったため、連結決算システム側で区別する業務が必要なくなります。

※取引先は、『Bシステム』をお使いの場合は管理できません。

- **連結決算会計システム『STRAVIS』に連携する場合に、月次での連携をはじめ、より運用に即した連携データを作成できるようになりました。**

[随時処理]-[他システム連携]メニューで、『STRAVIS』に連携する場合に、月次での連携を強化しました。

また、入力必須項目の軽減や、出力ファイルの選択など、必要な連携データだけを出力できるようになりました。

- **連結決算会計システム『連結大王SUMMIT』の後継商品『BTrex』との連携に対応しました。**

連結決算会計システム『連結大王SUMMIT』の後継商品『BTrex』に対応しました。[随時処理]-[他システム連携]メニューで、連携先として『BTrex / 連結大王SUMMIT』を選択します。

- **[仕訳伝票一括削除]メニューなどで、処理中に経過件数を確認できるようになりました。**

以下のメニューで、処理中の経過件数が、実行中のメッセージに表示されるようになりました。

進捗過程の確認、どれくらいで処理が完了するかを目安になります。

《 関連メニュー 》

- ・ [随時処理]-[データ一括変更]-[仕訳伝票データ一括変更]-[伝票No. 再付番]メニュー
- ・ [随時処理]-[データ一括変更]-[仕訳伝票データ一括変更]-[仕訳伝票一括削除]メニュー

- **仕訳伝票を一括削除する前に、「対象伝票件数」と「合計金額」を確認できるようになりました。**

[随時処理]-[データ一括変更]-[仕訳伝票データ一括変更]-[仕訳伝票一括削除]メニューで、仕訳伝票を一括削除する際、処理前に、対象伝票件数と合計金額を確認できるようになりました。

処理を実行しようとしている伝票の範囲に誤りがないか、最終確認できます。







機能アップガイド

Ver.1.59/Ver.1.58/Ver.1.57
















目次

※  マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

【改正情報】	
企業会計基準第6号「株主資本等変動計算書に関する会計基準」の改正に対応しました。	5
【帳票全般】	
部門コードの範囲指定を行えるようになり、複数部門の集計が容易になりました。	6
勘定科目コード、科目区分コードの出力の有無をそれぞれ分けて設定できるようになりました。	6
条件設定画面で日付指定する際に、月末日付が自動的に表示されるようになりました。	7
転送の際に、画面表示と同じ項目を選択せずに転送できるようになりました。	8
【データ領域管理】	
[データ領域選択]メニューからも、会計期間を切り替えられるようになりました。	8
【導入処理】	
[勘定科目検索]画面と[補助科目検索]画面でタイトルをクリックすると、自動的にコード順に表示されるようになりました。	9
[勘定科目検索]画面の「標準形式」でも帳票ごとに勘定科目を絞り込むことができるようになりました。	10
印刷する際に、行の高さの補正やフォントサイズの変更ができるようになりました。	11
【仕訳処理】	
仕訳処理画面の見易さと、入力の操作性が向上しました。	12
 ○表示する明細行数を調整することで、多くの行数を表示できるようになりました。	12
 ○画面下の更新履歴を隠すことで、表示する明細行数を増やすことができるようになりました。	12
 ○伝票部門や伝票区分について、前回指定した項目が記憶できるようになり、部門や利用者ごとに固定されている場合は、効率良く入力できるようになりました。	12
○明細行に背景色を設定することで、行と行の区切りをより明確にできるようになりました。	13
○コクヨ式の場合に、借方の金額欄から入力できるようになりました。	13
○伝票日付入力時に、画面下部のステータスバーに入力可能期間を表示し、常に入力期間を把握できるようになりました。	13
○消費税率を非表示にすることで、補助科目名称の表示文字数を増やすことができるようになりました。	13
○簡単に、複数の摘要を組み合わせ入力できるようになりました。	14
○[摘要]（F7キー）を押した後に、[連想摘要一覧]画面ではなく、[摘要一覧]画面が表示されるようになりました。	14
○摘要名の折り返し位置が入力時と確定後の表示時と一致するようになりました。	14
○摘要入力済みの明細行で、再度摘要を検索した際に、入力済みの摘要を削除してから摘要を追加できるようになりました。	14
○定型仕訳の検索画面でも、前回指定項目を初期選択して表示できるようになりました。	14
○固定部門の入力時に未入力のまま確定した際に、「0：その他」部門を自動でセットす	15

	るようになりました。	
	○仕訳伝票の承認画面で「コクヨ形式」で表示できるようになりました。	15
	反対仕訳一括起票ができるようになりました。	15
	日々の仕訳のチェック作業時の操作性が向上しました。	15
	○本日分の伝票を検索し易くなりました。	15
	○仕訳伝票リスト表示後に、伝票の頭出しができるようになりました。	16
	○明細行数が多い仕訳伝票を参照する場合に、ヘッダー情報（伝票日付や伝票No. など）を固定表示し、対象伝票を特定・把握できるようになりました。	16
	○登録後に、一度も修正していない伝票だけを絞り込めるようになりました。	16
	営業日を考慮した仕訳起票スケジュールを管理できるようになりました。	17
	仕訳伝票の専用用紙印刷で、コード桁数設定に応じてコードの印字幅が調整され、できるだけ科目名が多く印字されるようになりました。	17
	金額0円の明細が登録できないように制限できるようになりました。	17
	応用用紙で仕訳伝票リストを印刷する際に、印刷開始ページ番号を指定して印刷できるようになりました。	17
	誤って2度受け入れてしまった場合など、一度受け入れたF Bデータを削除できるようになりました。	17
	F Bデータの処理状況を確認できるようになりました。	18
	F Bデータの変換ルールを一括変更・削除できるメニューが追加されました。	18
	【会計帳票】	
	試算表の印刷条件の拡充により、詳細項目を確認できるようになり、また無駄な印刷も軽減できるようになりました。	18
	○現預金内訳や棚卸資産内訳など特定の科目区分の内訳を、貸借対照表の右下に印字できるようになりました。	18
	○損益計算書と製造原価報告書をページを切り替えずに一枚に印刷できるようになりました。	19
	○金額の発生の有無に関わらず、毎月同じレイアウトで印刷できるようになりました。	19
	元帳の検索条件を拡充し、元帳を効率良くチェックできるようになりました。	19
	元帳の印刷条件の拡充により、見易さが向上し、また無駄な印刷も軽減できるようになりました。	21
	○本体金額と消費税金額の印字位置（上段か下段か）を選択して出力できるようになりました。	21
	○明細の発生していない月の月計を非表示にし、不要な情報を省くことができるようになりました。	21
	○累計行の印字位置（左寄せか右寄せか）を選択して出力できるようになりました。	21
	○タイトル部分の勘定科目名を均等割り付け印刷機能が追加されました。	21
	○余白部分に罫線を印字し、どのページでも同じデザインで元帳を印刷できるようになりました。	22
	○「0：その他」の付属マスターを非表示できる機能が追加されました。	22
	○奉行21シリーズと同様の伝票日付の印字形式（年月日の区切り「/」なし）で印刷できるようになりました。	22
	○伝票No. の印字の有無が設定できます。	23

	元帳の集計パフォーマンスが向上しました。	23
	元帳で摘要の出力方法が変更されました。	23
	【分析帳票】	
	分析用のキャッシュ・フロー帳票が追加されました。	24
	経営分析の一覧表で、指標と計算方法を印刷できるようになりました。	24
	帳票画面とグラフ画面を同時に起動できるようになりました。	25
	【管理会計帳票】	
	＜『管理会計オプション for 奉行 i』をお使いの場合＞	
	管理会計予算（実績）額、非会計情報を「帳票形式」で出力（受入）できるようになりました。	26
	管理会計部門別や取引先別など、マスター別に登録した管理会計予算（実績）額、非会計情報を複数マスター分合算できるようになりました。	26
	登録済みの管理会計予算（実績）額、非会計情報を一括で初期化できるようになりました。	26
	帳票の行項目、列項目の管理会計科目の名称を変更した場合は、行項目名、列項目名にも反映されるようになりました。	27
	【予算管理】	
	予算管理する科目設定にて、帳票単位での設定変更が一括でできるようになりました。また、科目追加時には、その勘定科目で絞り込むことで、効率よく設定できます。	27
	【消費税申告】	
	消費税申告書作成のための事前確認帳票が追加されました。	28
	期中導入の際など、仕訳伝票を登録していない場合でも、消費税申告書に金額を直接入力して作成できるようになりました。	30
	科目別税区分集計表で、金額が発生している税区分だけを表示できるようになりました。	30
	翌年度の消費税課税方法変更の検討、分析ができるようになりました。	30
	【決算処理】	
	消費税の残高を共通部門に集約して、翌年度に繰り越せるようになりました。	31
	キャッシュ・フロー調整金額明細が、計算書と同じ条件で作成されるようになりました。	31
	【随時処理】	
	「貸借別の発生金額」での合算処理のパフォーマンスが向上しました。	32
	前回転送後に、差分登録したマスターと仕訳伝票だけを転送できるようになりました。	32
	内部監査時に有効な項目となる行番号、登録日付、登録者等の履歴情報、本体金額（税抜き）、消費税自動計算金額を転送できるようになりました。	32
	奉行21シリーズの「他ソフト編集」形式で出力できるようになりました。	33
	勘定科目の資金繰属性、キャッシュ・フロー属性を作成／受け入れできるようになりました。	33
	仕訳伝票データ受け入れ業務の誤操作の制御を強化しました。	34
	○マスター情報が必須の科目の仕訳伝票データ受け入れ時に、マスター情報が未設定のデータを受け入れできないようにしました。	34
	○金額0円の仕訳伝票を受け入れないように制限できるようになりました。	34

処理状態（新規／修正）や処理日時でマスターの履歴を絞り込めるようになりました。	34
整理仕訳と日常仕訳を区別して合算できるようになりました。	34
科目の調整伝票が必要なくなりました。	35
【その他の変更情報】	
「マイページ」のサポートサービス情報などを、「奉行 i メニュー」に一元化しました。	35
【税理士事務所のお客様へ】	
現在作業している会社名および会計年度が、常に画面上に表示されるようになりました。	35

注 意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

改正情報

- 企業会計基準第6号「株主資本等変動計算書に関する会計基準」の改正に対応しました。

企業会計基準第6号・企業会計基準適用指針第9号の改正に対応いたしました。本改正は、平成23年4月1日以後開始する事業年度から適用になる会計基準のため、会計期首が平成23年4月1日以降の会計期間が選択されている場合に、「当期首残高」と出力されます。

▼イメージ図

＜会計期間平成22年4月1日～平成23年3月31日 株主資本等変動計算書＞

株主資本等変動計算書		
自 平成 22年 4月 1日 至 平成 23年 3月 31日 (当期累計期間)		
O B C 商事株式会社		
(単位：円)		
科 目	変 動 事 由	金 額
【株主資本】		
【資本金】	前期末残高及び当期末残高	300,000,000
【資本剰余金】		
資本準備金	前期末残高及び当期末残高	120,000,000
資本剰余金合計	前期末残高及び当期末残高	120,000,000
【利益剰余金】		
利益準備金	前期末残高 当期変動額 利益準備金の積立て	120,000,000 30,000,000

＜会計期間平成23年4月1日～平成24年3月31日 株主資本等変動計算書＞

株主資本等変動計算書		
自 平成 23年 4月 1日 至 平成 24年 3月 31日 (当期累計期間)		
O B C 商事株式会社		
(単位：円)		
科 目	変 動 事 由	金 額
【株主資本】		
【資本金】	当期首残高及び当期末残高	300,000,000
【資本剰余金】		
資本準備金	当期首残高及び当期末残高	90,000,000
資本剰余金合計	当期首残高及び当期末残高	90,000,000
【利益剰余金】		
利益準備金	当期首残高 当期変動額 利益準備金の積立て	120,000,000 30,000,000

- 部門コードの範囲指定を行えるようになり、複数部門の集計が容易になりました。

今までは、確認する複数部門の集計パターンを[導入処理]-[部門登録]-[部門グループ登録]メニューで事前に設定する必要がありましたが、部門コードを使用して範囲指定できるようになりました。

[合計残高試算表]メニュー、[元帳]メニュー、[日計表]メニュー、[内訳表]メニューの各帳票メニューでは、すでに部門コードの使用して範囲指定できましたが、以下の帳票メニューでもできるようになりました。

《 関連メニュー 》

- ・ [会計帳票]-[集計表]の各メニュー
- ・ [会計帳票]-[一覧表]-[取引先一覧表]メニュー
- ・ [会計帳票]-[資金繰]の各帳票メニュー
- ・ [分析帳票]の各帳票メニュー
- ・ [予算管理]の各帳票メニュー
- ・ [決算処理]-[決算報告書]メニュー
- ・ [決算処理]-[キャッシュ・フロー計算書]の各帳票メニュー

- 勘定科目コード、科目区分コードの出力の有無をそれぞれ分けて設定できるようになりました。

今までは、勘定科目コードと科目区分コードをあわせて出力の有無を設定していました。これからは、勘定科目コードは出力するが、科目区分コードは出力しないように帳票を出力できます。

《 関連メニュー 》

- ・ [会計帳票]-[内訳表]-[現預金内訳表]メニュー
- ・ [会計帳票]-[集計表]-[部門集計表]メニュー
- ・ [会計帳票]-[集計表]-[取引先集計表]メニュー
- ・ [会計帳票]-[集計表]-[摘要集計表]メニュー
- ・ [分析帳票]-[推移表]-[科目別推移表]メニュー
- ・ [分析帳票]-[対比表]-[科目別対比表]メニュー
- ・ [予算管理]-[予算実績集計表]メニュー
- ・ [予算管理]-[予算実績対比表]-[科目別予算実績対比表]メニュー

- 条件設定画面で日付指定する際に、月末日付が自動的に表示されるようになりました。

条件設定画面で日付指定する際に、月末日付が事前に指定されている月を、他の月に変更すると、自動的にその月の月末日付が表示されるようになりました。月次単位で集計する場合に便利になります。

▼イメージ図

4月1日～4月30日の月範囲を指定している場合を、例に説明します。

○終了月を変更する場合

The screenshot shows two states of the '集計期間' (Summary Period) form. The top state shows the period from April 1st to April 30th. An arrow points down to the bottom state, where the end month has been changed to May. The end date is now 31st, which is highlighted with a red box. A red callout box with an arrow pointing to the 31st says: '終了月を5月に変更すると、自動的に5月の末日の31日に変更されます。' (When the end month is changed to May, it is automatically changed to the 31st of May.)

○開始月を変更する場合

The screenshot shows two states of the '集計期間' (Summary Period) form. The top state shows the period from April 1st to April 30th. An arrow points down to the bottom state, where the start month has been changed to May. The end date is now 31st, which is highlighted with a red box. A red callout box with an arrow pointing to the 31st says: '開始月を5月に変更すると、終了日付が自動的に5月31日に変更されます。' (When the start month is changed to May, the end date is automatically changed to May 31st.)

《 関連メニュー 》

- ・ 帳票の各メニューなど

- 転送の際に、画面表示と同じ項目を選択せずに転送できるようになりました。

今までは、画面と同じ項目を一つずつ選択する必要がありましたが、[転送条件設定]画面の「画面表示と同じ項目で転送」を選択するだけでできるようになりました。

▼ イメージ図

[転送条件設定]画面の[詳細設定]ページ



転送項目選択

☒ 画面表示と同じ項目で転送 ☐ 任意の項目を選択

《 関連メニュー 》

- ・ [分析帳票]-[推移表]の各帳票メニュー
- ・ [分析帳票]-[対比表]の各帳票メニュー
- ・ [予算管理]-[予算実績集計表]メニュー
- ・ [予算管理]-[予算実績対比表]-[科目別予算実績対比表]メニュー

データ領域管理

- [データ領域選択]メニューからも、会計期間を切り替えられるようになりました。

前年度の仕訳伝票を修正する際など、別の会計年度の処理を行う場合は、今までは、[導入処理]-[会計期間設定]-[会計期間選択]メニューで切り替えていましたが、[データ領域管理]-[データ領域選択]メニューからも **期間選択** を押して切り替えられるようになりました。

- [勘定科目検索]画面と[補助科目検索]画面でタイトルをクリックすると、自動的にコード順に表示されるようになりました。

初期では、科目区分+勘定科目コード順で表示されていますが、タイトル欄をクリックすると、自動的にコード順に表示されるようになり、コード順で科目検索する場合に便利です。

▼イメージ図

The diagram illustrates the process of sorting account lists by code. It shows two tables. The top table represents the initial state, and the bottom table shows the state after clicking the 'Code' header. Red callouts explain the action and the result.

コード	名称
110	現金
111	小口現金
101	当座預金
102	普通預金
103	通知預金
104	定期預金
105	定期積金

タイトル「コード」をクリックすると、

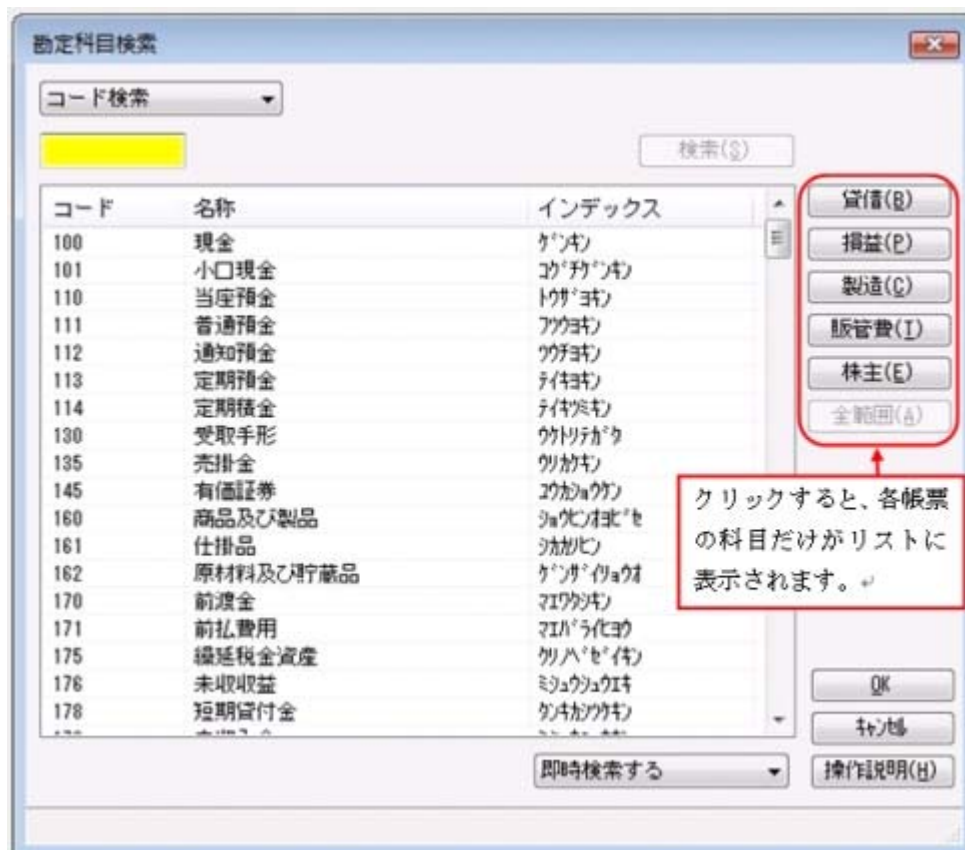
コード	名称
101	当座預金
102	普通預金
103	通知預金
104	定期預金
105	定期積金
110	現金
111	小口現金

勘定科目は、コード順に表示されます。

- [勘定科目検索]画面の「標準形式」でも帳票ごとに勘定科目を絞り込むことができるようになりました。

「拡張形式」と同様に〔貸借〕〔損益〕ボタン等で帳票の勘定科目を絞り込めるようになりました。

▼イメージ図



- 印刷する際に、行の高さの補正やフォントサイズの変更ができるようになりました。

行の高さを補正したり、集計結果部分のフォントサイズを変更することで、1 ページ当たりの印刷行数を調整できるようになりました。

お客様の見やすさに合わせて調整できます。

※行の高さ・フォントサイズは、[印刷条件設定]画面の[印刷設定]ページで設定できます。

《 関連メニュー 》

- ・ [導入処理]-[科目体系登録]-[勘定科目登録]メニュー
- ・ [導入処理]-[科目体系登録]-[補助科目登録]メニュー
- ・ [導入処理]-[科目体系登録]-[科目体系登録]メニュー
- ・ [導入処理]-[出力様式登録]-[出力様式登録]メニュー
- ・ [導入処理]-[部門登録]の各メニュー
- ・ [導入処理]-[残高入力]-[開始残高入力]-[開始残高入力]メニュー
- ・ [導入処理]-[残高入力]-[開始残高入力]-[外貨別開始残高入力]メニュー
※このメニューは、『外貨入力オプション』をお使いの場合に使用できます。
- ・ [導入処理]-[残高入力]-[科目別金額確認リスト]メニュー
- ・ [導入処理]-[摘要登録]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳入力補助]-[科目別マスター入力設定]メニュー
- ・ [会計帳票]-[合計残高試算表]-[試算表見出し項目設定]メニュー
- ・ [会計帳票]-[合計残高試算表]-[試算表要約科目設定]メニュー
- ・ [会計帳票]-[資金繰]-[資金繰項目設定]-[資金繰属性設定]メニュー
- ・ [分析帳票]-[損益分岐点分析]-[費用区分設定]メニュー
- ・ [決算処理]-[キャッシュ・フロー計算書]-[キャッシュ・フロー項目設定]-[キャッシュ・フロー属性設定]メニュー
- ・ [管理会計帳票]-[管理会計マスター登録]-[管理会計科目登録]メニュー
- ・ [管理会計帳票]-[管理会計マスター登録]-[管理会計部門登録]メニュー
※このメニューは、『管理会計オプション for 奉行 i』をお使いの場合に使用できます。
- ・ [予算管理]-[予算額登録]メニュー
- ・ [予算管理]-[予算管理設定]-[科目別予算管理設定]メニュー
- ・ [消費税申告]-[科目別課税対象額集計表]メニュー
- ・ [決算処理]-[決算報告書]-[決算書見出し項目設定]メニュー
- ・ [決算処理]-[決算報告書]-[決算書要約科目設定]-[要約設定]メニュー
- ・ [決算処理]-[決算報告書]-[決算書要約科目設定]-[要約科目表示設定]メニュー
- ・ [決算処理]-[決算報告書]-[株主資本等変動計算書登録]-[当期変動額登録]メニュー
- ・ [決算処理]-[決算報告書]-[電子申告]-[電子申告科目設定]メニュー
- ・ [決算処理]-[キャッシュ・フロー計算書]-[キャッシュ・フロー精算表]-[調整金額リスト]メニュー
- ・ [決算処理]-[キャッシュ・フロー計算書]-[キャッシュ・フロー精算表]-[調整金額入力]メニュー
- ・ [決算処理]-[キャッシュ・フロー計算書]-[キャッシュ・フロー項目設定]-[キャッシュ・フロー属性設定]メニュー

● 仕訳処理画面の見易さと、入力の操作性が向上しました。

仕訳処理画面、入力に関する設定条件を拡充し、見易さ、操作性が向上しました。



- 表示する明細行数を調整することで、多くの行数を表示できるようになりました。
仕訳画面の明細行の間隔を、（通常、小、最小）の中から指定できるようになりました。
小さい間隔にすると、1画面により多くの明細行を表示できます。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票入力補助]-[定型仕訳登録]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票リスト]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[反対仕訳一括起票]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票承認]-[仕訳伝票承認]メニュー
- ・ [随時処理]-[電子帳簿変更履歴]-[仕訳伝票履歴]メニュー

- 画面下の更新履歴を隠すことで、表示する明細行数を増やすことができるようになりました。

伝票入力画面左下の「+」「-」で更新履歴の表示／非表示を切り替えることができるようになりました。普段は、不要な更新履歴を非表示にしておき、必要に応じて表示するように切り替えます。

▼イメージ図



《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票入力補助]-[定型仕訳登録]メニュー



- 伝票部門や伝票区分について、前回指定した項目が記憶できるようになり、部門や利用者ごとに固定されている場合は、効率良く入力できるようになりました。
[仕訳処理 - 設定]画面で、前回指定した項目を記憶するか否かを設定できます。伝票区分や伝票部門が固定されている場合は、前回指定した項目を記憶すると、効率良く作業できます。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]の各メニュー
- ・ [仕訳処理]-[F B処理]-[F B仕訳起票]メニュー

- 明細行に背景色を設定することで、行と行の区切りをより明確にできるようになりました。

[仕訳処理 - 設定]画面で、明細行の背景色を交互に色分けすることで、明細行の区切りをより明確にできます。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票リスト]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票承認]-[仕訳伝票承認]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票入力補助]-[定型仕訳登録]メニュー

- コクヨ式の場合に、借方の金額欄から入力できるようになりました。

今までは、コードの欄から入力が始まっていました。[仕訳処理設定]画面で、コクヨ形式の入力順序を「左から順に入力する」を選択すると、借方の金額欄から入力を開始できます。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票入力補助]-[定型仕訳登録]メニュー

- 伝票日付入力時に、画面下部のステータスバーに入力可能期間を表示し、常に入力期間を把握できるようになりました。

伝票日付入力時に、画面下部のステータスバーに入力可能な期間が表示され、入力中の会計年度の確認や入力期間の制限情報が確認できるようになりました。

▼イメージ図



《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]の各メニュー
- ・ [仕訳処理]-[F B処理]-[F B仕訳起票]メニュー

- 消費税率を非表示にすることで、補助科目名称の表示文字数を増やすことができるようになりました。

[仕訳処理-設定]画面で、消費税の税率を表示するか否かを設定できます。旧税（3%）での登録が稀な現在では、非表示にすることは有効です。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票入力補助]-[定型仕訳登録]メニュー

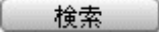
○ 簡単に、複数の摘要を組み合わせて入力できるようになりました。

摘要を入力する際に、摘要欄で[Esc]キーを押して入力する摘要を指定すると、入力済みの摘要の後ろに、指定した摘要を追加することができます。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票入力補助]-[定型仕訳登録]メニュー

○ [摘要]（F7キー）を押した後に、[連想摘要]画面ではなく、[連想一覧]画面が表示されるようになりました。

今までは、連想摘要が登録されている勘定科目の明細行で （[F7]キー）を押すと、[連想摘要一覧]画面が表示されていましたが、[摘要一覧]画面を表示するようになります。

摘要コード入力時に[Space]キーを押すと、[連想摘要一覧]画面を表示できます。

※この機能は、[仕訳処理設定]画面の「ファンクションキーの配置」が「奉行21形式」の場合に使用できます。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票入力補助]-[定型仕訳登録]メニュー

○ 摘要名折り返し位置が入力時と確定後の表示位置と一致するようになりました。

今までは、入力中では「10文字」で折り返され、確定後は「11文字」で折り返されていました。確定後も「10文字」で折り返されるようにして、入力中と確定後の表示位置をあわせました。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票入力補助]-[定型仕訳登録]メニュー

○ 摘要入力済みの明細行で、再度摘要を検索した際に、入力済みの摘要を削除してから摘要を追加できるようになりました。

今までは、必ず入力済みの摘要の後ろに、[摘要検索]画面で選択した摘要が追加されていましたが、[仕訳処理 - 設定]画面で入力済みの摘要を削除して追加するか、入力済みの摘要の後ろに追加するかを選択できるようになりました。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票入力補助]-[定型仕訳登録]メニュー

○ 定型仕訳の検索画面でも、前回指定項目を初期選択して表示できるようになりました。

[仕訳処理 - 設定]画面の「マスター検索画面の前回指定項目表示」を「表示する」に設定すると、定型仕訳の検索画面を開いた時に、前回指定した定型仕訳が反転された状態で初期表示されます。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票入力補助]-[定型仕訳登録]メニュー

- 固定部門の入力時に未入力のまま確定した際に、「0；その他」部門を自動でセットするようになりました。

[仕訳処理]-[仕訳処理]メニューで、伝票ごとに部門を指定している際に、伝票の部門が未入力のままでも、「0：その他」部門を自動的にセットすることで、入力操作を軽減できます。

- 仕訳伝票の承認画面で「コクヨ形式」で表示できるようになりました。

[仕訳処理]-[仕訳伝票承認]-[仕訳伝票承認]メニューで、[仕訳処理 - 設定]画面の「表示形式」設定が[仕訳伝票承認]画面にも反映されるようになりました。



- **反対仕訳一括起票ができるようになりました。**

反対仕訳を一括で起票するためのメニューとして、[仕訳処理]-[反対仕訳一括起票]メニューが追加されました。

四半期、中間決算、本決算時に起票した整理仕訳を振り戻し（振戻仕訳）する際や、締め後や承認済みの伝票を修正（取消仕訳）する際に、一括で反対仕訳を起票できます。効率良く伝票取消業務ができるようになりました。

- **日々の仕訳のチェック作業時の操作性が向上しました。**

日々の受入伝票、入力伝票のチェック、または承認時に「本日分」だけ抽出できる設定や明細行数が多い伝票を参照し易い設定を追加し、見易さと操作性が向上しました。



- 本日分の伝票を検索しやすくなりました。

[伝票検索]画面（拡張形式）の場合は、[利用情報]ページの「本日分」にチェックを付けると、本日分の仕訳伝票を検索できます。

▼イメージ図

[伝票検索]画面（標準形式）の場合は、[基本条件]ページの「日付種類選択」で処理日時を選択すると、本日の日時が初期表示されるため、本日分の仕訳伝票を検索できます。

▼イメージ図

この設定を条件パターンとして登録することで、毎日効率的に仕訳伝票をチェックできるようになります。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票リスト]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]の各メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票承認]の各メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[仕訳伝票データ作成]-[仕訳伝票データ作成]メニュー



○ 仕訳伝票リスト表示後に、伝票の頭出しができるようになりました。

仕訳伝票リスト表示後に **前伝票**（[F4]キー）や **次伝票**（[F5]キー）を押すことで、仕訳伝票の頭出しができるようになりました。

明細行数が多い仕訳伝票を参照する場合など、次の伝票や前の伝票を頭出しする際に便利です。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票リスト]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票承認]の各メニュー

○ 明細行数が多い仕訳伝票を参照する場合に、ヘッダー情報（伝票日付や伝票No. など）を固定表示し、対象伝票を特定しました。

仕訳伝票リスト]画面の「+」「-」で、伝票のヘッダー情報（伝票日付や伝票No. など）の表示／非表示を切り替えることができるようになりました。

明細行数が多い伝票を参照する際に表示させると、対象伝票を特定・把握しやすくなります。

▼イメージ図

行	借方	金額
ヘッダー情報		
取引先		
[伝票日付] 04年 4月 3日 [伝票No.] 000005		
14	002 第二営業部 604 仕入高	500,000 (23,809)
	00000008 神奈川物産株式会社	
15	011 札幌支店 604 仕入高	2,210,000

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票リスト]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票承認]-[仕訳伝票承認]メニュー

○ 登録後に、一度も修正していない伝票だけを絞り込めるようになりました。

拡張形式の[条件設定]画面の[登録情報]ページの「登録区分（修正）」で「修正なし」を選択すると、登録後に一度も修正していない伝票だけを絞り込めるようになりました。

▼イメージ図

登録区分(修正) 修正なし

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票リスト]メニュー



- 営業日を考慮した仕訳起票スケジュールを管理できるようになりました。

[仕訳処理]-[仕訳伝票予約]メニューで、営業日を考慮した仕訳伝票起票のスケジュールを登録できるようになりました。

会社の休日を登録することで、予約した仕訳伝票のスケジュールが会社の休日に当たる場合に、会社の営業日に合わせて、自動的に仕訳伝票を起票できます。起票日は、前営業日・翌営業日か選択できます。



- 仕訳伝票の専用用紙印刷で、コード桁数設定に応じてコードの印字幅が調整され、できるだけ科目名が多く印字されるようになりました。

部門コードが6桁、勘定科目コードが4桁、補助科目コードが3桁の場合は、マスターの印字位置を揃えて印字すると、6桁の位置に揃えて印字するようになりました。また、印字位置を揃えず印字することで、勘定科目名や補助科目名をより多く印字することもできます。

- 金額0円の明細が登録できないように制限できるようになりました。

金額が0円の明細登録許可（[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの[伝票設定]ページで設定）で、金額が0円の明細を登録できないように設定できます。0円の明細を誤って登録することを防ぐことができるため、業務処理統制に役立ちます。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]の各メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ受入]-[仕訳伝票データ受入]-[仕訳伝票データ受入]メニュー

- 応用用紙で仕訳伝票リストを印刷する際に、印刷開始ページ番号を指定して印刷できるようになりました。

応用用紙で仕訳伝票リストを印刷する際に、[印刷設定]ページでページの開始番号を指定して印刷できるようになりました。

前日の印刷ページの後から続けてページ数を付番して印刷できるようになり、バインダに月単位などの一定の範囲で、連番で綴っている際に有効です。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票リスト]メニュー

- 誤って2度受け入れてしまった場合など、一度受け入れたFBデータを削除できるようになりました。

[仕訳処理]-[FB処理]-[FB仕訳起票]メニューの[条件設定]画面で、対象のFBデータを選択して[削除]ボタンをクリックすると、FBデータを削除できます。

- F Bデータの処理状況を確認できるようになりました。

[仕訳処理]-[F B処理]-[F B仕訳起票]メニューの[条件設定]画面で、[処理済履歴] ボタンをクリックすると、今までの処理済履歴の画面が表示され処理状況を確認できます。

- F Bデータの変換ルールを一括変更・削除できるメニューが追加されました。

F Bデータの変換ルールを一括変更・削除するためのメニューとして、[仕訳処理]-[F B処理]-[F Bデータ変換ルール保守]メニューが追加されました。

金融機関からの入出金のFBデータを仕訳変換する関連付けにおいて、変更が必要な変換ルール、また使用しなくなった変換ルールを一括変更・削除できるようになりました。

変換ルールのメンテナンスが向上し、自動変換する際の精度が高まるため、確認・編集作業を軽減できます。

会計帳票

- 試算表の印刷条件の拡充により、詳細項目を確認できるようになり、また無駄な印刷も軽減できるようになりました。

試算表の印刷業務において、要約印刷／精算表印刷時の条件を拡充し、現預金内訳や棚卸資産内訳などの詳細項目を確認できるようになりました。



- 現預金内訳や棚卸資産内訳など特定の科目区分の内訳を、貸借対照表の右下に印字できるようになりました。

合計残高試算表の要約印刷・精算表印刷で、現預金内訳や棚卸資産内訳など特定の科目区分の内訳を、貸借対照表の右下に印字できるようになりました。

印字する科目区分は、事前に[試算表見出し項目設定]メニューで行います。勘定奉行21シリーズでは、現預金内訳と棚卸資産内訳だけでしたが、当システムでは、それ以外の科目区分の内訳を別枠に印字できるようになりました。

▼イメージ図

会計帳票印刷画面 [貸借対照表]

211年 1月 1日 現在

科目区分「現金及び預金計」が別枠に印刷されます。

科目名	通算勘定	借方	貸方	勘定
現金	100	52,505,000	5,000,000	57,505,000
預金	101	200,000	0	200,000
現金及び預金計	110	105,280,000	1,707,084,400	1,812,364,400
現金	111	75,000,000	2,250,000,000	2,325,000,000
現金	112	0	0	0
現金	113	90,000,000	0	90,000,000
現金	114	0	0	0
現金及び預金計	115	165,000,000	2,250,000,000	2,415,000,000



- 損益計算書と製造原価報告書をページを切り替えずに一枚に印刷できるようになりました。

合計残高試算表の要約印刷・精算表印刷で、損益計算書に続けて、製造原価報告書をページを切り替えずに一枚で印刷できるようになりました。用紙を節約することができて便利です。

▼イメージ図

会計処理実践講座【損益計算書】

第 21 期 4 月 1 日 第 21 期 5 月 31 日

損益計算書に続けて、製造原価報告書が印刷されます。

科目名 繰越原価 借方 貸方 期末

期首材料繰越原価 400 0 0 0

材料仕入 650 0 23,851,661 23,851,661

材料仕入運送料 632 0 0 0

期中材料繰越原価 632 0 0 0

材料費計 632 23,851,661 23,851,661



- 金額の発生の有無に関わらず、毎月同じレイアウトで印刷できるようになりました。

合計残高試算表の要約印刷・精算表印刷で、金額 0 の勘定科目を表示しない場合でも、空白行で印字できるようになりました。この機能により、金額の有無に関わらず、毎月同じレイアウトで印刷できるようになります。

▼イメージ図

[illegible]

- 元帳の検索条件を拡充し、元帳を効率良くチェックできるようになりました。

元帳の出力条件を指定する際に、基本的な項目だけの形式（標準形式）と拡張的な項目を含めた形式（拡張形式）を、必要な時に切り替えて利用できるようになりました。効率良く元帳を出力できます。

▼イメージ図

標準形式

元帳 - 条件設定

基本条件 | 検索条件1 | 検索条件2 | 外貨

元帳種類
☒ 勘定元帳 ☐ 補助元帳
☐ 元帳パターン指定
☐ 取引先元帳として出力する ☐ 外貨別元帳として出力する

集計ベース
☒ 全社 ☐ 部門 ☐ 部門グループ

☐ 補助科目が登録されている勘定科目は出力しない

自マスター
 部門コード ~
 勘定科目コード ~
 補助科目コード ~
 取引先コード ~
 外貨コード ~

集計期間
 月範囲(1) 2011年 4月 1日 ~ 2012年 3月 31日

表示設定
☐ 自マスターの情報を表示する ☐ 税率・税区分を表示する ☐ 部門を表示する
☐ 摘要を一行で表示する ☐ コードを表示する
☐ 各マスターを一行で表示する ☐ 自動計算された消費税を表示する
☐ 本件金額を上段に表示する
 相手科目表示設定
☐ 相手科目を個別表示する ☐ 繰越の内訳を表示する

税処理
☒ 税抜 ☐ 税込
 金額が0の場合の出力設定
☐ 指定された日付範囲に明細がある場合だけ出力する

印刷(Y) 印刷範囲(D)...

標準形式(D)...

キャンセル 実行(Enter)

標準形式（詳細条件ページ）

元帳 - 条件設定

基本条件 | **詳細条件** | 検索条件1 | 検索条件2 | 取引先

自マスター
☐ 部門・グループを指定する
 力番指定
☒ 部門 ☐ 部門グループ
 ~
☐ 範囲内の部門を個別に表示する

表示設定
☐ 自マスターの情報を表示する ☐ 税率・税区分を表示する ☒ 勘定科目コードを表示する
☐ 摘要を一行で表示する ☐ 補助科目コードを表示する
☐ 各マスターを一行で表示する ☐ 自動計算された消費税を表示する ☐ 部門を表示する
☐ 本件金額を上段に表示する ☐ 部門コードを表示する
 相手科目表示設定
☐ 相手科目を個別表示する ☐ 繰越の内訳を表示する

金額が0の場合の出力設定
☒ 指定された日付範囲に明細がある場合だけ出力する
☐ 明細がなくても、繰越金額が0でない場合は出力する
☐ 指定された範囲すべての科目を無条件で出力する

印刷(Y) 印刷範囲(D)...

標準形式(D)...

キャンセル 実行(Enter)

- 元帳の印刷条件の拡充により、見易さが向上し、また無駄な印刷も軽減できるようになりました。

元帳の印刷業務において、印刷条件を拡充し、見易さの向上とともに、無駄な印刷も軽減できるようになりました。



- 本体金額と消費税金額の印字位置（上段か下段か）を選択して出力できるようになりました。

元帳の[条件設定]画面の[詳細設定]ページで、本体金額を下段（消費税金額を上段）で印字するかどうかを設定できるようになりました。

▼イメージ図

	135 売掛金		消費税	(43,500)	
000006	売上伝票 日付: 2022/4/3			212,500	6,469,500
	135 売掛金			(14,600)	
000006	売上伝票 日付: 2022/4/3			306,600	6,776,100



- 明細の発生していない月の月計を非表示にし、不要な情報を省くことができるようになりました。

元帳の[印刷条件設定]画面の「明細のある月だけ月計を出力する」項目の設定により、明細の発生していない月の月計を非表示にできるようになりました。この機能により、不要な情報を省くことができ、印刷枚数を節約できます。

- 累計行の印字位置（左寄せか右寄せか）を選択して出力できるようになりました。

元帳の[印刷条件設定]画面の[設定]ボタンから、金額計項目を左上に印字するか、右下に印字するかを設定できるようになりました。「繰越金額」「〇月計」を明細と区別する場合は、右下に印字します。

▼イメージ図

0428	135 売掛金	
000033	売上伝票	
		4月計
		前月繰越

- タイトル部分の勘定科目名を均等割り付け印刷機能が追加されました。

元帳の[印刷条件設定]画面に「印刷タイトル（自マスター）を均等割り付する」項目が追加され、印刷時に均等割り付けできるようになりました。

▼イメージ図

均等割り付けする	110 当座預金	
〇〇〇商事株式会社		PAGE: 1
		【税別】 【税込元帳】
伝票日付 伝票No.	相手勘定科目 / 補助科目 摘要	借方 貸方 残高
均等割り付けしない	110 当座預金	
〇〇〇商事株式会社		PAGE: 1
		【税別】 【税込元帳】
伝票日付 伝票No.	相手勘定科目 / 補助科目 摘要	借方 貸方 残高

- 余白部分に罫線を印字し、どのページでも同じデザインで元帳を印刷できるようになりました。

元帳の[印刷条件設定]画面の[設定] ボタンから、元帳の余白部分に罫線を印字するかどうか設定できるようになりました。この機能により、どのページでも同じデザインで元帳を印刷できるようになります。

▼イメージ図

145 有価証券				
〇〇〇〇株式会社		第145号		
[印刷条件設定]		[設定]		
伝票日付 伝票No.	指定勘定科目 / 補助科目 摘要	借方	貸方	残高
	繰越金額			732,320,000
	4月計	0	0	
	前月繰越			732,320,000
	5月計	0	0	
	前月繰越			732,320,000
	6月計	0	0	
	前月繰越			732,320,000
	7月計	0	0	
	前月繰越			732,320,000
	8月計	0	0	
	前月繰越			732,320,000
	9月計	0	0	
	前月繰越			732,320,000
	10月計	0	0	
	前月繰越			732,320,000
	11月計	0	0	
	前月繰越			732,320,000
	12月計	0	0	
	前月繰越			732,320,000
	1月計	0	0	
	前月繰越			732,320,000
	2月計	0	0	
	前月繰越			732,320,000
03/30 000026	110 当座預金 東京銀行本店	125,000,000		857,320,000
	3月計	125,000,000	0	
	累計	125,000,000	0	857,320,000
余白部分に罫線が印字されます。				

- 「0：その他」の付属マスターを非表示にできる機能が追加されました。

元帳を画面表示、または、印刷する際に「0：その他」の付属マスターを非表示にできるようになりました。画面表示する際には、[条件設定]画面の各マスターページの「「0：その他」〇〇を表示する」、印刷する際には、[印刷条件設定]画面の各マスターのページの「「0：その他」〇〇を出力する」で設定します。

- 奉行21シリーズと同様の伝票日付の印字形式（年月日の区切り「/」なし）で印刷できるようになりました。

元帳の[印刷条件設定]画面の[設定] ボタンから、伝票日付の出力形式を設定できるようになりました。この機能により、奉行21シリーズと同様の形式で伝票日付を印字できるようになります。

▼イメージ図

年月日 伝票No.	相手勘定科目 / 補助科目 摘要
110401 000003	135 売掛金 売上伝票

- 伝票No. の印字の有無が設定できます。

印刷時に、伝票No. の印字の有無を設定できます。伝票No. を設定していない運用時に活用します。



- **元帳の集計パフォーマンスが向上しました。**

部門別元帳や取引先別元帳など、マスターと勘定科目を組み合わせる集計の際のパフォーマンスが向上しました。

- **元帳で摘要の出力方法が変更されました。**

元帳で仕訳伝票の摘要欄の出力方法が変更されました。「仕訳伝票全体に関わる摘要を入力する場合」「40文字以上の摘要を入力する場合」「借方」「貸方」で異なる摘要を入力する場合は、以下の例のように摘要を入力します。

▼例

- 仕訳伝票全体に関わる摘要を入力する場合

<p>仕訳伝票全体に関わる摘要は、1行目に摘要だけ入力します。</p> <p>月の旅費交通費精算 営業部</p>			
行	部 門 / 勘定科目 / 補助科目	金 額	備 考
1			
2	001 第一営業部 740 旅費交通費 5.0%	貸付金 52,500 (2,500)	082 経理 100 現金 94,500
3	002 第二営業部 740 旅費交通費 5.0%	貸付金 42,000 (2,000)	
<p>元 帳</p> <p>11/04/30 000001 月の旅費交通費精算営業部 000001 100 現金 52,500 000001 100 現金 42,000</p> <p>元帳では、伝票の概要（見出し）として扱うため、先頭に表示されます。</p>			

○ 40文字以上の摘要を入力する場合

40文字以上の摘要を入力する場合は、残りを2行目に摘要だけ入力します。

行	借方 / 勘定科目 / 摘要科目	金額	貸方 / 勘定科目 / 摘要科目	金額	摘要
1	501 第一営業部 740 旅費交通費	5.8%	092 経理 180 現金	63,000 (3,000)	東京事務機器株式会社大阪支店へ6/10商取のため 東京-新大阪間2名分

元帳で2行目の摘要を表示するためには、「相手科目を個別表示する」にチェックを付けます。

元帳	10 100 現金	63,000
000001	東京事務機器株式会社大阪支店へ6/10商取のため	
000001	東京 - 新大阪間 2 名分	

○ 借方と貸方に異なる摘要を入力する場合

借方と貸方に異なる摘要を入力する場合は、借方、貸方で明細行を分けて、それぞれの摘要を入力します。

行	借方 / 勘定科目 / 摘要科目	金額	貸方 / 勘定科目 / 摘要科目	金額	摘要
1	130 受取手形	100,000			6/10商取
2			135 売掛金 001 新造商事	100,000	製品販売回収

元帳で借方と貸方それぞれの摘要を表示するためには、「相手科目を個別表示する」にチェックを付けます。

元帳	10 130 受取手形	100,000
000001	6/10商取	
000001	製品販売回収	

分析帳票



● 分析用のキャッシュ・フロー帳票が追加されました。

[分析帳票]-[キャッシュ・フロー確認表]-[キャッシュ・フロー確認表]メニューが追加されました。財務諸表のキャッシュ・フロー計算書とは別に、毎月のキャッシュフロー分析のためのキャッシュ・フロー計算書を作成できます。[決算処理]-[キャッシュ・フロー計算書]-[キャッシュ・フロー計算書]メニューと違い、常に、期首月からの累計で作成するという財務諸表の制約はありません。期間を1か月単位で指定して発生金額を集計できるため、月ごとや四半期単位でのキャッシュの増減を確認できます。また、調整金額の確認は、キャッシュフロー項目・勘定科目の双方からできます。※[キャッシュ・フロー項目設定]メニューの設定は、[決算処理]メニューと共通に利用します。

● 経営分析の一覧表で、指標と計算方法を印刷できるようになりました。

[分析帳票]-[経営分析]-[経営分析]メニューで、一覧表を印刷、転送する際に、「計算式」「指標」の出力有無を設定できるようになりました。計算式や分析項目の指標(↑↓)を出力することで、計算過程を把握、分析する際の目安にできます。また「集計項目」も印刷、転送できるようになり、2次利用できます。

▼イメージ図

一覧表		指標	範囲内合計
収益性の分析	項目名	計算式	
	総資本経常利益率 (%)	$\frac{\text{経常利益}}{\text{総資本}} \times 100$	23.6
	総資本営業利益率 (%)	$\frac{\text{営業利益}}{\text{総資本}} \times 100$	23.6
	売上高経常利益率 (%)	$\frac{\text{経常利益}}{\text{売上高}} \times 100$	27.0
	売上高営業利益率 (%)	$\frac{\text{営業利益}}{\text{売上高}} \times 100$	27.0
	売上高純利益率 (%)	$\frac{\text{売上純利益}}{\text{売上高}} \times 100$	27.0
	自己資本経常利益率 (%)	$\frac{\text{経常利益}}{\text{自己資本}} \times 100$	26.6
	自己資本純利益率 (%)	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{自己資本}} \times 100$	26.6
	総資本回転率 (回)	$\frac{\text{売上高}}{\text{総資本}}$	0.9
	総資産回転率 (回)	$\frac{\text{売上高}}{\text{総資産}}$	46.2
	営業資産回転率 (回)	$\frac{\text{売上高}}{\text{売上債権}}$	5.0
	自己資本回転率 (回)	$\frac{\text{売上高}}{\text{自己資本}}$	1.0
	固定資産回転率 (回)	$\frac{\text{売上高}}{\text{固定資産}}$	9.3
	金利負担能力 (%)	$\frac{(\text{営業利益} + \text{営業外収益})}{\text{営業外費用}} \times 100$	192450.0
	営業外費用比率 (%)	$\frac{\text{営業外費用}}{\text{売上高}} \times 100$	0.0
	営業外収支比率 (%)	$\frac{\text{営業外収益} - \text{営業外費用}}{\text{売上高}} \times 100$	403.4
	売上高原価率 (%)	$\frac{\text{売上原価}}{\text{売上高}} \times 100$	44.4
流動性の分析	流動比率 (%)	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	796.1
	当座比率 (%)	$\frac{\text{当座資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	768.2
	現預金比率 (%)	$\frac{\text{現預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	485.0
	総資産回転期間 (ヵ月)	$\frac{\text{総資産}}{\text{売上高} \div \text{無計画期間}}$	0.3
	総資産回転率 (回)	$\frac{\text{売上高}}{\text{総資産}}$	2.4
	営業資産回転期間 (ヵ月)	$\frac{\text{営業資産}}{\text{売上高} \div \text{無計画期間}}$	1.0
	流動資産保有月数 (ヵ月)	$\frac{\text{流動資産} - \text{流動負債}}{\text{売上高} \div \text{無計画期間}}$	10.9
	固定比率 (%)	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本}} \times 100$	10.6
	固定負債割合率 (%)	$\frac{\text{固定負債}}{(\text{自己資本} + \text{固定負債})} \times 100$	10.6
	負債比率 (%)	$\frac{(\text{流動負債} + \text{固定負債})}{\text{自己資本}} \times 100$	12.8
生産性の分析	自己資本比率 (%)	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}} \times 100$	85.6
	固定負債比率 (%)	$\frac{\text{固定負債}}{\text{自己資本}} \times 100$	0.0
	付加価値額	付加価値	2,621,915,465
	労働生産性	$\frac{\text{付加価値}}{\text{従業員数}}$	0
	設備生産性	$\frac{\text{付加価値}}{\text{有形固定資産} \div \text{従業員数}}$	0
	設備生産性 (%)	$\frac{\text{付加価値}}{\text{有形固定資産}} \times 100$	4005.8
	有形固定資産回転率 (回)	$\frac{\text{売上高}}{\text{有形固定資産}}$	77.0
生産性の分析	付加価値率 (%)	$\frac{\text{付加価値}}{\text{売上高}} \times 100$	52.0
	一人当たり人件費	人件費	0
	労働分配率 (%)	$\frac{\text{人件費}}{\text{売上高}}$	0
	一人当たり売上高	売上高	0

- 帳票画面とグラフ画面を同時に起動できるようになりました。

帳票画面とグラフ画面を同時に起動することにより、帳票で金額遷移を確認しながら、グラフ画面での視覚的な分析ができるようになりました。

《 関連メニュー 》

- ・ [分析帳票]-[推移表]の各メニュー
- ・ [分析帳票]-[対比表]の各メニュー

<『管理会計オプション for 奉行 i』をお使いの場合>



- 管理会計予算（実績）額、非会計情報を「帳票形式」で出力（受入）できるようになりました。

帳票をイメージしながら金額を入力できるようになったため、入力過程で検算結果を有効活用できるようになりました。

《 関連メニュー 》

- ・ [管理会計帳票]-[管理会計金額入力]-[管理会計予算額入力]-[管理会計予算額入力]メニュー
- ・ [管理会計帳票]-[管理会計金額入力]-[管理会計実績額入力]-[管理会計実績額入力]メニュー
- ・ [管理会計帳票]-[管理会計金額入力]-[非会計情報入力]-[非会計情報入力]メニュー



- 管理会計部門別や取引先別など、マスター別に登録した管理会計予算（実績）額、非会計情報を複数マスター分合算できるようになりました。

各マスター別の管理会計予算（実績）額や非会計情報を入力すれば、その金額を合算することで、グループ別の金額もあわせて確認できるようになったため便利です。

《 関連メニュー 》

- ・ [管理会計帳票]-[管理会計金額入力]-[管理会計予算額入力]-[管理会計予算額合算]メニュー
- ・ [管理会計帳票]-[管理会計金額入力]-[管理会計実績額入力]-[管理会計実績額合算]メニュー
- ・ [管理会計帳票]-[管理会計金額入力]-[非会計情報入力]-[非会計情報合算]メニュー

※上記合算メニューの追加にともない、以下のメニューの階層が変更されました。

- ・ [管理会計帳票]-[管理会計金額入力]-[管理会計予算額入力]-[管理会計予算額入力]メニュー
- ・ [管理会計帳票]-[管理会計金額入力]-[管理会計実績額入力]-[管理会計実績額入力]メニュー
- ・ [管理会計帳票]-[管理会計金額入力]-[非会計情報入力]-[非会計情報入力]メニュー

- 登録済みの管理会計予算（実績）額、非会計情報を、一括で初期化できるようになりました。

テスト運用した後に金額をクリアして運用開始したり、登録済みのパターンを複写した後に金額をクリアして運用できるようになったため便利です。

《 関連メニュー 》

- ・ [管理会計帳票]-[管理会計金額入力]-[管理会計予算額入力]-[管理会計予算額入力]メニュー
- ・ [管理会計帳票]-[管理会計金額入力]-[管理会計実績額入力]-[管理会計実績額入力]メニュー
- ・ [管理会計帳票]-[管理会計金額入力]-[非会計情報入力]-[非会計情報入力]メニュー

- 帳票の行項目、列項目の管理会計科目の名称を変更した場合は、行項目名、列項目名にも反映されるようになりました。

今までは、管理会計科目（[管理会計帳票]-[管理会計マスター登録]-[管理会計科目登録]メニューで設定）の名称を変更すると、行項目と列項目の名称もあわせて手修正する必要がありましたが、管理会計科目の名称を変更するだけで良いため、便利です。

《 関連メニュー 》

- ・ [管理会計帳票]-[帳票レイアウト設定]-[行項目設定]-[行項目レイアウト設定]メニュー
- ・ [管理会計帳票]-[帳票レイアウト設定]-[列項目設定]-[列項目レイアウト設定]メニュー

予算管理

- 予算管理する科目設定にて、帳票単位での設定変更が一括でできるようになりました。また、科目追加時には、その勘定科目で絞り込むことで、効率よく設定できます。

[予算管理]-[予算管理設定]-[科目別予算管理設定]メニューにおいて、予算管理する科目を設定する際に、帳票で絞り込むことで、帳票単位での設定変更が一括でできるようになりました。

また、科目追加時には、その勘定科目で絞り込むことで、効率よく設定できます。

▼イメージ図

科目別予算管理設定 - 条件設定

基本条件

帳票選択

貸借対照表
損益計算書
製造原価報告書

帳票単位で絞り込めます。
例えば、損益計算書科目に対して、
予算管理する科目を設定する場合は、
「損益計算書」にチェックを付けます。

設定対象指定

☐ 勘定科目を指定する

勘定科目コード

コード	名称
-----	----

追加した勘定科目だけ絞り込む場合は、「勘定科目を指定する」にチェックを付けて、追加した勘定科目コードを指定します。

消費税申告



- 消費税申告書作成のための事前確認帳票が追加されました。

[消費税申告]-[科目別課税対象額集計表]メニューが追加され、勘定科目ごとの非課税額、課税取引額、消費税金額を事前に確認できるようになりました。

当メニューで、金額に疑問を感じた場合は、[消費税申告]-[科目別税区分集計表]メニュー、にジャンプして、税区分別の金額で誤りを確認します。さらに遡って原因を追究する場合は、[消費税申告]-[税区分明細表]メニューにジャンプして、最終的に[仕訳処理]-[仕訳処理]メニューで誤りを修正します。

▼イメージ図

The image shows two screenshots of a software interface. The top screenshot is titled '科目別課税対象額集計表' (Subject-wise Taxable Amount Summary Table). It displays a table with columns for 'コード' (Code), '勘定科目名' (Account Name), '科目金額(税込)' (Subject Amount (Tax Inclusive)), '非課税額' (Non-taxable Amount), '課税取引額' (Taxable Transaction Amount), '税込消費税' (Tax Inclusive Consumption Tax), '税込消費税' (Tax Inclusive Consumption Tax), and '科目金額(税別)' (Subject Amount (Tax Exclusive)). The table shows data for '売上高' (Sales) and '【消費税計】' (Consumption Tax Total). A red box highlights the 'ジャンプ' (Jump) button at the bottom. A text box says '金額に疑問を感じたら、ジャンプします。' (If you have a question about the amount, jump).

The bottom screenshot is titled '科目別税区分集計表' (Subject-wise Tax District Summary Table). It displays a table with columns for 'コード' (Code), '勘定科目名' (Account Name), '科目金額' (Subject Amount), '税率' (Tax Rate), '税込金額合計' (Tax Inclusive Amount Total), and '税抜金額' (Tax Exclusive Amount). The table shows data for '売上・売却' (Sales/Disposal) and '【合計】' (Total). A red box highlights the 'ジャンプ' (Jump) button at the bottom. A text box says '税区分別の金額を確認します。' (Check the amount by tax district). Another text box at the bottom says '原因を追究するために、さらに遡ります。' (To investigate the cause, go back further).

行	借 方			貸 方			備 考
	部 門 / 勘定科目 / 補助科目	金 額		部 門 / 勘定科目 / 補助科目	金 額		
	取引先			取引先			
1	001 第一営業部 135 売掛金	300,000		001 第一営業部 500 売上高	300,000	売上上 5.8%	売上伝票 日付: 2011/4/19 / 売上
	00000001 太平洋販売株式会社			00000001 太平洋販売株式会社			
2	002 第二営業部 135 売掛金	4,794,000		002 第二営業部 500 売上高	4,794,000	売上上 5.8%	売上伝票 日付: 2011/4/19 / 売上
	00000006 株式会社千歳デンキ			00000006 株式会社千歳デンキ			
	借方合計	5,094,000		貸方合計	5,094,000		
				貸借差額	0		



- 期中導入の際など仕訳伝票を登録していない場合でも、消費税申告書に金額を直接入力して作成できるようになりました。

当システムを期中導入した際など、仕訳伝票を登録していない期間があっても、消費税申告書に金額を直接入力して作成できるようになりました。[消費税申告書]画面で、消費税申告書をイメージしながら入力できます。

▼イメージ図

項目	金額
課税標準額	5,044,405,000
消費税額	201,152,992
控除額	0
課税対象仕入税額	107,615,786
減額等分属に係る税額	160,318

消費税申告書の金額を直接入力できます。



- 科目別税区分集計表で、金額が発生している税区分だけを表示できるようになりました。

[消費税申告]-[科目別税区分集計表]メニューで、金額が発生している税区分だけを表示して、不要な税区分を非表示にすることで、効率良くチェックできるようになりました。

▼イメージ図

☐ 金額が0の科目と税区分を表示する

チェックを付けないと、金額が発生している科目と税区分だけを表示できます。



- 翌年度の消費税課税方法変更の検討、分析ができるようになりました。

[消費税申告]-[課税制度別納税額比較表]-[課税制度別納税額シミュレーション]メニューが追加され、登録済みの仕訳伝票の金額に加え、シミュレーション金額を入力するだけで、課税制度別の納税額を比較でき、翌年度の消費税課税方法の変更を検討できるようになりました。

複数のシミュレーションができます。

課税制度別の納税シミュレーション

シミュレーションのシターン	0001	所得課税・贈与課税シミュレーション
課税年度	自 2011年 4月 1日 至 2012年 3月 31日	

この申告書による消費税の税額の計算

	金額入力	所得課税			贈与課税
		金額計算	源泉徴収方式	一括比例配分方式	
課税標準額	5,043,672,000	5,043,672,000	5,043,672,000	5,043,672,000	5,043,672,000
消費税額		201,746,800	201,746,800	201,746,800	201,746,800
控除額(調整税)		0	0	0	0
実納額(0)に基く消費税	(内訳入力)				0
控除対象外売上税額		107,616,476	107,616,476	107,616,476	107,616,476
減価償却資産に係る税額	160,318	160,318	160,318	160,318	160,318
貸倒れに係る税額	0	0	0	0	0
控除税額合計 (4+5+6)		107,776,794	107,776,794	107,776,794	107,776,794
控除不足繰上税額 (7-3-6)		0	0	0	0
最終税額 (4+7+8)		93,970,000	93,970,000	93,970,000	20,150,600

この申告書による地方消費税の税額の計算

課税標準	控除不足繰上税額 (4)	最終税額 (5)	繰上税額 (17×25%)	納付税額 (18×25%)
課税標準	0	0	0	0
繰上税額 (5)	93,970,000	93,970,000	93,970,000	20,150,600
繰上税額 (17×25%)	0	0	0	0
納付税額 (18×25%)	23,492,500	23,492,500	23,492,500	5,039,600

消費税及び地方消費税の合計税額	117,462,500	117,462,500	117,462,500	25,190,200
-----------------	-------------	-------------	-------------	------------

法定仕入率
00.00 %

予算金額等でシミュレーション金額を入力し、課税制度別の納税金額を比較検討することで、優位な制度で申請できます。

F10 条件設定 F11 F12 閉じる

- [決算処理]-[期末処理]-[期末残高繰越]メニューで、消費税科目（仮払消費税／仮受消費税）の残高を「０：その他」などの共通部門に集約して、翌年度に繰り越せるようになりました。これからは、指定した共通部門以外の消費税科目の期首残高は、０円になります。

- **キャッシュ・フロー調整金額明細が、計算書と同じ条件で作成されるようになりました。**

キャッシュ・フロー調整金額明細は、作成元のキャッシュ・フロー計算書と同じ条件で作成されるようになりました。それに伴い、調整金額明細を自動作成する際の条件設定画面は表示されません。

・「決算処理」-「キャッシュ・フロー計算書」の各メニュー



- 「貸借別の発生金額」での合算処理のパフォーマンスが向上しました。

合算方法が「貸借別の発生金額」（[随時処理]-[データ領域合算]メニューの[基本条件]ページで設定）で、合算した際の合算処理のパフォーマンスが向上しました。



- 前回転送後に、差分登録したマスターと仕訳伝票だけを転送できるようになりました。

前回転送後に、差分登録したマスターや仕訳伝票だけを自動で転送できるようになりました。仕訳伝票は、前回転送後の処理日付を指定することで差分を転送することができましたが、より簡単に、確実に作業できます。
また、マスターの差分を転送できるようになったため、変更されたマスターだけを転送し、他システムと連動できるようになります。

▼イメージ図

《 関連メニュー 》

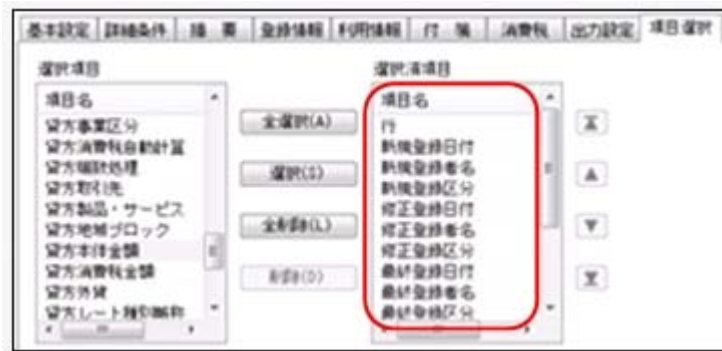
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[マスターデータ作成]の各メニュー
- ※ [部門グループデータ作成]メニューなど、仕訳伝票入力に関係しないマスターは除く。
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[仕訳伝票データ作成]-[仕訳伝票データ作成]メニュー



- 内部監査時に有効な項目となる行番号、登録日付、登録者等の履歴情報、本体金額（税抜き）、消費税自動計算金額を転送できるようになりました。

[随時処理]-[汎用データ作成]-[仕訳伝票データ作成]-[仕訳伝票データ作成]メニューで、内部監査時に有効な項目となる行番号、登録日付、登録者等の履歴情報を転送できるようになりました。昨今、内部監査において、CAAT（＝コンピュータ支援監査技法と呼ばれる監査を実施する際の手法）を活用する企業が多く、今回追加した項目は、内部監査や CAAT ツールでのデータ活用などで有効な項目になります。

▼イメージ図

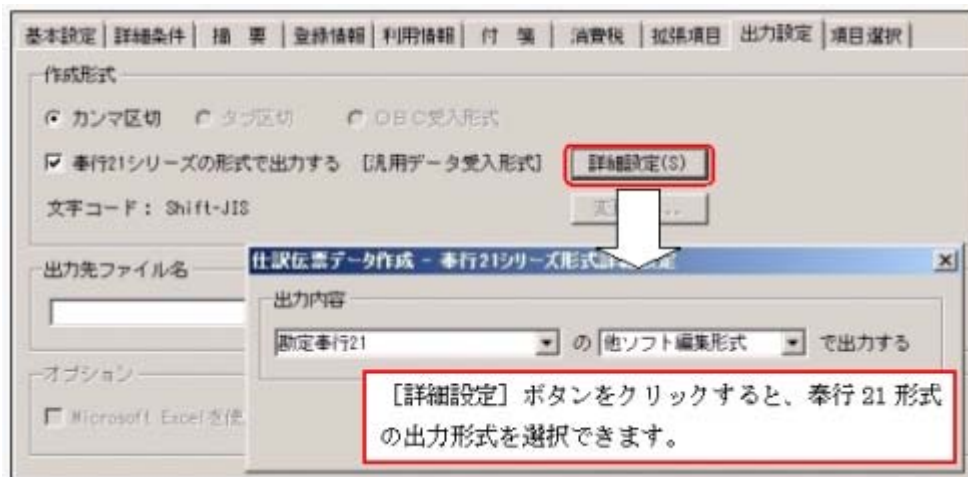


- 奉行21シリーズの「他ソフト編集」形式で出力できるようになりました。

[随時処理]-[汎用データ作成]-[仕訳伝票データ作成]-[仕訳伝票データ作成]メニューで、登録済みの仕訳伝票のデータを、奉行21シリーズの「他ソフト編集」形式と同じ項目レイアウトで出力できるようになりました。

仕訳伝票のデータを二次利用していた際に、スムーズな移行ができます。

▼イメージ図



- 勘定科目の資金繰属性、キャッシュ・フロー属性を作成／受け入れできるようになりました。

[随時処理]-[汎用データ作成]-[マスターデータ作成]-[勘定科目データ作成]メニューで、資金繰属性とキャッシュ・フロー属性も作成できるようになりました。

また、作成したデータは、[随時処理]-[汎用データ受入]-[マスターデータ受入]-[勘定科目データ受入]メニューで受け入れることもできます。

以下のメニューで登録した属性情報を作成／受け入れできます。

- ・ 資金繰属性 ([会計帳票]-[資金繰]-[資金繰項目設定]-[資金繰属性設定]メニューで設定)
- ・ キャッシュ・フロー属性 ([決算処理]-[キャッシュ・フロー計算書]-[キャッシュ・フロー項目設定]-[キャッシュ・フロー属性設定]メニューと、[分析帳票]-[キャッシュ・フロー確認表]-[キャッシュ・フロー項目設定]-[キャッシュ・フロー属性設定]メニューで設定)

● 仕訳伝票データ受け入れ業務の誤操作の制御を強化しました。

[随時処理]-[汎用データ受入]-[仕訳伝票データ受入]-[仕訳伝票データ受入]メニューで、他システムからの仕訳伝票受け入れ業務において、2つの機能を強化し、誤操作の制御を強化しました。



○ マスター情報が必須項目の仕訳伝票データ受け入れ時に、マスター情報が未設定のデータを受け入れできないようにしました。

例えば、売掛金、買掛金、売上高、仕入高にだけ、必ず取引先を入力するようにしたい場合などは、「マスターコードの未入力チェック」 ([導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの[伝票設定]ページで設定) を「1: 汎用データ受入もチェックする」、「未入力確認」 ([仕訳処理]-[仕訳入力補助]-[科目別マスター入力設定]メニューで設定) を「2: する (必須入力)」にすると、取引先が未設定の仕訳伝票データは、受け入れることができません。

○ 金額0円の仕訳伝票を受け入れないように制限できるようになりました。

「金額が0円の明細登録許可」 ([導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの[伝票設定]ページで設定) で、金額が0円の仕訳伝票を受け入れできないように設定できます。0円の伝票を誤って登録することを防ぐことができるため、便利です。

● 処理状態 (新規/修正) や処理日時でマスターの履歴を絞り込めるようになりました。

指定した日時以降に新規に追加されたマスター、もしくは修正されたマスターだけを抽出できます。

《 関連メニュー 》

- ・ [随時処理]-[電子帳簿変更履歴]-[マスター履歴]の各メニュー
- ・ [導入処理]-[外貨登録]-[為替レート登録]メニュー

※このメニューは、『外貨入力オプション』をお使いの場合に使用できます。

● 整理仕訳と日常仕訳を区別して合算できるようになりました。

[随時処理]-[データ領域合算]メニューで、整理仕訳と日常仕訳を区別して合算できるようになりました。

整理仕訳の入力月は、合算先データ領域の「整理仕訳の登録」 ([導入処理]-[会計期間設定]-[会計期間設定]メニューの[伝票設定]ページで設定) に基づいて合算します。

▼イメージ図

【基本設定】	
整理仕訳の管理方法	1 日常仕訳と区別する
整理仕訳の登録	2 四半期決算ごとに登録

整理仕訳と日常仕訳を区別する場合は、「1: 日常仕訳と区別する」を選択します。

整理仕訳の入力月を指定します。

- 科目の調整伝票が必要なくなりました。

[随時処理]-[データ領域合算]メニューで、整理仕訳と日常仕訳を区別して合算できるようになりました。

合算した際に、科目の調整伝票が必要なくなり、それに伴い、合計残高試算表等に調整用の勘定科目が表示されなくなりました。

その他の変更情報

- 「マイページ」のサポートサービス情報などを、「奉行 i メニュー」に一元化しました。

当システムのメニュー画面右下の「マイページ」で提供していたサポートサービス情報などについて、「奉行 i メニュー」に一元化しました。

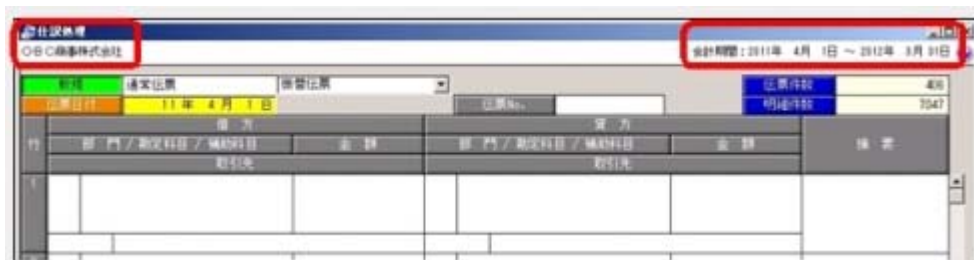
最新情報や保守加入状況、オンラインサポートなど当システムを運用する際に必要な情報は、「奉行 i メニュー」からご確認ください。

税理士事務所のお客様へ

- 現在作業している会社名および会計年度が、常に画面上に表示されるようになりました。

複数管理している顧問先の会社のうち、現在作業している会社名および会計年度が、常に画面上で確認できるようになりました。

▼イメージ図














機能アップガイド

Ver.1.54



目次

※  マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

	【メニュー体系】	
	メニューの名称を変更しました。	4
	【帳票全般】	
	勘定科目名・科目区分名をバランスよく均等割り付け印刷する機能が追加されました。	4
	帳票の初期のフォントサイズ・行の高さが、より見やすいサイズになりました。	5
	消費税管理資料・決算報告書を印刷する際に、行の高さの補正やフォントサイズの変更ができるようになりました。	5
	印刷する際に、項目タイトル行・計行・合計行などの網掛けの濃度を調整できるようになりました。	5
	転送する際に、空白行を出力するかを選択できるようになりました。	6
	【データ領域管理】	
	仕訳伝票などの金額データや履歴情報などをすべて消去する機能が追加されました。	7
	【導入処理】	
	[部門グループ登録]メニューの転送機能は、[随時処理]メニューの[部門グループデータ作成]メニューに統合されました。	7
	[勘定科目検索]画面の形式に、「標準検索」が追加されました。	8
	【仕訳処理】	
	[仕訳処理]メニューからも、仕訳伝票リスト（応用用紙）を印刷できるようになりました。	9
	仕訳入力時に、税区分を非課税から課税に変更した場合に、消費税を自動計上するように変更しました。	9
	仕訳入力時に便利な「キー割り当て機能（[*] キー）」を充実しました。	10
	[仕訳伝票リスト]メニューからも、専用用紙への伝票発行ができるようになりました。	11
	仕訳伝票リストの項目タイトルに、「借方」「貸方」の文字を明示的に印字するように変更しました。	11
	FBデータをもとに、入金伝票・出金伝票を起票する機能が追加されました。	12
	仕訳伝票予約で、毎月の「繰返し登録機能」を搭載しました。	14
	[仕訳伝票予約]メニューで、複数の予約伝票を、連続して登録できるようになりました。	14
	【会計帳票】	
	元帳の印刷時に、摘要を他のマスター名称より優先して印字できるようになりました。	14
	元帳の印刷時に、自勘定科目のフォントサイズを大きく指定できるようになりました。	15
	[元帳]メニューの[条件設定]画面で、補助科目コードの横に、補助科目名も表示されるようになりました。	15

	【分析帳票】	
	A B Cのランクに分類し、パレート図を作成して分析するメニューが追加されました。	16
	モノクロプリンタでも、グラフの種類が見分けられるように網掛けで印刷できるように改善されました。	17
	【管理会計帳票】	
	非会計情報（店舗面積・社員数・売上本数など）を利用して、多角的な分析帳票を作成できるようになりました。	17
	＜『管理会計オプション』をお使いの場合＞	
	勘定奉行実績金額の分析に、「前月残高」「借方発生金額」「貸方発生金額」が追加されました。	18
	＜『管理会計オプション』をお使いの場合＞	
	金額が0円のマスターを出力しないことで、帳票作成までの時間を短縮できるようになりました。	19
	＜『管理会計オプション』をお使いの場合＞	
	無効なマスターを集計対象から除外することで、帳票作成までの時間を短縮できるようになりました。	19
	＜『管理会計オプション』をお使いの場合＞	
	管理会計予算や実績金額のパターンを複写する際に、登録済みの金額も一緒にコピーするようになりました。	20
	＜『管理会計オプション』をお使いの場合＞	
	管理会計帳票で、勘定科目の内訳として、補助科目別に分析できるようになりました。	20
	＜『管理会計オプション』をお使いの場合＞	
	管理会計用の部門体系を複数登録することで、異なる視点・切り口で分析できるようになりました。	20
	＜『管理会計オプション』をお使いの場合＞	
	【消費税申告】	
	税区分明細表の印刷時に、基準フォントサイズ・金額のフォントサイズを設定できるようになりました。	21
	【決算処理】	
	決算報告書の表紙に印字される会社名や住所を、左寄せか中央揃えか選択できるようになりました。	22
	決算報告書の帳票様式ごとに、レイアウト（行の高さやフォントサイズ）を調整できるようになりました。	23
	決算報告書の損益計算書の内訳帳票「製造原価報告書」「販売費及び一般管理費明細書」の構成比の分母に、損益計算書の科目区分も指定できるようになりました。	24
	決算報告書で、前年度に登録した注記を、今年度にコピーできるようになりました。	25
	【随時処理】	
	部門グループとその内訳部門や階層情報を、転送・受入できるようになりました。	25
	勘定奉行21で作成した汎用データを受け入れる機能を改善しました。	26
	仕訳伝票データ受入・定型仕訳データ受入の[受入結果確認]画面で、ファイル行数を確認できるようになりました。	26
	勘定科目履歴・科目区分履歴で、貸借区分の変更履歴を管理できるようになりました。	26



マスターデータを一括削除できるようになりました。

27

【その他】



[会社運用設定]メニューおよび[セキュリティ管理]メニューなどに対して、過去に更新されたデータを一覧で確認できるようになりました。

28

「OBC専用モード」のバックアップデータを復元する際に、サイズを自動的に適正サイズに縮小する機能が追加されました。

28

当システムのオプション製品を使用している場合に、当システムの奉行iメニューから、オプション製品の情報も確認できるようになりました。

29

XenApp 6.0/Windows Server 2003以降のターミナルサービス環境で運用している場合に、バックアップデータや汎用データを、クライアント用コンピュータに作成できるようになりました。

29

＜『奉行iシリーズ with Citrix Access』をお使いの場合＞

注 意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

メニュー体系

● メニューの名称を変更しました。

メニューの名称を変更しました。

変更前	変更後
[随時処理]-[データ一括変更]-[金額データ一括変更]	[随時処理]-[データ一括変更]-[金額データ一括削除]

帳票全般



● 勘定科目名・科目区分名をバランスよく均等割り付け印刷する機能が追加されました。

帳票を印刷する際、勘定科目名・科目区分名の長さ（末尾）を揃えるために、設定した文字数（名称の長さ）で、文字と文字の間隔を均等に自動調整して印字できるようになりました。

もちろん、勘定科目以外の「補助科目」「科目区分」「部門」「取引先」名称も均等割り付けできます。

事前に、[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの[基本設定]ページで、勘定科目・科目区分別に均等割り付けの有無や割付時の桁数を設定し、帳票ごとに、[印刷等条件設定]画面-[印刷設定]ページで「均等割付する」「しない」の設定ができます。

《 関連メニュー 》

- ・ [会計帳票]メニューの各メニュー
- ・ [分析帳票]メニューの各メニュー

● **帳票の初期のフォントサイズ・行の高さが、より見やすいサイズになりました。**

初期で、帳票のフォントサイズが大きくなり、行の高さもデータを確認しやすいサイズになりました。

※この変更は、新規にデータ領域を作成した段階から反映されます。すでに運用中のデータ領域は、今までの設定が保持されます。

◀ **関連メニュー** ▶

- ・ [会計帳票] メニューの各メニュー
- ・ [分析帳票] メニューの各メニュー
- ・ [予算管理] メニューの各メニュー

● **消費税管理資料・決算報告書を印刷する際に、行の高さの補正やフォントサイズの変更ができるようになりました。**

会計帳票や分析帳票と同様に、行の高さの補正や集計結果部分のフォントサイズを変更することで、帳票の1ページ当たりの印刷行数を調整できるようになりました。

お客様の見やすさに合わせて調整できます。

※行の高さ・フォントサイズは、[印刷条件設定]画面の[印刷設定]ページなどで設定できます。

◀ **関連メニュー** ▶

- ・ [消費税申告]-[消費税計算書]メニュー
- ・ [消費税申告]-[科目別税区分集計表]メニュー
- ・ [消費税申告]-[税区分明細表]メニュー
- ・ [消費税申告]-[課税制度別納税額比較表]メニュー
- ・ [決算報告書]-[決算報告書]メニュー

● **印刷する際に、項目タイトル行・計行・合計行などの網掛けの濃度を調整できるようになりました。**

網掛け印字する帳票において、印刷する際に、[印刷設定]ページで網掛け部分の濃度を調整できるようになりました。

これにより、項目タイトル行・計行・合計行など、網掛け部分の色が濃くて見づらい際に薄くすることで、網掛け印字箇所を文字をより見やすくできます。

- 転送する際に、空白行を出力するかを選択できるようになりました。

合計行の下など、空白行を出力するか選択できるようになりました。

また、見出し行（項目タイトル行）を、繰り返し出力するかを選択もできます。

出力した転送ファイルを他のシステムで二次利用する場合は、途中に出力される空白行・見出し行（項目タイトル行）が不要になるケースが多いため、空白行・見出し行（項目タイトル行）を出力しない設定することで、加工の手間を削減できます。

▼イメージ図（空白行の転送）

出力設定 詳細設定

出力方法

☒ 空白行を出力する

☐ 帳票ごとに見出し行を繰り返し出力する

出力開始(E)

○空白行あり（「空白行を出力する」にチェックを付けた場合）

	A	B	C	D	E
1	メニュー名	会計様高試算表			
2	集計期間	自 2011 年 4 月 1 日 至 2012 年 3 月 31 日			
3	会社名	OBIC商事株式会社			
4	決算簿の情報	(期首残高未確定[決算假借未実行])			
5	税処理	税抜			
6	単位設定	(単位:円)			
7	科目名	繰越残高	借方	貸方	残高
8	現金	24870570	16300000	17619210	23551360
9	小口現金	639805	400000	212980	826825
10	現金計	25510375	16700000	17832190	24378185
11	当座預金	851865708	5526787590	5385886083	992767215
12	普通預金	1435000000	340000000	0	1775000000
13	定期預金	2900000000	100000000	0	3900000000
14	預金計	2576865708	5966787590	5385886083	3157767215
15	現金及び預金計	2602376083	5983487590	5403718273	3182145400

○空白行なし（「空白行を出力する」にチェックを付けない場合）

	A	B	C	D	E
1	メニュー名	会計様高試算表			
2	集計期間	自 2011 年 4 月 1 日 至 2012 年 3 月 31 日			
3	会社名	OBIC商事株式会社			
4	決算簿の情報	(期首残高未確定[決算假借未実行])			
5	税処理	税抜			
6	単位設定	(単位:円)			
7	科目名	繰越残高	借方	貸方	残高
8	現金	24870570	16300000	17619210	23551360
9	小口現金	639805	400000	212980	826825
10	現金計	25510375	16700000	17832190	24378185
11	当座預金	851865708	5526787590	5385886083	992767215
12	普通預金	1435000000	340000000	0	1775000000
13	定期預金	2900000000	100000000	0	3900000000
14	預金計	2576865708	5966787590	5385886083	3157767215
15	現金及び預金計	2602376083	5983487590	5403718273	3182145400

▼イメージ図（見出し行の繰り返し転送）

出力設定 **詳細設定**
出力開始(E)

出力方法

☐ 空白行を出力する

☒ 帳票ごとに見出し行を繰り返し出力する

	A	B	C	D	E
90					
91	自己株式		0	0	0
92					
93	自己株式申込証拠金		0	0	0
94					
95	株主資本計	4087163929	0	1020333008	5107496937
96					
97	その他有価証券評価差額金	0	0	0	0
98					
99	繰越ヘッジ損益	0	0	0	0
100					
101	土地再評価差額金	0	0	0	0
102					
103	評価・換算差額等	0	0	0	0
104					
105	新株予約権	0	0	0	0
106					
107	純資産合計	4087163929	0	1020333008	5107496937
108					
109	負債純資産合計	4730503101	3166596027	4199787922	5763704996
110					
111	損益計算書				
112	科目名	繰越残高	借方	貸方	残高
113	売上高		0	5991722	5050067058
114	売上値引き及び戻り高		0	4041077	0
115	純売上高		0	9702799	5050067058
116					
117	期首商品及び製品棚卸高		0	20295000	0
118	仕入高		0	2167948985	0

データ領域管理



- 仕訳伝票などの金額データや履歴情報などをすべて消去する機能が追加されました。

[データ領域管理]-[データ領域保守]-[データ領域初期化]メニューで初期化を実行すると、勘定科目や補助科目などの各マスターや、会社運用設定などの運用に必要な部分は残し、仕訳伝票などの金額データや履歴情報などをすべて消去します。

以下のような場合に、初期化を使用すると便利です。

- ・運用前に、テスト用に作成したデータ領域について、マスターはそのまま残し、仕訳伝票などの金額だけを消去して運用を始める場合
- ・科目体系など、マスターが同じテンプレートデータ領域を作成する場合
※「マスターデータ一括削除」機能とあわせて活用します。

導入処理



- [部門グループ登録]メニューの転送機能は、[随時処理]メニューの[部門グループデータ作成]メニューに統合されました。

汎用データの作成・受入機能に、「部門グループデータ作成・受入」が新たに搭載されました。

それに伴い、[随時処理]-[汎用データ作成]-[マスターデータ作成]-[部門グループデータ作成]メニューに、[導入処理]-[部門登録]-[部門グループ登録]メニューの転送機能が統合されました。

今までの[部門グループ登録]メニューの転送と同じレイアウトで出力するためには、[部門グループデータ作成]メニューの[出力条件設定]画面の[出力設定]ページで、以下のように入力します。

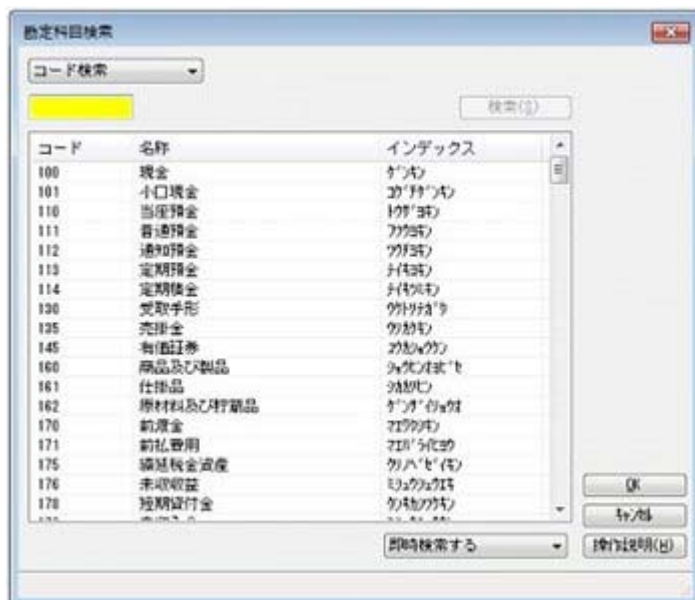
- ・「カンマ区切」または「タブ区切」を選択する。
- ・「奉行21シリーズの形式で出力する」にチェックを付ける。

● [勘定科目検索]画面の形式に、「標準検索」が追加されました。

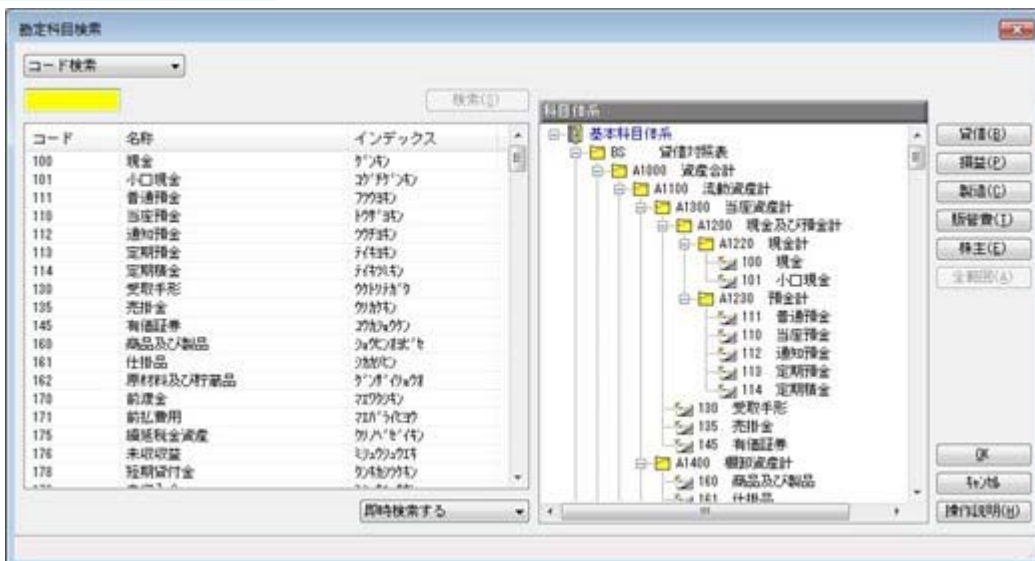
今までの、科目区分別に[導入処理]-[科目体系登録]-[勘定科目登録]メニュー（[導入処理]-[科目体系登録]-[科目体系登録]メニュー）での並び順で表示される形式「拡張検索」に加え、科目区分に関係なく勘定科目コード順に表示される「標準検索」が追加されました。

[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの[基本設定]ページの勘定科目検索画面の形式で、「0：標準検索」を選択した場合に使用できます。

▼イメージ図（標準形式）



▼イメージ図（拡張形式）



仕訳処理



- [仕訳処理]メニューからも、仕訳伝票リスト（応用用紙）を印刷できるようになりました。

[仕訳処理]-[仕訳伝票リスト]メニューに切り替えなくても、[仕訳処理]-[仕訳処理]メニューから直接、仕訳伝票リスト（応用用紙）を印刷できるようになりました。

[印刷条件設定]画面の[基本設定]ページの用紙種類で「応用用紙」を選択すると、印刷できます。

- 仕訳入力時に、税区分を非課税から課税に変更した場合に、消費税を自動計上するように変更しました。

仕訳入力時に、税区分を非課税から課税に変更した場合に、その勘定科目に初期設定されている消費税自動計算（自動計算しない・税抜金額から計算・税込金額から計算）に基づいて消費税を計上します。

※消費税自動計算は、[導入処理]-[科目体系登録]-[勘定科目登録]メニューまたは[導入処理]-[科目体系登録]-[補助科目登録]メニューで設定できます。

▼イメージ図（消費税自動計上）

例えば、
①文庫費を「冠婚葬祭非課税分」で入力します。

◎その後間違えに気づき、「通常課税分」に修正します。

◎消費税が自動計上されます。

● 仕訳入力時に便利な「キー割り当て機能（[*] キー）」を充実しました。

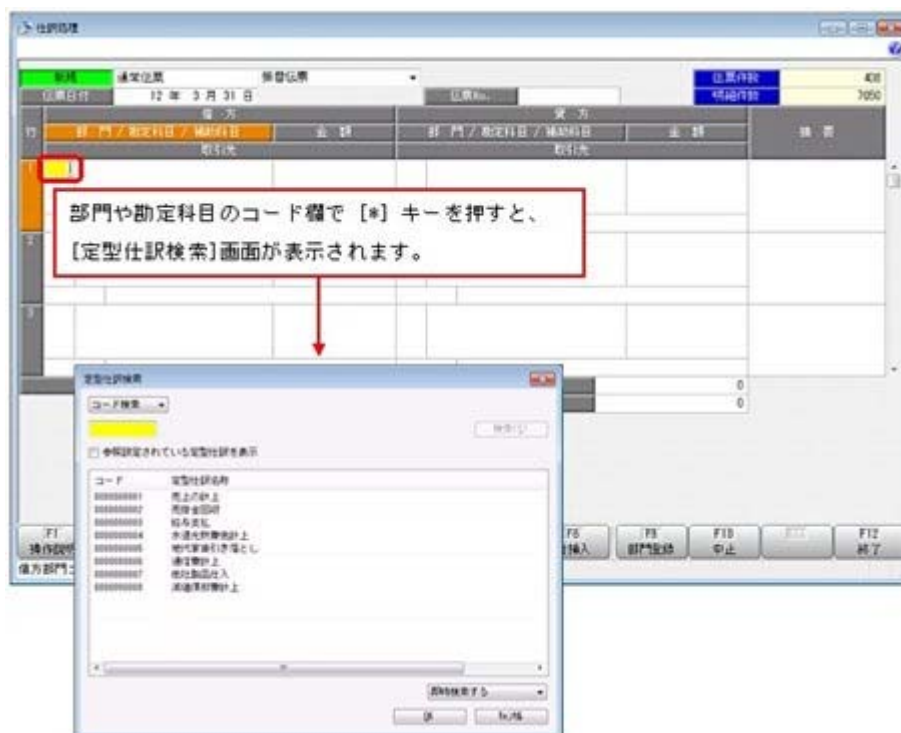
[*] キーに以下の機能を割り当てることで、キーボード操作だけで仕訳を迅速に入力できます。

- ・ 定型仕訳の呼び出し
- ・ 金額の貸借差額調整

※ [*] キーに機能を割り当てる場合は、事前に、伝票入力時の [*] キーの機能（[会社運用設定]メニューの[伝票設定]ページで設定）を「1：使用する」に設定します。

▼ イメージ図（キー割り当て機能（[*] キー））

○ 定型仕訳の呼び出し



○金額の貸借差額調整

伝票No. 12 年 3 月 31 日

借 方	貸 方
部 門 / 勘定科目 / 補助科目	部 門 / 勘定科目 / 補助科目
001 第一営業部 004 仕入高 5.0%	001 第一営業部 305 買掛金
2,000,000 (95,298)	500,000
	001 第一営業部 300 支払手形
	0
借方合計	貸方合計
2,000,000	500,000
	貸借差額
	1,500,000

【*】 キーを押すと・・・

差額分が自動的に入力されます。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳入力補助]-[定型仕訳登録]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]メニューの各メニュー

※[帳簿入力]メニューの各メニューでは、金額の貸借差額調整はありません。



- [仕訳伝票リスト]メニューからも、専用用紙への伝票発行ができるようになりました。

[仕訳処理]-[仕訳処理]メニューに切り替えなくても、[仕訳処理]-[仕訳伝票リスト]メニューから直接、専用用紙へ伝票発行ができるようになりました。

[印刷条件設定]画面の[基本設定]ページの用紙種類で「専用用紙」を選択すると、印刷できます。

- 仕訳伝票リストの項目タイトルに、「借方」「貸方」の文字を明示的に印字するように変更しました。

仕訳伝票リストの「簡易形式」と同様、「標準形式」でも、項目タイトルに「借方」「貸方」の文字を印字するように変更しました。

▼イメージ図（仕訳伝票リスト）

仕訳伝票リスト					
※ 2011年 4月 1日 至 2011年 3月 31日					
借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
部 門 / 勘定科目 / 補助科目	部 門 / 勘定科目 / 補助科目	部 門 / 勘定科目 / 補助科目	部 門 / 勘定科目 / 補助科目	部 門 / 勘定科目 / 補助科目	部 門 / 勘定科目 / 補助科目
001 第一営業部 004 仕入高 5.0%	001 第一営業部 305 買掛金	001 第一営業部 300 支払手形	001 第一営業部 305 買掛金	001 第一営業部 300 支払手形	001 第一営業部 305 買掛金
2,000,000 (95,298)	500,000	0	500,000	0	500,000
借方合計	貸方合計	借方合計	貸方合計	借方合計	貸方合計
2,000,000	500,000	0	500,000	0	500,000
	貸借差額		貸借差額		貸借差額
	1,500,000		1,500,000		1,500,000

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票リスト]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳入力補助]-[定型仕訳登録]メニュー
- ・ [配賦処理]-[部門実績配賦]-[部門実績配賦]メニュー



● F Bデータをもとに、入金伝票・出金伝票を起票する機能が追加されました。

F Bデータをもとに、入金伝票・出金伝票を起票する機能が追加されました。
この機能を利用することで、仕訳起票の効率化と漏れの防止を実現できます。

対象となるF Bデータは、以下の2つです。

全国銀行協会（全銀協）制定フォーマット

- ・ 振込入金通知（振込入金）
- ・ 入出金取引明細（振込入金・口座振替、その他すべての取引）

F Bデータの取り込み方法は、以下の2つです。

- ・ 『OFFICE BANK21』など、当システムに対応したエレクトロニックバンキングシステムを使用し、金融機関からF Bデータを受信して受け入れます。
- ・ インターネットバンキングなどからダウンロードした、F Bデータのファイルを指定して、受け入れます。

※振込入金の際に、手数料が当方負担であった場合、2：1の仕訳伝票を起票できます。

さらに、手数料科目が固定であれば、事前に設定しておくことで、手数料の金額だけ入力すれば起票できます。

▼イメージ図（手数料）

The screenshot shows the 'F B仕訳起票' (FB Settlement) window. At the top, there are fields for '銀行名' (Bank Name), '支店名' (Branch Name), '振込種目' (Transfer Type), '口座番号' (Account Number), and '振込入金通知' (Transfer Deposit Notification). Below this is a table of transactions with columns: '作成' (Created), '振込日' (Transfer Date), '振込状況' (Transfer Status), '振込区分' (Transfer Category), '入金' (Income), '出金' (Expense), '振込振込人名' (Transferor Name), and '振込内容' (Transfer Content). The table lists several transactions for December 25, 2012, with various bank names and amounts. Below the table is a '対象メモ' (Target Memo) section with fields for '振込区分' (Transfer Category), '振込振込人名' (Transferor Name), and '振込内容' (Transfer Content). At the bottom is a summary table with columns: '科目' (Account), '金額' (Amount), and '振込内容' (Transfer Content). The summary table shows a total of 3,836,179 for the '普通振込' (General Transfer) category. A red box highlights the '手数料' (Fee) field in the summary table, with a red arrow pointing to it from a text box that says '手数料の金額を入力します。' (Enter the fee amount).

※仕訳起票の画面上、システムが自動変換できない入力必須項目については、入力欄の色が他とは異なり、強調表示されます。

※F Bデータをシステムが仕訳に自動変換した結果（明細状態）ごとに、タブページを分割して集計・表示することができます。

《 追加メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[F B処理]-[F B受信データ受入]-[F B受信データ受入]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[F B処理]-[F B受信データ受入]-[F B外部ファイル受入]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[F B処理]-[F B仕訳起票]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[F B処理]-[F B処理設定]-[F B処理設定]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[F B処理]-[F B処理設定]-[会社銀行口座登録]メニュー



- 仕訳伝票予約で、毎月の「繰り返し登録機能」を搭載しました。

[仕訳処理]-[仕訳伝票予約]メニューに、「毎月〇日」など、1回の登録作業で毎月決まった日付を予定日に設定できるようになりました。

また、有効期間中の予約も一目瞭然です。

▼イメージ図（繰り返し登録機能）



- [仕訳伝票予約]メニューで、複数の予約伝票を、連続して登録できるようになりました。

本日計上する複数の予約伝票を、一括で実行できるようになり、スムーズかつ確実に処理を完了できます。

また、一括で実行する場合でも、それぞれの仕訳内容は画面で確認でき、登録後、次の伝票が自動表示されます。

今までは、処理する予約伝票が複数あっても、毎回、[仕訳伝票予約]画面（作業予定が一覧で表示される画面）に戻って、1件ずつ、繰り返し処理していました。

会計帳票

- 元帳の印刷時に、摘要を他のマスター名称より優先して印字できるようになりました。

[元帳]-[元帳]メニューの[印刷条件設定]画面の[詳細条件]ページで「摘要を他のマスターより優先して出力する」にチェックを付けると、摘要のフォントサイズが小さくなりすぎたり、印刷文字数が少なくなることを改善できます。

▼イメージ図（摘要優先）

100 現金				
OBC商事株式会社		Page: 1 印刷日時: 2016年12月22日 【帳簿】 【勘定元帳】		
伝票日付 伝票No.	(帳簿マスター) 勘定科目 / 補助科目 / 部門	借方	貸方	残高
	繰越金額			23,726,070
10/04/14	704 交際費 002 冠婚葬祭葬儀祝		20,000	23,706,070
	▼部門名の表示を優先		30,000	23,676,070
10/04/28	110 当座預金 001 京都中央銀行本	1,000,000		24,676,070
0000013	001 マネーロンギン預金 010 4 冠婚葬祭葬儀祝			
0000019	001 当座預金 001 京都中央銀行本		196,690	24,479,380
	繰上		240,430	23,689,350

- 元帳の印刷時に、自勘定科目のフォントサイズを大きく指定できるようになりました。

[元帳]-[元帳]メニューの[印刷条件設定]画面の[詳細条件]ページで、自勘定科目のフォントサイズを指定できるようになり、大きく見やすいタイトルが印字できます。

▼イメージ図（自勘定科目のフォントサイズ）

100 現金				
OBC商事株式会社		Page: 1 印刷日時: 2016年12月22日 【帳簿】 【勘定元帳】		
伝票日付 伝票No.	(帳簿マスター) 勘定科目 / 補助科目 / 部門	借方	貸方	残高
	繰越金額			23,726,070
10/04/14	704 交際費 002 冠婚葬祭葬儀祝		20,000	23,706,070
0000007	002 第一営業部 京都中央銀行本		30,000	23,676,070
10/04/15	704 交際費 002 冠婚葬祭葬儀祝		30,000	23,646,070
0000008	002 第二営業部 京都中央銀行本			23,616,070
10/04/28	110 当座預金 001 京都中央銀行本	1,000,000		24,616,070
0000013	001 マネーロンギン預金 010 4 冠婚葬祭葬儀祝			
10/04/30	繰上		196,690	24,419,380

- [元帳]メニューの[条件設定]画面で、補助科目コードの横に、補助科目名も表示されるようになりました。

[元帳]-[元帳]メニューの[条件設定]画面で、指定した勘定科目コードの横に、補助科目名も表示されるようになりました。

自マスター			
勘定科目コード	110	当座預金	~ 110 当座預金
補助科目コード	001	京都中央銀行本店	~ 002 西部銀行本店

分析帳票



- A B C のランクに分類し、パレート図を作成して分析するメニューが追加されました。

[分析帳票]-[A B C 分析]メニューが追加されました。

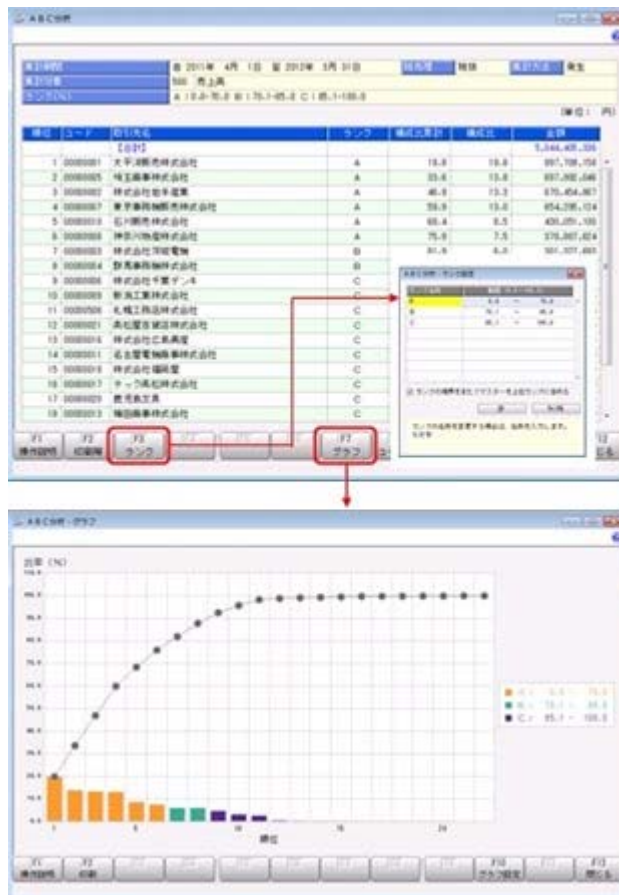
勘定科目（科目区分）の発生額・累計額を、部門や取引先などのマスターごとに集計し、金額の多い順に並べ替えて、A B C のランクに分類し、パレート図を作成して分析するメニューです。

売上高に基づいて、取引先を順位づけし、「上位 2 割を A ランク」といった分析を行うことで、重要な取引先や売上の低い取引先などを把握できるため、今後の経営戦略を立てる際に役立ちます。

※ A B C 等のランクは、最大 15 段階まで追加できます。

※一度ランク付けした後に、ひとつのランクをさらに掘り下げて、A B C でランク付けできます。

▼イメージ図（A B C 分析）



- モノクロプリンタでも、グラフの種類が見分けられるように網掛けで印刷できるように改善されました。

[グラフ印刷条件設定]画面の[グラフ印刷設定]ページで、グラフを網掛けに印刷できるようになりました。

これにより、モノクロで印刷した際に、グラフが塗りつぶされることなく、項目の見分けが付きやすくなりました。

▼イメージ図（グラフの網掛け）



《 関連メニュー 》

- ・ [分析帳票]-[推移表]メニューの各メニュー
- ・ [分析帳票]-[対比表]メニューの各メニュー
- ・ [分析帳票]-[ABC分析]メニュー

管理会計帳票



- 非会計情報（店舗面積・社員数・売上本数など）を利用して、多角的な分析帳票を作成できるようになりました。

＜『管理会計オプション』をお使いの場合＞

会計金額とは別に、店舗面積・社員数・売上本数などの非会計情報（会計項目とは異なる数値）を利用して計算式を設定することで、多角的な分析帳票を作成できるようになりました。

例えば、非会計情報の従業員数や顧客数、売り場面積（坪数）を使用した計算式を設定すると、一人当たり損益計算書をはじめ、客単価（売上高 ÷ 顧客数）や店舗別延床営業利益高（部門別営業利益 ÷ 売り場面積（坪数））などを出力できます。

▼イメージ図（一人当り損益計算書）

一人当り損益計算書						
発生期間		自 2011年 4月 1日 至 2012年 3月 31日				
会社名		〇〇C商事株式会社（管理会計帳票確認用）				
税処理		税抜				
単位設定		単位：円				
管理会計部門		合計				
名称	前期実績	構成比	当期実績	構成比	増減額	増減率
売上高	6,074,817	100.0%	5,040,364	100.0%	-1,034,453	-17.0%
売上原価	2,661,346	43.8%	2,288,360	44.4%	-422,985	-15.9%
売上総利益	3,413,471	56.2%	2,802,003	55.6%	-611,467	-17.9%
販売費及び一般管理費計	1,586,219	26.3%	1,381,392	27.4%	-214,226	-13.4%
（人件費）	1,048,103	17.3%	894,309	17.8%	-154,194	-14.7%
（販売費）	547,115	9.0%	487,082	9.7%	-60,032	-11.0%
営業利益	1,817,252	29.9%	1,420,611	28.2%	-397,240	-21.9%
営業外収益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
営業外費用	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
経常利益	1,817,252	29.9%	1,420,611	28.2%	-397,240	-21.9%
特別利益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
特別損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
税引前当期純利益	1,817,252	29.9%	1,420,611	28.2%	-397,240	-21.9%
法人税等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
当期純利益	1,817,252	29.9%	1,420,611	28.2%	-397,240	-21.9%
付加価値	2,879,711		2,317,355		-566,355	-19.4%
※付加価値 = 経常利益 + 人件費 + 金銭費用 + 貸倒料 + 租税公課 + 減価償却 + 法人税等						
従業員（人）	800		1,000			

《追加メニュー》

- ・[管理会計帳票]-[管理会計金額入力]-[非会計情報入力]メニュー
- ・[管理会計帳票]-[帳票レイアウト設定]-[行項目設定]-[非会計情報出力設定]メニュー



- 勘定奉行実績金額の分析に、「前月残高」「借方発生金額」「貸方発生金額」が追加されました。

＜『管理会計オプション』をお使いの場合＞

勘定奉行実績の分析に、「前月残高」「借方発生金額」「貸方発生金額」が追加されました。

この貸借別発生金額は、管理会計推移表を除く、分析表と集計表で利用できます。

▼イメージ図（現預金内訳表）

現預金内訳表（二期間比較）						
発生期間		自 2011年 4月 1日 至 2011年 3月 31日				
発生期間		自 2011年 4月 1日 至 2011年 3月 31日				
会社名		〇〇C商事株式会社（管理会計帳票確認用）				
税処理		税抜				
期首期末の集計条件		期首期末を集計する				
単位設定		単位：円				
コード	名称	前期残高	借方	貸方	期末	構成比
000100	現金	24,679,579	16,305,888	17,618,218	25,992,509	0.72
000101	1-CF現金	429,405	405,408	217,408	429,405	0.02
000102	現金	24,679,579	16,711,296	17,835,626	26,421,914	0.69
000110	当座預金	451,069,768	5,528,587,586	5,885,888,883	582,797,218	81.23
110-01	（東京中央銀行）	451,069,768	2,182,557,399	2,009,724,512	381,482,361	30.42
110-02	（北沢中央銀行）	0	346,105,000	387,413,873	74,311,874	7.32
110-03	（西京銀行）	0	2,158,345,136	2,609,048,798	422,724,760	42.42
110-04	（その他）	0	42,095,000	589,709,800	547,614,000	18.52
000115	普通預金	1,428,000,000	346,880,000	0	1,775,000,000	85.42
115-01	（東京中央銀行）	1,428,000,000	346,880,000	0	1,081,120,000	24.23
115-02	（北沢中央銀行）	0	0	0	1,693,880,000	81.19

《関連メニュー》

- ・[管理会計帳票]-[管理会計帳票出力]-[管理会計分析表]メニュー
- ・[管理会計帳票]-[管理会計帳票出力]-[管理会計集計表]メニュー
- ・[管理会計帳票]-[帳票レイアウト設定]-[列項目設定]-[列項目登録]メニュー
- ・[管理会計帳票]-[帳票レイアウト設定]-[列項目設定]-[列項目レイアウト設定]メニュー

- 金額が0円のマスターを出力しないことで、帳票作成までの時間を短縮できるようになりました。

＜『管理会計オプション』をお使いの場合＞

金額が発生していない不要なデータを省けるようになりました。

不要なデータを出力しないことで、帳票作成までの時間を短縮できます。

▼イメージ図（金額が0円のマスターを省く）

※チェックを付けると、金額が発生していない不要なデータを省けます。

《 関連メニュー 》

- ・ [管理会計帳票]-[管理会計帳票出力]-[管理会計分析表]メニュー
- ・ [管理会計帳票]-[管理会計帳票出力]-[管理会計集計表]メニュー
- ・ [管理会計帳票]-[管理会計帳票出力]-[管理会計推移表]メニュー

- 無効なマスターを集計対象から除外することで、帳票作成までの時間を短縮できるようになりました。

＜『管理会計オプション』をお使いの場合＞

無効なマスターの不要なデータを省けるようになりました。

不要なマスターを出力しないことで、帳票作成までの時間を短縮できます。

▼イメージ図（無効なマスターを省く）

※チェックを付けると、無効なマスターの不要なデータを省けます。

《 関連メニュー 》

- ・ [管理会計帳票]-[管理会計帳票出力]-[管理会計分析表]メニュー
- ・ [管理会計帳票]-[管理会計帳票出力]-[管理会計集計表]メニュー
- ・ [管理会計帳票]-[管理会計帳票出力]-[管理会計推移表]メニュー
- ・ [管理会計帳票]-[管理会計金額入力]-[管理会計予算額入力]メニュー
- ・ [管理会計帳票]-[管理会計金額入力]-[管理会計実績額入力]メニュー
- ・ [管理会計帳票]-[管理会計金額入力]-[非会計情報入力]メニュー

- **管理会計予算や実績金額のパターンを複写する際に、登録済みの金額も一緒にコピーするようになりました。**

＜『管理会計オプション』をお使いの場合＞

今までは、入力方法などの設定情報だけの複写でしたが、金額情報まで複写できるようになりました。

これにより、異なる金額だけを再入力すればよくなり、効率的に管理会計予算や実績金額を登録できるようになりました。

《 関連メニュー 》

- ・ [管理会計帳票]-[管理会計金額入力]-[管理会計予算額入力]メニュー
- ・ [管理会計帳票]-[管理会計金額入力]-[管理会計実績額入力]メニュー
- ・ [管理会計帳票]-[管理会計金額入力]-[非会計情報入力]メニュー



- **管理会計帳票で、勘定科目の内訳として、補助科目別に分析できるようになりました。**

＜『管理会計オプション』をお使いの場合＞

管理会計帳票で、勘定科目の内訳として、補助科目別に分析できるようになり、より詳細な戦略を立案できるようになりました。

補助科目別に分析するには、[管理会計帳票]-[管理会計マスター登録]-[管理会計科目登録]メニューで勘定科目の内訳として補助科目を管理会計科目として登録し、登録した管理会計科目に補助科目を割り当てます。



- **管理会計用の部門体系を複数登録することで、異なる視点・切り口で分析できるようになりました。**

＜『管理会計オプション』をお使いの場合＞

[管理会計帳票]-[管理会計マスター登録]-[管理会計部門登録]メニューで管理会計用の部門体系の粒度を複数登録することで、異なる視点・切り口で分析できるようになりました。

また、管理会計部門体系を追加する際に、登録済みの体系を複写することで、効率よく管理会計部門体系を作成することが可能です。

- **税区分明細表の印刷時に、基準フォントサイズ・金額のフォントサイズを設定できるようになりました。**

[消費税申告]-[税区分明細表]メニューで、印刷時に、基準フォントサイズ・金額のフォントサイズを設定できるようになりました。

マスターごとに個別に設定しない場合に、共通の基準値を設定できます。

また、行の高さの補正もできるようになりました。

※フォントサイズは、[印刷等条件設定]画面の[基本設定]ページで設定できます。

※行の高さは、[印刷等条件設定]画面の[印刷設定]ページで設定できます。

決算処理

- 決算報告書の表紙に印字される会社名や住所を、左寄せか中央揃えか選択できるようになりました。

[決算処理]-[決算報告書]-[決算報告書]メニューで、表紙に印字される会社名や住所を、左寄せに印字するか中央揃えで印字するか、選択できるようになりました。
中央揃えで印字する場合は、[印刷等条件設定]画面の[会社情報]ページで、「会社情報を中央揃えで印字する」にチェックを付けます。

▼イメージ図（会社名や住所の印字）

○チェックを付けた場合



○チェックを付けない場合



※開始印字位置を揃えて中央に表示したい場合は、チェックを付けずに、各会社情報の前にスペースを入れます。

各会社情報の前に、スペースを入れます。

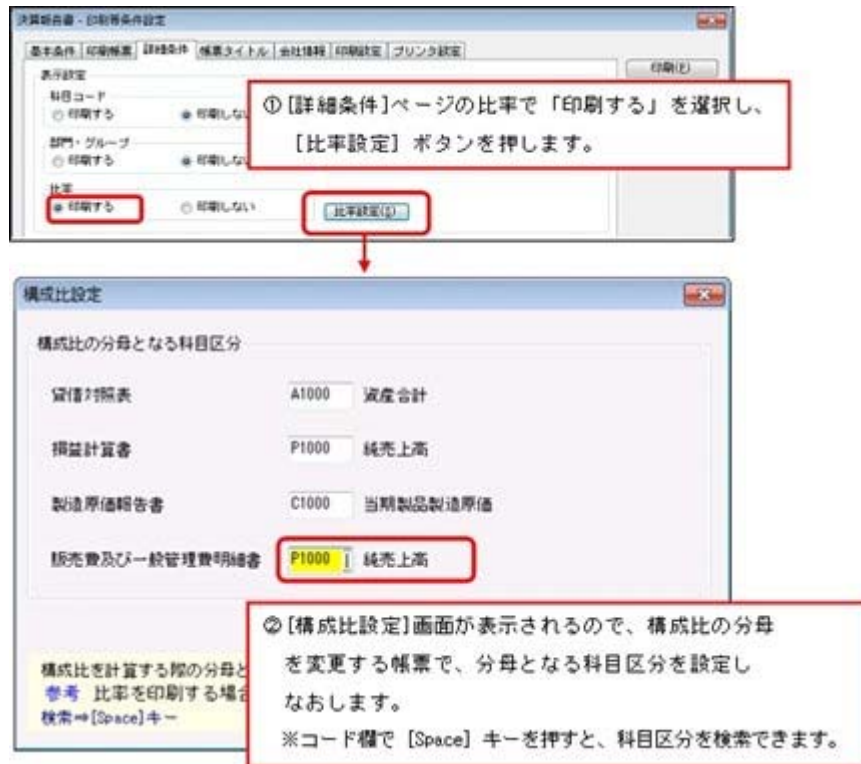
会社情報	
会社名1	〇〇〇〇商事株式会社
会社名2	
住所1	東京都新宿区西新宿6丁目8番1号
住所2	住友不動産新宿オークタワー
<input checked="" type="checkbox"/>	会社情報を中央揃えで印字する

- 決算報告書の損益計算書の内訳帳票「製造原価報告書」「販売費及び一般管理費明細書」の構成比の分母に、損益計算書の科目区分も指定できるようになりました。

[決算処理]-[決算報告書]-[決算報告書]メニューで、損益計算書の内訳帳票「製造原価報告書」「販売費及び一般管理費明細書」の構成比の分母として、損益計算書の科目区分も指定できるようになりました。

例えば、「純売上高」なども指定できるようになりました。

▼イメージ図（構成比の分母指定）





- 決算報告書で、前年度に登録した注記を、今年度にコピーできるようになりました。

事業年度末の注記は、通常、年度末2～3カ月後に登録するため、新年度のデータを作成する時点では、注記内容は登録されておらず、自動的に新年度のデータへ内容を引き継ぐことができません。

この業務の流れを考慮し、[決算処理]-[決算報告書]-[注記登録]メニューで前年度に登録した注記内容を、今年度（新年度）の注記にコピーできるようになりました。

▼イメージ図（前年度の注記コピー）

注記種類選択

コード 注記名

新規作成(N) 前年度複写(P) 複写(C)...

注記種類を選択し、[OK]ボタンをクリックすると、新しい注記種類を作成します。
詳細→[操作説明]ボタン

今年度（新年度）の[注記登録]メニューで、
[前年度複写]ボタンをクリックし、複写元として
前年度の注記を選択すると、今年度の注記に
前年度の内容が複写されます。
その後、異なる箇所だけ上書き修正します。

個別注記表 貸借対照表 損益計算書 製造原価報告書 販売費及び一般管理費明細書 株主資本等変動計算書

行	注記内容
1	1. 重要な会計方針
2	
3	(1) 資産の評価基準及び評価方法
4	
5	①有価証券等の評価基準及び評価方法
6	
7	ア 時価のあるもの

随時処理



- 部門グループとその内訳部門や階層情報を、転送・受入できるようになりました。

[随時処理]-[汎用データ作成]-[マスターデータ作成]-[部門グループデータ作成]メニュー・[随時処理]-[汎用データ受入]-[マスターデータ受入]-[部門グループデータ受入]メニューで、部門グループとその内訳部門や階層情報を、転送・受入できるようになりました。



● 勘定奉行21で作成した汎用データを受け入れる機能を改善しました。

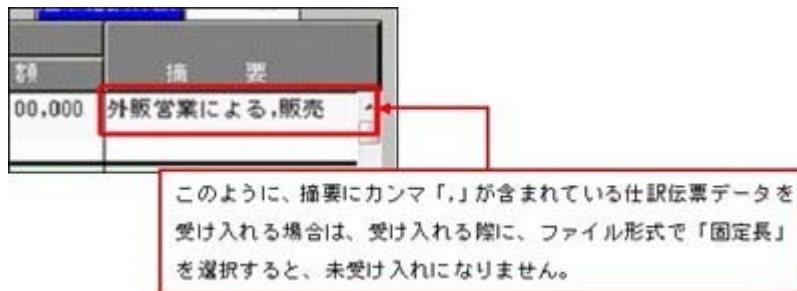
今までは、例えば、『勘定奉行21』シリーズで転送する仕訳伝票データにおいて、摘要の文字にカンマ「,」が含まれている場合、当システムではスムーズに受け入れられないという問題がありました。

「固定長」が指定できるようになったことで、摘要の文字にカンマが含まれていても、問題なく受け入れられるようになりました。

※[随時処理]-[汎用データ受入]-[仕訳伝票データ受入]-[仕訳伝票データ受入]メニューで、勘定奉行21形式のファイル形式「固定長」で作成された仕訳伝票データを受け入れられるようになりました。

[受入ファイル詳細設定]画面のファイル形式で「固定長」を選択すると、受け入れられます。

▼イメージ図（摘要の文字にカンマ）



《 関連メニュー 》

- ・ [随時処理]-[汎用データ受入]-[仕訳伝票データ受入]-[仕訳伝票データ受入]メニュー
- ・ [自動実行管理]-[条件設定]-[汎用データ受入]-[自動実行仕訳伝票データ受入]メニュー

● 仕訳伝票データ受入・定型仕訳データ受入の[受入結果確認]画面で、ファイル行数を確認できるようになりました。

[受入結果確認]画面で、伝票件数のほかに、ファイル行数も確認できるようになりました。

[受入結果確認]画面に表示されたファイル行数と、作成したファイルの行数との一致確認をすることで、正常受入の判断ができるようになりました。

《 関連メニュー 》

- ・ [随時処理]-[汎用データ受入]-[仕訳伝票データ受入]-[仕訳伝票データ受入]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ受入]-[仕訳伝票データ受入]-[定型仕訳データ受入]メニュー

● 勘定科目履歴・科目区分履歴で、貸借区分の変更履歴を管理できるようになりました。

[随時処理]-[電子帳簿変更履歴]-[マスター履歴]-[勘定科目履歴]メニュー・[随時処理]-[電子帳簿変更履歴]-[マスター履歴]-[科目区分履歴]メニューで、貸借区分を変更した際の履歴管理ができるようになりました。

▼イメージ図（貸借区分の変更履歴）

既定科目マスター

現在存在するデータの履歴だけ表示する

勘定区分	勘定科目コード	勘定科目名	貸借区分	科目区分コード	科目区分名
新増	100	現金	借方	A1200	現金計
新増	101	小口現金	借方	A1200	現金計
新増	110	当座預金	借方	A1250	現金計
新増	111	普通預金	借方	A1250	現金計
新増	112	通知預金	借方	A1250	現金計
新増	113	定期預金	借方	A1250	現金計
新増	114	定期積立	借方	A1250	現金計
新増	130	受取手形	借方	A1300	当座高増計
新増	135	売掛金	借方	A1300	当座高増計
新増	145	有価証券	借方	A1300	当座高増計

F1 操作説明 F2 印刷 F3 F4 F5 F6 F7 F8 条件設定 F9 F10 F11 F12 閉じる



- マスターデータを一括削除できるようになりました。

登録されている不要なマスターデータだけを一括で削除します。

これにより、例えば、既存のデータ領域を複数の会社間でテンプレートとして活用するような場合、「データ領域初期化」機能とあわせることで、各社で活用しやすいテンプレートデータを作成できます。

以下のマスターを一括削除できます。

- ・補助科目・部門・部門グループ
- ・取引先
 - ※取引先は、『Bシステム』の場合は管理できません。
- ・摘要

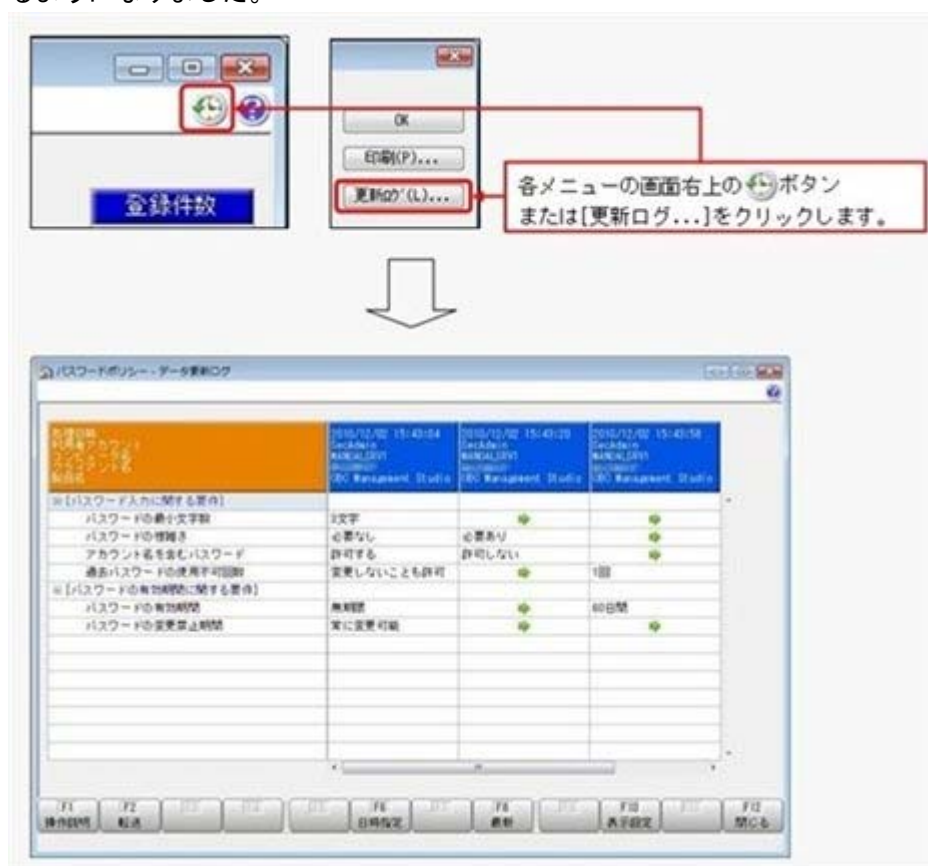
《 追加メニュー 》

- ・ [随時処理]-[データ一括変更]-[マスターデータ一括削除]-[補助科目データ一括削除] メニュー
- ・ [随時処理]-[データ一括変更]-[マスターデータ一括削除]-[部門データ一括削除] メニュー
- ・ [随時処理]-[データ一括変更]-[マスターデータ一括削除]-[部門グループデータ一括削除] メニュー
- ・ [随時処理]-[データ一括変更]-[マスターデータ一括削除]-[取引先データ一括削除] メニュー
 - ※取引先は、『Bシステム』の場合は管理できません。
- ・ [随時処理]-[データ一括変更]-[マスターデータ一括削除]-[摘要データ一括削除] メニュー



- [会社運用設定]メニューおよび[セキュリティ管理]メニューなどに対して、過去に更新されたデータを一覧で確認できるようになりました。

[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューおよび[セキュリティ管理]-[セキュリティポリシー]の各メニューで、過去に更新されたデータの内容を時系列に一覧で確認できるようになりました。



《 関連メニュー 》

- ・ [導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニュー
 - ・ [導入処理]-[会計期間設定]-[会計期間設定]メニュー
 - ・ [セキュリティ管理]-[セキュリティポリシー]-[アカウントポリシー]メニュー
 - ・ [セキュリティ管理]-[セキュリティポリシー]-[パスワードポリシー]メニュー
 - ・ [セキュリティ管理]-[セキュリティポリシー]-[データ領域権限評価ポリシー]メニュー
- 「OBC専用モード」のバックアップデータを復元する際に、サイズを自動的に適正サイズに縮小する機能が追加されました。

[データ領域管理]-[バックアップ／復元]-[バックアップ復元]メニューまたは[データ領域管理]-[バックアップ／復元]-[バックアップ履歴]メニューから、「OBC専用モード」で作成したバックアップデータを復元する際に、データ領域やログ領域のサイズを、自動的に適正サイズに縮小する機能が追加されました。

- **当システムのオプション製品を使用している場合に、当システムの奉行 i メニューから、オプション製品の情報も確認できるようになりました。**

当システムのオプション製品を使用している場合に、当システムの奉行 i メニューから、オプション製品の情報も確認できるようになりました。

※セットアップされているオプション製品に関して、当システムの奉行 i メニューから、オプション製品の保守サービスの加入状況等が確認できます。

- **XenApp 6.0/Windows Server 2003以降のターミナルサービス環境で運用している場合に、バックアップデータや汎用データを、クライアント用コンピュータに作成できるようになりました。**

＜『奉行 i シリーズ with Citrix Access』をお使いの場合＞


今までは、XenApp 6.0/Windows Server 2003以降のターミナルサービス環境で運用している場合に、バックアップデータや汎用データを、自動マッピングされたクライアント用コンピュータのドライブに作成できませんでしたが、今回より作成できるようになりました。








機能アップガイド

Ver.1.51 / Ver.1.50



※  マークは、おすすめする機能アップ内容や、注目していただきたい変更内容になります。

	【メニュー体系】	
	メニューの名称および構成を変更しました。	4
	【帳票全般】	
	[会計帳票]メニューで、部門コードを範囲で指定できるようになり、簡単に複数部門の集計ができるようになりました。	4
	推移表や対比表を印刷する際に、行の高さの補正やフォントサイズの変更ができるようになりました。	4
	推移表を印刷する際に、列幅を補正することができるようになりました。	5
	網掛け印刷の有無を選択できるようになりました。	5
	【導入処理】	
	勘定科目・補助科目・部門・摘要に、インデックスでの検索機能が追加されました。	5
	[消費税基本登録]メニューに、税理士添付書面の設定項目を追加しました。	6
	[勘定科目登録]メニュー・[部門グループ登録]メニューなどに、ツリー階層を展開・縮小できるファンクションキーが追加されました。	6
	[勘定科目登録]メニューの操作性を改善しました。	7
	[科目体系登録]メニューなどにおける、勘定科目の表示順の並び替えの操作性を改善しました。	8
	[部門権限登録]メニューで、選択されている会計期間で無効な部門も含めて表示できるようになりました。	8
	【仕訳処理】	
	“見やすく” “情報の網羅性が高い” 仕訳伝票の印刷ができるようになりました。	9
	仕訳伝票を専用用紙（単票形式）に印刷する場合に、伝票間の補正ができるようになりました。	9
	仕訳伝票の「標準形式」の検索でも、前年度の伝票を検索し、複写できるようになりました。	9
	仕訳伝票の登録・更新履歴として、[仕訳処理]メニューも表示・印刷するように変更しました。	10
	仕訳伝票を検索する際の、「登録区分」の指定方法を変更しました。	10
	帳簿入力の各メニューでも、承認済・転記済の仕訳伝票を表示できるようになりました。	11
	帳簿入力の各メニューにおいて、「奉行21形式」のファンクションキーの配置でも、伝票区分を登録できるようになりました。	11
	[仕訳伝票予約]メニューで、定期的な仕訳伝票を事前に予約しておくことで、起票漏れを防げるようになりました。	11
	＜『Sシステム』以上をお使いの場合＞	
	仕訳リストの簡易形式印刷（A4縦印刷）を追加しました。	11
	【会計帳票】	
	[元帳]メニューで、印刷タイトル（ヘッダー）部分に出力させる自マスターについて、コードの出力の有無を設定できるようになりました。	11



[日計表]メニューで、集計期間内に発生金額がある勘定科目だけを集計することができるようになりました。	12
[合計残高試算表]メニューで、印刷・転送時に、勘定科目と科目区分コードの出力の有無を、別々に設定できるようになりました。	12
[部門内訳表]メニューで、[部門グループ登録]メニューで設定した部門の並び順で出力できるようになりました。	12
[部門集計表]メニューで、部門単位（縦項目繰り返し列）の各科目の金額がすべて0の場合、その列自体を表示しないようにしました。	12
[部門集計表]メニューで、集計対象が「グループ」の場合でも、合計金額列を表示できるようになりました。	12
[集計表]メニューの各メニューで、合計金額列の表示の有無を設定表示できるようになりました。	12
【分析帳票】	
[部門別推移表]メニューで、[部門グループ登録]メニューで設定した部門の並び順で出力できるようになりました。	13
部門別の推移表・対比表メニューから、補助科目別・取引先別などの推移表・対比表へジャンプできるようになりました。 ＜「取引先」は『Sシステム』以上をお使いの場合＞	13
【管理会計帳票】	
企業独自の内部管理資料が出力できるようになりました。 ＜『管理会計オプション』をお使いの場合＞	13
【予算管理】	
[予算実績集計表]メニューで、部門単位（縦項目繰り返し列）の各科目の金額がすべて0の場合、その列自体を表示しないようにしました。	15
【消費税申告】	
消費税申告書をモノクロプリンタで印刷した場合でも、税務署にそのまま提出・申告できるようになりました。	16
平成22年度用の消費税申告書のレイアウトに対応しました。	16
[消費税申告データ作成]メニューで、消費税申告データをファイルに出力できるようになりました。	17
[電子申告]メニューに、国税の納付手続きを自宅やオフィスからインターネット経由などで電子的に行える機能が追加されました。	17
【随時処理】	
複数のデータ領域の実績金額・予算金額を合算できるようになりました。	17
[他システム連携]メニューで、「連結大王SUMMIT」連携を強化しました。	17
[他システム連携]メニューで、「Diva Series」連携を強化しました。	18
【その他】	
[バックアップ]メニューで、DB依存モードでのバックアップ先にもリムーバブルメディアドライブを指定できるように変更しました。	18
条件設定画面のコードの範囲指定で、1つのコードをスムーズに指定できるように改善しました。	18



[ヘルプ]・[マイページ]メニューの配置を移動しました。	19
奉行21の『入金管理オプション』『支払管理オプション』のデータをデータコンバートできるようになりました。	19

税理士事務所のお客様へ	
※OBC会計人パートナー制度（ASOS）が開始されました。 以下は、ASOS会員用『勘定奉行i』を利用されているお客様が使用できる機能です。	
【導入処理】	
税理士事務所や税理士の情報を、一元管理できるようになりました。	20
【消費税申告】	
担当している複数の顧問先データを、一度に電子申告できるようになりました。	20
顧問先ごとの電子申告の処理状況を一覧で確認できるようになりました。	20

注 意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

メニュー体系

- メニューの名称および構成を変更しました。

[電子申告]-[利用者情報変更]メニューは[導入処理]メニューに移動し、メニュー名も変更しました。

変更前	変更後
[消費税申告]-[電子申告] - [利用者情報変更] - [利用者情報変更] - [電子証明書変更]	[導入処理] - [電子申告情報変更] - [納税者情報変更] - [納税者電子証明書変更]

帳票全般

- [会計帳票]メニューで、部門コードを範囲で指定できるようになり、簡単に複数部門の集計ができるようになりました。

今までは、確認する複数部門の集計パターンを、[導入処理]-[部門登録]-[部門グループ登録]メニューで事前に設定する必要がありましたが、部門コードを範囲指定できるようになり、簡単に複数部門の集計ができるようになりました。

《 関連メニュー 》

- ・ [会計帳票]-[元帳]メニュー
- ・ [会計帳票]-[日計表]メニュー
- ・ [会計帳票]-[合計残高試算表]メニュー
- ・ [会計帳票]-[内訳表]メニューの各メニュー

- 推移表や対比表を印刷する際に、行の高さの補正やフォントサイズの変更ができるようになりました。

行の高さを補正したり、集計結果部分のフォントサイズを変更することで、帳票の1ページ当たりの印刷行数を調整できるようになりました。

お客様の見やすさに合わせて調整できます。

※行の高さ・フォントサイズは、[印刷条件設定]画面の[印刷設定]ページなどで設定できます。

《 関連メニュー 》

- ・ [会計帳票]-[資金繰]-[資金繰明細表]メニュー
- ・ [会計帳票]-[資金繰]-[資金繰実績推移表]メニュー
- ・ [会計帳票]-[一覧表]-[取引先一覧表]メニュー（『Sシステム』以上をお使いの場合）
- ・ [分析帳票]-[推移表]メニューの各メニュー
- ・ [分析帳票]-[対比表]メニューの各メニュー
- ・ [予算管理]-[予算実績集計表]メニュー
- ・ [予算管理]-[予算実績対比表]メニューの各メニュー

- 推移表を印刷する際に、列幅を補正することができるようになりました。

列幅を補正することで、推移表の1ページあたりに出力する月数を調整できるようになりました。
印刷枚数も節約できます。

※列幅は、[印刷条件設定]画面の[印刷設定]ページで補正できます。

《 関連メニュー 》

- ・ [分析帳票]-[推移表]メニューの各メニュー
- ・ [予算管理]-[予算実績対比表]メニューの各メニュー

- 網掛け印刷の有無を選択できるようになりました。

今まで必ず網掛けで印刷されていた帳票について、網掛けしない状態でも印刷できるようになりました。
プリンタのトナーを節約できます。

※網掛けは、[印刷条件設定]画面の[印刷設定]ページで設定できます。

導入処理

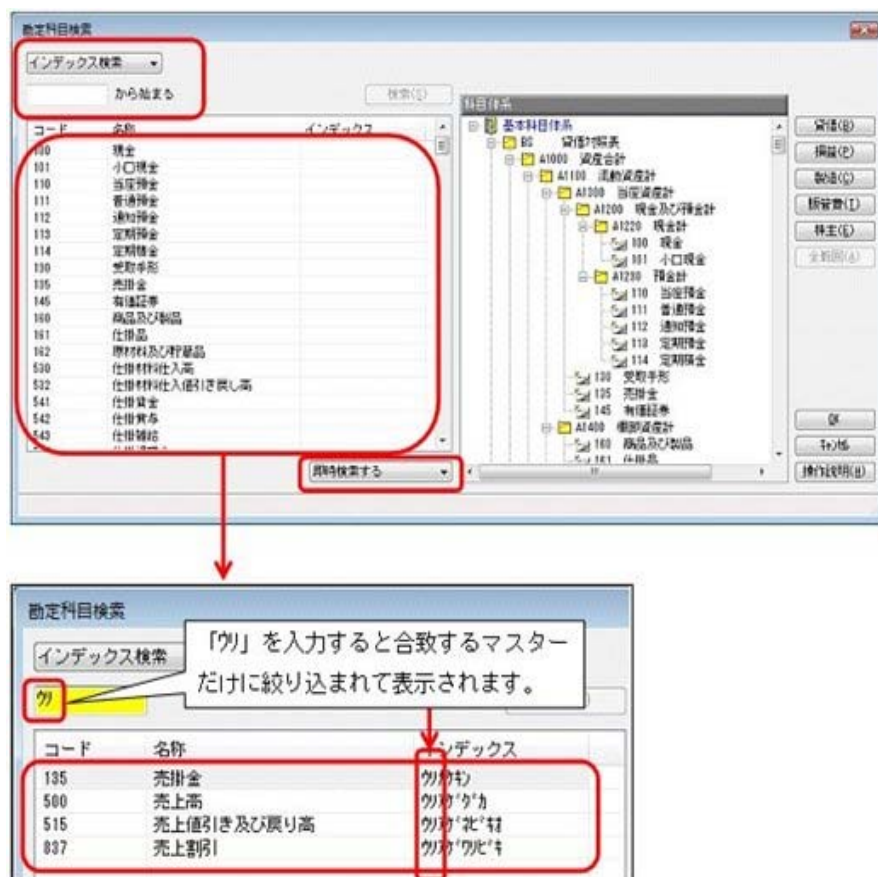
- 勘定科目・補助科目・部門・摘要に、インデックスでの検索機能が追加されました。

インデックスを登録しておく、仕訳伝票の入力時など、マスターを検索する際に、インデックスを使用して検索候補をリアルタイムに絞り込むことができます。

※リアルタイムな絞り込みは、即時検索の機能と組み合わせると実現でき、検索のスピードアップを図れます。

▼例

勘定科目検索を例に挙げて説明します。



図のように、検索画面で「インデックス検索」・「即時検索する」を選択し、「ウ」と入力すると、前方一致で1文字ずつ合致するマスターだけが絞り込まれます。

※「即時検索する」が選択されている場合だけ、リアルタイムにマスターが絞り込まれます。

※他のマスターのインデックス検索も同様です。

《 関連メニュー 》

- ・ [導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニュー
- ・ [導入処理]-[科目体系登録]-[勘定科目登録]メニュー
- ・ [導入処理]-[科目体系登録]-[補助科目登録]メニュー
- ・ [導入処理]-[部門登録]-[部門登録]メニュー
- ・ [導入処理]-[摘要登録]メニュー

● [消費税基本登録]メニューに、税理士添付書面の設定項目を追加しました。

税理士添付書面（税理士法第30条の書面など）の提出有無に関する設定項目を追加しました。

今までは、[消費税申告書]メニューで設定していましたが、税理士署名と同様、[導入処理]-[消費税基本登録]-[消費税基本登録]メニューの[税理士設定]ページで設定するようになりました。

● [勘定科目登録]メニュー・[部門グループ登録]メニューなどに、ツリー階層を展開・縮小できるファンクションキーが追加されました。

[導入処理]-[科目体系登録]-[勘定科目登録]メニュー・[導入処理]-[部門登録]-[部門グループ登録]メニューなどに、**展開**（〔F5〕キー）・**縮小**（〔F6〕キー）が追加されました。

展開を押すと、すべての階層を展開します。

縮小を押すと、第一階層の科目区分（部門グループ）を表示し、第二階層以下を縮小します。

これにより、特定の勘定科目・科目区分（部門・部門グループ）を見つけやすくなります。



● [勘定科目登録]メニューの操作性を改善しました。

[導入処理]-[科目体系登録]-[勘定科目登録]メニューの操作性の改善点は、以下のとおりです。

- 登録、修正した勘定科目にカーソル位置を保持する
登録、修正した勘定科目にカーソル位置が保持されるため、連続で勘定科目をメンテナンスしやすくなりました。
- 勘定科目を登録、修正しても、集約されたツリー階層を展開しない
勘定科目を登録、修正しても、集約されたツリー階層が展開されないため、整理されたツリー上でメンテナンスできます。
- 追加した勘定科目をコード順に配置する
勘定科目を追加した際に、自動的にコード順に配置されるようになりました。
今までは、属する階層の一番下に配置されていたため、コード順に並べる場合は、[導入処理]-[科目体系登録]-[科目体系登録]メニューで配置を修正する必要がありました。

▼改善例

以前は、「114 定期積金」の下に追加されていたが、コード順に「111 普通預金」の次に追加されるようになりました。

《 関連メニュー 》

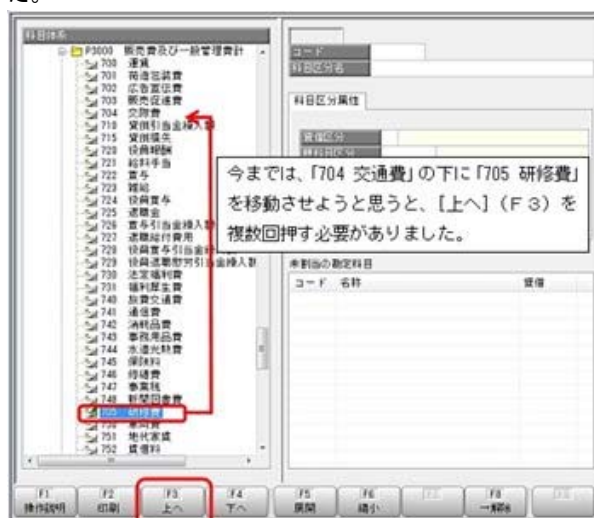
[勘定科目登録]メニューと同様に、操作性を改善しました。

- ・[導入処理]-[部門登録]-[部門グループ登録]メニュー

- [科目体系登録]メニューなどにおける、勘定科目の表示順の並び替えの操作性を改善しました。

今までは、勘定科目をコード順に並び替えるために、**上へ**（〔F3〕キー）や**下へ**（〔F4〕キー）を押してメンテナンスする必要がありましたが、下図のように、ドラッグ&ドロップでコード順に並び替えられるようになりました。

また、科目区分に、新規に勘定科目を割り当てた場合も、コード順を考慮して表示されるようになりました。



◀ 関連メニュー ▶

- ・ [導入処理]-[科目体系登録]-[科目体系登録]メニュー
- ・ [導入処理]-[出力様式登録]-[出力様式登録]メニュー

- [部門権限登録]メニューで、選択されている会計期間で無効な部門も含めて表示できるようになりました。

[導入処理]-[権限登録]-[部門権限登録]メニューで、選択されている会計期間で有効な部門だけを表示するか、無効な部門も含めて表示するかを選択できるようになりました。

※この選択は、[条件設定]画面で、部門を指定せずに[部門権限登録]画面を表示させた場合に設定できます。

- “見やすく” “情報の網羅性が高い” 仕訳伝票の印刷ができるようになりました。

○『勘定奉行21』で使用していた以下の専用用紙にも、部門コード・部門名の印刷ができるようになりました。

- ・ [3381] 単票仕訳伝票（OBCコクヨ式）
- ・ [3382] 単票仕訳伝票（OBC7行）
- ・ [3371] 連続仕訳伝票（OBCコクヨ式）
- ・ [3372] 連続仕訳伝票（OBC7行）

○すべての専用用紙に、税率・税区分・事業区分の印刷の有無の設定できるようになりました。

※奉行21シリーズと同様の仕様になりました。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ受入]-[仕訳伝票データ受入]-[仕訳伝票データ受入]メニュー

- 仕訳伝票を専用用紙（単票形式）に印刷する場合に、伝票間の補正ができるようになりました。

仕訳伝票を専用用紙（単票形式）に印刷する場合に、プリンタの機種によってインクを乾かす熱で用紙が伸縮することにより、2枚目以降の印字位置があわないことがあります。

今回の伝票間補正機能により、印字ずれを簡単に調整できます。プリンタ設定の「余白・位置調整」とあわせてお使いください。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ受入]-[仕訳伝票データ受入]-[仕訳伝票データ受入]メニュー

- 仕訳伝票の「標準形式」の検索でも、前年度の伝票を検索し、複写できるようになりました。

仕訳伝票の「標準形式」の検索でも、会計期間を選択し直すことなく前年度の伝票を検索できるようになりました。

前年度の仕訳伝票の複写や振戻仕訳（反対仕訳）を登録する際に有効な機能です。

※「標準形式」は、『勘定奉行21シリーズ』相当の検索画面形式です。

検索画面形式は、[仕訳処理]-[仕訳処理]メニューの[仕訳処理 - 設定]画面の[運用設定]ページで設定します。

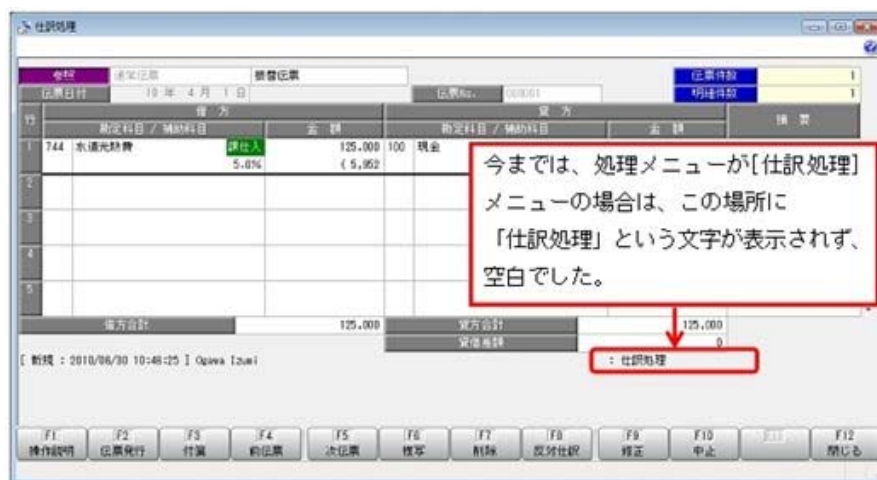
《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票リスト]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]メニューの各メニュー

- 仕訳伝票の登録・更新履歴として、[仕訳処理]メニューも表示・印刷するように変更しました。

仕訳伝票を入力する画面の右下に、登録・更新履歴として処理メニューの名称が表示されますが、今回から[仕訳処理]-[仕訳処理]メニューの場合も出力するように変更しました。

今までは、処理メニューが[仕訳処理]メニュー以外のときだけ表示していましたが、[仕訳処理]-[帳簿入力]メニューの追加など、複数メニューから仕訳伝票を手入力できるようになったことに伴う変更です。



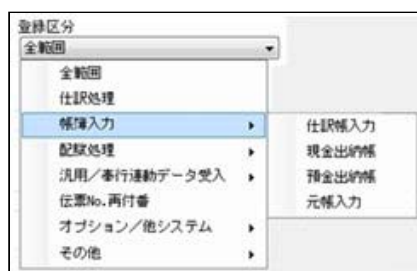
《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票リスト]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]メニューの各メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票承認]-[仕訳伝票承認]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[仕訳伝票データ作成]-[仕訳伝票データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[電子帳簿変更履歴]-[仕訳伝票]メニュー
- ・ [随時処理]-[データ一括変更]-[仕訳伝票データ一括変更]-[仕訳伝票一括削除]メニュー

- 仕訳伝票を検索する際の、「登録区分」の指定方法を変更しました。

今までは、登録済みの仕訳伝票で利用されている登録区分だけを一覧で表示していましたが。

今後は、セットアップ済みの奉行シリーズ・オプション製品に応じて、関連のある登録区分を分類ごとに区分けして表示するように変更したので、選択しやすくなりました。



《 関連メニュー 》

- ・ [仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票リスト]メニュー
- ・ [仕訳処理]-[帳簿入力]メニューの各メニュー
- ・ [仕訳処理]-[仕訳伝票承認]-[仕訳伝票承認]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[仕訳伝票データ作成]-[仕訳伝票データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[電子帳簿変更履歴]-[仕訳伝票]メニュー
- ・ [随時処理]-[データ一括変更]-[仕訳伝票データ一括変更]-[仕訳伝票一括削除]メニュー

- 帳簿入力各メニューでも、承認済・転記済の仕訳伝票を表示できるようになりました。

[仕訳処理]-[帳簿入力]メニューの各メニューでも、承認済・転記済の仕訳伝票を表示できるようになりました。その伝票を複写して、仕訳伝票を登録できます。

- 帳簿入力各メニューにおいて、「奉行21形式」のファンクションキーの配置でも、伝票区分を登録できるようになりました。

[仕訳処理]-[帳簿入力]メニューの各メニューにおいて、「奉行21形式」のファンクションキーの配置でも、伝票区分も登録できるようになったので、キーボードだけで仕訳伝票のすべての情報を入力できるようになりました。

- [仕訳伝票予約]メニューで、定期的な仕訳伝票を事前に予約しておくことで、起票漏れを防げるようになりました。

＜『Sシステム』以上をお使いの場合＞

[仕訳処理]-[仕訳伝票予約]メニューで、毎月定期的に発生する家賃や通信費、リース支払などの仕訳伝票を事前に予約することで、予約日が到来すると、当システムの起動時にメッセージが表示され、そのまま仕訳伝票の登録へと導く機能が追加されました。

起票漏れを防げるとともに、定型仕訳をもとに起票できるので、入力作業の軽減にもなります。

- 仕訳リストの簡易形式印刷（A4縦印刷）を追加しました。

仕訳伝票リストを「A4縦」用紙に「伝票形式」で印刷することで、「伝票計」のチェックが容易にできます。

[仕訳処理]-[仕訳伝票リスト]メニューの[印刷条件設定]画面で、簡易形式の印刷方向で「縦形式」を選択します。

会計帳票

- [元帳]メニューで、印刷タイトル（ヘッダー）部分に出力させる自マスターについて、コードの出力の有無を設定できるようになりました。

[会計帳票]-[元帳]-[元帳]メニューの[印刷条件設定]画面に、「印刷タイトル（自マスター）のXXXコードを出力する」の設定が追加されました。

※上記設定の追加に伴い、既存の「〇〇〇コードを出力する」を「明細行のXXXコードを出力する」に変更しました。

※XXXには、各マスターの名称が入ります。

- [日計表]メニューで、集計期間内に発生金額がある勘定科目だけを集計することができるようになりました。

取引のある勘定科目だけ集計されるので、金額のチェックがしやすくなりました。

「印刷行数の削減（＝印刷枚数の削減）」にもつながります。

また、既存の「金額が0の勘定科目を表示する設定」に代わって、以下の設定が[条件設定]画面の[詳細条件]ページに追加されました。

金額が0の場合の出力設定

- ☒ 指定された日付範囲に発生金額がある場合だけ出力する
- ☐ 発生金額がなくても、残高が0でない場合は出力する
- ☐ 指定された範囲すべての科目を無条件で出力する

- [合計残高試算表]メニューで、印刷・転送時に、勘定科目と科目区分コードの出力の有無を、別々に設定できるようになりました。

今までは、勘定科目と科目区分コードの出力の有無の設定は、共通で1つでしたが、別々に設定できるようになりました。

設定は、[印刷等条件設定]画面の[基本設定]ページに追加されています。

変更前

出力設定

☐ コードを出力する

変更後

出力設定

☐ 勘定科目コードを出力する ☐ 科目区分コードを出力する

- [部門内訳表]メニューで、[部門グループ登録]メニューで設定した部門の並び順で出力できるようになりました。

[会計帳票]－[内訳表]－[部門内訳表]メニューで、[導入処理]－[部門登録]－[部門グループ登録]メニューで設定した部門の並び順で出力できるようになり、部門の内訳金額をさらに確認しやすくなりました。

※今までどおり、コード順でも出力できます。

- [部門集計表]メニューで、部門単位（縦項目繰り返し列）の各科目の金額がすべて0の場合、その列自体を表示しないようにしました。

[会計帳票]－[集計表]－[部門集計表]メニューで、確認する必要のない列（各科目の金額がすべて0の列）を非表示にすることで、「金額を確認・比較しやすい帳票」「横長にならない帳票（＝印刷時の改ページを抑える）」を実現しました。

なお、個別に部門を指定した場合は、金額が0の場合でも列を表示します。

- [部門集計表]メニューで、集計対象が「グループ」の場合でも、合計金額列を表示できるようになりました。

集計対象が「グループ」の場合でも、「部門」の場合と同様に、合計金額列を表示できるようになりました。

- [集計表]メニューの各メニューで、合計金額列の表示の有無を設定表示できるようになりました。

部門や、グループで内訳部分を表示する場合には、今までは必ず合計金額列を表示していましたが、表示の有無を設定できるようになりましたので、不要な場合には非表示にできます。

《 関連メニュー 》

- ・ [会計帳票]-[集計表]-[部門集計表]メニュー
- ・ [会計帳票]-[集計表]-[補助科目集計表]メニュー
- ・ [会計帳票]-[集計表]-[取引先集計表]メニュー（『Sシステム』以上をお使いの場合）
- ・ [会計帳票]-[集計表]-[摘要集計表]メニュー

分析帳票

- [部門別推移表]メニューで、[部門グループ登録]メニューで設定した部門の並び順で出力できるようになりました。

[分析帳票]-[推移表]-[部門別推移表]メニューで、[導入処理]-[部門登録]-[部門グループ登録]メニューで設定した部門の並び順で出力できるようになり、部門の内訳金額をさらに確認しやすくなりました。

※今までどおり、コード順でも出力できます。

- 部門別の推移表・対比表メニューから、補助科目別・取引先別などの推移表・対比表へジャンプできるようになりました。

＜「取引先」は『Sシステム』以上をお使いの場合＞

[分析帳票]-[推移表]-[部門別推移表]メニューから、補助科目別推移表・取引先別推移表へジャンプできるようになりました。

また、[分析帳票]-[対比表]-[部門別対比表]メニューからも、補助科目別対比表・取引先別対比表へジャンプできるようになりました。

これにより、「全社」⇒「部門別」⇒「取引先別」（「補助科目別」）と、金額を追跡できるようになりました。

管理会計帳票

- 企業独自の内部管理資料が出力できるようになりました。
＜『管理会計オプション』をお使いの場合＞

『管理会計オプション』では、仮想的な勘定科目や部門を用いて、多角的な視点で数値を把握することによって、企業のニーズに合わせた経営戦略に活用できる様々な管理帳票を出力できます。

勘定奉行に蓄積されている各種マスターや実績値をもとに、帳票の縦軸と横軸のレイアウト設定することで、自由度の高い管理・分析用の帳票を作成できます。

管理会計帳票は、大きく分けて、分析表形式・集計表形式・推移表形式があります。

例) 売上対費用 5 期間比較表 (「分析表形式」で作成)

売上対費用5期間比較表

発生期間
会社名
税処理
単位設定

自 2010 年 4 月 1 日 至 2011 年 3 月 31 日
〇〇〇商事株式会社 (管理会計帳簿編2用)
税抜
単位: 円

取引先
00000001 太平洋株式会社

コード	名称	当期実績	前期実績	対前期差異	対前期比	二期前実績	三期前実績	四期前実績
P1000	純売上高	397,640,818	1,029,322,884	-31,682,066	96.92%	395,471,940	912,827,286	872,335,764
P1100	売上原価	694,286,009	748,639,408	-54,243,399	92.75%	659,228,804	648,283,384	612,405,053
P2000	売上総利益	303,244,809	280,683,476	22,561,333	108.03%	282,251,144	264,543,902	259,930,711
P3100	販売費	0	0	0	0.00%	0	0	0
P3200	人件費	0	0	0	0.00%	0	0	0
P3300	一般管理費	0	0	0	0.00%	0	0	0
P3000	販売費及び一般管理費計	0	0	0	0.00%	0	0	0
P4000	営業利益	303,244,809	280,683,476	22,561,333	108.03%	282,251,144	264,543,902	259,930,711

取引先
00000002 株式会社岩手産業

コード	名称	当期実績	前期実績	対前期差異	対前期比	二期前実績	三期前実績	四期前実績
P1000	純売上高	668,694,867	696,193,818	-26,958,751	96.21%	652,892,692	628,661,647	605,579,744
P1100	売上原価	135,142,884	138,285,745	-3,142,861	97.72%	0	0	0
P2000	売上総利益	534,691,983	557,907,873	-23,215,890	95.83%	652,892,692	628,661,647	605,579,744
P3100	販売費	0	0	0	0.00%	0	0	0
P3200	人件費	0	0	0	0.00%	0	0	0
P3300	一般管理費	0	0	0	0.00%	0	0	0
P3000	販売費及び一般管理費計	0	0	0	0.00%	0	0	0
P4000	営業利益	534,691,983	557,907,873	-23,215,890	95.83%	652,892,692	628,661,647	605,579,744

取引先
00000003 株式会社茨城電機

コード	名称	当期実績	前期実績	対前期差異	対前期比	二期前実績	三期前実績	四期前実績
P1000	純売上高	301,227,693	302,401,380	-1,073,687	99.64%	287,349,066	267,576,015	258,190,205
P1100	売上原価	138,761,937	131,889,551	6,952,386	105.27%	98,684,863	97,435,388	90,256,293
P2000	売上総利益	162,565,756	170,511,829	-8,026,073	95.29%	188,664,203	170,139,627	167,933,912
P3100	販売費	0	0	0	0.00%	0	0	0
P3200	人件費	0	0	0	0.00%	0	0	0
P3300	一般管理費	0	0	0	0.00%	0	0	0
P3000	販売費及び一般管理費計	0	0	0	0.00%	0	0	0
P4000	営業利益	162,565,756	170,511,829	-8,026,073	95.29%	188,664,203	170,139,627	167,933,912

例) 部門別変動損益計算書 (「集計表形式」で作成)

部門別変動損益集計表														
発主期間		自 2010 年 4 月 1 日 至 2011 年 3 月 31 日												
会社名		〇〇商事株式会社 (管理会計帳簿編2用)												
税処理		税抜												
単位設定		単位: 円												
コード	名称	001 第一営業部					002 第二営業部							
		当期実績	構成比	前期実績	構成比	対前期比	予算額	達成率	当期実績	構成比	前期実績	構成比	対前期比	予算額
P1000	売上高	486,053,753	100.0%	504,574,275	100.0%	96.34%	540,000,000	90.01%	451,331,303	109.8%	466,320,499	100.0%	96.75%	486,000,000
WC111	販売費	2,749,880	0.6%	2,549,000	0.5%	107.84%	39,000,000	9.16%	2,744,000	0.6%	2,504,000	0.5%	119.26%	39,000,000
WC112	仕入税	224,616,925	46.2%	229,937,458	45.6%	100.39%	188,000,000	124.85%	197,431,252	43.7%	260,388,888	49.0%	91.50%	144,000,000
WC113	材料費	0	0.0%	0	0.0%	0.00%	0	0.00%	0	0.0%	0	0.0%	0.00%	0
WC114	外注費	0	0.0%	0	0.0%	0.00%	0	0.00%	0	0.0%	0	0.0%	0.00%	0
WC115	製造経費	0	0.0%	0	0.0%	0.00%	0	0.00%	0	0.0%	0	0.0%	0.00%	0
WC116	製造間接費	6,324,886	1.3%	2,749,000	0.5%	230.144%	42,000,000	15.05%	6,332,800	1.4%	2,794,000	0.6%	229.66%	42,000,000
WC110	変動売上原価	221,241,923	45.5%	229,737,458	45.5%	96.30%	189,000,000	111.53%	193,942,052	43.1%	260,129,889	49.0%	90.91%	132,000,000
WC121	運賃	432,159	0.1%	642,364	0.1%	67.27%	432,159	100.0%	435,891	0.1%	602,174	0.1%	67.39%	435,891
WC122	荷運搬出費	0	0.0%	0	0.0%	0.00%	0	0.00%	0	0.0%	0	0.0%	0.00%	0
WC123	その他要約所弁費	0	0.0%	0	0.0%	0.00%	0	0.00%	0	0.0%	0	0.0%	0.00%	0
WC120	変動販売費及び一般管理費	432,159	0.1%	642,364	0.1%	67.27%	432,159	100.0%	435,891	0.1%	602,174	0.1%	67.39%	435,891
WC140	変動総計	221,674,182	45.6%	224,729,822	44.5%	98.19%	188,432,159	111.61%	194,384,103	43.1%	260,731,042	49.0%	90.62%	132,435,891
WP100	営業利益	164,804,831	33.9%	180,144,853	35.7%	92.47%	371,000,000	11.13%	256,944,251	57.4%	206,190,569	40.7%	99.10%	347,564,109
FC111	労務費	0	0.0%	0	0.0%	0.00%	0	0.00%	0	0.0%	0	0.0%	0.00%	0
FC112	府県債費	0	0.0%	0	0.0%	0.00%	0	0.00%	0	0.0%	0	0.0%	0.00%	0
FC113	その他要約所弁費	0	0.0%	0	0.0%	0.00%	0	0.00%	0	0.0%	0	0.0%	0.00%	0
FC110	固定製造原価	0	0.0%	0	0.0%	0.00%	0	0.00%	0	0.0%	0	0.0%	0.00%	0
FC121	人件費	87,576,734	20.1%	89,526,390	17.7%	109.81%	88,000,000	182.63%	79,942,096	17.4%	70,262,288	15.1%	112.66%	48,000,000
FC122	旅費交通費	949,435	0.2%	739,695	0.1%	109.45%	600,000	141.43%	716,032	0.2%	634,548	0.1%	112.84%	600,000
FC123	文印費	694,483	0.1%	297,147	0.1%	233.72%	4,000,000	14.47%	229,429	0.1%	82,899	0.0%	278.05%	229,429
FC124	広告宣伝費	17,894,747	3.7%	17,714,292	3.5%	100.94%	18,000,000	99.36%	17,725,720	3.9%	17,476,197	3.7%	101.42%	18,000,000
FC125	販売費	0	0.0%	0	0.0%	0.00%	0	0.00%	0	0.0%	0	0.0%	0.00%	0
FC126	府県債費	259,466	0.1%	826,395	0.1%	47.29%	259,466	100.0%	199,582	0.0%	519,599	0.1%	38.41%	259,466
FC127	その他要約所弁費	19,732,527	4.1%	20,417,304	4.1%	94.74%	18,000,000	109.82%	19,319,690	4.3%	19,790,174	4.2%	95.65%	18,000,000
FC120	固定販売費及び一般管理費	116,599,734	23.9%	129,781,713	25.7%	106.91%	181,855,466	71.67%	117,831,557	25.9%	109,719,563	22.3%	119.70%	95,000,000
FC140	固定総計	116,899,734	23.9%	129,781,713	25.7%	106.91%	181,855,466	71.67%	117,831,557	25.9%	109,719,563	22.3%	119.70%	95,000,000
P4000	営業利益	174,595,117	35.9%	170,144,853	33.7%	102.61%	371,000,000	47.15%	239,112,704	53.2%	196,471,077	39.4%	119.15%	352,525,117
【集計比率】														
	売上高構成比	9.6%		10.4%		11.3%		9.0%	9.4%		9.4%		10.2%	
	変動費構成比	3.6%		10.6%		8.4%		3.6%	3.4%		3.4%		3.6%	
	原価率	9.7%		10.3%		12.1%		9.4%	9.7%		9.7%		11.3%	
	固定費構成比	19.1%		9.0%		10.2%		6.7%	8.2%		8.2%		8.4%	
	営業利益構成比	9.1%		10.7%		13.8%		10.0%	11.2%		11.2%		12.7%	

例) 部門別利益率月次推移表 (「推移表形式」で作成)

部門別利益率月次推移表										
集計期間1		自 2011年 4月 1日		至 2011年 3月 31日		(管理会計帳票確認用)				
会社名		〇〇〇株式会社								
税処理		税抜								
期首期末の集計条件		期首月にまとめて集計する								
単位設定		単位: 円								
管理会計部門		001 第一営業部								
コード	名称	当期末額(累計)	予算額(累計)	達成率	2011年 4月			2011年 5月		
					当期末額(発生)	予算額	達成率	当期末額(発生)	予算額	達成率
P1000	売上高	488,059,753	548,000,000	89.06%	48,239,142	45,000,000	107.19%	45,272,888	45,000,000	100.83%
P1100	売上原価	221,241,821	192,000,000	115.23%	15,715,248	18,000,000	87.31%	17,551,388	18,000,000	103.02%
P2000	売上総利益	266,817,932	356,000,000	74.95%	32,523,894	27,000,000	120.47%	27,721,500	27,000,000	102.67%
P3000	販売費及び一般管理費計	127,805,897	188,000,000	68.00%	8,218,127	8,000,000	102.73%	8,885,386	8,000,000	111.07%
P4000	営業利益	139,012,035	268,000,000	51.87%	24,305,767	20,000,000	126.53%	18,835,115	20,000,000	94.18%
P4110	営業外収益	0	0	0.00%	0	0	0.00%	0	0	0.00%
P4120	営業外費用	0	0	0.00%	0	0	0.00%	0	0	0.00%
P5000	経常利益	139,012,035	268,000,000	51.86%	24,305,767	20,000,000	126.53%	18,835,115	20,000,000	94.18%
P5110	特別利益	0	0	0.00%	0	0	0.00%	0	0	0.00%
P5120	特別損失	0	0	0.00%	0	0	0.00%	0	0	0.00%
P6000	税引前当期純利益	139,012,035	268,000,000	51.86%	24,305,767	20,000,000	126.53%	18,835,115	20,000,000	94.18%
P6110	法人税等	0	0	0.00%	0	0	0.00%	0	0	0.00%
P6100	当期純利益	139,012,035	268,000,000	51.86%	24,305,767	20,000,000	126.53%	18,835,115	20,000,000	94.18%
【売上高利益率一覧】										
	売上高利益率	54.44%	64.44%	84.44%	66.81%	64.44%	102.44%	61.19%	64.44%	95.01%
	売上高営業利益率	28.21%	44.44%	58.97%	48.88%	44.44%	109.88%	41.71%	44.44%	93.88%
	売上高経常利益率	28.21%	44.44%	58.97%	48.88%	44.44%	109.88%	41.71%	44.44%	93.88%
	売上高純利益率	28.21%	44.44%	58.97%	48.88%	44.44%	109.88%	41.71%	44.44%	93.88%

◀ 追加メニュー ▶

- ・[管理会計帳票出力]
 - [管理会計集計表]メニュー
 - [管理会計分析表]メニュー
 - [管理会計推移表]メニュー
- ・[管理会計マスター登録]
 - [管理会計科目登録]メニュー
 - [管理会計部門登録]メニュー
- ・[管理会計金額入力]
 - [管理会計予算額入力]メニュー
 - [管理会計実績額入力]メニュー
- ・[管理会計レイアウト設定]
 - [行項目設定]-[行項目レイアウト設定]メニュー
 - [列項目設定]-[列項目登録]メニュー
 - [列項目レイアウト設定]メニュー
 - [構成比登録]メニュー

予算管理

- [予算実績集計表]メニューで、部門単位(縦項目繰り返し列)の各科目の金額がすべて0の場合、その列自体を表示しないようにしました。

[会計帳票]-[集計表]-[部門集計表]メニューで、確認する必要のない列(各科目の金額がすべて0の列)を非表示にすることで、「金額を確認・比較しやすい帳票」「横長にならない帳票(=印刷時の改ページを抑える)」を実現しました。

なお、個別に部門を指定した場合は、金額が0の場合でも列を表示します。

消費税申告

- 消費税申告書をモノクロプリンタで印刷した場合でも、税務署にそのまま提出・申告できるようになりました。

今までは、モノクロプリンタで、OCR用紙の形式（〔消費税申告〕-〔消費税申告書〕メニューの〔印刷条件設定〕画面の〔基本設定〕ページで選択）で印刷した消費税申告書は、税務署にそのまま提出・申告できなかったため、税務署から送付されたOCR用紙に手書きで金額などの情報を転記する必要があります。

今後は、当システムからモノクロプリンタで印刷したOCR用紙の形式の消費税申告書も、税務署にそのまま提出・申告できます。

※なお、税務署が用意している「モノクロ印刷用のOCR用紙」と「カラー印刷用のOCR用紙」は、印刷レイアウトが異なります。当システムでは、印刷レイアウトの相違にも対応していますので、そのまま税務署に提出できます。

- 平成22年度用の消費税申告書のレイアウトに対応しました。

「翌年以降送付不要」欄の項目が追加されました。

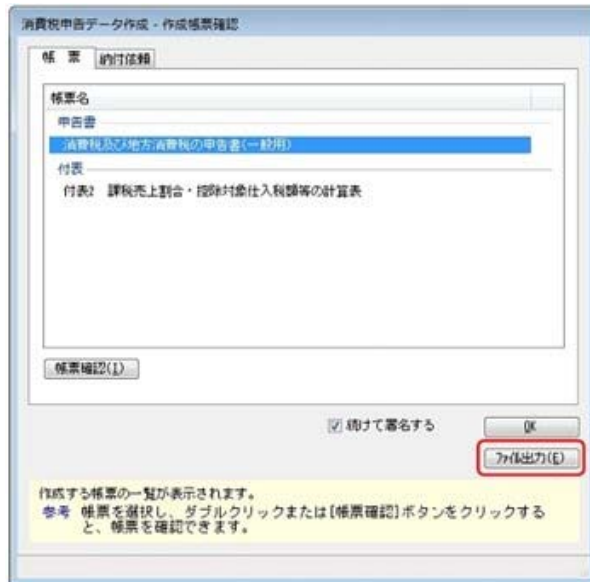
[illegible]

この欄は、『勘定奉行』など市販の財務会計システムの使用などにより、税務署から翌年以降の消費税申告書用紙（手書き用）の送付を不要とする場合に、チェックを付けます。

- [消費税申告データ作成]メニューで、消費税申告データをファイルに出力できるようになりました。

e-TaxソフトやPCdeskなど、他のシステムから電子申告を行う際に使用するファイルを出力できるようになりました。

[消費税申告]-[電子申告]-[消費税申告データ作成]メニューで、電子申告データを作成した際に、**ファイル出力**をクリックして出力します。



- [電子申告]メニューに、国税の納付手続きを自宅やオフィスからインターネット経由などで電子的に行える機能が追加されました。

[消費税申告]-[電子申告]-[消費税電子納税]メニューで、国税の納税手続きを自宅やオフィスからインターネット経由で行えます。

金融機関の窓口まで出向く必要がないため、金融機関の場所や受付時間などの制約がなくなります。

随時処理

- 複数のデータ領域の実績金額・予算金額を合算できるようになりました。

[随時処理]-[データ領域合算]メニューで、複数のデータ領域の実績金額・予算金額を合算できるようになりました。

複数のグループ会社の会計データを集計し、データを分析したい場合に利用できます。合算先のデータ領域では、グループ企業全体の金額の確認や分析ができます。

複数のデータ領域を「部門」として合算することもできるため、部門集計表などでグループ会社別の金額も比較・確認できます。

《 追加メニュー 》

・ [データ領域管理]-[合算データ領域作成]メニュー

- [他システム連携]メニューで、「連結大王SUMMIT」連携を強化しました。

[随時処理]-[他システム連携]メニューで、「連携大王SUMMIT」連携を強化し、以下の2つの情報を連携データとして追加しました。

- ・ 部門集計表情報
- ・ マスター情報ファイル「部門」の情報

- [他システム連携]メニューで、「Diva Series」連携を強化しました。

[随時処理]-[他システム連携]メニューで、「Diva Series」連携を強化し、以下の2つの条件を追加しました。

- ・月次単位での連携
- ・金額の集計方法（発生・累計）

なお、『Diva Series』は、『DivaSystem』に名称を変更しました。

その他

- [バックアップ]メニューで、DB依存モードでのバックアップ先にもリムーバブルメディアドライブを指定できるように変更しました。

[随時処理]-[バックアップ]メニュー、[データ領域管理]-[バックアップ/復元]-[一括バックアップ]メニューで、OBC専用モードだけでなくDB依存モードでのバックアップ先にも、「USBフラッシュドライブ（USBメモリ）」や「MOドライブ」などのリムーバブルメディアドライブを指定できるようになります。

- 条件設定画面のコードの範囲指定で、1つのコードをスムーズに指定できるように改善しました。

条件設定画面のコードの範囲指定において、「終了コード」を空欄にして[Enter]キーで確定すると、「開始コード」と同じコードが「終了コード」欄にもセットされるようになります。

これにより、1つのコードを指定する際に、よりスムーズに指定できるようになります。

空欄にして[Enter]キーを押します。

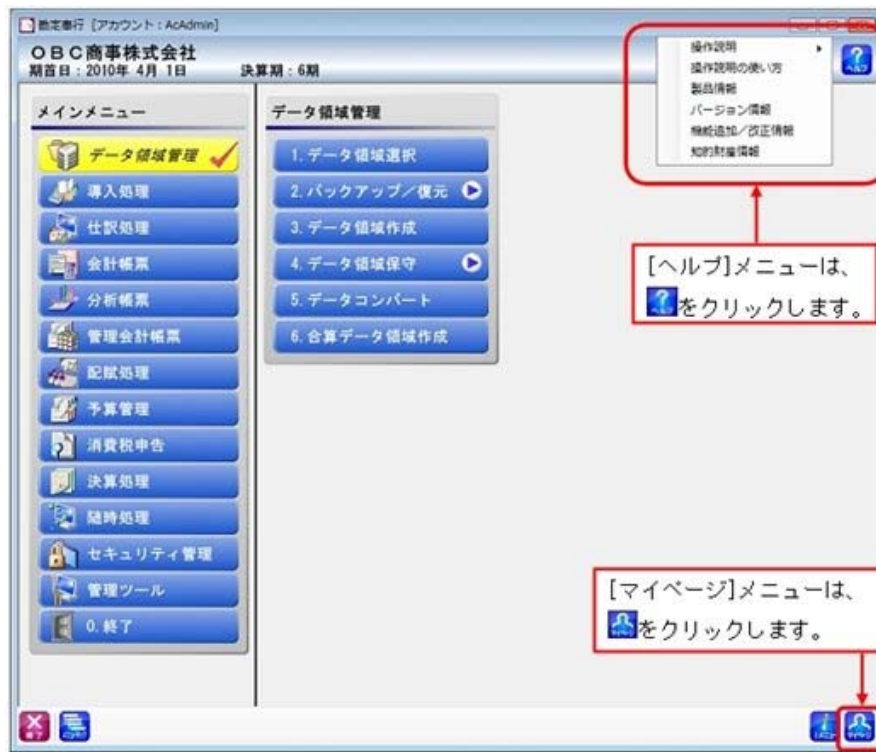
0001 ~

0001 ~ 0001

- [ヘルプ]・[マイページ]メニューの配置を移動しました。

[ヘルプ]メニューを、メインメニューの中から、メニュー画面の右上に移動します。

[マイページ]メニューを、メインメニューの中から、メニュー画面の右下に移動します。



- 奉行21の『入金管理オプション』『支払管理オプション』のデータをデータコンバートできるようになりました。

<『入金管理オプション for 勘定奉行 i』をお使いの場合>

<『支払管理オプション for 勘定奉行 i』をお使いの場合>

奉行21の『入金管理オプション』『支払管理オプション』のデータを、[データ領域管理]-[データコンバート]メニューでコンバートできるようになりました。

詳細は、「データコンバートマニュアル」をご確認ください。

税理士事務所のお客様へ

OBC会計人パートナー制度（ASOS）で、奉行iシリーズのご提供を開始しました。
ASOS会員のお客様の場合は、当システム上で、事前に税理士事務所や税理士の情報を登録して一元管理したり、担当している複数の顧問先データを一度に電子申告できるメニューが使用できるようになります。

導入処理

- 税理士事務所や税理士の情報を、一元管理できるようになりました。

税理士事務所や税理士の情報を一元管理できる、[導入処理]-[税理士登録]-[税理士事務所登録]メニュー・[導入処理]-[税理士登録]-[税理士登録]メニューを追加しました。

今までは、データ領域ごとに税理士情報を登録する必要がありましたが、[税理士事務所登録]メニュー・[税理士登録]メニューで1度だけ登録しておけば、税理士情報を各データ領域で活用できるようになりました。また、『法定調書奉行i』が同じ環境にセットアップされている場合は、当システムで登録した税理士情報のデータを共有できます。

※『法定調書奉行i』がバージョン1.50以降で、かつASOS会員用製品である必要があります。

◀ 追加メニュー ▶

- ・ [導入処理]-[税理士登録]-[電子申告情報変更]-[税理士情報変更]メニュー
- ・ [導入処理]-[税理士登録]-[電子申告情報変更]-[税理士電子証明書変更]メニュー

消費税申告

- 担当している複数の顧問先データを、一度に電子申告できるようになりました。

電子申告する際に、複数の顧問先データを一括で処理できるようになりました。

- ・ 署名の付与（[消費税申告]-[電子申告]-[消費税署名付与]メニュー）
- ・ 消費税申告データの送信（[消費税申告]-[電子申告]-[消費税申告データ送信]メニュー）

税理士事務所が管理している顧問先の中から、指定した税理士が担当している顧問先のデータだけを絞り込んで、スムーズに電子申告することができます。

- 顧問先ごとの電子申告の処理状況を一覧で確認できるようになりました。

顧問先データごとに電子申告の処理状況を確認できる、[消費税申告]-[電子申告]-[消費税処理状況確認]メニューを追加しました。

「未処理」「未署名」「未送信」「送信済」など、顧問先ごとに処理の状況を確認できます。



機能アップガイド

Ver.1.24



機能追加／改正情報

注 意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

Ver. 1.24 変更内容

[メニューの名称および構成を変更しました。](#)

[『入金管理オプション』『支払管理オプション』で自動作成された伝票の摘要を修正できるようになりました。](#)

[法人税等の電子申告における添付書類「財務諸表\(XBRL\)」データを作成できるようになりました。](#)

[奉行21・奉行21 Ver. IIのすべてのバージョンの会社データをデータコンバートできるようになりました。](#)

機能追加／改正情報

Ver. 1.24 変更内容の詳細

《メニュー体系》

- メニューの名称および構成を変更しました。

メニューの順序および構成を変更しました。

[電子申告]メニューは、[消費税申告]-[電子申告]メニューに移動しました。

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none">[予算管理][消費税申告][決算処理][電子申告]<ul style="list-style-type: none">↳ [消費税]<ul style="list-style-type: none">↳ [消費税申告データ作成]↳ [消費税署名付与]↳ [消費税申告データ送信]↳ [国税メッセージボックス確認]↳ [利用者情報変更]<ul style="list-style-type: none">↳ [利用者情報変更]↳ [電子証明変更][ワークフロー管理][随時処理]	<ul style="list-style-type: none">[予算管理][消費税申告]<ul style="list-style-type: none">↳ [電子申告]<ul style="list-style-type: none">↳ [消費税申告データ作成]↳ [消費税署名付与]↳ [消費税申告データ送信]↳ [国税メッセージボックス確認]↳ [利用者情報変更]<ul style="list-style-type: none">↳ [利用者情報変更]↳ [電子証明変更][決算処理][ワークフロー管理][随時処理]

メニューの名称を変更しました。

変更前	変更後
[導入処理]-[残高入力]-[期首残高入力]-[期首残高入力]	[導入処理]-[残高入力]-[開始残高入力]-[開始残高入力]
[導入処理]-[残高入力]-[期首残高入力]-[期首残高一括振替]	[導入処理]-[残高入力]-[開始残高入力]-[開始残高一括振替]
[導入処理]-[残高入力]-[期首残高入力]-[期首残高入力制限]	[導入処理]-[残高入力]-[開始残高入力]-[開始残高入力制限]
[随時処理]-[汎用データ作成]-[金額データ作成]-[期首残高データ作成]	[随時処理]-[汎用データ作成]-[金額データ作成]-[開始残高データ作成]
[随時処理]-[汎用データ受入]-[金額データ受入]-[期首残高データ受入]	[随時処理]-[汎用データ受入]-[金額データ受入]-[開始残高データ受入]
[随時処理]-[データ一括変更]-[金額データ一括変更]-[期首残高一括削除]	[随時処理]-[データ一括変更]-[金額データ一括変更]-[開始残高一括削除]

<『外貨入力オプション』をお使いの場合>

外貨入力オプションのメニューの名称を変更しました。

変更前	変更後
[導入処理]-[残高入力]-[期首残高入力]-[外貨別期首残高入力]	[導入処理]-[残高入力]-[開始残高入力]-[外貨別開始残高入力]
[随時処理]-[汎用データ作成]-[金額データ作成]-[外貨別期首残高データ作成]	[随時処理]-[汎用データ作成]-[金額データ作成]-[外貨別開始残高データ作成]
[随時処理]-[汎用データ受入]-[金額データ受入]-[外貨別期首残高データ受入]	[随時処理]-[汎用データ受入]-[金額データ受入]-[外貨別開始残高データ受入]

《仕訳処理》

- 『入金管理オプション』『支払管理オプション』で自動作成された伝票の摘要を修正できるようになりました。

今までは、[会社運用設定]メニューの「他システム登録伝票編集許可」の設定に依存していましたが、今回からはこの設定に依存せずに、以下のオプション製品で自動作成された伝票は摘要のみを修正できます。

《 対象オプション製品 》

- ・ 『入金管理オプション』
- ・ 『支払管理オプション』

《 決算処理 》

- 法人税等の電子申告における添付書類「財務諸表(XBRL)」データを作成できるようになりました。

《 関連メニュー 》

- ・ [決算処理]-[決算報告書]-[電子申告]-[電子申告科目設定]メニュー
電子申告するために、電子申告用の定められた科目に勘定奉行の決算報告書科目を関連付けます。
- ・ [決算処理]-[決算報告書]-[電子申告]-[電子申告注記登録]メニュー
電子申告するために、電子申告用の定められた形式で注記項目を作成します。
- ・ [決算処理]-[決算報告書]-[電子申告]-[電子申告データ作成[財務諸表]]メニュー
法人税の電子申告の添付書類「財務諸表(XBRL)」を作成します。
『申告奉行[法人税・地方税編]』や『e-Taxソフト』で申告する際に、このメニューで作成した添付書類「財務諸表(XBRL)」を使用します。

《 その他 》

- 奉行21・奉行21 Ver. IIのすべてのバージョンの会社データをデータコンバートできるようになりました。

[データ領域管理]-[データコンバート]メニューで、以下の製品の会社データもコンバートできるようになります。

- ・ 勘定奉行21 Ver. II
- ・ 勘定奉行21

注 意

○勘定奉行21 Ver. III以前の場合は、事前にデータ変換作業が必要になります。

※詳細は、「データコンバートマニュアル 第1章 はじめに コンバートの手順」をご参照ください。

○決算日が平成18年4月30日以前の会社データ（会社法に対応していないデータ）は、移行できません。

※詳細は、「データコンバートマニュアル 第1章 はじめに コンバートできる会社データ・できない会社データ」をご参照ください。



機能アップガイド

Ver.1.23



機能追加／改正情報

注 意

- 以前の変更内容については、プログラムが変更された時点の内容で記載されているため、メニュー名や画面などが当時の内容で記載されています。
- 機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

Ver. 1.23 変更内容

《メニュー体系》

[メニューの名称を変更しました。](#)

《帳票全般》

[帳票メニューで、未承認・未転記の仕訳を集計できるようになりました。](#)

[帳票メニューの\[条件設定\]画面で、前回条件を保持する項目として、集計対象の「勘定科目（科目区分）指定」の項目が追加されました。](#)

[帳票メニューから帳票メニューへジャンプした際に、\[条件設定\]（F10）を押すと、さらに条件を絞り込んで集計することができるようになりました。](#)

[会計帳票を印刷する際に、行の高さの補正やフォントサイズの変更ができるようになりました。](#)

[集計表を印刷する際に、列幅を補正することができるようになりました。](#)

《導入処理》

[税区分の名称の「一般」という表現を「課税」に変更しました。](#)

《仕訳処理》

[仕訳の検索条件を設定する画面（\[条件設定\]画面）を、利用レベルに応じた形式に、切り替えることができます。](#)

[仕訳の検索条件を設定する画面（\[条件設定\]画面）のコード範囲指定において、終了コードを空欄のまま\[Enter\]キーで確定すると、開始コードと同じコードが終了コード欄に自動的に表示されるようになりました。](#)

[\[仕訳処理\]メニューの\[残高表示\]画面に、未承認・未転記の仕訳を含めた金額を表示するかの選択ができるようになりました。](#)

[1：1の仕訳をスムーズに入力できる\[仕訳帳入力\]メニューが追加されました。](#)

[\[帳簿入力\]メニューの各メニューに、印刷機能が追加されました。](#)

[伝票番号の初期No.を設定できるようになりました。](#)

[部門管理しない勘定科目（貸借対照表の勘定科目など）に対して、仕訳入力時に自動表示する（仕訳入力時に固定する）部門を指定できるようになりました。](#)

《会計帳票》

[取引先を範囲指定して、取引先ごとに元帳を出力できるようになりました。](#)

[元帳を印刷する際に指定できる最大フォントが、「8」から「11」に変更されました。](#)

[元帳を印刷する際に、1ページ当たりの印刷行数を調整できるように、行の高さを補正することができます。](#)

[\[合計残高試算表\]メニューにおける要約印刷・精算表印刷の際に、1ページ当たりの印刷行数を調整できるように、行の高さを補正することができます。](#)

[部門内訳表]メニューで、「0：その他」部門だけに金額が発生している勘定科目（科目区分）は、表示しないように変更しました。
[取引先内訳表]メニューで、「0：その他」取引先だけに金額が発生している勘定科目は、表示しないように変更しました。
《分析帳票》
勘定科目別・取引先別に、金額の推移を確認できるようになりました。
勘定科目別・取引先別に、当期と前期の金額を比較できるようになりました。
《予算管理》
縦軸に勘定科目、横軸に部門を並べた一覧で、予算と実績の比較ができるようになりました。
《消費税申告》
税区分・申告書計算区分の名称の「一般」という表現を「課税」に変更しました。
《随時処理》
連携可能なシステムに、『宝印刷』が追加されました。
『Diva Series』との連携で、相手先別明細情報に対して、勘定科目の指定が追加されました。
『連結大王SUMMIT』との連携で、出力ファイルに「マスターファイル」が追加されました。
《その他》
[メニュー権限登録]・[データ領域権限登録]メニューに一括複写機能が追加されました。
奉行iメニューの操作性が変更されました。
[知的財産情報]メニューが追加されました。

機能追加／改正情報

注 意

- 以前の変更内容については、プログラムが変更された時点の内容で記載されているため、メニュー名や画面などが当時の内容で記載されています。
- 機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

Ver. 1.23 変更内容

《メニュー体系》

[メニューの名称を変更しました。](#)

《帳票全般》

[帳票メニューで、未承認・未転記の仕訳を集計できるようになりました。](#)

[帳票メニューの\[条件設定\]画面で、前回条件を保持する項目として、集計対象の「勘定科目（科目区分）指定」の項目が追加されました。](#)

[帳票メニューから帳票メニューへジャンプした際に、\[条件設定\]（F10）を押すと、さらに条件を絞り込んで集計することができるようになりました。](#)

[会計帳票を印刷する際に、行の高さの補正やフォントサイズの変更ができるようになりました。](#)

[集計表を印刷する際に、列幅を補正することができるようになりました。](#)

《導入処理》

[税区分の名称の「一般」という表現を「課税」に変更しました。](#)

《仕訳処理》

[仕訳の検索条件を設定する画面（\[条件設定\]画面）を、利用レベルに応じた形式に、切り替えることができます。](#)

[仕訳の検索条件を設定する画面（\[条件設定\]画面）のコード範囲指定において、終了コードを空欄のまま\[Enter\]キーで確定すると、開始コードと同じコードが終了コード欄に自動的に表示されるようになりました。](#)

[\[仕訳処理\]メニューの\[残高表示\]画面に、未承認・未転記の仕訳を含めた金額を表示するかの選択ができるようになりました。](#)

[1：1の仕訳をスムーズに入力できる\[仕訳帳入力\]メニューが追加されました。](#)

[\[帳簿入力\]メニューの各メニューに、印刷機能が追加されました。](#)

[伝票番号の初期No.を設定できるようになりました。](#)

[部門管理しない勘定科目（貸借対照表の勘定科目など）に対して、仕訳入力時に自動表示する（仕訳入力時に固定する）部門を指定できるようになりました。](#)

《会計帳票》

[取引先を範囲指定して、取引先ごとに元帳を出力できるようになりました。](#)

[元帳を印刷する際に指定できる最大フォントが、「8」から「11」に変更されました。](#)

[元帳を印刷する際に、1ページ当たりの印刷行数を調整できるように、行の高さを補正することができます。](#)

[\[合計残高試算表\]メニューにおける要約印刷・精算表印刷の際に、1ページ当たりの印刷行数を調整できるように、行の高さを補正することができます。](#)

[部門内訳表]メニューで、「0：その他」部門だけに金額が発生している勘定科目（科目区分）は、表示しないように変更しました。
[取引先内訳表]メニューで、「0：その他」取引先だけに金額が発生している勘定科目は、表示しないように変更しました。
《分析帳票》
勘定科目別・取引先別に、金額の推移を確認できるようになりました。
勘定科目別・取引先別に、当期と前期の金額を比較できるようになりました。
《予算管理》
縦軸に勘定科目、横軸に部門を並べた一覧で、予算と実績の比較ができるようになりました。
《消費税申告》
税区分・申告書計算区分の名称の「一般」という表現を「課税」に変更しました。
《随時処理》
連携可能なシステムに、『宝印刷』が追加されました。
『Diva Series』との連携で、相手先別明細情報に対して、勘定科目の指定が追加されました。
『連結大王SUMMIT』との連携で、出力ファイルに「マスターファイル」が追加されました。
《その他》
[メニュー権限登録]・[データ領域権限登録]メニューに一括複写機能が追加されました。
奉行iメニューの操作性が変更されました。
[知的財産情報]メニューが追加されました。